

「没頭」と「距離化」の間で揺れ動くジャニーズ ファンの「勝手な」ジレンマ：「担降り」から見る ジャニーズファン活動の実態

曾我, 香菜子
九州大学芸術工学部音響設計学科

<https://hdl.handle.net/2324/4772812>

出版情報 : Kyushu University, 2021, 学士, 学士
バージョン :
権利関係 :

卒業論文

「没頭」と「距離化」の間で揺れ動く
ジャニーズファンの「勝手な」ジレンマ

「担降り」から見るジャニーズファン活動の実態

The "selfish" dilemma of Johnny' s fans wavering between
"absorption" and "detachment".

The reality of Johnny' s fan activities as seen from the perspective of "stopping
being a Johnny' s fan".

2022年1月28日提出

九州大学芸術工学部音響設計学科

1DS18319Y

曾我 香菜子

SOGA Kanako

研究指導教員 長津結一郎 助教

要旨

ジャニーズアイドルを応援するファンたちは、応援するアイドルだけでなく、周囲のファンにも影響されながらファン活動を行なっているのではないかという仮説より、ファン同士の関係性のもとファンはどのような活動を行っているかを明らかにすることが本論文の目的である。調査として、ジャニーズファンに対する「担降り」や熱量減少、ファン同士の関係性悪化の経験を聞き出したものをKJ法で、さらにインタビューによりその経験の詳細を伺った結果をSCATでそれぞれ分析した。その結果、ジャニーズファンは自身の応援するアイドルに対し、理想の担当像を形成するための情報収集・取捨選択を行う中で、取捨選択の作業の失敗による疲弊感・反対意識が担降りの一因になっていることが明らかになった。また取捨選択を行う際、周囲のファンにより形成される「ファンとしてあるべき姿」と自身の状態が一致しないことが判明すると、自身がファンであることへの不安感を感じ、担降りや熱量減少につながることを判明した。それらはファンとしての担当への「没頭」と「距離化」を行き来する営みの中で行われたものであった。

目次

1. 序章	1
1.1 背景	1
1.2 目的	2
2. 先行研究	3
2.1 ジャニーズファン概論	3
2.2 「推す」ことと、その不明確性	4
2.3 ジャニーズファンたちは何を求めているのか	5
2.4 ジャニーズファンの実践	6
2.5 ジャニーズ系アイドルにおけるファンの役割	8
2.6 ジャニーズファンの活動の中で何が起きているのか	9
3. 調査概要	11
3.1 アンケート調査	12
3.1.1 アンケート調査の目的	12
3.1.2 アンケート調査の内容	12
3.1.3 アンケート結果の概要	14
3.1.4 アンケート結果の分析	16
3.2 インタビュー調査	18
3.2.1 インタビュー調査の目的	18
3.2.2 インタビュー調査の内容	18
3.2.3 インタビュー調査の分析	23
4. 考察	30
4.1 担降り・熱量減少に至るフロー	30
4.2 ファン活動における「理想の担当像」の承認の必要性	35
4.3 ファン活動のフィールドとして適した Twitter	38
4.4 スクリーニングの失敗により発生する疲弊感	39
4.5 ファンダムにより形成される「あるべき姿」とのギャップにより形成される不安感	41
4.6 理想の担当像を構築し続けるジャニーズファン	45
4.7 ジャニーズファンは何をしているか	46
5. 結論	1
5.1 本研究の整理	1
5.2 周囲のファンとの意見相違とその影響	1

5.3 ファンによるネガティブな影響.....	1
5.4 ジャニーズファンは何をしているか.....	2
5.5 今後の展望.....	3
謝辞	4
引用文献	5
付録	6

1. 序章

1.1 背景

日本において、アイドル文化は非常に深く根付いてきた。テレビやラジオ番組での活躍だけでなく、ライブの開催や握手会など、アイドルを応援する「ファン」や「オタク」と呼ばれる人々との接触を重視するイベントが開催されるなど、我々がアイドルを応援して楽しむ方法は多岐にわたる。また、矢野経済研究所の調べによると、「アイドルオタク」の市場規模は2019年度まで前年比100%超えが続いている。新型コロナウイルスの影響でライブ活動の中止や延期が相次いだ2020年以前は、「AKB48」や「ジャニーズ」というようなアイドルを中心としたライブ動員数の増加により市場拡大が見られるなど、その経済効果から見てもアイドル文化やそれを取り巻く市場に注目が集まっている[株式会社矢野経済研究所, 2021]。さらに、このように「アイドル」の市場経済を支えているのが、彼ら/彼女らを応援する「ファン」の存在である。アイドルファンは、その応援対象が出演するコンサートに足を運びグッズを買うのはもちろん、推しの認知度向上のためにインターネットで資金を募り、街頭広告を出す動きまで見られている[東京新聞, 2021]。

実際、著者も一人の「アイドルファン」、中でもジャニーズ事務所に所属するアイドルのファンである「ジャニーズファン」として、これまで複数のアイドルを応援し、実際にグッズの購入やライブの参加などを通してジャニーズアイドルを応援することを楽しんできた。その中で、同じアイドルを応援しているファンとの交流は一つのファン活動として欠かせないものであり、その交流の中で情報収集をしたり、応援しているアイドルについて話し込んだりすることで、応援するアイドルに想いを馳せるのである。

このようにアイドルファンは、グッズ購入やライブ参加だけでなく、ファンとの交流など様々な活動を通して、特定のアイドルを応援している。その活動の蓄積が、「ファン文化」として形成されていき、ファン文化自体にも、様々な批評が行われてくるなど、注目を浴びている。実際、橋迫はオタク文化をめぐって多くの批評が生まれて育まれてきたことに触れオタクのジレンマを語り[橋迫, 2020]、NHKの朝の情報番組「あさイチ」では、アイドルをはじめとした応援している人を「推し」と呼ぶことを踏まえ、その活動について特集が組まれている[あさイチ“教えて推しライフ!”取材班 / NHK, 2022]。

これまで列挙してきた例は、ファンダムに対してポジティブな印象を抱かせるものばかりであったが、実際はそうとは言い切れない。辻が着目したのはアイドルのファンの間で交わされる「怪文書」であり、この中で相手の悪口をひたすら書き連ねるなど、相手がファン活動を続けられないようにする目的で行われるものの存在である[辻, 2007]。現在

はこのような悪口が Twitter などの SNS 上で散見されるようになってきている。実際、筆者自身も友人からあるアイドルグループについて、「〇〇（アイドルグループ）はファンが怖いからあまり好きになれない」との話を受けたことがあるほどだ。アイドルを応援することも、楽しいことばかりではないのである。

また、先日こんな話を耳にした。長年アイドルを応援してきた友人の知り合いが、応援するのを辞めるといふ話である。詳しく聞いてみると、応援していたアイドルのメンバー増員をきっかけに、ファンの雰囲気や応援スタイルが大きく変化したことを感じ、他のファンに苦手意識を感じたのでファンを辞めるといふのだ。この話に、筆者は少し違和感を感じた。単に「アイドルを応援している」だけなのに、その周囲のファンの雰囲気が原因で応援することをやめなければならないのはなぜなのか。筆者は、周囲のファンの様子と、アイドルを応援することに関係性があることに疑問を覚えたのである。

この経験から本研究は、ファンにより引き起こされたネガティブな状況を打破するための方法を模索する。周囲のファンのなんらかの言動が原因で、ファン活動を終了したり、アイドルを応援する気になれなくなってしまったりというような状況は、実際どの程度、どのように存在しているのかを明らかにすることで、ファンの活動の中でファンが何を求めているのかが明らかになると考えている。そして、このことを明らかにすることは、アイドルとそのファンが友好的に応援し応援される関係を保つために必要なヒントを与えてくれることを期待している。

1.2 目的

本研究は日本のアイドルのファンダム、特にジャニーズアイドルのファンダムに着目して進める。ジャニーズアイドルのファンが、お互いにどのような影響を与え合っているか、さらにファンがファンダム全体に与える影響について、インタビューを通して実態を明らかにしていくことを通して、ジャニーズファンの実態を探ることが本研究の目的である。本研究は特に、ネガティブな影響が発生している事例に対して、ファンとファンダムが相互に与えている影響に着目して分析をする。

2. 先行研究

2.1 ジャニーズファン概論

初めに、ジャニーズファンについて述べる上で必要な基本的な用語や文化の解説をしていく。

ジャニーズ事務所とは、代表的な男性アイドルのマネジメントを行う芸能プロダクションの一つである。ジャニー喜多川により創設された当事務所は、1975年以降多くの男性アイドルを輩出している。ジャニーズ事務所の所属アイドルを応援するファンのことは「ジャニーズファン」と呼ばれることがある。

ジャニーズ事務所に所属するアイドルは、その所属人数の多さやTV出演などのメディアへの露出の多さ故、日本の男性アイドル界を代表する存在であり、彼らを応援してきたジャニーズファンたちも男性アイドルのファンダムを形成する重要な存在として、さまざまな考察がなされてきた¹。

ジャニーズアイドルに限らず、日本で活躍するアイドルには熱狂的に応援する「ファン」がいることがほとんどである。2009年から始まった、AKB48がファンをターゲットにした「選抜総選挙」の開催²や、「ファンネーム」³を命名しライブ等でその名前を呼ぶ行為など、アイドルとしてもファンの存在を重視した活動が行われている。ファンは、応援する過程で同じアイドルを推すファンと知り合い、交流を深めていくことで独自の文化を形成する。握手会やCDの購買特典など、アイドル側から提供されるもので形成されるファン文化もあれば、ファン自身のSNSでの活動や交流を通じて形成されるファン文化もある。

ジャニーズファン文化では基本的に、特定のアイドルを応援している状態を「担当」と呼ぶ。例えばアイドルのAさんを一番に応援している場合、用法としては「○○さんはA

¹ 例えば、「日本の男性アイドル」を特集した『ユリイカ』第51巻第18号(2019)では、掲載されている批評が29ある中で、ジャニーズアイドルを中心的な題材としているものが12と半数近くを占めていることから、日本の男性アイドルの中で考察が活発に行われてきたことがわかる。

² AKB48の選抜総選挙は、2016年の開催を最後に終了している。開催時期などは公式サイトより筆者確認(AKB48 49th シングル選抜総選挙-AKB48 公式サイト, <http://www.akb48.co.jp/sousenkyo49th>, 2022. 1. 25 閲覧)。

³ 例えば、King & Princeのファンのことを「ティアラ」と呼び、ファンが自分たちのことを指す時や、ライブでアイドルがファンに向かって呼びかけを行うときなどに用いられる。ファンネームはアイドル側から発信される場合もあれば、ファンの中で自然発生的に生まれる場合もある。

担」「私の担当はAくん」といった具合に使用される。他のファンダムにおいては「推し」という言葉が使われることが多く、「担当」という言葉はジャニーズファン文化独自のものである。さらに、この「担当」の用法から派生して、自分が一番応援しているアイドルのことを「自担」、その他のアイドルを応援していることを「他担」、自分と同じ担当をもつファンのことを「同担」と呼ぶなど、さまざまに活用された用語が使われている。さらに、そのアイドルの「担当」を辞めるときは「担降り」「降りる」などと言われている。

このようなファン文化を含めたファンやファンコミュニティ、ファンの集合体・領域を全てまとめて「ファンダム」と呼ぶことがある。ジャニーズファンにより形成されるファンダムは、「担当」などの独特な呼び方の発展など、独自のファンダムが形成されているのである。

2.2 「推す」ことと、その不明確性

上述のジャニーズファン文化が独自に発展してきた背景には、「オタク」や「推す」という事自体を知る必要がある。これらの言葉について、考え方をまとめておく。先ほどから用いている「ファン」という言葉は、「こだわりがある対象を持ち、その対象に対して時間やお金を極端なほど集中的に消費」している人〔野村総合研究所オタク市場予測チーム, 2005〕として使われることが多いが、それと類似した言葉として「オタク」がある。オタクとは熱狂的に何かに没頭する人のことを指すが、'90年代の「お宅」といったネガティブな印象⁴は薄れ、概念が拡大しつつある言葉であるということが、2018年実施の大学生全国調査にて明らかになっている。この調査では、大学生の47.4%が「オタクである」に「そう思う」と答えている。「何かに打ち込むことがあれば」、「お金と時間をつぎ込むことがあれば」オタクだと考える傾向が若者にはあるといい、オタクである自認や表明が進むとともにオタクのマイナスイメージも薄れている〔片岡, 2020〕。「オタク」の広義化が進むにつれ、「ファン」と「オタク」の2つの言葉の差はあまり目立たなくなった。本論文でも先行研究として「オタク」について言及されているものも参考にしていく。

⁴ 片岡は、「お宅」のネガティブなイメージについて、「オタクは社会性がない根暗な人」というような差別的なまなざしがあると捕捉している。

これを踏まえ、「オタク」がよく用いる言葉の一つである「推す」という言葉についても考える。名詞的に「推し」というと、ジャニーズファンの中で用いられている「担当」と同じ意味を持つが、動詞的に「推す」という言葉は、ジャニーズファンも含め様々なジャンルのオタクの中で用いられている。この「推す」・「オタク」という言葉の使用について、多くのファンダムではある程度の共通理解のもと使われているものの、多くの人に共有されている厳密な定義は提唱されていない。

悠木は、自身が声優であり同時に2次元のオタクである立場から、オタクについて「最終責任を自らで追うことができないにもかかわらず、その対象に熱中できる人」と結論づけている。オタクは、自ら関わりをいかないと応援している対象との縁が切れてしまうが、それを理解した上で「推し」を追い続け、愛し応援し続けることができる人こそがオタクである、という立場をとっている [悠木, 2020]。

また吉澤は、「オタクとは、想像力を駆使して虚構の世界をまさに『虚構として』徹底的に享受している人であり、大好きな何か（虚構のキャラクターや物語）をとことん楽しむ人である」と述べている。対象が2次元のキャラクターであろうと実在するアイドルであろうと、それを「虚構」として捉え、欲望が満たされるような快楽を得ることができる人のことをオタクと定義したのだ [吉澤, 2020]。

このように、オタクとは、無駄かもしれないことに熱中し、それが虚構であることを認識しながら楽しむという、奇妙な形をもつものである。オタクが何かを推すということについて、一つの明確な答えを持つわけでも、「オタク」と「オタクでない」の間に明確な境界線を引けるということもない。それにも関わらず、ファン文化研究はもとより日常の中で「オタク」や「推し」という言葉が多用されているのは、その言葉のある程度の共通認識や、片岡の大学生全国調査により明らかになったオタクである自認が半数近い人にあることが理由だと考えられる。「オタク/ファン」が何かを「推す」ということは、明確な言葉の意味を持つわけではないが、明確でないまま私たちの生活の中に浸透しているものなのである。

2.3 ジャニーズファンたちは何を求めているのか

それでは、「オタク/ファン」が対象を「推す」ことは、どのような性質を持っているのだろうか。ここからはジャニーズファンに焦点を絞り、その性質についての先行研究をまとめていく。

辻は、ジャニーズファンたちが担当を推す際に、時代の流れとともに「当事者」的視線から「観察者」的視線へと変化していると述べている。1990年代半ば、人気が本格的になったSMAPを見ると、彼らに向けられたファンの視線は（擬似）恋愛のような「当事者」的なまなざしであり、同担は「疑似恋愛による嫉妬の対象」として避けるような行動をしていたが、1999年にデビューした嵐のファンの視線は「嵐の5人が仲良くじゃれあっている様子」に向けられている[辻, 2012]。嵐のファンがその関係性に注目していることについて吉澤も、「ライトなファンからコアなファンまで、またやおい⁵に無関心な人、やおいに嫌悪感を露にする人でも、メンバー同士の『絡み』や『わちゃわちゃ』が大好きである」と述べていたり[吉澤, 2012]、実際メンバーの中でペアの組み合わせに通称名がついていたり⁶することからも伺える。このように、「『私』は、どこか他の場所から、それをただ見ていただけ[吉澤, 2012]」であり、辻の言葉でいうところの「観察者」的視線を持つようになった。

この「観察者」的視線を持つようになった一つの裏付けとして、オタクによく使われるスラングとして「アイドルを消費する」というものがある。筒井は「相手の全面的な道具化・客体化」という考えを元に、「アイドルその人自身のためではなく、ファンである自分たちの欲望を満たすためにその人に肉体的・感情的な（また、直接的な接触や行為は伴わないものの、ある程度性的な）労働を強いて消費させているといった意味合い」で用いられていると指摘している[筒井, 2019]。このスラングも、ファンが「当事者」でなく「観察者」として捉えているからこそ、アイドルや彼らの「絡み」を「観察」することを、一つの「商品」を「消費」していることと重ね合わせて用いられ、そこには明確なファンの「観察者」的視点が存在する。これらから、ジャニーズファンが「担当」を応援することとは、その「関係性」を「観察者」的な視点から見ることと言えるのだ。

2.4 ジャニーズファンの実践

それでは、「観察者」的な視点を持つジャニーズファンは、どのようなファン活動をしているのか。本節ではそのファン活動を概観していく。

⁵ 「やおい」とは、「女性が男性同士の愛の関係に没頭するという現象」とであると、吉澤により定義されている。[吉澤, 2012]

⁶ 例えば、嵐の大野智と二宮和也のペアのことを、名前から「大宮コンビ」と呼ぶなどである。ジャニーズアイドルでは、主にグループ内の各ペアに、このようなカップリングの名前がついていることがある。

ジャニーズファンとしての活動は、ライブへの参加、CD・DVDを含むグッズの購入、YouTube や Island TV⁷等動画コンテンツの閲覧、SNS の投稿閲覧や拡散、その他担当の誕生日や入所などの記念日を祝うなど、多岐にわたる。本節では、「関係性」を重視する点に着目し、ファン同士の交流についてジャニーズファンが何を実践しているのかについてまとめる。

ファン同士の交流について、辻は「同担拒否から禁止担へ」の変化を取り上げて、昨今ファン同士の交流が重視されている状況に注目している。もともと「同担拒否」とは、自分と同じ「担当」を持つファンとの交流は拒否しているファンのことを指し、SMAP が活躍した 1990 年代半ばから使用されていたもので、現在でも Twitter のプロフィール欄などに意思表示として使用されている。一方「禁止担」とは 2000 年代から嵐ファンを中心に使用され、自担・他担関わらず特定の「担当」との交流を拒否している場合に用いられる。「同担拒否」は、「当事者」として疑似恋愛をする中で「同担」が嫉妬の対象になることから使用されてきたが、「禁止担」は自分と仲の良いジャニーズファンと「同担」になることを避けるために用いられる。ここから、昨今のジャニーズファンにとって「最優先なのは仲間内の関係性を円滑に保つことであり、そのために『禁止担』を指定」していると述べられており、ファン同士の交流を重要視する比重が大きくなっていることが伺える [辻, 2012]。

また、そういったファン同士の交流は Twitter や Instagram のような SNS 上で行われることが多い。片岡は「好きな何かに没頭できる人は、そのエネルギーと情熱をアカウントで発信し、共感できる相手とハッシュタグ (#) で繋がろうとする」と述べており、SNS 上で自分と共感できる人と繋がろうとする傾向は、決してジャニーズファンに限った話ではない。さらに片岡は、SNS のアカウントを複数持つ人が多いことに触れ、「好きなことに対する価値観の違いでレイヤー化され、同じテーマの下でも多層的なつながり方が現実のものとなっている」と指摘している。片岡は、自分の感じていることを包み隠さず綴る「愚痴用アカウント (愚痴垢)」⁸の存在を指摘しながら、どこまで自己開示するかも探りながらも共感を求めて発信し、他のファンとの交流をしていると主張している [片岡, 2020]。

⁷ ジャニーズ Jr.の公式エンタメサイトとして、ジャニーズ Jr.関連の動画の公開やコンサートの生配信などを行う専用サイト。

⁸ 愚痴用アカウント (愚痴垢) とは、自らの思いを SNS 上に日記のように綴るアカウントであり、多くの場合鍵がかかっているため、外部に晒されることはなく、オタクの多くが持っているとは指摘されている。 [片岡, 2020]

ジャニーズファンたちは、担当の関係性を観察者の視点からみるだけでなく、ファン同士の関係性も良好に保つことを重視し、そのためにレイヤー化した交友関係を広げることも、ジャニーズファンとしての活動の一部になっているのだ。

2.5 ジャニーズ系アイドルにおけるファンの役割

このようなファン同士の交流が活発化することに伴って、ファンは「応援者」「消費者」といった役割以外にも、「偶像（アイドル）の使徒」としての役割も担っている、という見方がある。

これは高木により提唱されたもので、「ジャニーズファンはTwitterにおいて、非対称性という特徴を用いて直接的な争いとなるものは視界に入れず、かつタレントに関する情報を即時的に、容易に、大量に、時には意図をもち断片的に入手・拡散することでn次元的なタレント像の創作活動を行い、自己の「担当像」を製作し続けると同時に発表・共有するというサイクルを続けている」というものである。

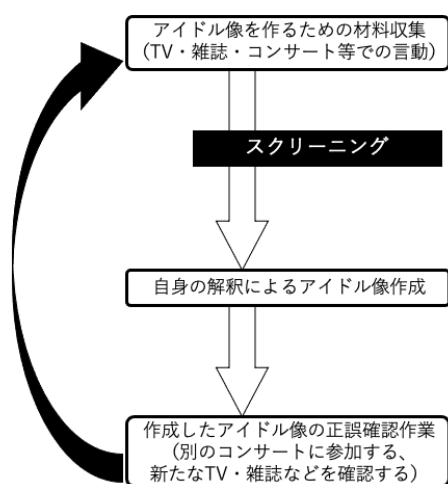


図 1 ジャニーズファンによるアイドル像創作手順についての解説図（[高木, 2016]より筆者加筆の上引用）

高木によれば、ジャニーズファンはTwitterを活用して、担当の理想のアイドル像を形成するための材料（TV・雑誌・コンサート等での言動などの情報）を収集している。その中から、その個人にとって偶像作成に必要な情報（プライベート・スキャンダル情報など）を取捨選択する（スクリーニングする）ことで、自身の解釈によるアイドル像を作成

する。そして、作成したアイドル像を、別の情報と照らし合わせることで正誤確認を行うことを通して、理想のアイドル像を再構築したり、それに必要な情報を集めたりしているという。ジャニーズファン活動の中では、このサイクルを回すことを通して、各々で担当の理想像（偶像とも言えるキャラクター像）を作り出し、ファン活動を楽しんでいるという議論である [高木, 2016]。ジャニーズファンは、Twitter など SNS を利用することで、自認せずともそのキャラクターを形成し、社会全体に向けて発信するという役割を担っている。今や、ファンは担当から応援する楽しさを享受するだけでなく、ファンとアイドルと一緒にキャラクター像を創り上げていく時代なのである。

2.6 ジャニーズファンの活動の中で何が起きているのか

このようにジャニーズファンが活発に交流したり、担当に向けて熱量を捧げ応援したりする中で、ファンは「没頭」と「距離化」を行き来しているという考え方がある。橋迫は奥村隆の議論を用いつつ、「オタク文化は『没頭』（＝「ただ好き」）を前提としながらも、それが他者と容易には共有されないことや、時には他者に対して隠しておかなければならないことで、必然的に「距離化」せざるを得なかった」ことで、オタクは「没頭」と「距離化」のジレンマを抱えながらも、それらを往復する営みをしていると主張している。担当に向ける熱量である「ただ好き」が「没頭」であり、その「ただ好き」を共有することは、自分自身を「距離化」して「没頭」している自分を見つめる営みでもある [橋迫, 2020]。この「没頭」と「距離化」の2つの立ち位置を行き来する営みが、ファン活動であるという考え方もある。

以上のように、「ファン/オタク」の定義自体は不明確ながらも、彼ら/彼女らは「観察者」的な視点を持ち、担当同士やファン同士の関係性を重視した活動を行うという特徴を持っている。ファン活動を通して、ジャニーズファンはアイドルの「使徒」的役割を担っており、ファンは「没頭」と「距離化」の2つの状態を行き来していると言える、ということが整理された。

しかしこれらは、ジャニーズファンである最中の状態を表しているのに過ぎない。ジャニーズファンではなくなる時、すなわち担降りをするときや、担当への熱量が減少するときは、どのような変化が起こるのかは、これまで着目されてこなかった。そこで本論文では、上記のようなネガティブな状況について、ファンに重視されている「ファン同士の関

係性」に着目した調査することで、アイドルを応援することをやめる「担降り」や、担当に対する熱量減少に至るまでに何が起きているのかを明らかにしていく。

3. 調査概要

本研究では、アンケート調査の後にインタビュー調査という2つの段階を踏んで調査を行った。

第1段階として行ったアンケート調査では、ファン文化がファンに与える影響について、概観を把握するために行った。この調査では、「担降り」という事象に着目することで、ファン文化がファンに与える影響について特にネガティブな側面を明らかにした。そして、アンケート調査で得たデータの中で、特に着目すべき質問の記述回答をKJ法で分類・カテゴリ化するすることで、ファン文化がファンに与えるネガティブな影響を構造的に把握できるようにした。

次に、アンケート調査を分析した結果からより詳細な状況を明らかにするため、インタビュー調査を行った。インタビュー調査でのデータは、SCATという分析手法を用いて分析した。SCAT分析とは、大谷尚により開発された分析手法である。SCAT分析については、以下のように説明されている。

SCATは、マトリクスの中にセグメント化したデータを記述し、そのそれぞれに、

- (1) データの中の着目すべき語句
- (2) それを言いかえるためのデータ外の語句
- (3) それを説明するための語句
- (4) そこから浮き上がるテーマ・構成概念

の順にコードを考えて付していく4ステップのコーディングと、そのテーマ・構成概念を紡いでストーリー・ラインを記述し、そこから理論を記述する手続きとからなる分析手法である [大谷, 2011]。

第2段階でSCAT分析を採用したのは、質的研究の初学者でも取扱のしやすい分析方法だったことに加え、ジャニーズファンの中で起こっていることの実存性を明らかにするために最適だからである。今回インタビューにより明らかにしたいのは、ジャニーズファン全体を見て担降りまでにどのような過程を踏んでいるかではなく、周囲のファンが原因で担降りに至る場合に、ジャニーズファンやジャニーズファンを取り巻く周囲の環境の変化としてどのようなものがあるかである。その要素を構造的に把握するために、初学者でも着手しやすく、コード化・理論化を明示的・定式的に行うことができるSCAT分析を用いることで、インタビューで語られた必要な要素を確実に抽出することを試みた。

3.1 アンケート調査

3.1.1 アンケート調査の目的

ファン文化、特にファンの言動によって、ファンにネガティブな影響を与えている状況の概観を探ることが、アンケート調査の目的である。この概観を明らかにするために、

- 担当への熱量の変化に着目し、一番極端なものである「担降り」や、担降りまででなくとも熱量が減少した経験の聞き出し
- ファン同士の関係性に着目し、ファン同士で関係性が悪くなったり、意見や価値観が違うと感じたりした経験の聞き出し

の2点に着目し、ファン文化がファンにネガティブな影響を与える状況を明らかにしようと試みた。

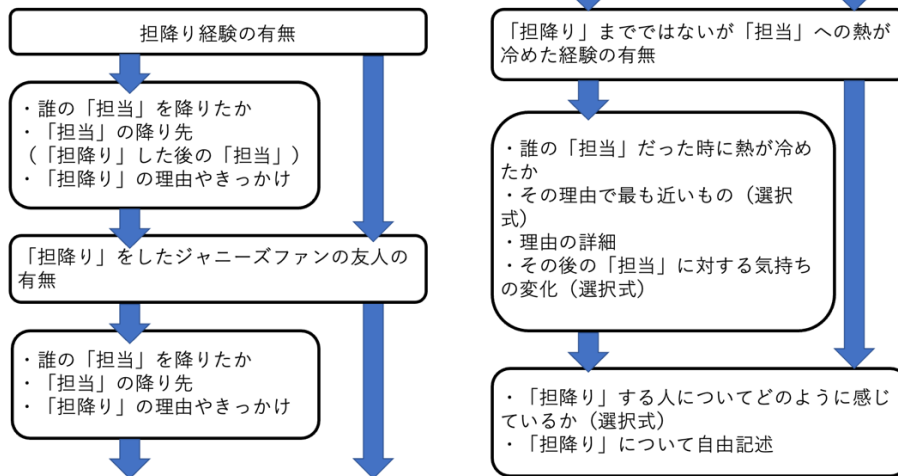
3.1.2 アンケート調査の内容

アンケート調査は、Google Formにて作成した。全体的な構成として、回答者の属性・「担降り」した経験や「担当」に対して熱量が下がった経験・他のファンとの意見や言動が相違した経験、の3部分に分かれ、以下のような設問を用意した。

第1部

- ・性別
- ・年齢
- ・ご職業
- ・婚姻とお子様の有無
- ・お住まいの都道府県
- ・現在最も「推している」グループと「担当」名
- ・現在そのほかで「推している」アーティスト
- ・ジャニーズ以外で「推し」たことのあるアーティスト
- ・今の「担当歴」と、ジャニーズ系アイドルの総「担当歴」
- ・「オンリー担」/「箱推し」/どちらでもないのいずれか
- ・「同担拒否」の傾向
- ・「リア恋」の傾向
- ・担当に関する情報を得る・発信するツール
- ・twitterのアカウント数と利用目的

第2部



第3部

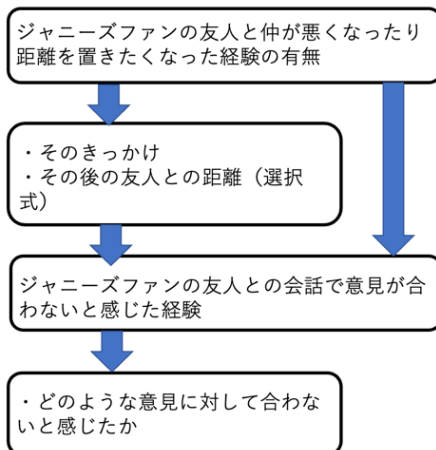


図 2 アンケートの設問一覧

第1部では、アンケート回答者の基本的な属性から、これまでのジャニーズファンの活動の概観を知るための質問として、ジャニーズファンとしての特性も質問した。ここで質問の中で用いたジャニーズファン独特の用語について、解説したものを付録1に添付している。第2部では、「担降り」と「担当への熱量が冷めた経験」という2つのネガティブな経験について、それぞれの経験の有無とその内容を質問した。「担降り」については、より多くの経験を収集するために、アンケート回答者が担降りした経験についても、知っている範囲で回答してもらった。第3部では、テーマをジャニーズファン同士の関係性とし、ジャニーズファン同士で良好な関係を築けなかった経験を伺った。また、アンケート

の最後にはヒアリングの協力をお願いとしてメールアドレスを任意で回答いただき、必要に応じてインタビュー調査に繋がられるようにした。

アンケートの配布については、著者のジャニーズファンである友人にLINEで配布し、その友人から拡散してもらおう形をとり、使用するSNSツールの偏りがでないような工夫を施した。

アンケート結果の分析については、第3部の設問「ジャニーズファンの友人との会話で意見が合わないと感じた経験」についての記述内容をKJ法により分析し、「意見が違う」と感じるポイントをカテゴライズした。本設問を抽出した理由としては、目的であるファン文化がファンにネガティブな影響が生じる際、そもそもファン文化に対して自分との違いや違和感を感じる事が原因になっているのではないか、という仮定を持っていたからである。ファンが周囲のファンやファン文化に対して違和感を感じる状況やポイントを直接的に回答している本設問について、KJ法分類を通して全体像を把握することで、インタビュー調査においても関連づけて考察ができるようにした。

3.1.3 アンケート結果の概要

アンケートは総計1109件の回答を頂いた。アンケート結果について、詳細は付録2として添付している。

アンケート回答者の属性として詳細は付録に添付するが、概要を以下にまとめておく。

- 性別について、女性と回答した人は96.9%で大半を占めていた。
- 年齢について、20代が最も多く59.2%、次いで10代以下が18%、30代が14.4%であり、30代以下の回答者が9割を占めていた。
- 職業について、大学生・大学院生が34.4%、会社員が29.9%であった。
- 最も応援している（推している）グループ/アーティストについて、ほぼ全てのグループが選択されており、担当の偏りなくアンケートの回収ができていた。
- これまでのジャニーズファン歴について、最も多くて10～15年が28.6%であったが、1～2年、3～5年、5～8年、8～10年、15～20年の選択肢もそれぞれ1割強の割合であった。
- オンリー担は6.3%、箱推しは31.4%で、担当を中心にグループ全体を応援している人が最も多く61.6%であった。
- 同担拒否の傾向として、11.5%が同担拒否傾向があると答えたものの、65%の人は同担拒否傾向はないと答えていた。

- 担当に対して、「リア恋」は8.1%、たまに「リア恋」だと感じる人は35.1%であった。
- Twitterの利用について、95%近くの人がアカウントを所有しており、全体の5割程度の方がジャニーズファンとして使用しているTwitterアカウントが2つ以上あった。

第2部について、「『担降り』をした経験はありますか？」という質問に対して51.2%の人が「ある」と回答をしている。その理由として、多く見受けられたものは以下のようなものであった。

- 担当のグループ人数、立ち位置、キャラクターなど方向性が変わった
- 熱愛報道が出た・結婚した
- 他の人やジャンルに興味を持つようになった
- 自然消滅的に、気がつけば興味がなくなっていた
- 担当やグループメンバーが退所した

担降りの理由に関する記述の中で、ジャニーズファンの影響が含まれている内容のものを確認したところ、担降り経験がある人の中での7.7%程度であった。

一方、「『担当』への気持ちが冷めてしまった経験はありますか？」という設問に対しては、46.9%の人が「ある」と回答していた。その理由自体は、「担降り」の理由と似たようなものが多かった。その中で、ジャニーズファンの影響が含まれているものは、気持ちが冷めてしまった経験がある人の中で10.1%程度であった。

次に、第3部のジャニーズファンの友人関係についての設問である。「ジャニーズファンの友人と仲が悪くなったり距離を置きたくなった経験はありますか？」という設問に対し、45.6%の人が「ある」と回答しており、「ジャニーズファンの友人との会話の中で、意見が合わないなと感じた経験はありますか？」という設問に対しては70.7%の人が「ある」と回答していたことより、過半数のジャニーズファンがジャニーズファン同士で何かしらの意見・価値観の違いを感じた経験があった。

「ジャニーズファンの友人と仲が悪くなったり、距離を置きたくなった経験」と「ジャニーズファンの友人との会話で意見が合わないと感じた経験」の2つの設問について見ると、抽象度に差がかなり見られ、抽象的なものだと「押し方の違い」「価値観の違い」など、具体的なものだと、当時の状況を詳細に記載しているものもあった。

「ジャニーズファンの友人と仲が悪くなったり、距離を置きたくなった経験」と「ジャニーズファンの友人との会話で意見が合わないと感じた経験」の具体的経験を見ると、「友人と距離をおいた経験」に対する回答で得られたものは「担当やファン活動に関するもの」と「担当やファン活動に関係しないもの」に2分された。特に、「担当やファン活動に関係しないもの」については本設問独自の回答群であり、例を挙げると以下のようなものがあった。

- Twitterなどで呟いている私生活への価値観の違い
- 悪口を言われた

それに対し、「意見が合わないなど感じた経験」に対する回答は、「担当やファン活動に関係するもの」に関わる回答がほとんどであった。これについては、ジャニーズファンが周囲のファンとどのようなポイントで意見・価値観の違いを感じるかを明らかにする手がかりになるので、3.1.4 アンケート結果の分析で詳細に分析していく。

3.1.4 アンケート結果の分析

上述の通り、本章では「ジャニーズファンの友人と意見が合わないと感じた経験」に対する回答を、KJ法により分析していった。KJ法は、川喜田二郎により提唱された狭義のKJ法一ラウンドのA型図解化の手順に基づき、ラベルづくり→グループ編成→表札づくり→空間配置の順に行った[川喜田, 1996]。分類結果を整理したものが以下である。

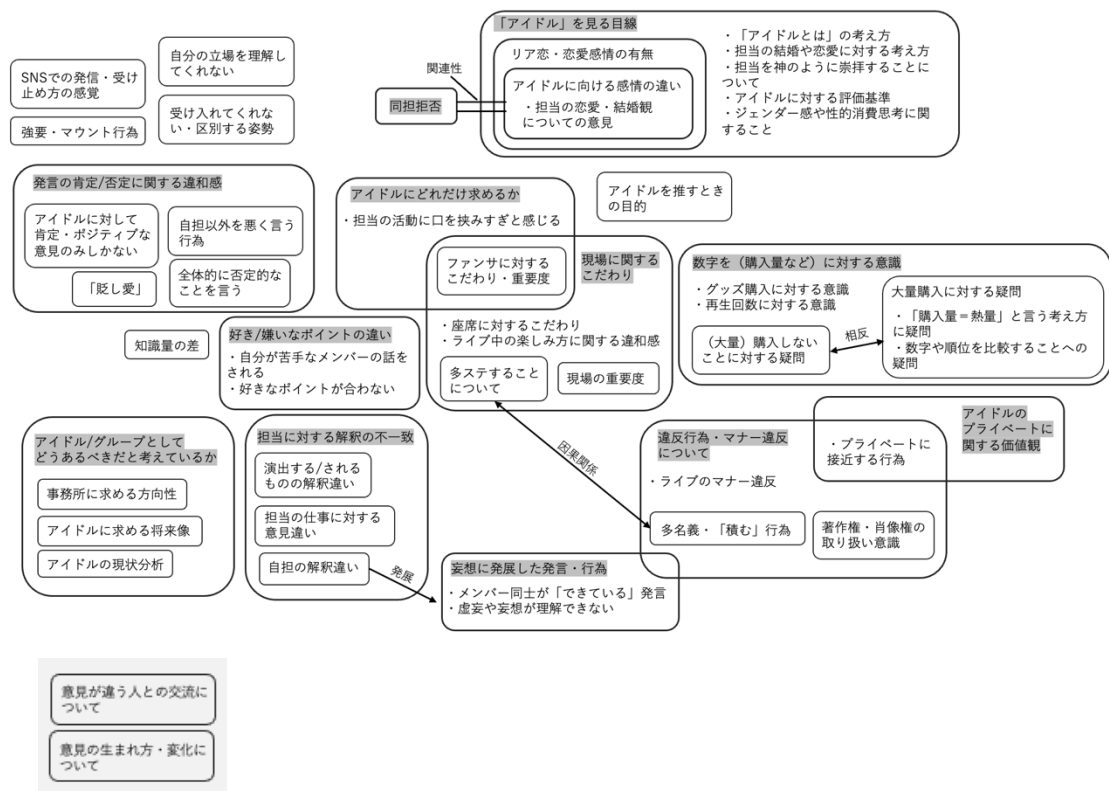


図 3 「ジャニーズファンの友人と意見が合わないと感じた経験」についての KJ 法分析の結果

図 3 は、ジャニーズファンの友人と意見が合わないと感じるポイントについて、カテゴリわけしてそれぞれ配置したものである。灰色掛けしているのが大カテゴリ、その中に四角で括られているのが中カテゴリ、箇条書きしているのが小カテゴリとして分類したものである（ただし、「アイドルを見る目線」についてのみ、他のカテゴリより 1 層多くなったので、便宜上、大カテゴリ→中カテゴリ→中' カテゴリ→小カテゴリ、と表すこととする）。また、図 3 中の左下にある、灰色の背景で示されている 2 つの中カテゴリーについては、そのほかのものと回答の視点が違うので別枠で示してある。白い背景の部分は、「意見が違った出来事」についての回答だが、灰色の背景の部分では「他の人と意見が違うことに対する考え方」に対する回答であったため、別にして分類している。

KJ 法で分類した結果、大カテゴリーだと 11 に分類することができた。大カテゴリー同士が重なっている部分も生じたりなど、それぞれ「意見が合わない部分」同士で関係性も見られている。

図 3 の分布は、似たような要素を持つカテゴリーを近くに配置しており、図中左側には担当に対する考え方についての違和感が、図中右側にはファンとしての行動自体について

の違和感が配置されている。図 3 の左側に集められている意見は、誰を応援しているか、どの部分が好き/嫌いか、担当はどのような人だと感じているか、担当は今後どのような方向性に向かっていくべきだと考えているかなど、担当に対する意見相違のものが多かった。特に、大カテゴリーの「好き/嫌いなポイントの違い」は、「担当に対する解釈の不一致」と密に関わっていた。「担当に対する解釈の不一致」とは、担当はどのようなキャラクターか、どのような意図で担当はその言動に至ったのかなど、自身のイメージする担当像との違いに対して違和感を感じており、特に相手の「イメージする担当像」に対して自分が共感できなかつたり、苦手だと感じたりすると、「解釈違い」や「好き/嫌いなポイントの違い」として意見相違が印象に残る様子が見られた。

一方、図中右側には、ライブなどのファン活動の中でどのような行動を取るか、ファン活動自体の優先度など、ファン自身の活動に焦点を当てた意見相違が集まった。「数字を（購入量など）に対する意識」の中で、大量購入をすること自体に対する相反する意見が挙げられるなど、ジャニーズファンの中で考え方の偏りがあるわけではない様子も見られた。このように、主に購入量とライブ・舞台などの「現場」について、様々な意見がもたれていることがわかった。

いずれも、ジャニーズファンの中で意見が合わないと感じるきっかけになりうる要素は多岐にわたっているが、大きく「担当に対して」と「ファンの活動に対して」の2つの視点から派生した意見相違が生じていることが分かった。これらの意見相違が担降り・熱量減少につながる要因になっているとの仮説のもと、インタビューを設計し実施した。

3.2 インタビュー調査

3.2.1 インタビュー調査の目的

アンケート結果をもとに、周囲のファンと言動や意見・価値観が違うことにより担当への熱量が冷めたり「担降り」したりした経験を具体的に何うことを通して、熱量が冷めたり「担降り」したりするときに実際何が起きているのか、またその時、周囲との意見・価値観の違いはどのように関わっているかを明らかにすることを目的とした。

3.2.2 インタビュー調査の内容

ジャニーズファンとの意見や価値観の違いが原因で、担当への熱が冷めたり担降りした経験がある方に、その経験を詳しく何うインタビューを行うために、目的別・サンプリングと自己選択サンプリングを組み合わせた方法でアンケートから対象者を抽出した。

まず抽出する対象者について、アンケートより以下の通り3つに分類した。

- (i) ジャニーズファンが原因で担降りした経験がある
- (ii) ジャニーズファンが原因で担当への熱量が冷めた経験がある
- (iii) ジャニーズファンと意見や価値観の相違を感じたことがあるが、担降りや熱量減少には影響していない

それぞれの分類方法について以下に示す。

まず(i)について、アンケート内の「これまでジャニーズファン歴の中で『担降り（ファンを辞めること）』をした経験はありますか。」という質問の中で「ある」と回答し、その理由を記述した回答の中から、ファンが原因である理由を書いているもの（例えば、ファンが怖かった、ファンの層が変わった、など）を一つずつ確認し抽出した。(ii)について、「『担降り』はしなかったが、『担当』への気持ちが冷めてしまった経験はありますか？」という質問に「ある」と答え、その理由としてジャニーズファンが原因であることを回答しているものを抽出した。(iii)について、「ジャニーズファンの友人との会話の中で、意見が合わないなと感じた経験はありますか？」という質問に、意見が違うと感じた経験はあるがそれを受け入れるような姿勢を持っていたり、むしろ面白いと感じるといような回答をしているものを抽出した。

それぞれ、(i)について44の回答が、(ii)について53の回答が、(iii)について7の回答が抽出され、それぞれインタビューの協力承諾をしている回答（メールアドレスの入力があるもの）にインタビュー依頼の連絡をし、レスポンスのあった方にインタビューを実施した。(i)について3名、(ii)についても3名、(i)と(ii)の両方について1名（(i)と(ii)の両方にインタビュー対象の該当者であった）、(iii)について1名からインタビューを行った。インタビュー回答者について簡単にまとめたものが表4、インタビュー回答者のファン活動の遍歴は表5にまとめた。

番号	分類	性別	年齢	職業	ジャニーズファン歴	担降り/熱量が冷めた/意見が違うと感じた時の担当グループ
①	(i)	女性	20代	大学生・大学院生	8～10年	F

②	(i)	女性	30代	契約社員・派遣社員	20年以上	I
③		女性	20代	会社員	3～5年	B
④	(i), (ii)	無回答/ その他	20代	大学生・大学院生	8～10年	F
⑤		女性	20代	大学生・大学院生	10～15年	G
⑥	(ii)	女性	10代 以下	会社員	1～2年	E・N
⑦		女性	20代	大学生・大学院生	10～15年	F・L
⑧	(iii)	女性	20代	契約社員・派遣社員	1～2年	C

表 4 インタビュー回答者の属性

①	小学校高学年～中学時代はDの担当で、高校1年生でFの、高校2年生でEのファンになった頃、ライブに当たらないという理由でDの担当を降りた。その後、大学2年生の頃にJの担当になったころ、Fの担当を降りた。
②	高校時代から20代前半まで、Dをなんとなく応援していた。その後、バンドに興味を持ったためジャニーズアイドルからは離れていたが、20代後半にはまたDを応援しつつ、ジュニアに目を向けるようになった。その後、デビュー前のHの担当になり、Hのデビューから1～2年後にはHのライブに参加していたデビュー前のIを応援するようになった。その後、Iの新体制発表とデビューを機に担降りし、今はLを中心に応援している。
③	中学時代、Dが流行っておりなんとなく応援していた。Rにも興味を持ったが、2次元アイドルゲームに熱中していた。ところが、ゲームへの課金が無効になってしまい、大学生活の疲弊も重なった時にBのb1の担当になった。熱心に応援していたが、b4の脱退を機にBへの熱量も低下し、Qに興味を持つようになった。現在はkkの担当をしている。
④	親の影響でFの担当になったが、親の担降りを機にFへの熱量も低下。他にもB・V・J・Iも応援しており、それぞれのファンクラブに入っていた。現在はF・Jのファンクラブは退会しており、Iを中心に応援している。
⑤	もともとジャニーズアイドルに対する苦手意識があったが、コロナ禍での自粛期間に動画を見たことでGの担当になった。さらにそこから派生して、QやE、Aにも興味を持つようになった。

⑥	小学6年生からEに興味を持つようになった。大学時代にはe1の脱退などで熱量は低下しており、そのころにMやNに興味を持つようになった。Mへの興味はすぐに薄れたものの、Nへの興味は膨らみ、現在はEとNの担当をしている。
⑦	小学校の頃はDの担当だったが、一緒に応援していた姉の担降りをきっかけに自身の熱量も減少。その後、中学3年生でFの担当になった。またそれと並行してLへの興味も抱くようになった。高校生になってから、Lのメンバーの活動休止に伴い、Qに興味を持ち、中でもn3を応援していた。Lのメンバーが復帰してから、iiに関するスキャンダルが流出し、n3を担降り。現在は、Fはライブのみ参加し、基本Lの担当をしている。
⑧	家族が漫画好きだったことから2次元に熱中しており、ジャニーズアイドルには興味がなかった。2年前、2次元で嫌なことが重なった時に、Cに出会い、それからCの担当をしている。

表 5 インタビュー回答者のファン活動遍歴

尚、表 4・表 5 の一列目の「番号」は、この後の説明上便宜的に振り分けたものである。また、以下インタビューの内容を分析するにあたり、固有名詞は本論と関係がないため、グループ名は大文字アルファベットにて、個人名は小文字アルファベットにて表す。イメージを持っていただくために適宜以下の表も参考にしていただきたい。

グループの活動歴	グループ	所属する個人 (脱退したメンバーを含む)
デビューから 15 年以上	A	a1, a2
	B	b1, b2, b3, b4
	C	c1, c2, c3
	D	d1, d2, d3
	E	e1, e2, e3, e4, e5
デビューから 5～15 年	F	f1, f2, f3, f4, f5, f6, f7, f8
	G	-
	H	h1

	V	v1
デビューから1～5年	I	i1, i2
	J	j1, j2, j3, j4
	K	-
ジャニーズ Jr. 内ユニット	L	l1, l2, l3
	M	-
	N	n1, n2, n3, n4, n5
	O	-
	S	-
	T	t1
インタビュー時解散済みグループ/ ユニットやその他名称など	P	p1
	Q	q1, q2, q3, q4, q5, q6
	R	r1, r2
	U	-

表 6 インタビュー内のグループ・個人と活動歴の対応表

インタビュー自体は、Zoom⁹によるビデオ通話形式で、40分～1時間の非構造化インタビューを行った。最初に付録3「調査についての説明書」を画面共有しながらインタビューの概要と注意点について説明した後、Google formで作成した同意書に名前を入力していただく、という形でインタビューの同意を取った。その後アイスブレイクとして、その後のインタビューをスムーズに進めるために、インタビュアーのこれまでのジャニーズファンとしての活動を軽く伝えた後、インタビュー回答者のこれまでのジャニーズファンとしての活動を伺った。その後、アンケートの回答を参考に、(i)の方々には担降り経験を、(ii)の方々には担当への熱量が冷めた経験を、(iii)の方々には他のファンと意見・価値観が違ふと感じた経験を伺った。基本的には時系列の流れに沿って語っていただき、その中で明確でない状況について説明を促したり、その時の感情の変化について説明を促したりした。

⁹ 無料のビデオ通話サービスの一つ。

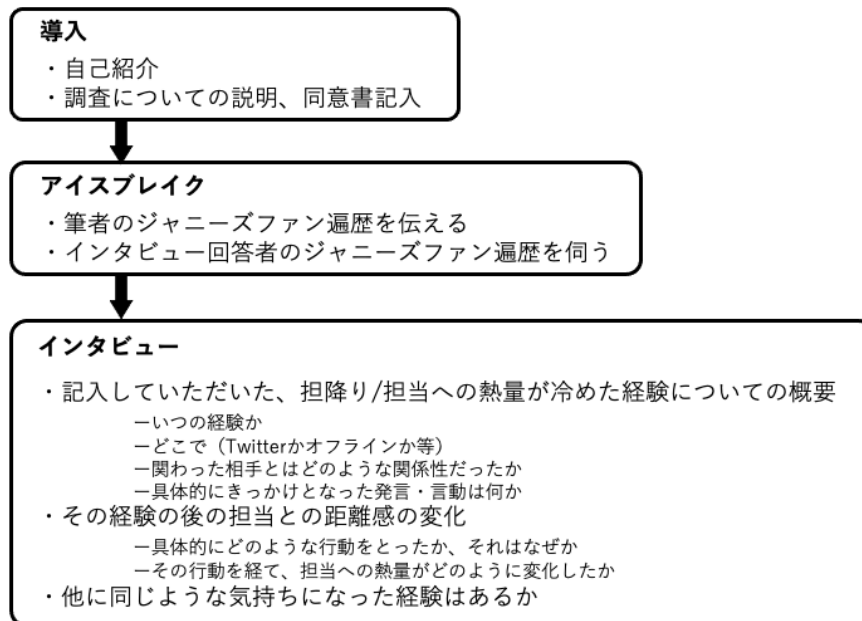


図 7 インタビューの流れの概要図

3.2.3 インタビュー調査の分析

インタビュー後、録画したインタビュー記録を全て文字に起こし、その中で担降りした経験や担当への熱量が冷めた経験の部分を SCAT で分析した。

そして、SCAT 分析にて導き出された理論記述をもとに、担降り・担当への熱量が冷めるまでの流れとその時の周囲のファンにより形成される環境を、時系列に沿って以下の通り整理した。

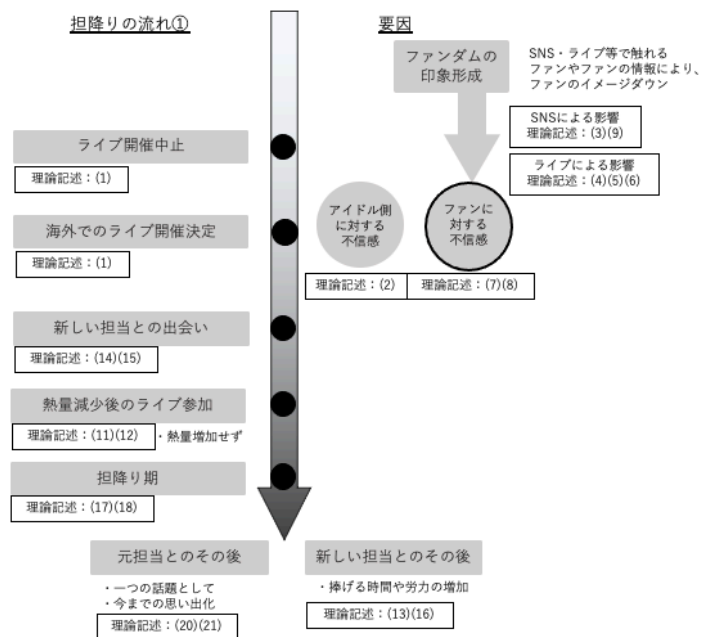


図 8 ①の担降りまでの流れの図

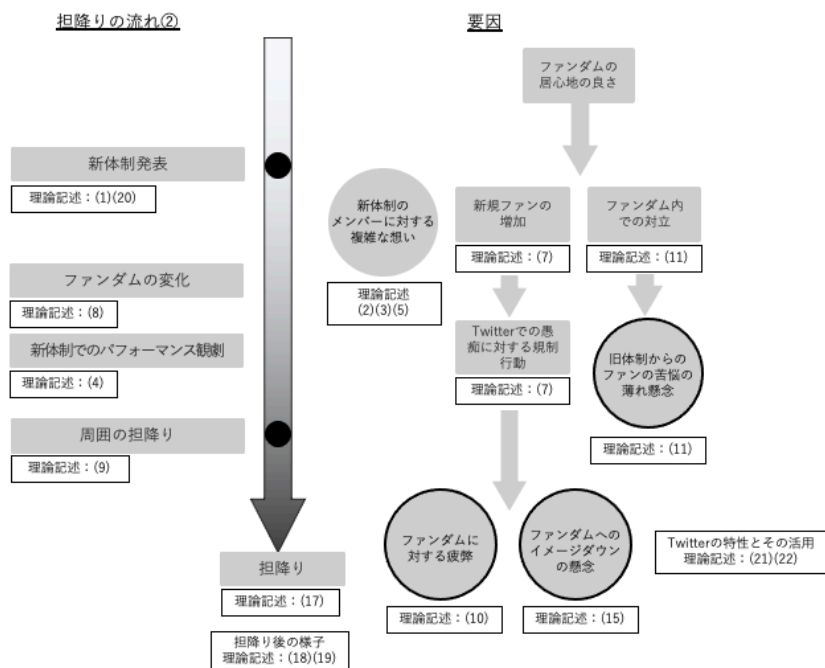


図 9 ②の担降りまでの流れの図

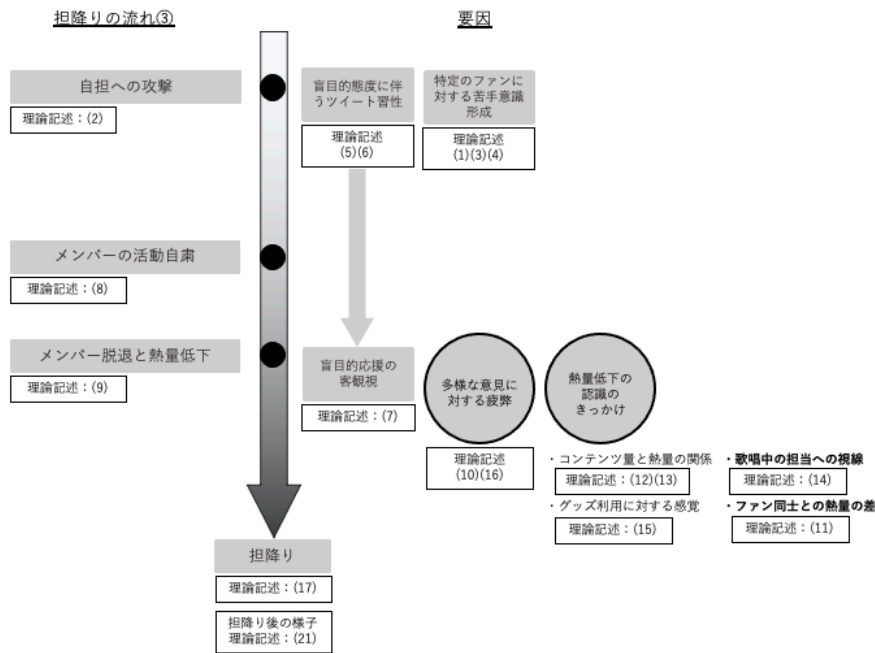


図 10 ③の担降りまでの流れの図

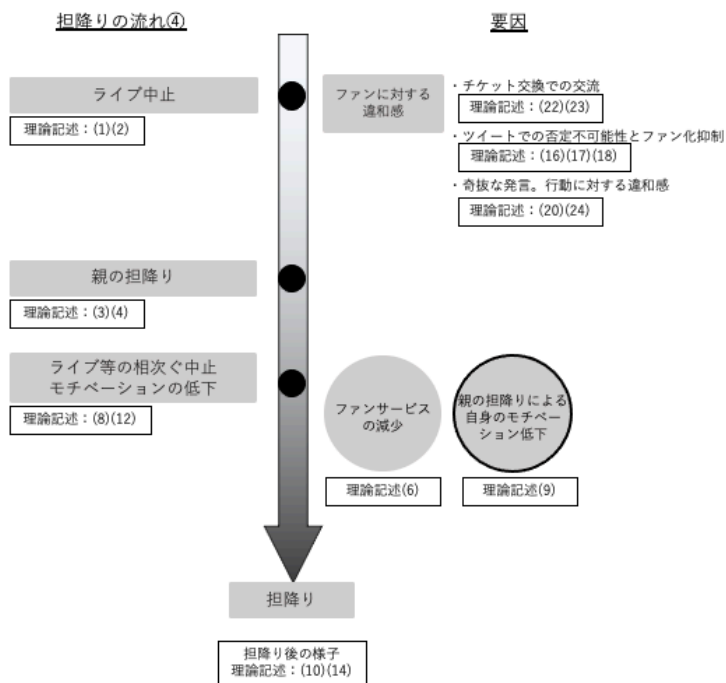


図 11 ④の担降りまでの流れの図

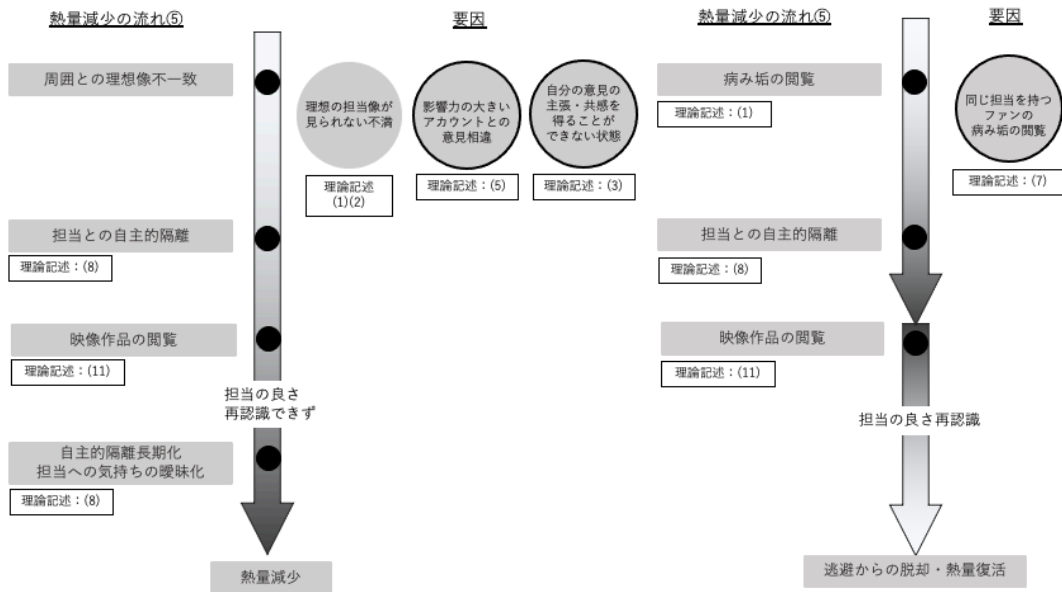


図 12 ⑤の熱量減少までの流れの図 (左) と、⑤の熱量減少とその復活の流れの図 (右)

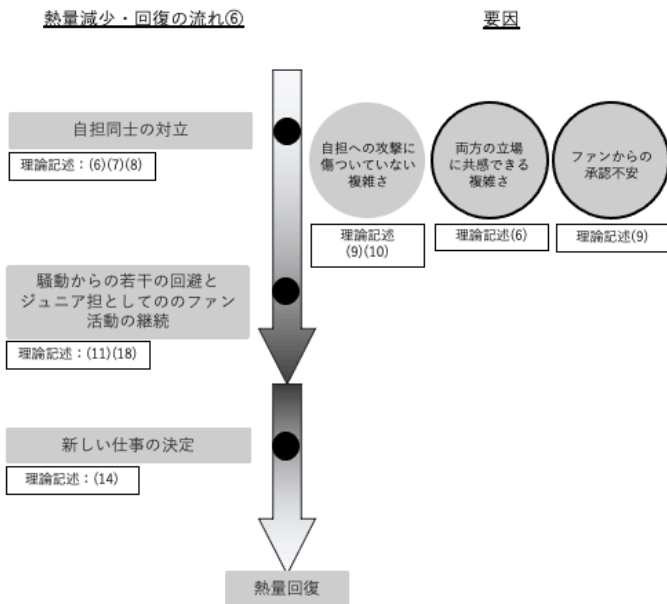


図 13 ⑥の熱量減少とその回復までの流れの図

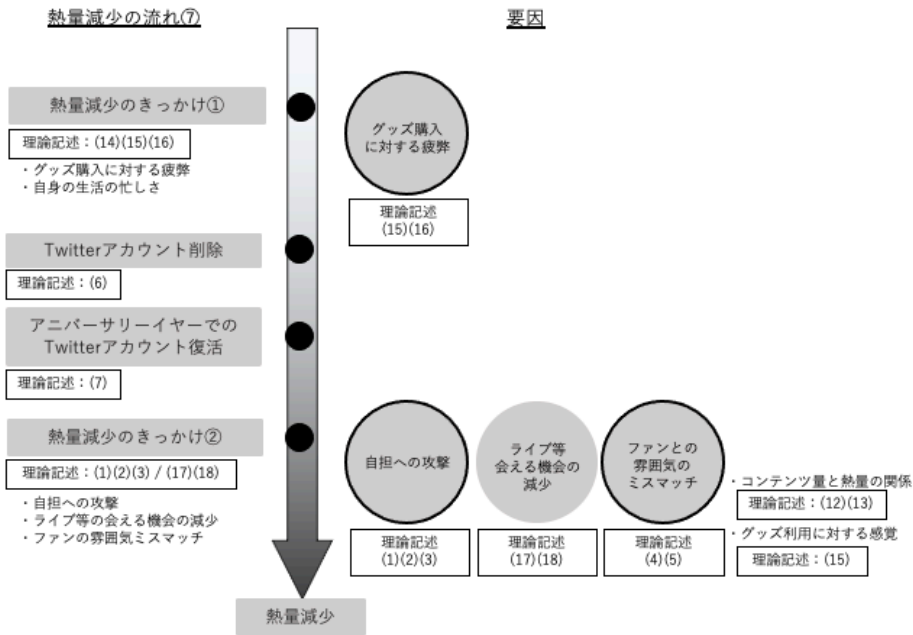


図 14 ⑦の熱量減少までの流れの図

図 8～図 14 は、インタビュー回答者①～⑦の担降り・熱量減少までの流れを、上から下に時系列が進むようにして表している。矢印の左側は具体的に何が起こったのか、そしてそれに関わっていると考えられる要因や環境を矢印の右側に示している。そして、担降り・熱量減少に関わっていると考えられる要因の中でも、周囲のファンが原因になっているものを太枠や太文字で表示した。各インタビューでの担降り・熱量減少や、熱量回復するまでの流れを、下記にまとめている。

①	<p>担当グループのライブ中止発表直後に、海外でのライブ開催が決定したことがきっかけで担当への熱量が減少。元々担当グループのファンに対するイメージはよくなかったが、ライブの中止・海外でのライブ開催に伴って、アイドル側・ファン側双方に不信感を募らせたため、担当への熱量が減少するに至っていた。熱量減少時にもライブに参加したが熱量は増加せず、その後、別グループに興味を持ったため担降り。</p>
②	<p>元々担当グループのファンダムに対し居心地のよさを感じていたが、グループの新体制発表を機に、ファンダムの変化を感じ、周囲のファンも担降りをし始めた流れで、自身も担降りをした。新体制の発表時、新体制に対するメンバーへの複雑な想いを抱えていただけでなく、新規ファンの増加によって、Twitterでの愚</p>

	<p>痴に対する規制行動が始まり、ファンダムに対する疲弊を感じたり、ファンダムへのイメージダウンの懸念を感じたりしたことが、担降りの一因となっていた。また、旧体制からのファンの間での対立や苦悩に対して、軽率に扱われる懸念を感じたことも一因となっていた。これらのファンダムの変化に加え、新体制でのパフォーマンス観劇をしても熱量増加が見られず、周囲の担降りにも影響された結果、担降りに至った。</p>
③	<p>以前から自担への攻撃がひどかったことにより、特定のファンに対する苦手意識が形成されたり、盲目的態度に伴うツイート習性が形成されたりしていた。メンバーの活動自粛と、その後のメンバー脱退をきっかけに、自身の盲目的応援に対する客観視をするようになった。すると、脱退メンバーに対する多様な意見への疲弊を感じたりしたことにより、担降りに至った。熱量低下を感じたきっかけとして、歌唱中の担当への視線や、ファン同士との熱量の差を感じたことなどが挙げられている。</p>
④	<p>担当グループのライブ中止をきっかけに、その原因と言われているファンに対する違和感を感じた経験があったが、直接的なきっかけになったのは、一緒に応援していた親の担降りだった。その後、ライブ中のファンサービスの減少を感じたり、ライブ等の相次ぐ中止により、応援するモチベーションの低下が起こり、担降りに至った。</p>
⑤	<p>熱量が減少して復活しなかった経験と、熱量が復活した経験と2つあった。復活しなかった経験は、周囲のファンと担当の理想像が一致しないことにより、理想の担当像が見られない不満を抱えていたり、影響力の大きいアカウントとの意見相違や、自分の意見の主張・共感を得ることができない状態にストレスを感じ、担当の出ている映像等を見ないなど、担当との自主的隔離を行った。その後映像作品の閲覧を行っても、現状の担当のよさを再認識できなかったため、担当への気持ちが曖昧になり、熱量減少に繋がった。一方、熱量が復活した経験は、担当の病み垢（愚痴垢）の閲覧によりストレスを感じ、担当との自主的隔離を行った。その後しばらくして映像作品の閲覧を行ったところ、担当のよさを再認識し、熱量の復活が起こった。</p>
⑥	<p>当時2つのグループを応援していたが、その2つグループのファンの間で対立が起き、この対立を若干回避する行動をとった。この時、自担への攻撃に傷ついていない複雑さを感じたり、両方の立場に共感できる複雑さや、ファンからの承認</p>

	不安などを感じたことにより、熱量が減少していた。しかし、その後新しい仕事の決定により、対立が薄まり熱量が回復した。
⑦	グッズ購入の負担の大きさによる疲弊や、自身の私生活の忙しさにより一度熱量が減少し、それに伴いTwitterアカウントを削除していた。その後、担当がアニバーサリーイヤーだったこともあり、Twitterアカウントを復活させたものの、別の担当への攻撃が相次いだり、ライブの開催が減少したり、ファンの雰囲気の不マッチが起こったことにより、再度熱量が減少した。

表 15 担降り・熱量減少の流れの概要

また、⑧に関しては、他のファンと意見の違った経験を辿っていく形で複数の経験や論点に触れていったが、主に取り上げたものとして以下のようなものがあった。

⑧のインタビュー中の論点

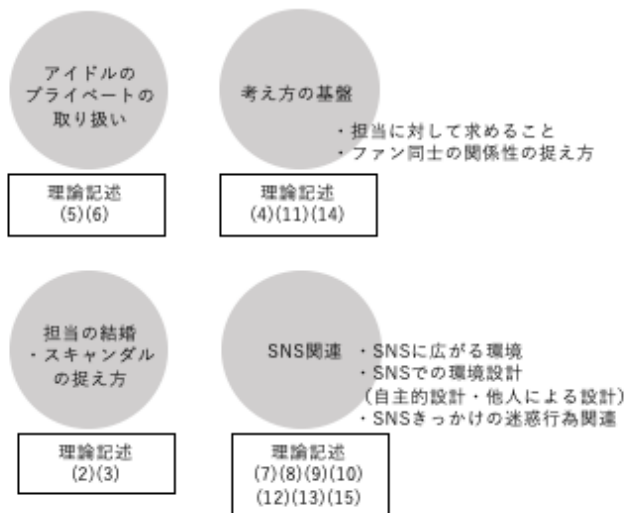


図 16 ⑧のインタビューにおける論点

4. 考察

4.1 担降り・熱量減少に至るフロー

3.2.3 で明らかにした担降り・熱量減少の流れの中で、周囲のファンが影響しているものをまとめると以下のような流れになっていた。

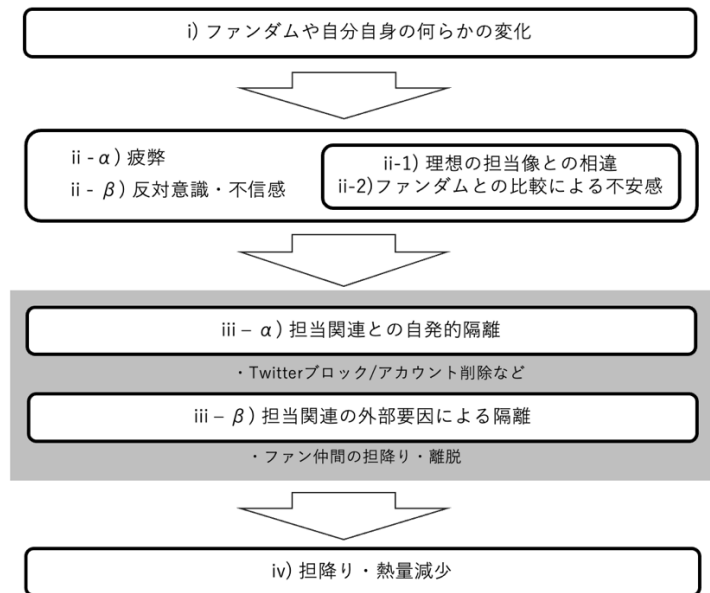


図 17 担降り・熱量減少の流れ

担降りや熱量減少が発生する最初のきっかけとしては、「i) ファンダムや自分自身の何らかの変化」が起こっていることが多かった。それぞれ、①ではライブ中止・海外でのライブ開催発表、②と③では新体制発表・移行、④では親の担降り、⑤では理想の担当像の周囲との不一致、⑥と⑦では担当である2つのグループのファンの対立が、最初のきっかけとなっていた。これらは担当の言動や方向性が原因となっており、⑥や⑦についてもファンの対立を招いたきっかけは担当の言動にあるなど、担当や担当の理想像に変化のきっかけがあることが明らかである。

これにより、生じる感情について、「ii-α) 疲弊」と「ii-β) 反対意識・不信感」の大きく2つのネガティブな感情があった。このような感情が生じる要因で分類すると、「ii-1) 理想の担当像との相違」「ii-2) ファンダムとの比較による不安感」の2つがあった。その後、そのほかの要因として、「iii-α) 担当関連との自主的隔離」、「iii-β) 担当関連の外部要因による隔離」の大きく2つの要因が複合的に関連することで、担当との関わりがますます減少し、最終的に「iv) 担降り・熱量低下」へと繋がっていた。

ここで、この担降り・熱量減少の流れをそれぞれのインタビュー分析結果と対応させるために、以下の表を用いて一つずつ対応を見ていく。

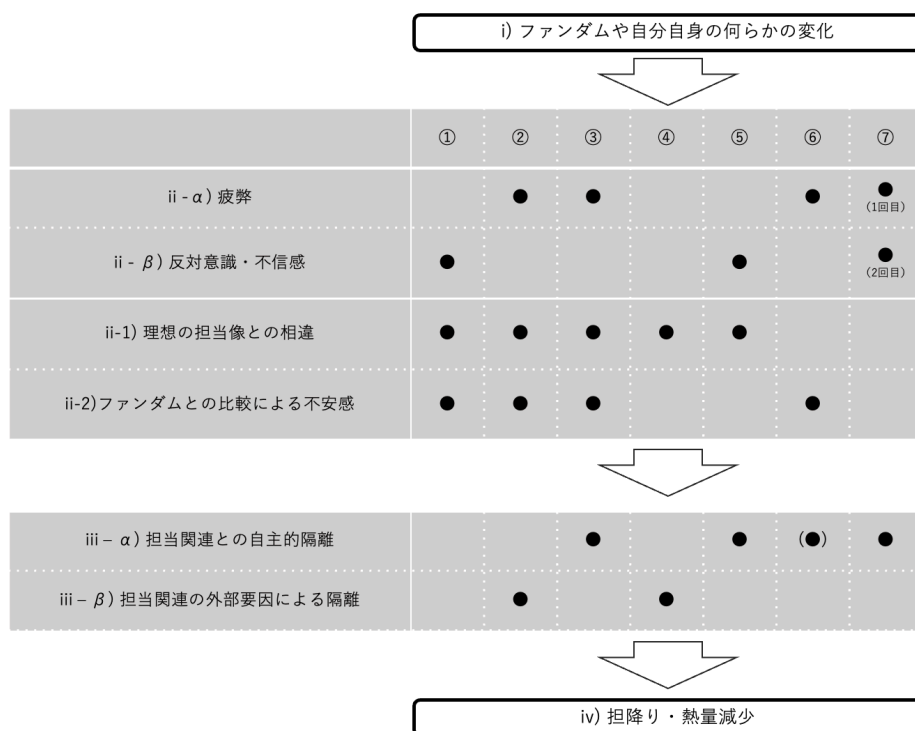


図 18 担降り・熱量減少までの流れと、インタビュー結果の対応表

図 18 では、インタビューで回答していただいた担降り・熱量減少の流れの中で、項目が当てはまるところに●をつけている。

ここからは、ii・iii の各項目について、具体的な記述内容をまとめていく。

【ii-α) 疲弊、ii-β) 反対意識・不信感】

まず、担当や担当の理想像に変化があった後、ii として疲弊や反対意識・不信感というようなネガティブな感情が、周囲のファンとの間に生じている状況が見られた。

「ii-α) 疲弊」については、それぞれ以下の理論記述より「疲弊」の要素が見られた。

②：理論記述 10 「[Twitter 上の悪口の増加と飽和]を見ることにより、(中略)特に [親しい人との急な豹変と攻撃性増加による嘆きと恐れ]はファンダムに対する疲弊につながる。」

③：理論記述 16 「[新体制をきっかけとした潜在下の**否定的意見の表出と意見の多様さによる疲弊**]が、担降りの一つの全体像である。」

⑥：理論記述 6 「(前略) [コントを見る視線の多様性とそれらに対する理解]をするとき、[騒動と直接的には無関係にもかかわらず感じる**葛藤**]、つまり[対立する意見の両者ともに共感できる複雑な気持ちによる**精神的負担**]が増加する。」

⑦：理論記述 15 「[グッズの購買行動自体の応援活動化]が、[グッズの発売頻度増加による**金銭的負担の増加と危機感**]や[周囲の購買行動に流された自身の**購買量の増加による疲弊**]を感じることに繋がる。」

このように、周囲のファンの意見対立や意見の多様性により、自分のスタンスを定めることができなかつたり、周囲のファンの疲弊を感じて自身も疲弊を感じたりするというような状況が明らかになった。

また、「ii-β) 反対意識・不信感」については、以下の理論記述から、周囲のファンの意見に対する反対意識や不信感を抱いている状況が見られた。

①：理論記述 7 「ライブ中止発表の前後を比較して、[独特なファン文化を面白い姿勢]は、[公式に言語化されたことで生じた、**ファンマナーの悪さに対する懸念**]へと**変化**する。」

⑤：理論記述 3 「担当に対する様々な不満は、他のファンと共感できなかった場合、[担当の方向性に**全肯定的な考えに対する否定**]の考えをうみ、それが次第に[周囲と共感できない孤独感]、[自分の意見を主張・共感を得ることができない息苦しき]に繋がる。」

⑦：理論記述 1 「[担当のライブに対する想いの解釈違い]により[先輩の楽曲カバーへの**文句に対する嫌悪感**]を感じるようになる。」

以上の理論記述は代表的なものの抽出ではあるが、自身の抱く理想状態の明確化、周囲のファンとの意見相違などが、反対意識や不信感に繋がっていることが明らかになった。

【ii-1) 理想の担当像との相違、ii-2) ファンダムとの比較による不安感】

「i) ファンダムや自分自身の何らかの変化」から疲弊感や反対意識などのネガティブな感情が生じていたが、それらの感情が生じる理由は2種類に分類された。

「ii-1)理想の担当像との相違」は、周囲のファンとは関係していないが、自分の中で好きだった「担当」の姿が、「i)ファンダムや自分自身の何らかの変化」により裏切られた、というような内容だった。具体的に着目した記述を、それぞれのインタビューから一つずつ抜き出したものが以下である。

①：理論記述1「(前略)海外でのライブ開催決定を発表すると、[文化の違いで担当側の対応に違いが出ることへの不満]や[自身にとっての金銭的・時間的負担の可能範囲を逸脱するライブ開催に対する反発]を抱く。」

②：理論記述2「新体制発表は[これまで見てきたメンバーの虚構感と不安感]をメンバーに対して抱くきっかけになる。」

③：理論記述14「[熱量の多さでライブの参加権利の有無が決まる価値観による、ライブ落選への納得]をしていると、その後ライブに参加できても[ライブ中の歌唱力に対する心配による担当との距離化とその嫌悪感]を感じたり、[他のファンとの熱量の差による担降りの自覚]をすることがある。」

④：理論記述11「[テレビで形成された理想状態へのライブにおける未達成による不満]や[非理想的なデビュー曲に対する不満]が重なると担降りにつながる。」

⑤：理論記述1「ファンになった当初は[初期のファンとしての全肯定的姿勢・視線]を持つが、次第に理想の担当像ができ、そして[理想の担当像が見られない悲しさ・不満]や[現状を肯定できずに感じる孤独感]を感じることもある。」

今回のインタビューでは、アンケートより周囲のファンにより担降り・熱量減少に至った経験を抽出したが、その中でも担当の理想像との乖離という文脈が含まれていた。それぞれ、①はイレギュラー時の事務所側・アイドル側の対応に関する「理想状態」について、②・⑤については担当の全体像やイメージに関する「理想状態」について、③・④については担当の楽曲などのパフォーマンスに関する「理想状態」について、それぞれ違和感を感じた例である。

一方「ii-2)ファンダムとの比較による不安感」では、ファンダムの中の一人としての自分を見つめたときに抱える不安意識・懐疑心などが、一つの担降り・熱量減少につながる要因になっていることも伺えた。具体的に着目したのは、以下の理論記述である。

①：理論記述 8「公式的なファンマナーの悪さへの言及は、（中略）[F 担はマナーが悪いと思われているという恐れ]を生じさせ、[F 担の悪印象による個人的な印象低下の回避]のような[同じファンとみなされたくない気持ち]を起こす。」

②：理論記述 15「愚痴垢の規制活動は[連鎖的な晒し行為の拡散による過剰な行動の急速な拡大]は、[外部からの I 担のイメージダウンとファンダムに対する居心地の悪さ]につながる。」

③：理論記述 9「グループメンバーの退所は、[新体制に対する拒否感]を生み出し、[周囲のファンと同様な新体制受入の必需性]を前提とした[周囲のファンと同じ感覚になれない焦燥感と落ち込み]へと繋がり、[新体制への期待ができないという担当グループへの信頼度低下と気後れ感]を生み出すに至る。」

⑥：理論記述 12「自担同士の対立により[ファンからの、ファンとしての承認不安]を抱えるようになる。」

①・②については、自担以外のファンコミュニティからの印象に対する懸念を、③は周囲のファンと比較した時の自身の熱量の低さに対する懸念を、⑥は周囲との意見相違により、ファンとしての承認を得られるかに対する懸念を抱いている。これらのような、周囲と比較した時に生じる様々な不安が、担降り・熱量減少につながる一要因として機能していることが明らかになった。

【iii-α)担当関連との自主的隔離、iii-β)担当関連の外部要因による隔離】

ネガティブな感情が生じると、担当との距離感が遠くなる・接点が薄くなるなど複数の要因が重なり合うことで、担降り・熱量減少を加速させている状況が見られた。

まず最も特徴的に見られたのが、「iii-α)担当関連との自主的隔離」である。具体的には、Twitter 上で違和感や嫌悪感を感じる投稿をしているアカウントをブロックしたり、自身のアカウント自体を削除したりする行為によって、しばらく担当やそのファンから距離を取ろうとする行動である。それぞれ、③では理論記述 10 で、⑤では理論記述 8 で、⑥では理論記述 11 で、⑦では理論記述 6 で、自主的隔離を示す記述が見られた。

iii-α と比較して、自分要因ではない場合の担当との隔離である「iii-β)担当関連の外部要因による隔離」は②と④で見られ、具体的な状況としてはファン仲間の担降りや離脱があげられる。②では理論記述 9 で周囲の同じグループのファンの担降りが、④では理

論記述 4 で親の担降りが記述されている。それぞれ、周囲の担降りが自身に及ぼす影響について、

②：理論記述 6「居心地いいファンダムでは、[ライブ会場周辺での地味さ]なども含め、[ファンダム全体での共感により形成される団結感・居心地のよさの形成]が行われる。」

④：理論記述 9「[親の担降りによる自身のファン活動の消極化]など、[一緒にファン活動をしていた人の担降りの影響力の大きさ]が伺える。」

とあるように、それまで周囲のファンと協働して応援しているほど、そのファンが担降りした時の自分への影響が大きいことがわかった。周囲の担降りによる担当関連の隔離は重要なポイントの一つであると言える。

このようなネガティブな感情は、周囲のファンとの接点減少による担当を見聞きする機会の減少へと繋がり、「iv) 担降り・熱量減少」に至っていた。

4.2 ファン活動における「理想の担当像」の承認の必要性

4.1 の担降り・熱量減少の流れを元に、i~iv で実際何が起きているのか、詳細を明らかにするために、以下の点についてアンケートとインタビューの結果から考察を深めていく。

4.2：「i) ファンダムや自分自身の何らかの変化」と図 3「ファンとの意見相違の経験」の関連性から見る、「理想の担当像」に対する承認の重要性

4.3：Twitter 上でのファン活動の活発さに関する考察

4.4：「ii-α) 疲弊」時点における、スクリーニング失敗による疲弊感

4.5：「ii-2) ファンダムとの比較による不安感」とスクリーニングの正誤評価として活用される「ファンとしてのあるべき像」

4.6：ジャニーズファンは何をしているかと、第 4 章全体を踏まえた考察

まず、本節では「i) ファンダムや自分自身の何らかの変化」と、図 3 との関連性を見ても、理想の担当像に対する承認を受けることが重要であることが明らかになった。

初めに、改めてインタビュー回答者の担降り・熱量減少の主な理由をまとめ、それらの理由と図 3 に示した周囲のファンとの意見相違のポイントを照らし合わせて一致したものを、横に矢印で示した。

	担降り・熱量減少の主な理由	関連する意見相違ポイント
①	・担当側の運営方針と対応に不満	
②	・新体制への拒否感 ・Twitter での愚痴やその規制行動に対する疲弊	→ 自担以外を悪く言う行為
③	・新体制への拒否感 ・悪い意見からの逃避	→ 自担以外を悪く言う行為
④	・親の担降り ・ファンサービスの減少	
⑤	・理想状態からのギャップ ・周囲のファンと理想状態の共感ができない状態	→ 担当に対する解釈の不一致
⑥	・自担同士の対立による否定的意見の言い合い	→ 自担以外を悪く言う行為
⑦	・自担に対する否定的発言 ・グッズの購買量	→ 自担以外を悪く言う行為

表 19 担降り・熱量減少の主な理由と、それに関連する他のファンとの意見相違のポイント

表 19 を見ると、担降り・熱量減少につながる他のファンとの意見相違のポイントは、種類が限られていることがわかる。自担以外を悪く言う行為では、アンケートで得られた意見の中では以下のようなものがあった。

- 自分が応援していないグループを下げる発言をする人が周りに多く、しんどかったです
- 他グループを貶すことで自分の推しグループを持ち上げるような発言が多い場合
- どのグループにもありましたが、担当メンバーを悪意を持って卑下するような意見

また、担当に対する解釈の不一致に関して、アンケートの回答では以下のようなものがあった。

- 担当の可愛い系統が好きなのか王子様なのが好きなのかで意見が別れた（筆者注：原文ママ）こと
- 好きだからこそ、他人の担当に対する解釈が自分と合わないと許せない。
- 応援の仕方や推しの見方。リア恋かそうでないか。推しに遭遇したら優しそうか怖そうかなど。

これらから、担降りや熱量減少のきっかけとなる出来事は、あくまで担当（やその理想像）に対して否定的な発言を受けた時のみだということがわかる。これを裏付ける記述として、④の理論記述 21 での「[ライブ参加の最重要性]があるので、[ファン活動におけるファンの印象の非重要性]を捉えることができる。」や、④のインタビューの中での、ライブチケット交換時のファンの態度で嫌な思いをした時の担当の熱量について促した時の、以下のような回答も挙げられる。

「s くん（④の担当名）のことが嫌いになるとか、s くん応援するのちょっとやめようかなってというのはあんまりないんですけど、もう絶対チケット自分で取ろうみたいな。」

このように、ファンの言動に嫌悪感を感じた経験があっても、それだけだとファンとの交流回避をするのみで、担当に対する熱量に変化はないことが記述されている。ファンを続けるために必要なのは、担当（やその理想像）に対して承認を得ることだとも言える。

このような「自分の担当（やその理想像）の否定」がファンを続ける上で重視される、という点から、高木が指摘していた「自己の『担当像』を製作し続ける [高木, 2016]」ことがファン活動の中で必要不可欠だということがわかる。「自担を悪く言う行為」や「自担に対する解釈の不一致」は、「自己の『担当像』」の否定として「担当像を製作し続ける [高木, 2016]」ファン活動を中断させる要因になっているのである。

4.3 ファン活動のフィールドとして適した Twitter

さらに高木の論が重要であると位置付ける根拠として、担降り・熱量減少につながるファン活動のフィールドとして Twitter が多用されている点について検討していく。

インタビューの中で大きく傾向として見られたのは、**ファン活動の中心を Twitter 上に置いている**かどうかである。ファン活動のメインの場所として、以下の記述に着目してみる。

⑤：理論記述 4 「**⑤さんにとってのファンダム=Twitter**】であるので、**[ファンダム形成におけるフォロワー数の多いアカウントの影響力]**は大きい。」

⑥：理論記述 20 「**[E のファンコミュニティの小規模・日常性]**・**[N のファンコミュニティの大規模・オンライン性]**という特徴は、**[ファン活動のフィールド決定要因としての、日常生活の中での同担の存在]**により生じる。」

⑥：理論記述 24 「Twitter において、**[E 担としての Twitter アカウントの未保持と、リア垢内での E に関する発言]**が生じることもあれば、**[N 担になったことによる専用アカウントの作成]**が起こることもある。」

以上のように、Twitter 上がメインのファン活動の場となっている記述が見られた。実際、⑤では理論記述 7 より、SNS の投稿の閲覧回避不可能性に関する記述があったり、⑥では N 担としてのファン活動の場のみがオンライン上に広がっていた。そしてそれにより担当への否定的な言動を避けられない状況に陥り、担降り・熱量減少に至ったことは前述のとおりである。

さらに気になる記述として、以下のような記述があった。

⑦：理論記述 6 「**[Twitter 上での交友関係の不必要性]**を感じていると、**[オタクアカウント削除による同担からの逃避]**・**[嫌いな人との関係性打ち切りの迅速的な対応]**が行われる。」

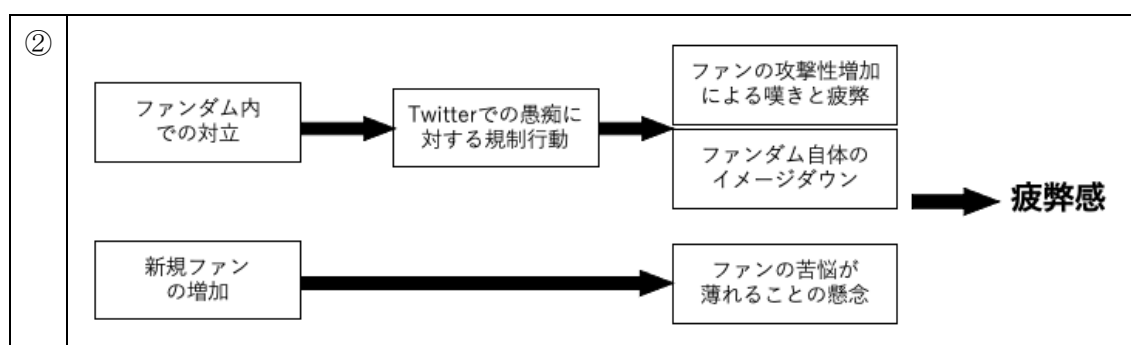
この記述より、Twitter 上のファンコミュニティにおける関係性切断の容易さが明らかである。⑦によると、ライブ等には日常生活で交流がある友人と参加しており、Twitter の利用は情報収集を基本としている。Twitter 上と日常の中での友人、両方の友人と交流する中で、Twitter 上で嫌悪感を感じる出来事があれば即座に交流を絶っていることが記述されており、その状況に応じてコミュニティを使い分けているのだ。

高木の議論は主に Twitter 上でのファン活動に注目していたが、ここで改めて、Twitter がファン活動を行う上で重要なツールとして機能していることがわかる。Twitter は、膨大な情報の中から担当の理想像形成に必要な情報を集め、不必要なものを容易に切り捨てることができるという点で、ジャニーズファンの活動に適しているツールなのである。逆説的に言うならば、ジャニーズファンが Twitter を多用しているという点から、情報収集とそのスクリーニングがファン活動の中で重要な活動になっていることが伺える。そして、スクリーニングの際にその不必要なものを切り捨てられなかった場合に、担降り・熱量減少に至る一因になってしまうのも、Twitter の特徴の一つでもあるのだ¹⁰。

4.4 スクリーニングの失敗により発生する疲弊感

前節では Twitter の活用により担当（やその理想像）を否定されると、担降り・熱量減少につながる事が明らかになったが、ここからはその「担当像の否定」により、「ii-α)疲弊」が生じる流れについて検討する。すると、この「ii-α)疲弊」が高木による議論の中でいう「スクリーニング」の失敗例としての位置付けができることが明らかになった。

初めに「ii-α)疲弊」の状況になった②・③・⑥の状況について、理論記述を少し詳細を辿りながら再度整理・関連部分のみ抜粋すると、以下のようになる。



¹⁰ 担降り・熱量減少に至らない Twitter 活用には、⑧さんの理論記述 10・14 より、Twitter 上の情報に感わされすぎない環境・姿勢づくりが必要であると言える。

⑧さんはインタビュー回答者の中で唯一、ファンとの意見相違があることを受け入れ、それが担降り・熱量減少に影響していない対象者であった。ファン活動を Twitter 上で行うこと自体がネガティブな影響を与えるのではなく、Twitter の情報に無闇矢鱈に影響されないような姿勢や環境を作り出せていないことに、担降り・熱量減少の原因があると考えられる。Twitter をうまく活用するためには、Twitter 上の情報に影響されすぎない姿勢や環境作りが必要なのである。

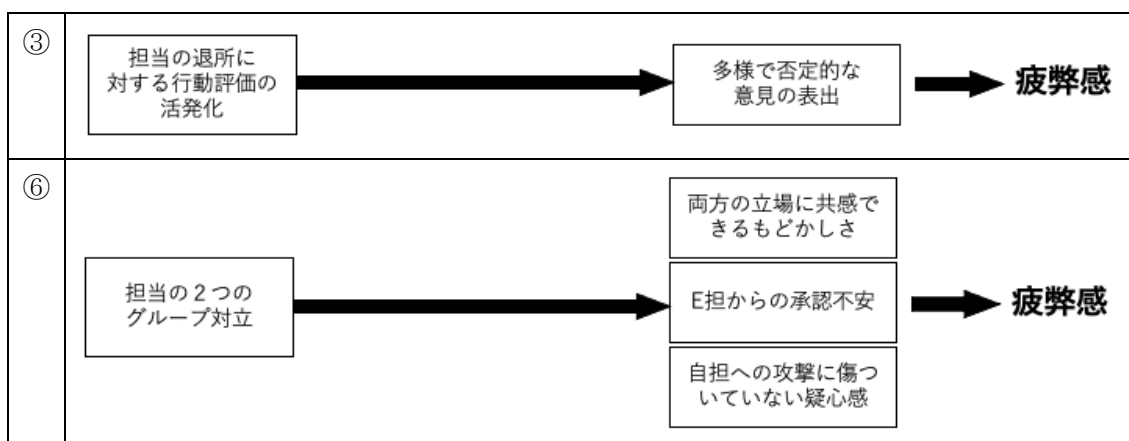


表 20 「ii-α)疲弊」に至るまでの流れ

それぞれの疲弊までの流れを見ると、共通して見られるのは**多様な意見の中で自分の立場を確立できない状況**である。②の場合は新体制に伴うファンの意見の対立、③の場合は対処したメンバーに対するファンの意見の対立、⑥の場合は応援している2つのグループのファン同士の対立が起こっており、その中で自分の立場や意見を決めかねている状態が続いたことで、疲弊を感じるに至っていた。4.2・4.3で確認した通り、情報収集とスクリーニングのためにTwitterを中心とした様々な意見の閲覧は避けられないという環境により引き起こされる疲弊である。

この疲弊について、高木によるファンによるアイドルのキャラクター像形成時のスクリーニングと重ね合わせてみると、Twitterによる情報過多による、取捨選択ができない状況であるということが出来る。高木はTwitterにおいて、担当に対する情報を入手・拡散することで、自己の「担当像」を製作するとともに、それを発表・共有するサイクルを回していると述べていた。今回の疲弊に至るまでのフローを見ても、理想の担当像をめぐる議論がTwitter上で繰り広げられており、その情報を閲覧することによる情報収集と、必要な情報の取捨選択を行っていたと考えられる。しかし、インタビューに挙げた例は、情報の「スクリーニング」がうまく機能せず、どの情報が必要か判断できず、結果自分が対立する意見の中でどの立場・意見を取るべきかを判断することができない状況になっているのである。この様子を、図 21 に高木が示した図に筆者が加筆する形で表した。これより、自己の「担当像」を形成する中で必要なスクリーニングをうまく機能することができないと、担降り・熱量減少につながるような「疲弊」を感じる可能性があるのだ。

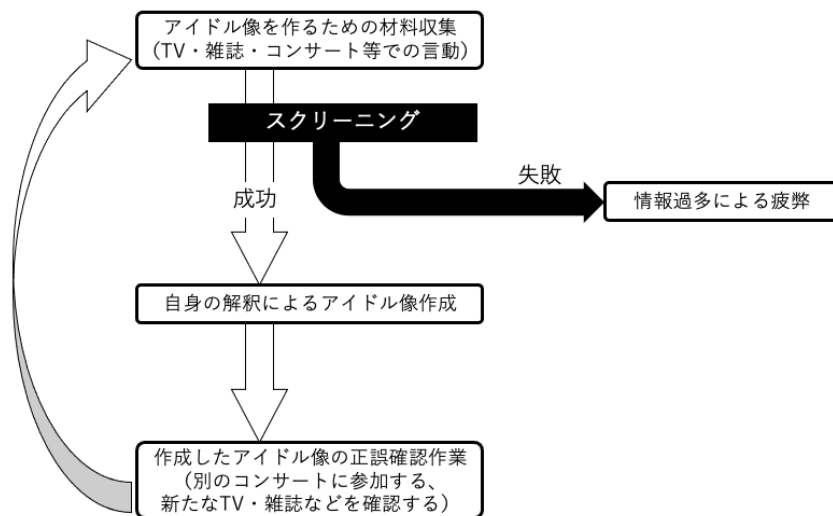


図 21 高木による「担当像」形成の流れの中での、スクリーニング失敗例（[高木, 2016]中の図を元に筆者作成）

このようなスクリーニングの失敗による疲弊感が、その後「iii-α)担当関連との自主的隔離」、「iii-β)担当関連の外部要因による隔離」など、担当に触れる機会の減少につながっているのだ。

4.5 ファンダムにより形成される「あるべき姿」とのギャップにより形成される不安感

また、「ii-2)ファンダムとの比較による不安感」からは、スクリーニング時の特徴として、ファンとしての「あるべき姿」の存在があり、その「あるべき姿」と現状の比較により、不安感・懐疑心が発生していることを見ることができた。

初めに、「ii-2)ファンダムとの比較による不安感」に関して、注目すべき理論記述は以下の通りである。

③：理論記述 9「グループメンバーの退所は、[新体制に対する拒否感]を生み出し、[周囲のファンと同様な新体制受入の必需性]を前提とした[周囲のファンと同じ感覚になれない焦燥感と落ち込み]へと繋がり、[新体制へ期待ができないという担当グループへの信頼度低下と気後れ感]を生み出すに至る。」

⑥：理論記述 12「自担同士の対立により[ファンからの、ファンとしての承認不安]を抱えるようになる。」

どの記述でも、周囲のファンと自身の、または自身のファンコミュニティの比較をした上で、不安を抱えていることがわかる。③では周囲のファンとの感覚が違う点について、⑥では自身の応援スタイルがファンとして認められるものかについて、というように周囲との比較により不安感を抱いている。特に③ではこの不安を感じる以前の状態について、以下のような記述があった。

③：理論記述 6 「[担当への否定的な見方が冒涇であると言う感覚]が染み付いており、[担当が間違っている可能性に対する思考放棄]から生じる否定的発言の抑制が、[ツイートによる担当のイメージ形成を鑑みたファン同士のツイート内容抑制の雰囲気]を形成する。」

③：理論記述 7 「[当時の盲目的応援に対する客観視]をした結果、[潜在意識下での違和感とその認知からの逃避]を認識するようになる。」

このように、十分な熱量を持って応援している時、盲目的に、つまり周囲と見比べないまま担当へ熱量を捧げていたが、「i) ファンダムや自分自身の何らかの変化」をきっかけに周囲と比較した見方がされ、不安を感じるようになっていくことがわかる。

さらにインタビューの詳細を見ていくと、下記のような記述に着目できる。

③：結構、すぐ受け入れてた、受け入れてはいないのかもしれないんですけど、3人のBも応援して行くよみたいな、感じだったんですよ。私はそこに全然追い付けなくて。(中略)そこにあたしはそこまで行けてないから、じゃあ私Bのオタクじゃないかもしれない！とかも思っていましたし。3人になったことが受け入れられないなんて！みたいな。みんな受け入れられているのに、私はできてない。そういうのとかも、ありましたね。そこもきっかけだったかもしれないですね。

(③のインタビュー (SCAT 分析：付録 6) より、通し番号 75 の会話の部分抜粋)

曾我：ファンの意見に挟まれているのがしんどかったみたいな感じ？

⑥：そうですね、あとはまあちょっと、そのEの熱、Eそのものへの熱ってよりは、E担っていう存在がちょっと怖いなというか。集団にいるのが怖いなあみたいな気持ちには。

曾我：なるほど、なんかその、E担って言うひとくりにされるのが怖いみたいな。

⑥：そうですね、まああと、自分がNめっちゃ好きだから、受け入れられないんじゃないかなっていうか。もう同じグループにはならないんだろうなみたいな感じの。

(後略)

(⑥のインタビュー (SCAT 分析：付録9) より、通し番号 26～29 の会話の部分抜粋)

これらのインタビュー抜粋は、それぞれ③の理論記述 9、⑥の理論記述 12 を生成する元になっているインタビューの会話部分である。それぞれ語られ方に着目すると、2人ともある程度の「あるべきファンの姿・感じるべき感情」のようなものを持っていることが見受けられる。③では、3人の体制を受け入れられないことがダメなことのような語られ方をしているし、⑥ではE担であればN担は受け入れられないという考えのもと、不安感が語られている。どちらにも共通していることは、「〇〇担であればこう (すべき) である」という意識があることである。

この「あるべき姿」像の存在は、スクリーニングをする際の取捨選択の仕方を考察するのに有効である。つまり、スクリーニングをする際、すでに形成されている理想の担当像があることにより「〇〇担であればこう (すべき) である」というスクリーニングの指針が作られているということだ。③では、周囲のファンと同じく新体制を受け入れるべきだという「あるべき像」を、⑥では、E担であればNを受け入れないという「あるべき像」を、周囲との比較により持っていて、それに反するスクリーニングを行おうとしている状況に陥った時に、自分がファンであることに対する懐疑心や不安に繋がり、担降り・熱量減少の一端を担っているのではないだろうか。「i) ファンダムや自分自身の何らかの変化」から担降り・熱量減少に至るまでに、盲目的に応援していた状態からの客観化に伴い「ii-2) ファンダムとの比較による不安感」を感じる。さらにその不安感は、周囲との比較により形成されている「ファンとしてのあるべき像」とは反したスクリーニングをする時に生じるものであり、これも担降り・熱量減少を発生させる一因になっていると考えることができる。

また、この「ファンとしてのあるべき姿」の形成までに着目すると、以下の部分を抽出することができる。

③：（前略）それはもう誹謗中傷で犯罪じゃないみたいなのとか、本当に SNS であふれかえって。それだけブロックしてもブロックしても出てくるんですよ。そういう言葉が。（後略）

（③のインタビュー（SCAT 分析：付録 6）より、通し番号 16 の会話の部分抜粋）

曾我：（前略）L がちょっと、《F の楽曲》歌ったみたいなところで、オタ垢消そうかなって思いました、みたいなの書いていただいていたんですけど。結局消してはいいですか？

⑦：消してはいいんですけど、もうツイートも全部消して、フォローもフォロワーも 0 にして。もうないも同然みたいな状態になってますね。

（中略）

曾我：じゃあもうそれぐらい、疲れたというか、しんどかったみたいな感じだったんですね。

⑦：そうですね。F、今ライブやってて、そのチケットの転売とか。（中略）高額転売の正義を振りかざしてツイートしてる人も多くて。こんな高額になるなんて、みたいな。よくわからん、みたいな。

（⑦のインタビュー（SCAT 分析：付録 10）より、通し番号 31・32、35・36 の会話の部分抜粋）

これらの抜粋部分を見ると、ファンの発言の中で見たくないものがあつた時に、ブロック・ミュートやアカウントの実質的な削除を通してそれらを避ける行動をしていることが記述されている。誹謗中傷やチケットの転売行為に対する姿勢などは、理想の担当像を形成するための情報だけでなく、ファンとしてどうあるべきか、という情報も含まれている。このような「ファンとしてのあるべき姿」に関する情報についても、Twitter の活用などでスクリーニングし、共感できる情報とそうでない情報を普段は取捨選択しているのである。

つまり、ファンとしての「あるべき姿」という指標が、ファン活動を行う中で形成されており、その「あるべき姿」を用いて自身が「理想の担当像」を形成するためのスクリーニングを正当に行えているかどうかの判断・確認をしている。その「あるべき姿」自体も、様々な情報収集の過程でスクリーニングにかけられ、共感できる「あるべき姿」を収集していくことで、より自身の考える「あるべき姿」像を強固なものにし、「理想の担当像」形成のスクリーニングの正当性判断をより適切に行うために用いられているのである。

4.6 理想の担当像を構築し続けるジャニーズファン

担降り・熱量減少に至るまで、スクリーニング時の情報過多による疲弊感や、「ファンとしてのあるべき姿」に反したスクリーニングをしていることへの不安感を感じていることがわかった。これらをまとめ、最後に「ジャニーズファン」という存在について、改めて考察していく。

まず着目したいのは、インタビューの以下のような回答である。

⑤：（前略）見たくないならもうミュートとブロックとかをしたらいいのかもしれないですけどねえ。

曾我：でもやっぱり見ちゃうみたいな感じ…？

⑤：見ちゃうんですよ。（後略）

（⑤のインタビュー（SCAT分析：付録8）より、通し番号17～19の会話の部分抜粋）

⑥：（前略）全然関係ないのに板挟みみたいな気持ちになって。

（⑥のインタビュー（SCAT分析：付録9）より、通し番号23の会話の部分抜粋）

これらの会話は、Twitterで自分の担当（やその理想像）に関するネガティブな言動を閲覧した際の対処法やその時の気持ちについて述べられていたものである。⑤では、ネガティブな言動閲覧を回避する方法を知っているにもかかわらず見てしまう状況を、⑥では勝手に自ら進んで板挟みのような気持ちになっていることが記述されている。つまり、ネガティブな気持ちになることはある程度予測でき、その状況を回避する術も認識しているのにも関わらず、ネガティブな気持ちになるような状況に自ら関わりに行っているということである。

ここで着目したいのは、悠木による「オタク」の定義である。悠木はオタクを「最終責任を自らで追うことができないにも関わらず、その対象に熱中できる人」と定義していた。その中で、「最終責任を自らで追うことができないこと」は「自分から関わりにはいかなければ縁が切れてしまうもの」としている。今回のインタビューで分かったことを補足して再定義すると、担当が理想状態とは異なる方向性に進む（「i）ファンダムや自分自身の何らかの変化」が起こる）可能性も理解した上で、それでも担当を応援し、熱中でき

る人を「ジャニーズファン」であると定義づけることができるだろう。担降り・熱量減少のきっかけとなる出来事として挙げられたのは、担当（やその理想像）が否定されたり、理想の担当像とあまりにもかけ離れてしまったりなど、ファン自身の手で動かすことのできない状況であることが明らかである。この状況に対応できず、「i) ファンダムや自分自身の何らかの変化」から「ii- α) 疲弊」などを感じた場合、インタビューで伺った経験のように担降り・熱量減少につながるのだ。逆に言えば、「i) ファンダムや自分自身の何らかの変化」により理想的な状況が崩れたとしても、熱量を持って応援し、Twitterでの情報交換などを通して理想の担当像を修正・再構築し続け、その行為自体を楽しむことができる人が、「ジャニーズファン」と言えるのではないだろうか。

4.7 ジャニーズファンは何をしているか

これまでの議論を整理し、改めて全体を確認すると、以下のようなことが言える。

「ジャニーズファン」とは、担当の理想状態を自身の手で完全に作り上げることができないと理解した上で、自ら関わりにいき、熱量を持って応援することを楽しむことができる人である（=4.6）。その応援をするファン活動において重要になっているのが、担当の理想像を形成するということ（=4.2）であり、それらはTwitterにおける情報収集とスクリーニング（情報の取捨選択）を中心的な手段として用いて行われていた（=4.3）。このファン活動における情報収集において、担当に関する情報の過多によりスクリーニング機能をうまく果たすことができなかつた場合、「ii- α) 疲弊」を感じたりその状況への「ii- β) 反対意識・不信感」を拭えなくなってしまう（=4.4）。また、情報収集・スクリーニングなどのファン活動を通して他のファンと交流する中で、その過程で形成されていた「ファンとしてあるべき姿」が、スクリーニングの正当性判断の一つの基準になっており、あまりにも自身が「ファンとしてあるべき姿」との差が大きいスクリーニングをしていた場合、自分がファンであることへの不安感を生じさせていた（=4.5）。これらのような、スクリーニングの失敗や不安を感じた場合、Twitterのアカウント削除などを通して自ら担当との接点を減らしたり（「iv- α) 担当関連との自主的隔離」）、周囲のファンが担降りをする（「iv- β) 担当関連の外部要因による隔離」）ことで担当に関する議論をする機会が減り、スクリーニングのサイクルを回す回数が減ることで、担降り・熱量減少につながっているのだ。

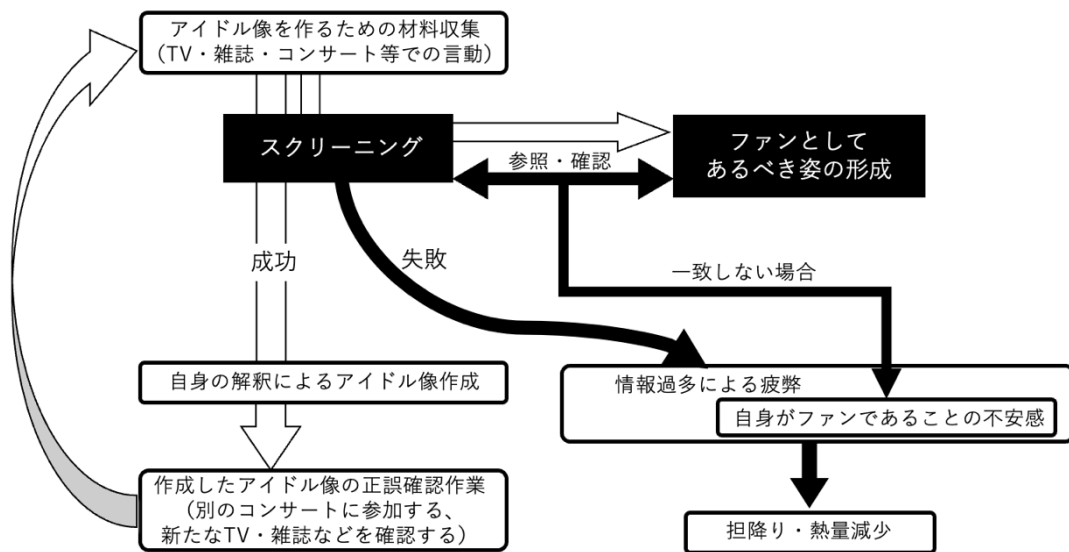


図 22 ファン活動における情報収集・スクリーニングのサイクルと、担降り・熱量減少要因との関係性（[高木, 2016]中の図を元に筆者作成）

ここで本研究の特徴として、ファン活動の実態を明らかにする上で「周囲のファンの影響」を加味したことを改めて強調しておきたい。本論の基盤となる、情報収集とスクリーニングのサイクルを提唱した高木の論文では、「価値観による『スクリーニング』が一般的になった」ことと、アイドル像を形成する際に熱愛などの不必要な情報が『スクリーニング（回避）』されることが、別の理論の中で語られていた。しかし本研究の中では、スクリーニング対象となる「価値観」を、「理想の担当像」と「ファンとしてのあるべき姿」の2つに分類して考えている。「理想の担当像」に関する価値観は、担当に関する情報を収集する過程でスクリーニングにかけられる中で、より「理想の担当像」の精度を高めていく過程を辿る（図 22 の左側、「アイドル像を作るための材料収集」から「自身の解釈によるアイドル像作成」、「作成したアイドル像の正誤確認作業」のサイクル）。一方、「ファンとしてあるべき姿」に関する価値観は、普段のファン活動の中で様々なファンと交流する中で、反対意識を抱いたり共感したりすることを通して自然と形成されている。Twitter の活用を見ても、共感できないファンのアカウントはブロックやミュートをするなど、普段からできる範囲でスクリーニングを行っており、そこで形成された「ファンとしてあるべき姿」に基づき理想の担当像形成に対するスクリーニングの正当性確認も行っている。このように、スクリーニング基準となる「価値観」である「理想の担当像」と「ファンとしてあるべき姿」は、情報収集からスクリーニングまでは同じ過程を辿るも

このスクリーニングを経た情報がどう活用されるのか（「理想の担当像」に関する情報であれば理想の担当像が形成され、「ファンとしてあるべき姿」に関する情報であれば理想の担当像形成のスクリーニングに対する正当性評価をするために活用されている）について、辿る道筋が異なっており、それぞれが相互的に関わり合うことで図 22 のようなフロー・関係性になっているのである。

図 22 に話を戻すと、先行研究を重ねて考えると、この情報収集・スクリーニングの工程の中に、橋迫による「没頭」と「距離化」のジレンマの状況も見ることができる。その様子を、以下の図 23 に示した。

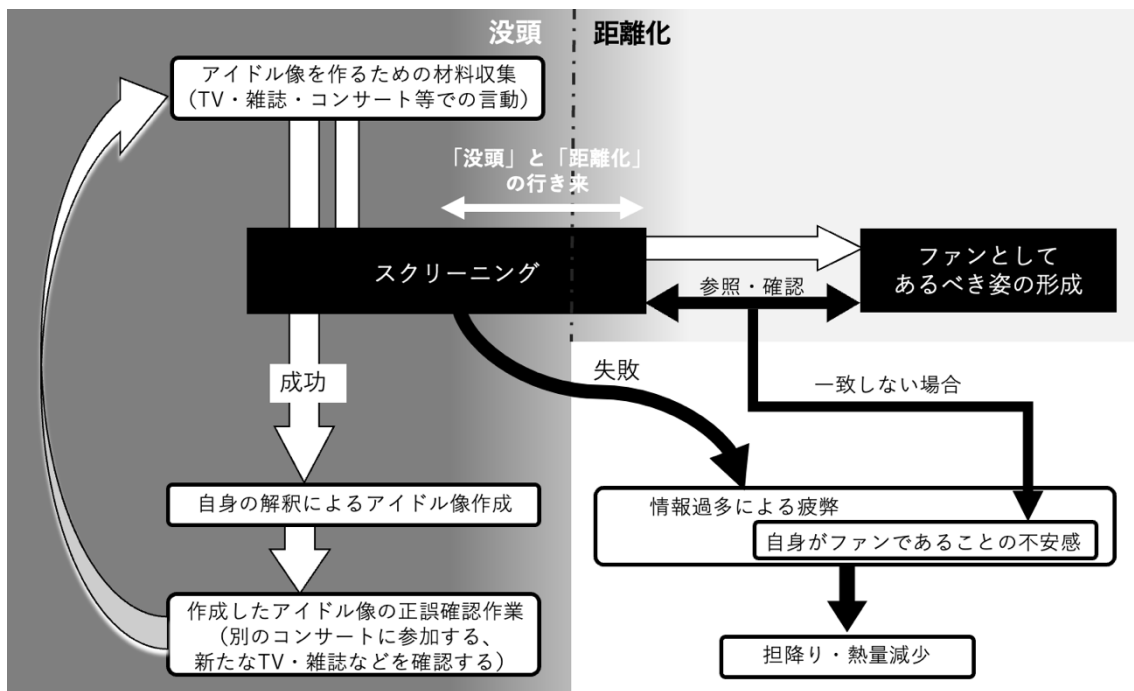


図 23 ファン活動における情報収集・スクリーニングのサイクルと、担降り・熱量減少要因と、「没頭」「距離化」の関係性（[高木, 2016]中の図を元に筆者作成）

図 23 の左側のフローが「没頭」、右側が「距離化」した時の様子を表している。担当に「没頭」している状態において、ジャニーズファンは担当の情報収集をしながら、理想のアイドル像の構築を目指す。スクリーニングの過程においては、一旦「没頭」から「距離化」の視点に移動し、理想の担当像を構築するために必要な情報を取捨選択している。そして、スクリーニングが終わったら再び「没頭」状態に戻り、理想のアイドル像の

作成と、正誤確認をしているのだ。このように、通常ファン活動だと「没頭」と「距離化」の状態を行き来している。しかし、スクリーニング時に、4.4での考察のように情報の取捨選択ができなくなってしまった場合、理想のアイドル像の構築ができないため「距離化」から「没頭」に戻ることができない。同じように、周囲のファンとの比較により形成された「あるべき姿」と現在の状況が反していると感じた時も、自身がファンであることへの不安感・懐疑心により「距離化」から戻ることができない。「距離化」が長く続くことによって、担降り・熱量減少につながっているのだ。

5. 結論

5.1 本研究の整理

本研究では、ジャニーズファンが形成するファンダムが、ファン活動をするにあたってどのような影響があるか、特にネガティブな影響に着目して調査することで、ジャニーズファンがファン活動の中で何をしているかを明らかにすることが目的であった。この目的を達成するために、第2章ではジャニーズファンに関する先行研究をまとめることで、ジャニーズファンの実践やジャニーズファンに関して行われてきた議論をまとめた。これらをもとに、担降りを中心として調査を行ったことが、第3章でまとめられている。ここでは、調査概要としてアンケートとインタビューそれぞれについて目的と内容をまとめた後、得られた結果の概要やKJ法・SCAT分析結果をまとめた。第4章ではそれらのデータより、担降り・熱量減少に至るまでのフローを明らかにした後、先行研究を参照しながら、ジャニーズファンとしてネガティブな状況下ではどのようなことが起こっているか、さらにそこからジャニーズファンがファン活動の中で何を行なっているかについて、考察を深めていった。

5.2 周囲のファンとの意見相違とその影響

アンケート調査の段階では、周囲のファンとの意見相違が担降りや熱量減少などネガティブな状況の要因になっているという仮定のもと、意見相違の経験をKJ法により分類・カテゴリ化した。その結果、大カテゴリーとして11に分類される「意見相違の経験」が挙げられた。しかし、その後のインタビュー調査により、担降り・熱量減少に影響のある意見相違のポイントは、中カテゴリーとしてラベルを付けた「自担以外を悪く言う行為」と大カテゴリーとしてラベルを付けた「担当に対する解釈の不一致」のみであったことより、ファン活動をネガティブな方向性に導く原因となりうるのは、他のファンとの意見相違の中でも一部のみであることが明らかになった。

5.3 ファンによるネガティブな影響

その後、インタビューにより得た担降りや熱量減少の経験について分析をした結果、以下のような特徴を得ることができた。

- 担降り・熱量減少に繋がる感情の変化として、ファンダムや自分自身の何らかの変化による疲弊感や、ファンダムに対しての反対意識・不信感が挙げられる。
- 担降り・熱量減少を引き起こす原因は、理想の担当像との相違、ファンダムと自身の活動の乖離の2つに分類された。
- 疲弊や反対意識・不信感を感じると、担当関連のものとの隔離が起こることで、担降り・熱量減少が促される。
- 周囲のファンとの比較により形成される「ファンとしてあるべき姿」に反した感情を抱いている時、ファンとしての懐疑心や不安感を抱き、担降り・熱量減少の一つの原因になる。
- 担降り・熱量減少が促されやすい場としてTwitterが挙げられるのは、十分な情報を収集し、不必要な情報を切り捨てやすいという、ファン活動をする上で便利な特徴を兼ね備えているからである。
- 担降り・熱量減少のきっかけとして感じる「疲弊」は、担当の理想像を構築・再構築する中で行う情報のスクリーニング作業が失敗した例と言える。

5.4 ジャニーズファンは何をしているか

インタビューやアンケートの分析よりわかったこととして、ジャニーズファンは、担当が理想像と反する行動をする可能性がありながらも、楽しく応援を続けられる人であり、その応援の過程で行われる、担当に関する情報収集とスクリーニングの作業が失敗してしまうと、それが疲弊や反対意識・不信感を引き起こし、担降り・熱量減少につながるという流れがあることがわかった。さらに、その情報収集とスクリーニングの作業が行われるのは「ファンとしてあるべき姿」についても同様で、ファンとしての「あるべき姿」が形成される。その「あるべき姿」に反した感情を抱く時、ファンとしての不安感や懐疑心を抱くことも、担降り・熱量減少を助長する要因になっていた。

このようにジャニーズファンは、勝手に「担当の理想像」を形成し、理想像形成のためのスクリーニングができなくなると勝手に疲弊感や反対意識を感じ、そのような状況になることがわかっているにもかかわらず、自ら担当に関する情報を集めに行っている。このような状況について、ジャニーズファンではない人の視点から見ると、関わる必要のない場所に自ら関わりに行っている、無駄な行為のように見えるかもしれない。しかしその無駄な行為こそ、理想の担当像を構築するために必要な過程であり、無駄な行為を経て理想像を形成することこそが、ジャニーズファンとしての活動そのものなのである。

5.5 今後の展望

本研究の課題として、2点考えられる。1点目は、アンケートで得られたデータの解析を進め、ジャニーズファンのさまざまな条件・要素の関連性を明らかにすることだ。今回、アンケートでさまざまな情報を得ることができたが、基本的に分析したのは第3部の一設問のみで、その他の項目を分析することができなかった。特に、今回のアンケートはたくさんの回答数があったものの、一つの設問の回答に対しKJ法を行ったため、たくさんの回答数を有効的に活用した分析方法を用いたとは言い難い。アンケートで回収した、その他の設問に対する回答を分析する中で、特に第1部の情報との関連性を探るようなデータ分析を、ビッグデータの解析ツールなどを用いて行うことで、ジャニーズファンの属性別の傾向など新たな特徴を明らかにできると考えている。

2点目として、ジャニーズ以外の他のファンコミュニティとの比較である。ジャニーズ以外の男性アイドルグループ、女性アイドル、地下アイドルなどのファンコミュニティをはじめ、2.5次元舞台で活躍する俳優のファンコミュニティや、2次元、コスプレのファンコミュニティなど、比較対象として考えられるファンコミュニティはたくさん存在する。今回はジャニーズファンコミュニティのみに着目したが、他のファンコミュニティでの状況をしっかりと把握した上で比較をすることで、より如実にジャニーズファンコミュニティの特徴を捉えることができると考えられる。

このようにファンの実態を探ることは、一ファンとしての筆者自身のあり方を探ることである。本研究という活動自体が、ファンとして自身の「没頭」であるファン活動を「距離化」して見る試みであり、本研究をきっかけに新たなジャニーズファンがファン研究を行うことが、そのジャニーズファンの「没頭」の「距離化」を促すことになる。本研究やその派生が起こることが、「没頭」と「距離化」のジレンマに立つというファン活動そのものであり、この連鎖が今後も連なっていくことを期待する。

謝辞

本研究を進めるにあたり、ご指導賜りました長津結一郎助教に深く感謝いたします。論文の書き方から、様々な理論的背景に関する助言、研究の方向性や着眼点の整理など、多くの的確なヒントをいただきました。ジャニーズファンの文化について見聞を深めることなどを通し、お忙しいにも関わらず多くの時間を割いてアドバイスいただき、大変感謝しております。

また、貴重なお時間を割いてインタビューにご協力いただきました8名のジャニーズファンの皆様に、深く御礼申し上げます。突然のご連絡にも関わらず、最大1時間という貴重なお時間をいただき、さまざまな貴重な経験をお話いただきました。加えて、丁寧にアンケートに答えていただきました1,109名の皆様、並びにアンケートの拡散にご協力いただいた皆様にも、深く感謝申し上げます。

また、本論文における考察の基盤として参考にさせていただいた卒業論文を提供していただいた高木様、さらに高木様との仲介をしていただいた辻先生にも、この場をお借りして感謝申し上げます。

さらに、一ファンとしての視点や学術的な視点から、研究や論文の方向性について多くの意見をくださり、論文作成に最後までご協力いただいた長津研究室、中村研究室の皆様にも感謝いたします。

最後に、本研究に関わってくださった全ての皆様、並びに本論文に興味を持っていただいた全ての皆様に、深く御礼申し上げます。

引用文献

- あさイチ“教えて推しライフ！”取材班, NHK. (2022年1月18日). “推し”こそが我が人生. 参照先: <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220118/k10013434781000.html>
- 株式会社矢野経済研究所. (2021年10月25日). 「オタク」市場に関する調査を実施 (2021年). 参照先: https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/2836
- 吉澤夏子. (2012). 『個人的なもの』と想像力. 勁草書房.
- 吉澤夏子. (2020). <私>の性的主体性 腐女子と夢女子. 著: ユリイカ9月号 第52巻 第11号 (ページ: pp. 119-125). 青土社.
- 橋迫瑞穂. (2020). 「推し」を語るとは何か—あるいはマキさんの輝く日常. 著: ユリイカ9月号 第52巻第11号 (ページ: pp. 82-87). 青土社.
- 高木泉. (2016). Twitterにおける『ネオ同担拒否』現象—偶像 (アイドル) 観をめぐるファン行動のコミュニケーション論的考察—. 中央大学文学部人文社会科学科社会情報学専攻 2016年度卒業論文.
- 川喜田二郎. (1996). KJ法—混沌をして語らしめる. 中央公論社.
- 総務省情報通信政策研究所. (2021年8月). 令和2年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査 報告書. 参照先: https://www.soumu.go.jp/main_content/000765258.pdf
- 大谷尚. (2011). SCAT: Steps for coding and Theorization: 明治的手続きで着手しやすく小規模データに適用可能な質的データ分析手法. 日本完成工学会論文誌 第10巻第3号, pp. 155-160.
- 辻泉. (2007). 関係性の楽園/地獄 ジャニーズ系アイドルをめぐるファンたちのコミュニケーション. 著: それぞれのファン研究 I am a fan (ページ: pp. 243-289). 風塵社.
- 辻泉. (2012). 『観察者化』するファン—流動化社会への適応形態として—. アド・スタディーズ 40号, pp. 28-33.
- 東京新聞. (2021年11月28日). 「推し活」消費が盛況 アイドルやスポール選手への応援出費惜しまず<まちビズ最前線>. 参照先: <https://www.tokyo-np.co.jp/article/144943>
- 片岡栄美. (2020). 女子大生にみるアニメ・ゲーム系オタクとアイドル系オタクの象徴闘争. 著: ユリイカ9月号 第52巻第11号 (ページ: pp. 296-311). 青土社.
- 野村総合研究所オタク市場予測チーム. (2005). オタク市場の研究. 東洋経済新報社.
- 悠木碧. (2020). 推しと俺. 著: ユリイカ9月号 第52巻第11号 (ページ: pp. 50-53). 青土社.

付録

1. ジャニーズファン特有の用語解説
2. アンケート結果一覧
3. 「調査についての説明書」
4. SCAT 表①
5. SCAT 表②
6. SCAT 表③
7. SCAT 表④
8. SCAT 表⑤
9. SCAT 表⑥
10. SCAT 表⑦
11. SCAT 表⑧

付録1：ジャニーズファン特有の用語解説

- オンリー担

…担当がグループに所属していても、自分の担当のみを応援していて、担当の所属するグループには興味がない人のこと。

- 箱推し

…応援しているのがアイドル個人ではなく、グループ全体である人のこと。アイドルが所属するグループ自体のことを「箱」と言ったことが由来している。

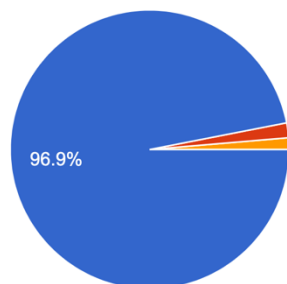
- リア恋

…「リアルに恋している」の略。アイドルをただ応援しているだけでなく、恋愛感情に近い眼差しを向けている人のことを指す。

付録2：アンケート結果一覧

(記述回答は回答数が多いので、インタビュー回答者の回答結果のみ抜粋)

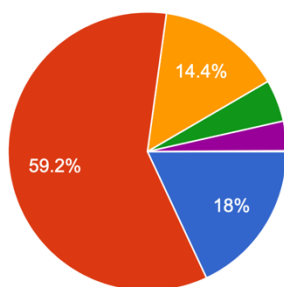
● 性別



- 女性
- 男性
- 無回答/その他

女性	1075
男性	19
無回答/その他	15

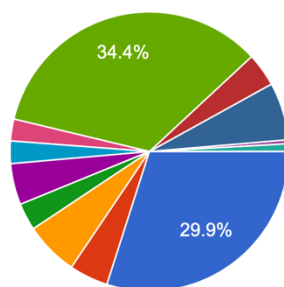
● 年齢



- 10代以下
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代以上

10代以下	200
20代	656
30代	160
40代	54
50代	38
60代以上	1

● ご職業

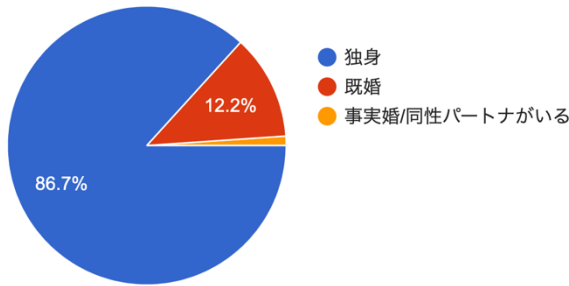


- 会社員
- 契約社員・派遣社員
- パート・アルバイト
- 公務員
- 医療関係者
- 自営業・自由業
- 専業主婦・主夫
- 大学生・大学院生
- 専門学校生・短大生
- 高校生
- 小・中学生
- 無職
- 定年退職

▲ 1/2 ▼

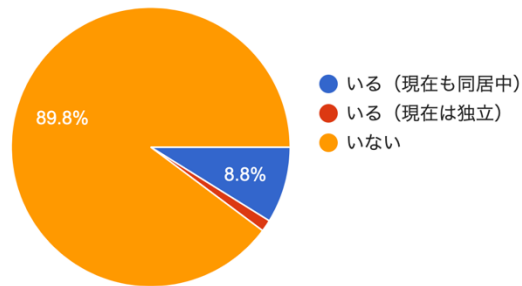
パート・アルバイト	69
医療関係者	53
会社員	332
契約社員・派遣社員	50
公務員	35
高校生	74
自営業・自由業	29
小・中学生	5
専業主婦・主夫	28
専門学校生・短大生	43
大学生・大学院生	381
無職	10

● 婚姻



独身	962
既婚	135
事実婚/同性パートナーがいる	0

● お子様はいらっしゃいますか



いる (現在も同居中)	98
いる (現在は独立)	15
いない	996

● お住まいの都道府県



北海道	37	栃木県	5	石川県	8	滋賀県	11	岡山県	10	佐賀県	2
青森県	3	群馬県	8	福井県	3	京都府	30	広島県	19	長崎県	6
岩手県	2	埼玉県	71	山梨県	10	大阪府	72	山口県	8	熊本県	15
宮城県	17	千葉県	60	長野県	12	兵庫県	42	徳島県	5	大分県	6
秋田県	7	東京都	221	岐阜県	6	奈良県	9	香川県	4	宮崎県	5
山形県	6	神奈川県	107	静岡県	15	和歌山県	4	愛媛県	1	鹿児島県	8
福島県	10	新潟県	11	愛知県	59	鳥取県	1	高知県	2	沖縄県	3
茨城県	23	富山県	9	三重県	5	島根県	2	福岡県	129		

- 現在最も応援している（推している）グループ/アーティストを教えてください。



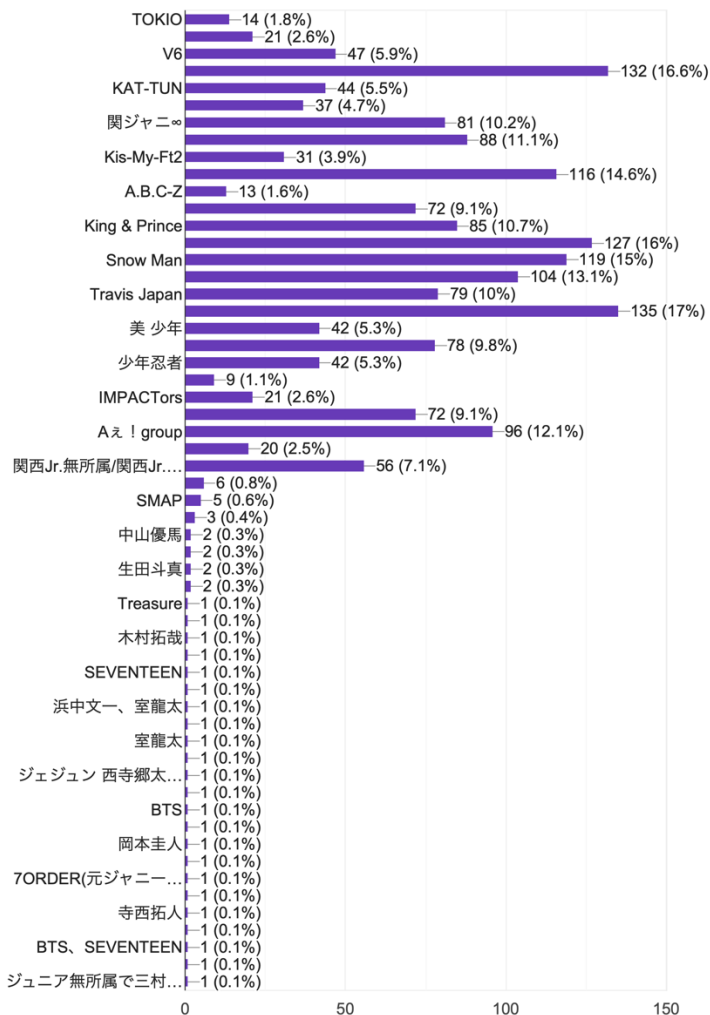
TOKIO	2	Hey! Say! JUMP	50	Snow Man	95	IMPACTors	11
Kinki Kids	11	Kis-My-Ft2	20	なにわ男子	30	Lil かんさい	4
V6	20	Sexy Zone	83	Travis Japan	57	Aえ！group	48
ARASHI	44	A.B.C-Z	5	HiHi Jets	140	ふぉ～ゆ～	3
KAT-TUN	30	ジャニーズWEST	29	美少年	15	その他個人で活動しているアーティスト (Jrを除く)	7
NEWS	17	King & Prince	29	7 Men 侍	44	現在はジャニーズファンではない	26
関ジャニ∞	81	SixTONES	196	少年忍者	12		

- 現在最も応援している人（「担当」）の名前を教えてください。

→1082 件の回答。

- 現在そのほかで応援している（推している）人/グループがあれば選択してください。

793 件の回答

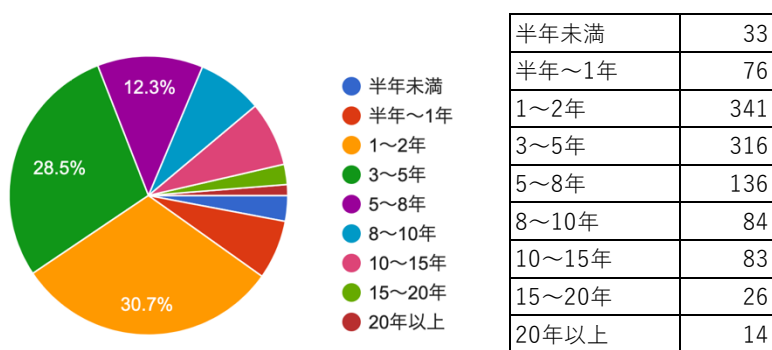


- ジャニーズ以外に応援したことのある（推したことのある）アイドルがいれば教えてください

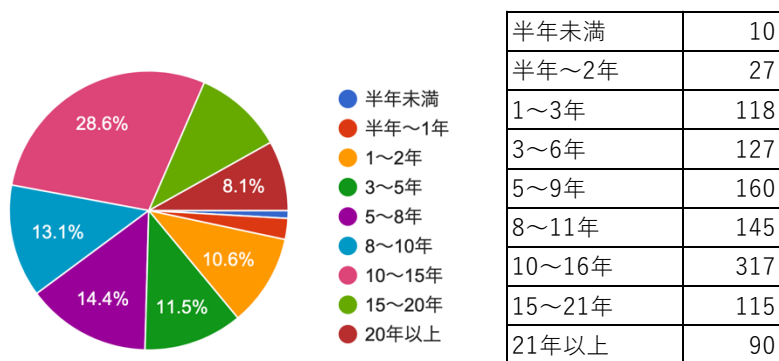
→513 件の回答。

(乃木坂 46・日向坂 46、AKB48、二次元アイドルであれば。など)

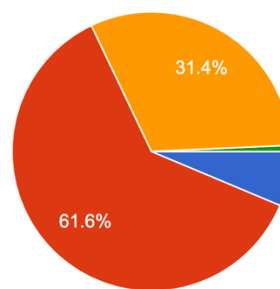
- 今の「担当」を応援し始めて何年目ですか？最も近いものを選択してください。



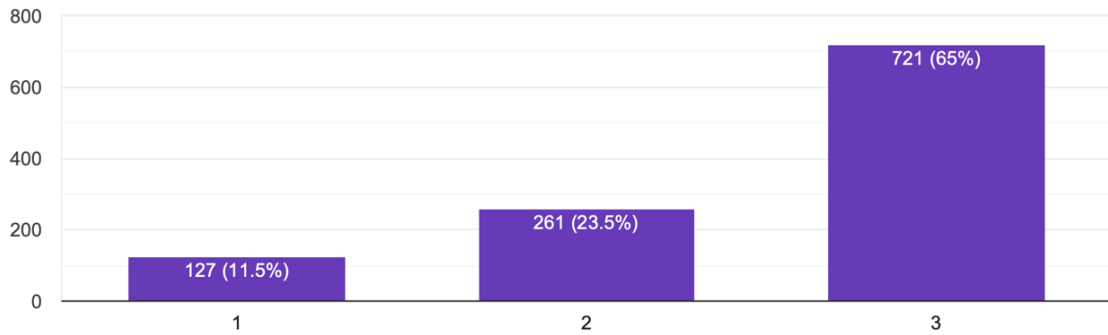
- 今の担当に限らず、これまでジャニーズのアーティストを応援してきた期間は合計で何年ですか？



- 以下のうち当てはまるものを選択してください
 - 正直「担当」が一番というよりは、グループ/メンバー全体を応援している（「箱推し」）
 - 「担当」はグループ/ユニット所属で、「担当」以外のメンバーも程よく応援している
 - 「担当」はグループ/ユニット所属だが、「担当」以外のメンバーに興味がない（「オンリー担」）

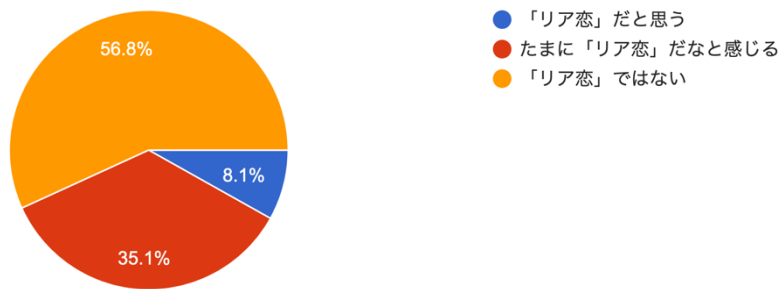


- あなたはどの程度同担拒否の傾向がありますか？

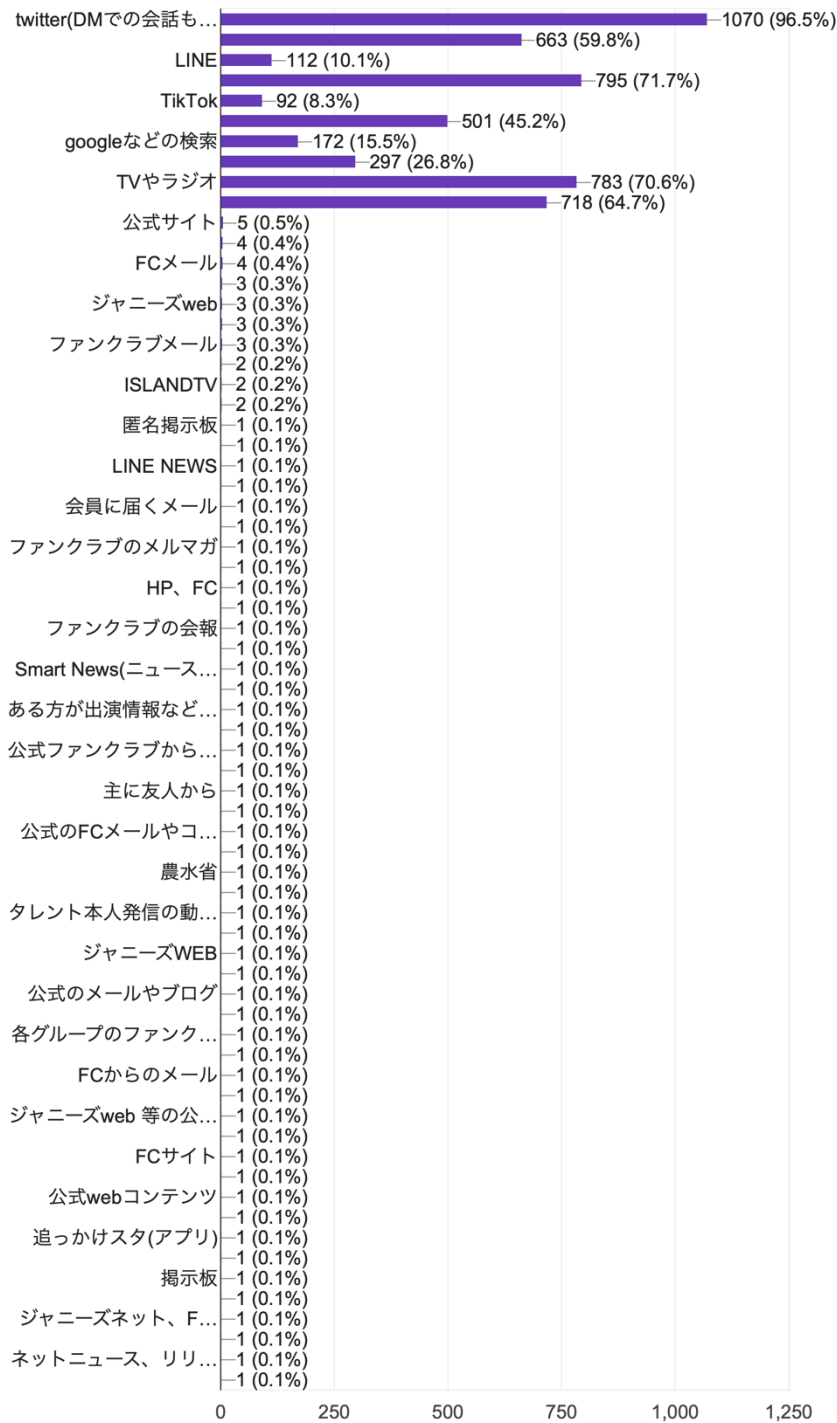


(選択肢は、1に近いほど同担拒否傾向がある、3に近いほど同担拒否傾向はない)

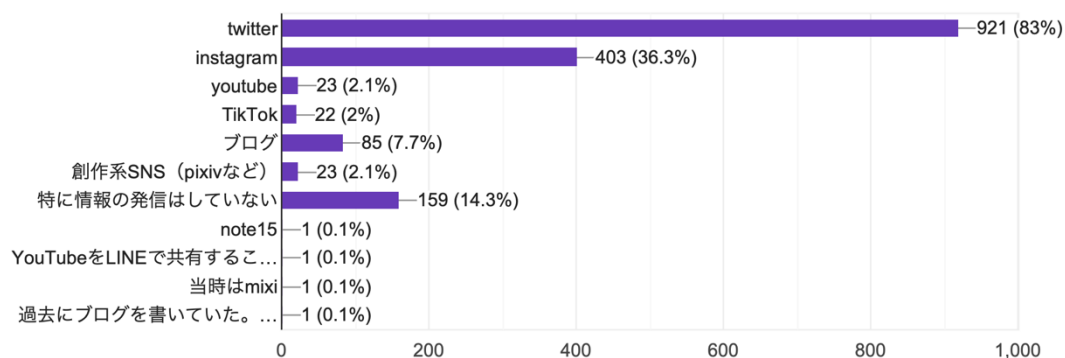
- あなたは「担当」に「リア恋」ですか？



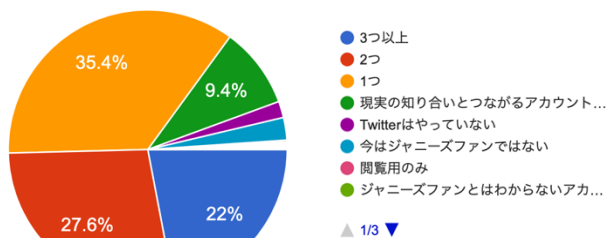
● 「担当」に関する情報をどのツールで得ていますか？



- 「担当」に関する情報を不特定多数に向けて発信するツールとして使っているものを選択してください



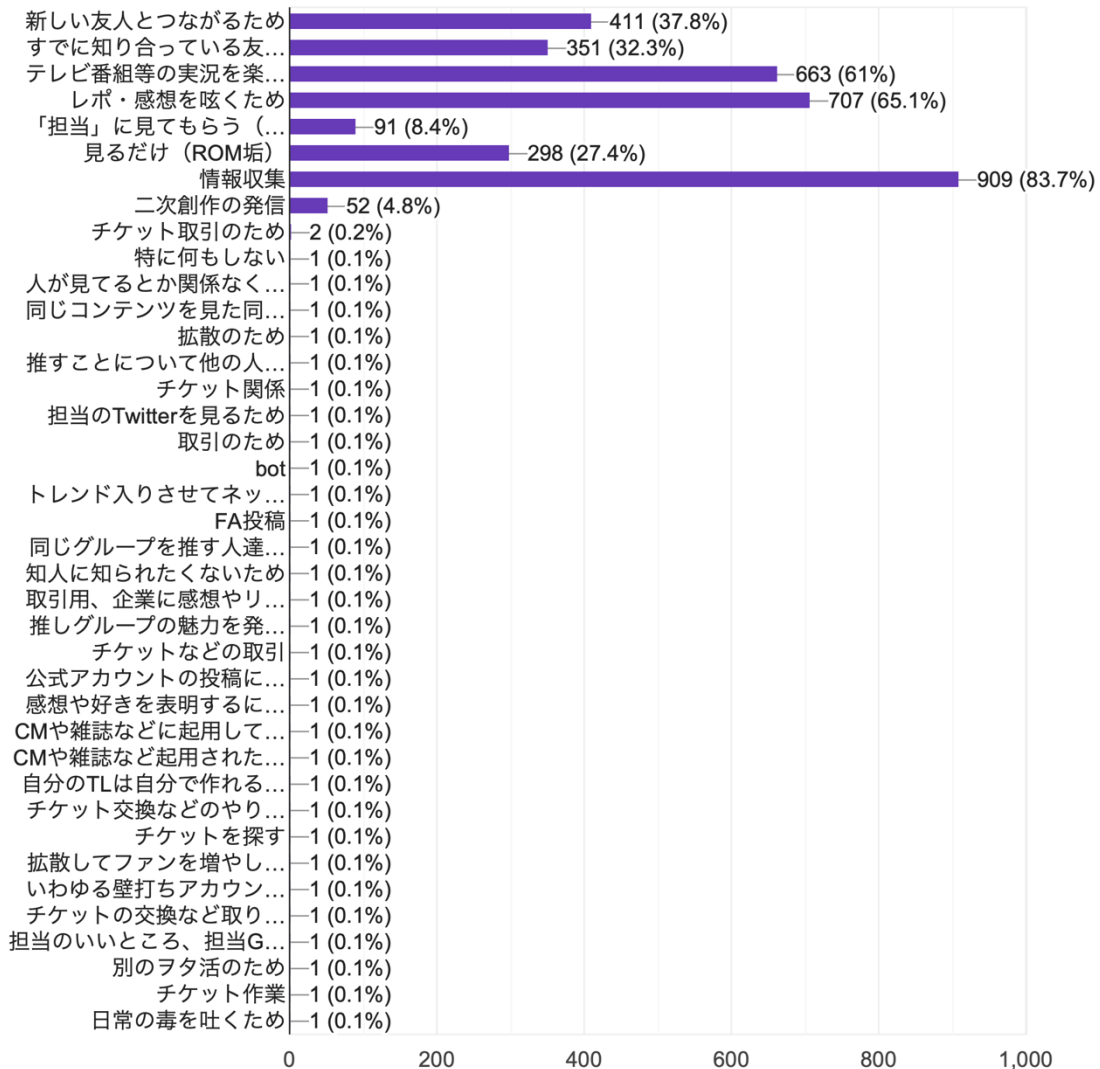
- ジャニーズファンとして利用している twitter アカウントはいくつありますか？



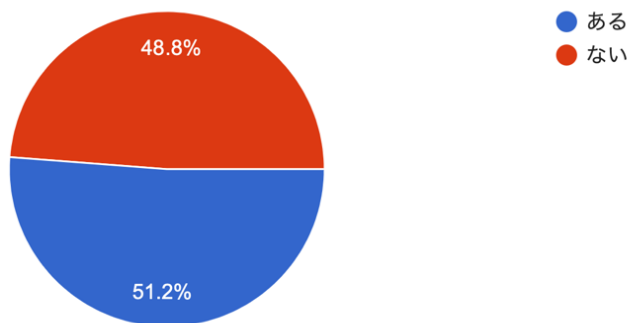
その他、詳細に記載していただいたもの9件。

- Twitter の利用目的として当てはまるものを選択してください。

→1086 件の回答。



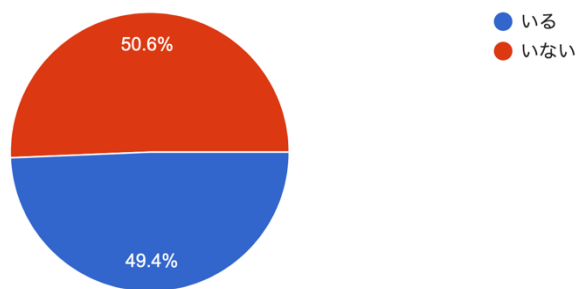
- これまでジャニーズファン歴のなかで「担降り (ファンを辞めること)」をした経験はありますか。



誰の担当を降りましたか？	その後誰の担当になりましたか？降り先がない場合は「なし」と記入してください	なぜ「担降り」しましたか？きっかけになった出来事や理由をできるだけ具体的に、詳しく教えてください。
f7、d3	j2、Eメンバーの一人	Dの担降り理由:コンサートが当たらないし、アルバムのコンセプトに魅力を感じなくなった。ちょうどその頃、EやFのほうに魅力を感じるようになった。 F担降り理由:日本でコンサートをしないのに台湾でコンサートをした。ファンのマナーが悪いと話題になることも多かった。ちょうどそのときにジャニーズJr. (J) の存在を知り、Jを応援している方が楽しいと感じた。
i2	i1	2019年1月にiが増員したから。 それまでの彼らを2009年から応援しており、増員が受け入れられなかったのがきっかけ。 増員した理由、新しいメンバーはどんな人なのか、今までよりパワーアップしているのか...としばらく追いかけていたが、自分の好きだったパフォーマンススキル、ファンに対する発言、グループの雰囲気全てが変わってしまったと感じ、結局自分の中で増員によるメリットがわからなかった。 またファン層が一気に変わり、マナーや常識がない人、SNSで悪目立ちする人が増えたのも嫌だった。 最後に2019年4月の舞台を観た際に、今後担当も含めこの人達に時間とお金を使いたくないと思い、その日で降りしました。
b1	h4	f4くんが退所したことで好きだった"B"の形が変わってしまい、応援していけるかわからなくなってしまいました。それに伴って、今まで見ないふりをしていたf1くんのあまり好きではないところやファンコミュニティの嫌いなところが輪郭を持ってしまい、2021年の誕生日公演に入った際にf4くんの歌声がなくて寂しかったこと、f1くんが喉を痛めていて歌に満足できなかったことが理由で降りしました。また、Bのファンは宗教じみているので、仲の良かったおたくたちの熱量についていけなかったことも理由の一つです。
f5、f7	なし	親も私もf7のファンだったのですが、親との熱量の差がありしんどくなったので私が先にf7担を降りしました。その後は数f5をしていました。親と2人でFのコンサートに行った際に、MCでメンバーがファンの悪口を言っているのをその場で聞いてしまいその頃1部のマナーのなっていないFファンが新幹線を止めたりして問題になっており、メンバーも何度か注意喚起していたものの取まらず、見せしめとして夏のアリーナコンサートが中止になってしまうなど事件が多発していました。そのせいかファンはメンバーに嫌われてしまったようでした。正直私達はマナーを守って応援していましたので、ファンというひとくりにされ嫌われたのは飛んだとばかりでした。)、親はドン引きしてF自体を嫌いになってしまい、親はf7担を降りしました。私は売れないsくんを応援するのがそれなりに楽しかったので、降りずに続けていましたが、予定されていたミュージカルがコロナで飛び、現場が一切なくなり、その後も待っていましたがミュージカルが無かったことようになってしまったので、自然消滅するようにs担を降りしました。
Eメンバーの一人	e4	初めて行った現場でEメンバーの一人が目の前を横切った時にとっても疲れた顔をしていて、そのすぐ後にe4くんが笑顔で飛び出してきたのが忘れられなかったため。帰ってきてからもずっとe4くんのことを調べていて、気付いたら興味の対象が完全にe4くんへ移っていました。

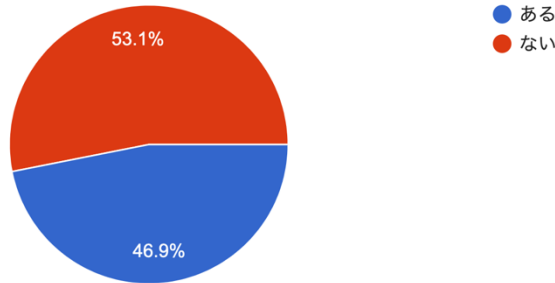
● ジャニーズファンの友人で「担降り」をした人はいますか？

→541 件の回答



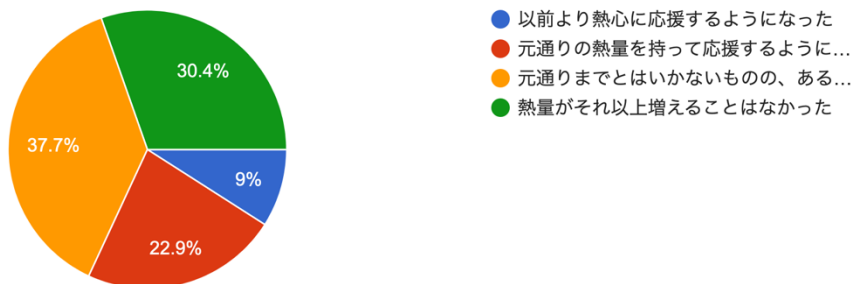
ジャニーズファンの友人で、「担降り」をした人はいますか？	<担降りをした友人がいる方のみ回答>誰の担当を降りていましたか？	<担降りをした友人がいる方のみ回答>その後誰の担当になっていましたか？降り先がない場合は「なし」と記入してください。	<担降りをした友人がいる方のみ回答>担降りの理由を、知っている範囲で、できるだけ具体的に記入ください。
いる	d3	f3、Mメンバーの1人	現場に入れない、ファンサがない、本人に思うことがある、など。歴が長いゆえに色々溜まっていたのでは。

- 「担降り」はしなかったが、「担当」への気持ちが冷めてしまった経験はありますか？

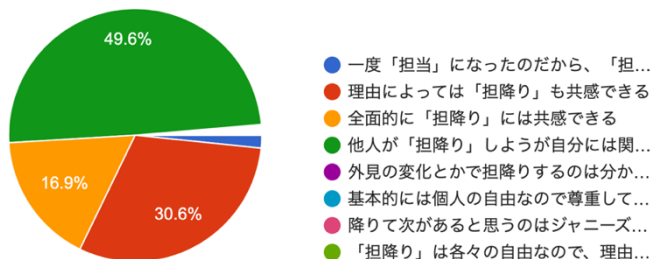


「担降り」はしなかったが、「担当」への気持ちが冷めてしまった経験はありますか？	誰の「担当」をしている時に気持ちが冷めた経験はありましたか？	「担当」への気持ちが冷めた理由で最も近いものを選んでください。	「担当」への気持ちが冷めるきっかけとなった出来事や理由を具体的に教えてください
ある	2	「担当」の言動で気に食わないことがあった	雑誌やテレビで明らかにやる気になかったり、ビジュアルがずっと安定しない時は冷めた。 またSNSに女関係のゴシップが出た時も応援する気なくなった。彼女がいるのはどうでも良かったが、相手が匂わせ女だったり、すぐバレルようなゆるゆるのプライベートを送っていることに腹が立った(苦笑)
ある	15	ジャニーズファンの仲間同士でうまくいかないことがあった	コンサートに行った際に前の席の同担からとても睨まれて、怖～と怯えました。また《ミュージカル》を観に行った際、同担からチケットを譲ってもらったのですが、とても愛想のない方で、せっかく少ないファン同士仲良くしたかったのに同担拒否漢を感じたのがショックでした。 本人の言動のエピソードとしては、グループ仕事(CDリリース、コンサート)以外の仕事を全くしていないのに焦った様子がないところに???となりました。趣味ばかり充実しているようで、仕事に対する向上心があまりないのかなと思ひ冷めてしまいました。
ある	Gメンバーの一人	ジャニーズファンの仲間同士でうまくいかないことがあった	自分はジャニーズにキラキラを求めており、Gを好きになった時の彼らのキラキラアイドルさが好きだったけど、次第にキラキラアイドル加減が薄れていって曲や本人たちが「熱い！男らしい！頑張れ！応援！」みたいになっていき(特に自担)、またそれを肯定し olmayan 周りのファンたちに嫌気がさしたため。
ある	Eメンバーの一人	ジャニーズファンの仲間同士でうまくいかないことがあった	Nとの掛け持ちなのですが、Nメンバーの発言をきっかけにE(e2さん)のファンがTwitterで暴言を吐いていたことがあった。個人的に炎上を追ってしまう性格だが、ずっと好きだったEのファンが今大好きなNに暴言を吐いているのを見ると自身の感情をどう持っていけばいいかわからなくなり疲弊した。そのため、一時期テレビでEをみるのをやめた。

- その後の「担当」に対する気持ちの変化についてお聞きします。



- 身の回りで、さまざまな理由で「担降り」する人について、どのように感じていますか？

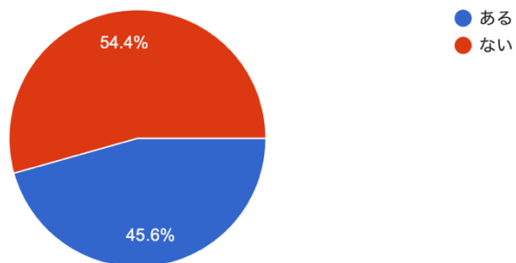


他、詳細に記述していただいた回答 13 件。

- 「担降り」することについて、普段考えたり感じたりすることがあれば教えてください。

アイドルを応援することに周囲からの強制力が働いた時点でおかしいと思うので、担降りすることに対してなにか批判等をする方の気持ちには共感することができない。その人な自由なんじゃないかと思う。
繋がってる仲間とかを気にして SNS できちんと報告してる人とかうじうじ悩んでる人を見ますがそんなにきっちりしなくても良いと思う。所詮は趣味なので楽しくないなら降りた方が良いのではと感じます。
私にとって担降りは宣言したりするものではなく、段々心が離れたり、FCの更新をする理由がなくなり気がついたらファンではなくなるようなものだと思います。今思えば担降りしていたんだと気がつくような自然なものです。私は退屈したりコンテンツに飽きないように、推しをたくさん作っています。
担降りをしたのにも関わらず情報を集めて(わざわざ雑誌を買う・現場に行く等)、「やっぱり〇〇はかっこいいね」などと言っている人には何がしたいんだろうとは思う。
グッズを買うたびにいつか降りる日のことを考えて憂鬱になります。降りたくないけど、脱退や退所で強制的にストップがかかることも多いので。
信仰が冷める瞬間

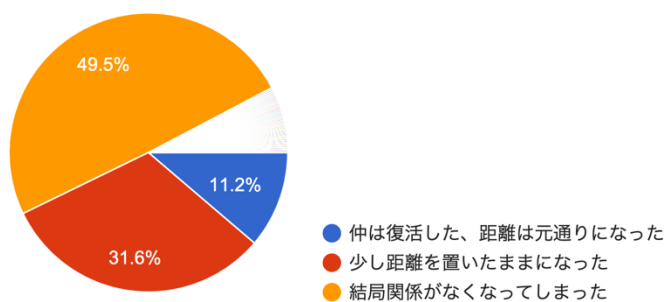
- ジャニーズファンの友人（オンラインとオフラインの両方）と仲が悪くなったり距離を置きたくなった経験はありますか？



- <「ある」と答えた方のみ回答>どのようなことがきっかけで距離をおきたくなりましたか？

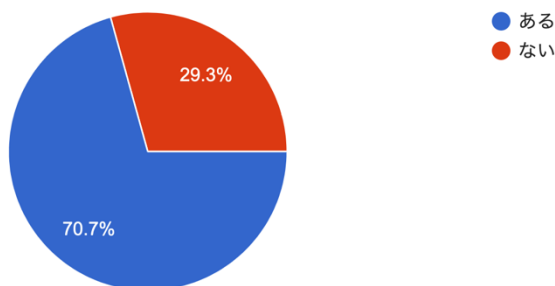
SNS で呟いている内容に共感できなくなった。
コンサート中のいざこざ(席を代わる/代わらない)や、担当に対しての考え方の違いを感じた時
金銭感覚の違い。
友人は圧倒的に自担より優遇されているように感じるグループのファンで、上から目線な態度を取られているような気がしたため。
マナー違反

- <「ある」と答えた方のみ回答>どのようなことがきっかけで距離をおきたくなりましたか？



他詳細に記述していただいた回答 39 件。

- ジャニーズファンの友人との会話の中で、意見が合わないなと感じた経験はありますか？



- <「ある」と答えた方のみ回答>どのようなことに対して意見が合わないと感じましたか？

多ステに関する意見。もともと初めに推していたのが嵐だったこともあり、当時は「コンサートは1回行ければ十分幸せ」と思っていた。そのときに会ったHのファンが「お金がある人がたくさんコンサート行けるのは普通、その分席も埋まるし」と言っていて、あまり共感できなかった。ただ今はコンサートには入れるだけ入りたいと思う。時間が経てば考え方も変わります。
基本箱推しなので、特定のメンバーを上げたり下げたりする人は話を聞いてると嫌だなと感じる。また極端なりア恋、同担拒否の人、盲目お花畑の人はそもそも話が通じないことが多いので関わりたくない。
応援スタンス
私は友人の担当をとてても歌が上手かったと褒めましたが、友人は満足出来なかったようで、せっかく褒めたのに不満そうで合わないな～と思いました。
有料コンテンツに対する考え方。
自担の恋愛について。自身は特に何も思わないが、アイドルが恋愛するなんてあり得ないという友人の意見に驚いた。
担当が結婚することへの価値観や、目撃情報に対しての価値観など。意見が合わないとしてもそれが普通なのでなんとも思いませんが。

- ヒアリングに協力していただける方は、日程調整やヒアリングの詳細をお伝えするために、連絡先をお知らせください。（メールアドレス・LINE ID等）

付録3：調査についての説明書

実験についての説明書

調査責任者：長津 結一郎(九州大学大学院 芸術工学院 助教)

調査実施者：曾我 香菜子(九州大学 芸術工学部音響設計学科4年・長津研究室)

I. 研究課題

ジャニーズ系アイドルのファン文化・ファンの言動がファンに及ぼす影響について。

II. 調査目的

ジャニーズ系アイドルのファンのファン文化やファンの言動が、ファンが「推す」ことにどのような影響を与えているか、特にこのような文化・言動がファンにネガティブに作用している実態を明らかにします。

III. 調査手順

ビデオ通話でのインタビュー方式で進めます。インタビューでお聞きする内容は、以下の通りです。

- ① アンケートを振り返りながら、担当への熱が冷めた経験を詳しくお聞きします。
- ② ①の経験の後の行動や、担当に対する熱量の変化をお聞きします。
- ③ 必要に応じて、類似したそのほかの経験もお聞きします。

また、本インタビューは記録のため録画・録音させていただき、文字に起こして保存させていただきます。本インタビューで得た資料は、第三者がアクセスできないように管理し、令和4年3月31日まで保存した後、廃棄いたします。

IV. 実験の危険性、不利益、苦痛、副作用等、及びそれらの対策について

インタビューの中で、身体的な危険が一切伴いませんが、過去の辛い経験を思い出されることがあるかもしれません。お話しになることが辛い場合、またお話しになりたくないことが質問された場合、無理にお答えいただく必要はございません。気分がすぐれない場合など、お申し出いただきましたら、いつでもインタビューを休憩・中止させていただきます。

V. 緊急事態に対する対応について

自然災害などを含む緊急事態が起きた場合、速やかにインタビューを中断し、ご自身の安全の確保を第一に行動してください。

VI. 同意しない場合の不利益について

本実験に同意しない場合でも、いかなる不利益を受けることはありません。

また、同意した後でも途中でやめることができます。その際にも不利益を受けることはありません。

VII. プライバシーについて

個人情報及び実験により得られたデータは、研究以外の目的には一切使用いたしません。また、これらのデータは、番号をつけて管理することで匿名化いたしますので、お名前が研究発表等で公表されることはありません。

さらに、情報管理には十分配慮しますので、実験関係者以外の者に渡ることはありません。

付録4: SCAT表①

番号	発話者	テキスト	①<1>テキスト中の注目すべき箇所	②<2>テキスト中の箇所の言い換え	③<3>左を説明するようなテキスト外の概念	④<4>テーマ・構成要素 (前後や全体の文脈を考慮して)	⑤<5>疑問・課題
1	曾我	今回聞きたいのは、Fのところ結構聞きたくて、そのファンの人たちが同じファンに与える影響みたいところで、ファンの行動が原因で、何かよって変化があった人にインタビューしているの、そこよって深ぼりたいなって、思ってるんだけど。私もちらっとしかその一連の流れは聞いてなくて、具体的にどういう流れがあったんやっつて？そこで、アリーナやらなくてみたい流れって…					
2	①	私もなんか正直詳しくはそのとき調べんかったんやけど、元ツアーやるたびにその新幹線の待ちで言ったいかな、とかが、結構Fのファンはひどかったらしくて、でそれで公共交通機関が止まるみたいな時もあったらしくて。このファンの集団のせいで	ツアーやるたびに/新幹線の待ち/ひどかった/公共交通機関が止まる/ファンの集団のせいで	毎年/ツアー違反/ある一定の複数人のファンのせい/深刻/恒例化/聞いた話/過剰な行動/追っかけ/アイドルのプライベート介入/集団での行動/	モラルとして行動して良い範囲/全体ではなく一部のファン/リスキーシフト状態	一部のファンによる過剰にモラルを逸脱する行動	
3	①	でまあ、確かになんとなFのファンナー悪いみたいなのはどう思うかって、それでほかの人に迷惑かけるとどうなって思ってたところもあって、F側からのアリーナツアーしませんでしたから、それはあるよな正直と思った。	Fのファンナー悪い/どう思うかって/ほかの人に迷惑かけるとどうなる/正直	他人に迷惑をかけることへの反対/アリーナツアー中止対応のある程度の当然さ/予測範囲の対応/ファンナーが悪い雰囲気	公共の福祉/ファンナーが悪いことへの代償/	アリーナツアー中止対応のある程度の妥当性と納得	・周囲のファンの意見はどうだったか、周囲のファンの意見に影響された意見なのか。
4	①	まあ分かんないけど、でもFだけじゃないかもしれないけど、と思いつつながら。他のグループもそういうことあるやろうかと思いつつながら、まあまあ納得したんやけど。	わかんないけど/Fだけじゃないかも/他のグループも/まあまあ納得	自担のグループだけの対応に対する不満/他のグループに対する羨ましさ/ある程度受け入れる姿勢/ジレンマ	ライブ中止条件の他グループとの比較/ファンナーの悪さに対するある程度の納得		
5	①	その後ぐらいい台湾でツアー決まりました。やったーみたいになって。何がやった、やわんみたいなの、おかしなみたいなの。で、台湾の空港はいんや、ファン出待ちしてみたいなの。日本はあかんの、に、みたいになって、急にめっちゃ冷めた、そこで。	やったーみたいなの/何がやったやわんみたいなの/おかしなみたいなの/日本はあかんの、に、みたいになって	担当の喜び様子への複雑な環境/急激な熱量の減少/自分の環境が優遇されていない不満/海外だと許されるマナーへの不満	文化の違いが担当側の対応の速さに影響することへの不満/現実的に参加できないライブの開催	文化の違いが担当側の対応に違いが出ることへの不満/急激な熱量の減少	
6	曾我	日本でやらのに、台湾やたらいいやんみたいなの。					
7	①	そう、今まで支えてきた日本のファンをないがしろにしすぎじゃない？みたいな。なってっつてのはある。	今まで支えてきた日本のファン/ないがしろにしすぎ	今までの応援を蔑ろにする怒り/応援に見合った還元を獲得不可能な状態/担当のファンに対する尊重の低さ/本拠地を蔑ろにされた悲しさ	ファンの応援への還元としてのライブ/担当の本拠地は日本であるという認識/あまりに参加に不利な状況	これまでのファンの応援に還元する姿勢の低さによる不満	
8	曾我	それはなんやろう、Fに対してって感じか、それとも事務所に対してみたいなの？					
9	①	うん…まあ運営もやし、本人たちのテンションもちよと食に食わなかったかも。	運営も/本人たちのテンション	担当の表現方法/担当が喜ぶ様/事務所としての企画対応	ファンと担当の感情のギャップ		
10	曾我	台湾やっつたってなるところへん？					
11	①	そう。なんかもうちょっとこっちのファンに、還元ないの？みたいな。どっちもかな。まあスタッフとか運営が悪いのは分かるけど、本人たちもそこに口出しができるはずなんみたいな。なんか結局同意した上で決まってるはずやから、どっちもどっちやなっつて。	こっちのファンに還元ないの？/どっちも/運営が悪いのはわかる/口出しできるはず/同意した上で決まってるはず/どっちもどっち	日本のファンに対するサービスの必要性/担当本人の意見をいう余地存在の推測/	担当側全体に対する不満/アイドル本人たちの合意をとる体制がある前提	担当を含めた事務所全体に対して向けられる不満	
12	曾我	なんかその台湾での公演って、日本から行く便に、日本から台湾にライブに行く人に向けた、何かツアーみたいなのってなかったっけ？Eの時なんかあった気がしてんけど。					
13	①	あれやんな、日本の人もいけるかどうかってこと？					
14	曾我	なんか日本の人が行った時に、飛行機でなんかもからえたりとか。					
15	①	Eあったな。えーと、F正直記憶にはない。	正直記憶にはない	覚えていない			
16	曾我	なんかその、台湾でやるんやってなって、結構もういきなり冷めたというか…					
17	①	そうやな、普通に応募はできたあ。でえっとな、メールじゃなくて、前って紙で来てた。あ、あれは来てた、ちやんと、普通にコンサートの応募と、本人たちの手書きのメッセージみたいなのがあったんは覚えてるけど、それだけやった気がするな。たぶん、なんかぜんぜん応募して当たれば日本人も行ったとあ。	コンサートの応募/手書きのメッセージ/それだけ/たぶん/	コンサート応募資格の有無/手書きメッセージ/あやふやな記憶/特別な優遇がない/おそろ	ライブ詳細の記憶の薄っぺらさ/ライブへの興味の高さ	ライブ詳細のあやふやな記憶	
18	①	まあ正直学生やっつたら海外に行くわけではないし、最初から応募する気なかったからあんまり覚えてないかも。	海外行けるわけではない/最初から応募する気なかった	簡単に渡航を判断できない/応募する気がない/参加する意思がそもそもない	海外に渡航する可能性の低さ	学生における海外のライブ参加への非実現性	・実際日本から参加したファンはどれくらいいたのか
19	曾我	なるほど、それが、大学2年くらい？					
20	①	そう、一回か2回ぐらいの時やったと思う。					
21	曾我	それまでに、ちょっとと、なんとなクマナー悪いな一みたいな感じとかって言ってたけど、なんか具体的にこういうことがあったとかある？					
22	①	そうやな、具体的に、そもそも最初行ったのがDのツアーとか。人生で初めてのコンサートとか。年齢層が全然違うなって思ったのと、最初行った時、自分が高校生の時に行ってるから、同年代からちょっとが多くなって思ってた。で、中高生が中心なんやなって思ったように、やっぱりその雰囲気とか空気感が全然違う。で簡単にいうと、まあきさきさきやっつてる感じ。Dに比べると	最初行ったのがDのツアー/年齢層が全然違うな/同年代からちょっとが多くなって思ってた。で、中高生が中心なんやなって思ったように、やっぱりその雰囲気とか空気感が全然違う。で簡単にいうと、まあきさきさきやっつてる感じ。Dに比べると	Dのツアーと比較したときのファンの年齢層の違い/Dより年齢層の低い層/雰囲気/空気感/きさきさきやっつてる/Dと比べると	ファンの年齢によるファンの雰囲気の違い/中高生中心のファン層に対する馴染みなさ	これまで経験したライブとの比較による、ファンの年齢層と雰囲気の違い	
23	①	で、何て言ったらいいやろうな、雰囲気…難しいなあ、なんかめっちゃマナー悪いなって思ったよなことはあんまりないんやけど。何て言ったらいいやろうな、悪そうなのがある。みたいな見た目が多いって言うたんだけど、例えば、周辺施設で、何て言うの集まってきたりとか、邪魔になるんやっつてるところで写真撮ってきたりとか。そういうのは結構あったかも。	悪そうなのがある/みたいな見た目が多い/邪魔になるんやっつてるところで写真撮ってきたりとか。そういうのは結構あったかも	マナーが悪そうだとする予感/マナーが悪そうに見える目/周囲を気にしない行動/周囲への配慮が足りていない様子/経験の少ない様子	年齢とモラルの関連性/社会的迷惑(他者が不快に感じる)こと、吉田、2011(配慮のし方・方向が他者とずれていること)で生じるもの、谷、2015)	マナーが悪そうな予感/周囲への配慮が足りていないファンの行動	
24	曾我	なんかこう、京セラドーム…公演してたよね、F。					
25	①	私が行ったときは、まだアリーナやっつてん。だから城ホールとか。					
26	曾我	なんかこう駅の近くとかで、とか。					
27	①	そう、そういうイメージ、かな。					
28	曾我	なんか直接自分が何かされたわけではないけど、まああのそういうのき、ちらっと見て、ちょっと気になってとか。					
29	①	そうそう、とか、直接言われたりとか無いけど、やっぱりSNSとかで、なんて言ったらいいやろ、ファン同士いざごがある事が多かったと思う。し、めっちゃ簡単に言う、同担拒否が多いイメージがある。す、ご。あもう結構ジャンルオタで大事なワードやん、それ。	直接言われたりとかない/ SNSとかで/ファン同士いざごがある事が多かったと思う。し、めっちゃ簡単に言う、同担拒否が多いイメージがある。す、ご。あもう結構ジャンルオタで大事なワードやん、それ。	自分が被害者ではない/SNS閲覧中の違和感/ファン同士の揉め事が多い印象/同担拒否が揉め事につながる印象/ファンにとっての同担拒否かどうかの重要性	同担拒否の姿勢がファンの交流への影響力の大きさ/揉め事につながる代表例としての同担拒否	同担拒否などから生じるファン同士の揉め事の頻発性	・具体的な事例はあるか
30	曾我	そうね、そうだね。					
31	①	ジャンルは同担拒否がすごい多いイメージがあって、絡みにいって言ったらいいかな。Fのファンですって言われたとしても、誰のファン？同担拒否なの？みたいなのが心配で近づきにくいみたいな。大学入ってからもあった、ちなみにFのファンの子がいるらしいって聞いて、その子のFの担当って聞いてたら、なんか怖そう、みたいなの。	同担拒否がすごい多い/絡みにいって/心配で近づきにくい/大学入ってからもあった/ちなみにFのファンの子がいるらしいって聞いて、その子のFの担当って聞いてたら、なんか怖そう、みたいなの。	F担当の同担拒否の多さ/同担拒否=絡みにくい/同担拒否の人と安易に仲良くなれない壁/高校時代だけではない経験/同担拒否に対する悪いイメージ/同担拒否だと仲良くなりづらい	同担拒否の人との交流の難しさ/同担拒否に対する怖いイメージ	自身の担当グループのファンに対する怖いイメージ/同担拒否の人との交流に対する恐れ	
32	曾我	なるほど。					
33	①	で、自分拒否じゃないから、まあまあまあと思ったけど、なんかそのグループを推してる人もやけど人を推してる人も結構多そうやっつたら、イメージ。なんかほろく言われたらどうしようみたいな。	まあまあまあと思った/人を推してる/ほろく言われたらどうしよう	全く嫌われることはないという予想/最悪の状況ではないという勘測/1人のみを推している/自担以外は推していない/自担を悪く言われることへの恐怖/	オンリー担の存在/自担以外を悪く言う人の存在/ファンとのコミュニケーションにおける様々な懸念と不安	自身の担当グループのファンの中でのオンリー担の存在/自担を悪く言われることへの恐怖	
34	曾我	自分の担当、あの自担ばかり、いい感じで言っつて、みたいなの。	自担ばかり、いい感じで言っつて	自担のみを褒める/自担のみを称賛する	自担アゲ、他担サゲ		
35	①	そうそう、例えば拒否やったら自分のこと好きやけどDのこと嫌いかもしれないみたいな、のが結構ありそうやっつたら、ずっと怖かったみたいなイメージ、イメージはあるけど、先入観とか。なんとな、こわっと思いつつながら現場行くみたいな。	Fのこと嫌いかもしれない/ずっと怖かったみたいなイメージ/先入観とか/なんとな、こわっと思いつつながら現場行くみたいな。	自担を悪く思っているかもしれない恐怖/先入観/自分の担当以外を悪く言う人が多いイメージ/確認のないイメージ/	同じグループのファンでも応援しているものが違う可能性	・他のタレントを悪くいうイメージは何が原因だったのか	
36	曾我	そうやっつたら、					
37	①	そんな感じやっつた。					
38	曾我	F担、やっぱり同担拒否多い…？F担が、多いって感じ…？					
39	①	(顔しながら) 多い多い、絶対多いと思う。多そう。	多い/絶対多いと思う	確認はないが高確率で多いイメージ	特定のアイドルのファンに対する先入観		

40	曾我	そのイメージ確かにないことはないかも。なんとなく想像ついちゃう。	なんとなく想像ついちゃう	Aさんへの理解		
41	①	だよな。まあそんな感じ。				
42	曾我	なるほどねちよと①さん自体はTwitterとか結構、ジャンオタとして使ったりする?	Twitterとか/ジャンオタとして	Twitterの利用について/ジャンオタとしてのTwitterの利用について		Twitterの開始
43	①	えとね、Twitterはずっと高校の時とかやってなかったけど、大学入って、大学入ってもずっとやってなかったけど、いつからかな、4月ぐらいから始めたかな、本当つい最近。	4月ぐらいから始めた/本当つい最近	始めて短期間/最近Twitterを始めた様子		
44	曾我	そうなんや、じゃあもうF担の時はやってない?				
45	①	Jなってるからかな。そう、やっぱりそのTwitterのトレンド入りとか、指標を気にするようになってすごい。ODの売上とか、Billboardとか、YouTube再生回数、YouTubeの存在が大きいかもわからない。それまでやってなかったから、ジャンオタって、すごいわかるやん、顕著に。何人にも、ファンじゃない人も見てくれるとか、すごい数字でわかるから、指標を気にするようになってから、Twitterははじめた。っていうのもあるし、ちょっと色々きかけがあって。	Dなってるから/指標を気にする/それまでやってなかったから、ジャンオタって/すごいわかる/顕著に/色々きかけがあって	Dの担当になってTwitterを始めた/指標の重要度上昇/数字で明確に人気度が提示される様子/その他にも存在するきっかけ/ジャンオタでのSNS文化未発達	近年の急速なSNS露出の増加/人気の大きさは=数字/SNSのファン以外にも含めた広い影響力/人気を数字で見えてしまう	新しい担当のファンダムでのSNS等の数字指標の重要性
46	曾我	それまでのF担の、何かこう怖そうっていうイメージで、どういふときにそう思ったんやろうって気になって。ライブ行ったときに思ったとか、噂で、リアルで会って友達と噂でそういう話になったりとかっていうのってあったりする?	怖そうってというイメージ/どういふ時に/	F担が怖いというイメージの形成過程		自担グループのファンに対するイメージの形成過程
47	①	怖そうって思ったきっかけは、Fは、何のグループでもいいやけど、はまりだしたらしい検索するやんか、検索したときに、めっちゃ有名なナナー悪いファンがおもしろい話記事がヒットして、Fの、昔の話らしいけど、本音デビューして5年目ぐらいの話とかやっていたよ、たしか。なんかその、有名なグループで、その人たちが活動しているとか組んでる、なんかグループがあって、その人たちがめっちゃマナーが悪いというか、とにかくすごかったみたいな、のを見つけて、そんな人いるんやジャンオタのファンで、みたいな。おーと思うて。	いろいろ検索/めっちゃ有名なマナー悪いファン/昔の話らしい/有名なグループ/とにかくすごかった/そんな人いるんや/おー	Web検索での噂/マナーの悪い有名ファングループ/逸散したマナーの悪さ/マナーの悪さに対する衝撃/マナーの悪いファンへの恐怖感/新しいジャンオタの発見/詳細は覚えていない様子	ファン初期の情報収集欲求/これまでのファン文化との比較/ファン文化に関する検索/同じ担当のファンのイメージ形成過程としてのWebやSNSの存在/ファンの活動フィールドとしてのWeb	ファン初期の情報収集によるファンのイメージ形成期間/マナーの悪い一部のファンに対する衝撃
48	①	それならなんか怖いものもあるみたいで、目で見てると、やっぱりインスタとかいらい見つけた時に、なんかとかく凄そう、いわゆる地雷系みたいな人とか、投稿とか見るようになって。そういうのを見てからかな、やっぱりSNSは大きい。やっぱり検索にヒットしていろいろあるけど、	怖いものもあるみたいで、目で見てると/とにかく凄そう/いわゆる地雷系みたいな/ SNSは大きい	怖い人いるという先入観/地雷系投稿に対するインパクト/地雷系投稿でのファンに対する印象構築/SNSの影響力の大きさ/何となくすごい気がするファン/投稿から感じるとにかく平凡ではない雰囲気	自分と明らかに違う感覚/マナー違反をするようなファンがいるという事前知識/音接接することのない人の事前リサーチができるSNS/SNSの影響力の大きさ	「地雷系」という言葉をどのような文脈で使っていたか(ファッションについてか、性格的な部分についてか)・地雷系の投稿とは具体的にどのような内容だったのか
49	①	SNSだったりと、カルチャーショックみたいなものがあるかも。Dしか知らなかったから、Eのファンもめっちゃマナーいいし、なんか結構年齢層も広いし、ファミリーとか男の人とかもいたから、なんかあったかなとか思いながら見てて、それと比べてFは若い。	カルチャーショックみたいな年齢層も広い/ファミリーとか男の人とか/なんかあったかな/比べてFは若い	嵐と比較した文化の違いによるショック/D-Eのファン性の多様性/多様性によるファンとしての居心地の良さ/F担の年齢層の低さ/狭き文化の違いによる衝撃		担当グループの違いにより生じるファンカルチャーショック/多様なファンの存在による居心地の良さ
50	①	それこそ、わかって思ったんが、ライブ行ったとき、はって思ったんが、その、花かんむりと、あの、首?ここになんか写真みたいな。(くだけた顔の写真を首に下げているジェスチャー)	わかって思った/花かんむり/なんか写真みたいな	衝撃を受けた出来事/花かんむり/写真を首に下げる様子/文化の違いに衝撃を受けた経験		
51	曾我	はいはい、あの、顔が...そのまま...				
52	①	そうそう、SNOW(写真撮影加工アプリ)が流行ってたやんか、めっちゃ、自分の写真をSNOWで加工するやつ(顔のサイズを小さくするやつ)のやつを、ここにぶら下げる人がいっぱいいて、何それ?こわい/どういふこと?/ついて行かれない/どの方角に歩んでるの?/文化の違いをめっちゃ感じたの?みたいな。文化の違いをめっちゃ感じた、のが大きい。	SNOWが流行ってた/ぶら下げる人がいっぱいいて/何それ?こわい/どういふこと?/ついて行かれない/どの方角に歩んでるの?/文化の違いをめっちゃ感じたの?みたいな。	流行りの写真加工アプリの利用/文化が信じられない/共感できない/軽い拒絶感/恐怖感/ライブでのファンの見た目/担当の写真撮影を身につけるという/同じテンションにない	生首ラミネートの文化(他文化の輸入とアレンジ)/F担の独特な文化/	ファン文化の違いに対する衝撃と軽い拒絶/独自のファン文化の発達
53	曾我	F担とそのイメージあるかも。				
54	①	めっちゃそんな感じ、ほんまに。				
55	曾我	確かにちよとあるかも。				
56	①	あるよな、うん。そんなのはないのよ、Eのファンには。				
57	曾我	いないよな。				
58	①	Dのファンにもいないのよ、そんな生首ぶら下げる人がいない。				
59	曾我	たまにe2担でおるけど、e2こ(胸元で輪っかを作って、顔写真をつけているジェスチャー)につけてる人。	e2担でおる/つけてる人	担での同じ事例	上述の生首ラミネートとの目的の違い/	からかい目的のファン文化の受け入れ
60	①	でもそれ面白がるやつやん。	面白がる	からかう/面白いと思ってやっていると		
61	曾我	そうそう。				
62	①	そう、それが結構いっぱいいたっていうのは大きいかな。1部やたら、どのグループでもきつってるから思うけど、まあいっぱいいたからびっくりしたっていう。	一部やたら/いっぱいいた/びっくりした	ファンの多くが行っている驚き/人数が多いインパクト/衝撃	人数の多さによるインパクト	独自のファン文化に対する、大人数によるインパクト
63	曾我	そういう、なんか首下げる人が多いと、花冠して、とか地雷系のファッションして、みたいな人が多いと、マナー悪そうってイメージになったりとかはする?	マナー悪そうってイメージ	見た目が寄らぬとマナーも悪そうか	見た目とマナーの悪さの相関性	
64	①	うん、個人的にはする。なんとなくマナーが悪そうイメージがどうしても、あるかもしれない。でも事前情報ややっぱりあったから。行く前にFのファンマナー悪そうみたいな。よく言われるからSNSとかで、それを見てから行ったから、こういう人がマナー悪い人かと思っていて済んだかも、それがなかったら、変な人いるなら済んだかもしれへんねんけど、そこがちょっと結びついて、どうしても、事前情報があったから。よ考えれば、本当はそうじゃないかもしれないけど、そう思ってしまった。	個人的には/マナーが悪そうイメージ/事前情報/変な人いるなら済んだかも/結びついて/本当はそうじゃないかも/そう思ってしまった	見た目とマナーの関連性/マナーが悪いイメージの事前情報の影響力の大きさ/具体的な事例があるわけではない/見た目とマナーを関連づけてしまった/無意識のうちに起こった考え/変な人/事前情報による先入観	ライブ会場における、事前情報と見た目の関連づけ/一部の目立つ(特徴的な)ファンに対する意識が全体の看板を背負ってしまう	事前情報とライブ会場でのファンの様子に関する懸念
65	曾我	それを、なんとなくずつ引きずってみたいなのところ?	引きずって	引きずる/影響を拭きえない/事前情報と実際に見たものの影響が長引く/覆されない	印象深い出来事で植え付けられた出来事の強情性	ファンに対するネガティブな印象の持続性
66	①	うんそう。ずつ引きずって。	ずつ引きずって			
67	曾我	じゃあなんかそういうこうなるとマナー悪いかもがあつて、実際アリーナツアーやりますかみたいなので、...アリーナツアー決まってきたのを取り消したって感じだったんだっけ?	アリーナツアーやりますか/取り消した	毎年行っているツアーの開催発表の方法		毎年恒例のツアー情報の発表
68	①	いや、決まらなくて、ツアーの発表そろそろかみたいな時期やった気がする。いつもやたらツアーをそろそろだよ、みたいな時期に、今年は台湾です、みたいなになった気がする。そんなんだって気がする。いけねーよみたいなになって、それ言われた瞬間。	そろそろか/今年は台湾です/行けねーよみたいな	毎年恒例のツアーの発表時期/ツアーの話題が出る時期/台湾でのライブ開催決定/ライブにいけない	金銭・時間的負担の一般的な可能範囲/ライブ活動の年単位の周期性	自身にとっての金銭的・時間的負担の可能範囲を逸脱するライブ開催に対する反発
69	曾我	そうね。それで台湾、なんかその発表があった時に、結構もう降りたって感じなのかな?なんかこう、そのタイミングが一番、嫌だったというか、降りようと思った?	発表があった時/嫌だったというか	台湾でのライブ開催発表との時期比較/降りようと思った時期明確化		
70	①	ここであつてきて、わ、どっちが先やっただかな...一回行ってるよな、ドーム...ちょっと時系列わかんないな、台湾のツアーが終わった直前か、後かのドーム...あーあれよ、ええね、(ライブ)は行って、どっちやろあれ...調べたら出るのかな...	めっちゃきて/時系列わかんないな/台湾の直前か、後かのドーム	台湾でのライブ開催決定による悲しき/ライブに行けなかった/時系列の曖昧な記憶/台湾でのライブ開催前後	熱量の低下による記憶力の薄れ/熱量が下がったからの担当のインパクトの薄さ	生首ラミネートの文化(他文化の輸入とアレンジ)/F担の独特な文化/
71	①	いつや、これでも、大学の間なんよな...2018、一回のときか、うん、かな。台湾のあとじゃないかな...たぶん後やな。台湾のツアーが終わった後の、ドームツアーかな、多分。まあ多分また会員やったし、当たつたら行くか、ぐらいの感じかな、多分。	大学の間/台湾の後/ドームツアー/また会員やった/当たつたら行くか	大学生の間/おそらく台湾でのライブ発表の後/ファンクラブ未退会/運に任せる気持/ライブ後の執着の薄れ		
72	曾我	あーそうなんや。結構もう冷めつつっていう感じ?	結構もう冷めつつ	台湾ライブ発表後の熱量減少具合		ライブ参加時のモチベーション
73	①	そう冷めつつ、だった。けど、思い出した、ソロ曲があって、初めて。	ソロ曲があって、初めて	ライブ初のソロ曲演奏	Fにおけるソロ曲の希少性	
74	曾我	あーなるほどね。				

75	①	初のソロ曲があって、それが見たかったというのがあった。まだなんか、何て言ったらいいや、まだ降りでも、やっぱり持ち直せるかもという。自分の中で保てるかもみたいな、モチベーション。思ってた、行ったんやわ。で、実際にライブも楽しめて、ソロ曲もめっちゃ良かった。まあでも8人おったら、あんまり興味のないソロ曲もあるなと思うし、まあ、思いつく、まあでも見れて良かったみたいな。今後もう二度とないかもしれない、ソロ曲、いつもユニークやし、見れて良かったと思って。それが多分冬なんよね。一回生で。	見たかった/やっぱり持ち直せつかも/保てるかも/ライブも楽しめて/ソロ曲もめっちゃ良かった/あんまり興味のないソロ曲も/もう2度ないかも/多分冬	ライブ参加目的としてのソロ曲鑑賞/ソロ曲の発表がライブへのモチベーションの一つに/ジャンプへの気持ちの持ち直しに対する希望/ライブ参加による熱量復活の期待/ライブは楽しかった/興味のないソロ曲/冬ごろ/ライブでのソロ曲観覧機会の希少性	熱量の下がった自分への疑い/担当のライブ活動の姿を見ることが熱量増加の期待/ソロ曲コーナーに対する批判的視線	ライブ参加による担当への熱量増加の期待/コーナーに対する批判的視線	
76	①	2回(生)の夏ぐらいに、夏達、5月ゴールデンウィークや、ゴールデンウィークの初日とかに、出てしまっているから、ジュニアに。でも、もういいやってなったんよね。なんかあんまりモチベも上がらなかつたし、DVD正直買ったけど、あんまり見直してないなって。前はみたのに、全然見直してない。シングルも欲しいと思わへんみたいになって、これはもうあかんと思って、潮時やなみたいな、なって移行したって感じ。	出会ってしまつて/もういいや/モチベも上がらなかつた/あんまり見直してない/もうあかん/潮時やな/移行した	新しい担当との出会い/IFへの熱量復活見込みへの諦め/潮時/DVDの閲覧機会の減少に対する気づき	DVDの閲覧機会と熱量の関連性	新しい担当との出会いによる元担当への諦め	
77	曾我	その頃からJに変わった?					
78	①	そうそう。一瞬、だから多分3つかけもつた時期が一瞬あんねん。そのジュニアはまたりたの時、で最初は、それこそ広く浅くいろんなジャンル見てたけど、もうちょっと絞らうみたいな、ぐらにもうFのいよいよみたいな。3つも追われへんし、正直そんなモチベないし、みたくて辞めたかな。あんまりなって思ってたから、結構ズルズル長かったかも。すばって辞めたわけではない。	3つ掛け持った時期が一瞬/広く浅く/Dに絞ろう/3つも追われへん/結構ズルズル長かったかも/スバって辞めたわけではない	3つのアイドルを同時に推していた時期/ジュニアを見始めた頃の範囲の広さと熱量の浅さ/広(熱量を注ぐことへの疲弊/切り捨てる対象/熱量が下がってからの大きなきっかけ	ある程度熱量を注ぐ範囲を絞ろうとする方向性/「降りる」だけでなく新しい担当に「移る」/誰かに落ち着きたい気持ち	広く熱量を注ぐことによる疲弊/推す範囲のある程度の狭小化	
79	曾我	じゃあなんか、台湾でやるんやみたいな、日本ではやってくれへんねや、みたいなところがあって、まあ下がったけど降りるほどではないかな、もう入れ変わったんや。					
80	①	そう。そこでもう、シンプルにもう冷めてるって思ったっていう。入れ替えというか、降り先が見つかってない、感じかもしれない。こっちの方が本腰入れられるみたいな。じゃあもういいじゃんってなって。	シンプルに冷めてるわ/こっちの方が本腰入れられるわ/もういいじゃん	熱量の減少という単純な減少/Jに本格的に熱量を注げる確信/ジャンプへの熱量回復への諦め		新しい担当出現による、元の担当の熱量激減の感知	
81	曾我	じゃあこうJの方が楽しかったっていうのは、結構アンケートの方でも書いてくれたんやけど、何が違ったFの時と。楽しかったとか。	何が違った/Fの時と	FとJのファンとしての熱量の決定的な違い		新旧での熱量の決定的差異	
82	①	なんやろう、その新規って楽しいやん。	新規って楽しいやん	新規ファンの楽しさ/新しいグループを知る楽しさ	新しい担当の魅力とどどんと知っていき楽しさ	新規ファンの魅力	
83	曾我	なるほどね、新しいグループを追うこと自体が...					
84	①	そう、新規って楽しいやん。あとジュニアっていうの見たことなくて、今まで。注目したと全くなく。バグにおまことがあるけど、わかってたけど、FとかDとかってバグ付けたこともあるけど、注目した事正直全くなくて。でも見てみたらみんなめっちゃ頑張ってるし、なんか自分を見て!みたいな感じがする。すごいみたいな。なんかその本人たちの熱量の違い?え、すごい!みたいな。自分が、何て言うの、応援したい!みたいな。気持ちめっちゃあったっていうのと、	注目したこと正直全くないめっちゃ頑張ってる/自分を見て!/本人たちの熱量の違い/応援したい!見たいな	これまでのFに注目する機会が少なさ/本人たちの主張の強さ/ジュニアに対する想い/熱量に感化されたことによる熱量の増加/アイドルの活動のエネルギーのギャップによる衝撃/応援したくなる要素	アイドルの活動に対する熱量とファンの応援する熱量の関連性/応援したい!と引き立てられる仕掛け	これまで知らなかった新しい担当の魅力/これまでと比較した新しい担当の熱量の充足により感化されたファンとしての熱量増加	
85	①	パフォーマンスの方向性も全然違って。D・F好きな時っていわゆるジュニアの王道キラキラアイドルみたいな感じが、ずっと好きやったんだけど、日は面白路線やんか、正直、めっちゃ好き、バンドもいよいよめっちゃいい。思ってた。また新しいのが来て、正直Jって、こんなキラキラしたタイプの人だみたいな。すごい見たいな。え、歌もうまくなってるって。なんかその今まで知らなかった、なかつたことにはまってきつたっていうか、なんかFじゃ得られなかつた何かがあったみたいな。あって、こっちのほうが好きかもみたいな。	パフォーマンスの方向性/ジュニアの王道キラキラアイドル/面白路線/キラキラ/今まで知らなかつた/Fじゃ得られなかつた何かがあった	これまで推してきたアイドルとの方向性/系統の違い/ジュニアにおける王道の系統/キラキラ/好き/こい/初対面/初めて出会った衝撃/応援している時の気持ちに何かの大きな違い	新しいものに会った衝撃/応援している時の充実度に大きな違い	担当の系統と担当・ファンの熱量に差異	
86	①	あと勢があったっていう感じかな。あのFから移行したのは、そういうええ。	勢があった	アイドル自身の勢い/エネルギー/精力的な活動	勢い=デビューに近いと思われられる活動をしているか、活発な活動をしているか	デビュー間際の精力的な活動によるエネルギー	・勢いとは?
87	曾我	なんかあれだよええようどデビューするか、みたいな感じだったよね。	デビューするか	デビュー間近			
88	①	そうなのめっちゃ覚えて、出会いには4月27日、ゴールデンウィーク確かめつちや長かった時なよ、あの年。で多分初日に見に行つて、間結構空いてたから、youtubeほぼ全部見て。	めつちや覚えて/youtubeほぼ全部見て	Jとの出会いの明確な記憶/youtubeでの全映像作品を閲覧	出会った時の衝撃に関する詳細な記憶/時間、労力を費やさないファン自身の熱量	出会った時の衝撃/時間・労力を費やさない行動力	
89	曾我	結構あったやろ?					
90	①	めつちやあった。全部見て、これはハマるみたいになって、最終日にも一回(映画)行つて、結局その後2回行つて、合計4回ぐらい見て、そんなこんなでめつちやハマつたっていう。	これはハマるみたいになって/めつちやハマつた	ハマる予兆/感覚/結局ハマつた	長時間の動画閲覧時に形成された「ハマる予兆」	出会った時に感じていた「ハマる予兆」	
91	①	ので、勢があった、もう向の上がすごいやん。デビューしたい!見たいなもあって、デビューしてほしい!見たいな。もう応援しないよ!みたいな気持ちになって、こっから新しいものしかでえへんやん絶対、みたくない。期待しないうん、そんな、パフォーマンスみたくてきつとどどんと進化する。絶対還元率高いって言ったらいいの?こっへの。応援しただけ返ってくるやろ?があったから、	勢があった/向の上/デビューしたい!/デビューしてほしい!/応援しないよ!/新しいものしかで得へんやん絶対/期待しないうん/絶対還元率高い/応援しただけ返ってくるやろ	勢い/デビューへの向の上/勢い/応援する気持ち/応援しないといけない責任感/今後への期待/ファンへの還元に対する還元率の高さ/応援しただけ返ってくるものがある	「推す」ことの充実度/将来に対する期待感	ファンの応援に対する、新しい担当の勢いや期待感の高さによる還元率の多さ/勢いに応えるだけの応援をする責任感	・還元率が高いと感じる要因とは?
92	①	もういいわ、Fのいいわってなって。なんかちょっと、今の感じにも慣れてしまった感じはもういい、まあまあやとけどうせファンくるしみたいな、テンションが嫌やっつたんやと思う。最近頑張ってるやけど、それで移行したかな	もういいわ/今の感じにも慣れてしまった/頑張ってるやけど	ジャンプに対する諦め/最近の近況に対する若干の評価/ファンへの応援に慣れてしまった態度/ファンへの応援を大事にしないファンをさぞいかに扱う	充実している別グループとの比較/際立って感じた勢いの差	新しい担当と比較した、今までと比較したファンに対する還元率の多さ/勢いに応えるべきの表れ	・慣れてしまった感じほどのようなところで感じたか
93	曾我	なるほど、F拒絶してから、降りからは、Fの近況を過ったりとか、なんかしてたりする?					
94	①	えっどね、そっからほんまに、2:3回(生)ぐらい、それこそ3回(生)は実習で忙しかつたからっていうのもあるけど、全くノータッチでも、もうしているから、なんか2回結局帰って来んらしいみたいな、ぐらいのレベル。の情報やっつたんよ、それよりも、Fの後ろにのまた来るしとか、そっの方向性が気になる。そっの方がメインぐらいい感じぐらいいF違ってなかつたんだけ。	実習で忙しかつた/Fの後ろに/そっの方が	私生活の忙しさ/ジュニアに割く時間の少なさ/Fよりジュニアに興味/ジャンプへの興味の薄れ	興味の薄れ/私生活の忙しさから情報量の減少	私生活の忙しさも相まった今までの担当への興味の薄れ	
95	①	ちょっと前からFの曲提供曲ばかりになり出したんやんか、アーティストの。	提供曲ばかり	提供曲の多さ		これまでの楽曲との路線変更	
96	曾我	(シングルA)とか?					
97	①	そうそう。(シングルAの楽曲提供者)大好きで、え、(シングルAの楽曲提供者)提供したん?羨ましい!見たいな。あの曲はテレビ番組とか、それこそF単体やったら見んねんけど、集合の音楽番組あるやん、ジュニア何組も出るみたいな。あーうんのはやんどもを取つたら見ると、曲がすごく、見んねん。うん最近(シングルBの楽曲提供者)の提供曲?(シングルB)か、それも提供で、(シングルBの楽曲提供者)の提供曲?っていうバンドなんやけど、それもちょっと好きやっつたから、良いやんみたいな、曲めっちゃいいやんって感じとか。そう曲で、見てたかなあ。	(シングルAの楽曲提供者)大好きで、見んねん/集合の音楽番組/曲が好きで、見る/曲で	曲の提供元アーティストも好き/F単体やったら見ん/集合の音楽番組/本人ではなく曲への興味増加	本人と彼らが歌う曲の分離的な捉え方	今までの担当自身と、彼らの歌う曲を分離して見た時の、曲に対する興味の若干の復活	
98	曾我	今Fとか見直したりして、なんかモヤモヤしたりとかも全然ない?	もやもや	複雑な気持ちの発生			
99	①	全然ない。なんか最近頑張ってるやん、でも提供ばかりでFのアイデンティティどころ行って、Fさんやっぱかわいいな、とか言いながら見てる。	最近頑張ってるやん/Fのアイデンティティ	以前より頑張っている様子/Fのアイデンティティ/ジャンプらしさの曖昧性	Fらしいというアイデンティティ	今までの担当に対する複雑な気持ちの無い様子	
100	曾我	楽しそうや。					
101	①	そうゆるく、普通に1視聴者として見るぐらいい感じ。まあ大学の友達で降りるとか言いつつもF拒絶してる友達がおるのもあって、見たてこの前、みたくないなもできるから、ぐらいい感じ。	ゆるく/普通の1視聴者/見たてこの前	非Fとして/友達との話題作り/お茶の間の視聴者としての鑑賞	元担当の話題づくりとしての関わり方/ファンではなくた後の関わり方	友達との一つの話者としての視聴・閲覧	
102	曾我	じゃあ、テレビとかいろいろなを追いかけるといいうよりは、Jと一緒に出てたら見るみたいや?	Jと一緒に出てたら				
103	①	そうそう、ついでやな。能動的ではない、受動的、入ってるやん、みたくない、見たくないレベル。別に見んねんか、嫌な思い出が別にあるわけでもないから、普通に、前は好きやっつたけど、みたくない、感じ、別にJと一緒にやるとか気にしないうん、曲も今でもサバスクあるから、機かしい気持ちで聞いてます。	ついで/能動的ではない/受動的/嫌な思い出が別にあるわけでもない/前は好きやっつたけど/機かしい気持ち	ついでに見る/F鑑賞の非目的化/Fに対する気持ちの思ひ出化/機かしい嫌な気持ちの不在	熱心に応援していたころへの回顧/元担当の付随としての扱い方	今までの担当への熱量の思ひ出化	

104	曾我	なるほど。話展るんだけど、F担をなんか冷めた時期？台湾やるんや、ぐらゐの時期は、1番の原因としては、スタッフ側の対応みたいなのがあったってところかと思うんだけど、ファンマナーが悪いって言う噂があったアリーナやらんってなまあ台湾でやるんだった流れやっと思ったんやけど、なんかファンの人達の雰囲気とか自体がなんか合わないなって思ってたF担あ、って思った経験とかは、あんまりないって感じ？	雰囲気とか自体がなんか合わないな/F担なあ/あんまりない	ファンの雰囲気自体によるオタ活の影響		ファンマナーの非直接的な担降り原因化/独特なファン文化を面白がる姿勢	
105	①	ファンのマナーの原因でFの担当やめようかと思ってたこと？それは、ないかなそれはないかな、うん。なんか面白いと思って見てた。	それはないV面白いと思って見てた	羨だと思う人も面白い感覚/			
106	曾我	アリーナやれへんやみたいな、悲しいみたいな、原因であるかになっていところで、ファンのマナーとかがあるかかって感じ？					
107	①	そうそう。そういうのがあるって、こういうことにも繋がらんやって、なんか色々思い出しただけにそうやみたいな。たしかにやっぱりほかのグループより悪い気がするとか気になってきて。言われたら気になるみたい。	こういうことにも繋がらんや/確かにそうやな/他のグループより/言われたら気になる	ファンマナーの悪影響/ファンマナーの悪さに対する納得感/指摘されてから気づくファンに対する悪意/言われてから気になる	公式に言語化されたというきっかけ/「全体としてマナーが悪いかも」という悪意の出現	公式に言語化されたことで生じた、ファンマナーの悪さに対する悪意	
108	①	いままではそのファンの中に、自分は確かにマナーを付けてるけど、そのファンの中に居るわけよ、自分も。でもなんかそのアソビできんって話が出た時に、1歩引いてみた時に、やっぱりマナー悪いんちゃうってなって。感じたというか、その時きっかけて。もって絶対ちゃんとしてるグループあるやんと思ってる、いのは俯瞰した時に、やっぱり、そこ一緒に見られたいって言うのは。	確かにマナーを付けて/ファンの中に居るわけよ、自分も/1歩引いてみた/もって絶対ちゃんとしてるグループある/俯瞰した/そこ一緒に見られたくない	自身のマナー意識と他のファンの区別/視点の俯瞰化/視点の客観化1人のF担としての自分/他グループとの比較/マナーの悪いF担としての見られ方/第3者から見た時のF担/F担という悪いレッテル	第3者から見るときの見られ方に対する悪意/F担という全体的で見られ/全体のファンマナーの自分事化	客観的視点を得るきっかけの取得による、全体のファンマナーの自分事化/全体的なファンマナーの自分事化	
109	曾我	そうなってちょっと気づきだしたというか、なんか勘付き始めたみたいなの、感じ？					
110	①	そうやな。					
111	曾我	なんかF担の、あんな、とかって何も噂にはなってないですか？					
112	①	うん、今のところ特に。気になったことは、見た目が怖いお姉さんが多いけど、喋ったら面白そうないかからしても、Fのオタクって見た目は怖そう、みんな。どこ行ってもなんとなく怖いけど、マナーとか気にならないかな、今のところ。	見た目が怖いお姉さん/喋ったら面白そう/マナーとか気にならないかな	見た目は怖い人もいる/喋ったら面白そう/マナーに対しての違和感がない状態		新しい担当に対する違和感がない様子	
113	曾我	なるほど。じゃもうJって感じで。なるほど。					
114	①	あとなんか、F好きでして、なんか周りに言いつらかった。なんとなくやっぱりその、普通道にジャンプのほかにグループを応援している人もすたし、ジャンプ別に興味ない人からしても、Fのオタクってなんとなく印象悪いんちゃうかって思ってたから、その時、F好きですって大きい声では言いつらくなって。	周りに言いつらかった/なんとなく/なんとなく印象悪いんちゃうかな/大きい声では言いつらくなって	F担というブランド力の低下/F担と名乗ることの恥ずかしさ/F担に対する見られ方の悪化/恐れ/F担と名乗る躊躇い	「F担=マナー悪い」の共通認識化しているという認識/F担というブランド力低下/F担の悪印象による個人的な印象低下の回避	F担はマナーが悪いと思われているという恐れ/F担の悪印象による個人的な印象低下の回避	
115	曾我	アリーナツアー無くなったところへんから？					
116	①	その辺その辺。やっぱりFのファンってなんとなく言いつらいなあって。今やったらもう好きですとかJ好きですとか全然言いたい。男の人でも全然どっちも見れると思って。F男の人面白くなさそうみたいな。	全然言いたい/男の人でも全然どっちも見れる	F担と他のグループのファンそれぞれの名乗る時の比較/男の人でも見れる自信/誰にでもおすすめできる自信	様々な属性のファンがいるアイドルは他の人におすすめできる自信	ファンの多様性からくるファンとしての自信	
117	曾我	なるほど。					
番号	発言者	テキスト	<1>テキスト中の注目すべき箇所	<2>テキスト中の箇所の言い換え	<3>左を説明するようなテキスト外の概念	<4>テーマ・構成概念(前後や全体の文脈を考慮して)	<5>疑問・課題

担当への熱量が急激に減少したきっかけとして、Aさんは[毎年恒例のツアー情報の発表]を挙げ、[一部ファンによる過剰にモラルを逸脱する行動]についてある程度認識していたため、[アリーナツアー中止対応のある程度の妥当性と納得]はしていたが、海外でのライブ開催決定により、[文化の違いで担当側の対応に違いが出ることへの不満]や、[自身にとっての金銭的・時間的負担の可能範囲を逸脱するライブ開催に対する反発]を抱いた。これは、[学生における海外のライブ参加への非現実性]を考慮していない事による、[これまでのファンの応援に還元する姿勢の低さによる不満]で、[担当を含めた事務所全体に対して向けられる不満]であった。この不満により、[急激な熱量の減少]が起こっている、[ライブ詳細のあふやな配信]からも興味を薄れていることが見受けられる。

自担グループのファンについて、①さんは元々「マナーが悪そうな予感」を感じていた。この[自担グループのファンに対するイメージの形成過程]について、①さんは[ファン初期の情報収集によるファンのイメージ形成期間]に、[マナーの悪い一部のファンに対する衝撃]を受け、それにより[事前に形成されたイメージとの相乗作用により膨らんだ、SNSでの投稿内容に感じるインパクト]が大きくなったという過程があった。またその後のライブ参加時には、[これまで経験したライブとの比較]による、ファンの年齢層と雰囲気の違いを感じ、特に[周囲への配慮が足りないファン]の行動が印象に残っていたため、ファンマナーが悪い印象が形成された。

またライブにおいて、[担当グループの違いにより生じるファンカルチャーショック]が生じていた。
[独自のファン文化の発達]を実際に見て、[独自のファン文化に対する、大人数によるインパクト]を直接受けたことにより、[ファン文化の違いに対する衝撃と軽い拒絶]を感じていた。逆に、[からかい目的のファン文化の受け入れ]も起こっていた。

このようなファンカルチャーショックにより、[事前情報とライブ会場でのファンの様子の関連づけ]が行われ、独自の文化が発達した自担グループの[ファンに対するネガティブな印象の持続性]が強固なものとなった。またこれらのファンマナーや文化の違いについて、ライブ中止発表以前は[独特なファン文化を面白がる姿勢を持つ程度]だったが、中止発表後は[公式に言語化されたことで生じた、ファンマナーの悪さに対する悪意]を感じるようになっていた。これは、公式的なファンマナーの悪化に関する言及という、[客観的視点を得るきっかけの取得]による、全体のファンマナーの自分事化が行われた結果、[F担はマナーが悪いと思われているという恐れ]を感じ、[F担の悪印象による個人的な印象低下の回避]のような[同じファンとみなされたくない気持ち]が生じたことによるものである。

さらに、①さんは自身の担当グループのファンに対する「怖いイメージ」を持っていた。その理由の1つ目として、[同担拒否などから生じるファン同士の揉め事の頻発性]を目にしていたことがあり、特に[同担拒否の人の交流に対する恐れ]を感じていた。さらに、[自身の担当グループのファンの中でのオンリー担の存在]を目にしていたことから、[自担を悪くされることへの恐怖]、さらに実際に言葉になくても、[自担を悪くしているかもしれない先入観から感じる恐れ]を持っていた。また、これには[特定のアイドルのファンに対する先入観]も含まれていた。

反対に、これまでのファンダムについては、[多様なファンの存在による居心地の良さ]を感じており、[ファンの多様性からくるファンとしての自信]も生じていた。

中止されたライブの後、初めての形式のパフォーマンス観覧を[ライブ参加時のモチベーション]とし、[ライブ参加による担当への熱量増加の期待]をかけたライブに参加していた。[コーナーに対する批判的視線]を持ちながらも楽しく参加したが、[熱量低下によるライブへの執着の薄れ]はそのまま、ライブ前後の[曖昧な時系列把握]も起こっていた。

そして、新しい担当に出会ってからは、[新しい担当出現]による、元の担当の熱量減退の感知がなされた。[新旧での熱量の決定的差異]を伺うと、[新規ファンの魅力]として、[これまで知らなかった新しい担当の魅力]を知り、それと同時に[担当の系統と担当ファンの熱量に差異]があり、特に[デビュー間際の精力的な活動によるエネルギー]、「これまでと比較した新しい担当の熱量の充足に感化されたファンとしての熱量増加」が起こっていた。これはつまり、新しい担当に[ファン]の応援に対する、新しい担当の勢いや期待感の高さによる還元の高さがあり、逆に言えば今までの担当には[新しい担当と比較した、今までの担当のファンに対するぞんざいさの表れ]を感じたため、ファンとしても勢いに答えるだけの応援をする責任感を感じるようになっていた。

これを思い出した時の衝撃「[出会った時に感じていた「ハマる予兆」]として感じていた①さんは、結果的に[時間・労力を顧みない行動力]が生まれ、本格的な担当の移行に移った。担当の移行期には[広(熱量を注ぐことによる)衝撃が生じたため、[推す範囲のある程度の狭小化]を行っていた。[私生活の忙しさも重なった]今までの担当への興味も並行して生じていた。そして担降り時には、元の担当に対して[新しい担当との出会いによる元の担当への諦め]のような気持ちが生じていた。

また、現在の新しい担当に完全移行してから、[新しい担当のファンダムでのSNS等の数字指標の重要性]を感じていたため、[Twitterの開始]が起こった。[新しい担当に対する違和感がない様子]が語られている。

ただ、最近今までの担当に対して、[これまでの楽曲との路線変更]を感じていた。その影響で、[今までの担当自身と、彼らの楽曲を分離して捉えた時の、曲に対する興味の若干の復活]が生じている。その他にも、[今までの担当に対する複雑な気持ちの無い様子]が語られており、今や今までの担当の出演作品は[友達との一つの話題としての視聴・閲覧]を行ったりする中で、[今までの担当への熱量の思い出し]も起こっていた。

このようにファンマナーと担降りとの関係性について、[ファンマナーの非直接的な担降り原因化]が起こっていた。

<p>議論記述</p>	<p>(1)一部ファンによる過剰にモラルを逸脱する行動によるツアー中止を受け、[アリーナツアー中止対応のある程度の妥当性と納得]はするが、その後の海外でのライブ開催決定を発表すると、[文化の違いで担当側の対応に違いが出ることへの不満]や[自身にとっての金銭的・時間的負担の可能範囲を逸脱するライブ開催に対する反発]を抱く。 (2)学生における海外のライブ参加への非現実性を考慮しないことによる[これまでのファンの応援に還元する姿勢の低さによる不満]は、[担当を含めた事務所全体に向けられる不満]であり、これによりライブ詳細のあやふやな記憶に見られるような急激な熱量の減少が起る。 (3)ライブ初期の情報収集によるファンのイメージ形成期間に、[マネーの悪い一部のファンに対する衝撃]を受け、それにより[事前に形成されたイメージとの相乗作用により膨らんだ、SNSでの投稿内容に感じるインパクト]が大きくなるという[自担グループのファンに対するイメージの形成過程]を経る。 (4)ライブの参加時には、[周囲への配慮が足りないファン]の行動などを目にする中で、[これまで経験したライブとの比較による、ファンの年齢層と雰囲気の違い]を感じることもある。 (5)独自のファン文化の発達を実際に見ることで、[独自のファン文化に対する、大人数によるインパクト]を直接受けることとなり、これまでの[からかい目的のファン文化の受け入れ]を比較してしまうことで、[ファン文化の違いに対する衝撃と軽い拒絶]を感じるような、[担当グループの違いにより生じるファンカルチャーショック]が起こることがある。 (6)ライブ会場では、[事前情報とライブ会場でのファンの様子の関連づけ]が行われることで、[ファンに対するネガティブな印象の持続性]が強いものとなる。 (7)ライブ中止発表の前後を比較して、[独特なファン文化を面白がる姿勢]は、[公式に言語化されたことで生じた、ファンマネーの悪さに対する懸念]へと変化する。 (8)公式的なファンマネーの悪さへの言及は、[客観的視点を得るきっかけの取得による、全体のファンマネーの自分事化]を促進した結果、[F担当はマネーが悪いと思われるという恐れ]を生じさせ、[F担当の悪印象による個人的な印象低下の回避]のような[同じファンとみなされない]気持ちを起す。 (9)自担拒否などから生じるファン同士の揉め事の頻発性を目にするのは、[自担拒否の人の交流に対する恐れ]を生じさせ、[自身の担当グループのファンの中でオンリー担当の存在]を目にしていたことから、[自担を悪く言われることへの恐怖]や[自担を悪く思っているかもしれない先入観から感じる恐れ]を生じさせるので、結果として[自身の担当グループのファンに対する怖いイメージ]や[特定のアイドルのファンに対する先入観]をもつに至る。 (10)多様なファンの存在による居心地の良さには、[ファンの多様性からくるファンとしての自信]を生じさせる。 (11)熱量低下後も初めの形式のパフォーマンス観覧が[ライブ参加時のモチベーション]となり、[ライブ参加による担当への熱量増加の期待]をかけたライブに参加することがある。 (12)熱量低下後のライブ参加では、[コートナーに対する批判的視線]を持ちながらも楽しく参加できるが、[熱量低下による大部への執着の薄れ]は回復しない。 (13)新規ファンの魅力は、[担当の系統と担当ファンの熱量に差異]があることにより、[これまで知らなかった新しい担当の魅力]を知ることになる。 (14)新しい担当出現による、元の担当の熱量激減の感知がされる際、[デビュー間際の精力的な活動によるエネルギー]や[これまでと比較した新しい担当の熱量の充溢に感化されたファンとしての熱量増加]が起る。 (15)新しい担当の[デビュー間際の精力的な活動によるエネルギー]は、[ファンの応援に対する、新しい担当の勢いや期待感の高さによる還元]の多さであり、逆に言うと[新しい担当と比較した、今までの担当のファンに対するぞんざいさの表れ]であるとも言えるため、ファンとして新しい担当に対してのみ[勢いに答えるだけの応援をする責任感]を生じさせる。 (16)出会った時の衝撃：[出会った時に感じていた「ハマる予兆」]を感じると、[時間・労力を顧みない行動力]が生まれる。 (17)担当の数が増えて移行期が続くと、[広く熱量を注ぐことによる疲弊]が生じ、[私生活の忙しさも相まった今までの担当への興味]の薄れに促進されながら、[推す範囲のある程度の狭小化]を行う。 (18)担当降り時には[新しい担当との出会い]による元の担当への諦めが生じる。 (19)新しい担当のファンダムでのSNS等の数字指標の重要性を感じると[Twitterの開始]が行われる。 (20)元の担当に対しては、[これまでの楽曲との路線変更]を感じると、[今までの担当自身と、彼らの歌う曲を分離して捉えた時の、曲に対する興味]の若干の復活が生じることがある。 (21)元の担当に対しては、[今までの担当に対する複雑な気持ち]が無く[様子]であれば、[友達との一つの話題としての視聴・閲覧]が行われたりする中で[今までの担当への熱量の思い出し]が起る。 (22)ファンマネーの非直接的な拒絶原因化が起る。</p>
<p>さらに追究すべき点・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲のファンの意見はどうだったか、周囲のファンの意見に影響された意見なのか。 ・実際日本から参加したファンはどれくらいいたのか ・具体的な事例はあるか ・他のタレントを悪くいうイメージは何が原因だったのか ・「地雷系」という言葉をどのような文脈で使っていたか(ファッションについてか、性格的な部分についてか) ・地雷系の投稿とは具体的にどのような内容だったのか ・コミュニティ内の多様性と居心地の良さ(コミュニティ内の年齢層の広がりや居心地の良さ)の関係性について述べた論文がないか調べる ・勢いとは? ・還元率が高いと感じる要因とは? ・慣れしまった感じはどのようなところで感じたか ・どのような要素で男の人でもおすすめでいい/できないが決まるのか

SCAT(Steps for Coding and Theorization)を使った質的データ分析

2019.3.26

SCAT WEB site からのダウンロードフォーム scatform1.xls
<http://www.educ.nagoya-u.ac.jp/~otani/scat/scatform1.xls>

21	②	でもやっぱり、舞台とかコンサートにしても、パフォーマンスのクオリティが明らかに下がってるんで。やっぱり元々のダンスとかアクトバットが好きだった人は、やっぱり無理になって、その、受け入れようって頑張ってる人と、やっぱり無理っていう人たちが、結構喧嘩になったりとか。	パフォーマンスのクオリティ/ダンスとかアクトバットが好き/やっぱり無理/受け入れようって頑張ってる人/やっぱり無理/結構喧嘩	パフォーマンスのクオリティ低下/パフォーマンス重視のファンへの援護熱意の低下/新体制の受け入れ拒否感の増幅/新体制許容の姿勢をもつ努力/新体制受入の断念/意見の対立による喧嘩/ファン同士の揉め事の増加	ファンによる担当の重視ポイントの違い/パフォーマンスの質のファンである条件化/新体制受入の試行錯誤/新体制受け入れという強迫観念	新体制でのパフォーマンス力低下による担降り目録/新体制受入の容認に対する強迫観念	
22	②	メンバーが前を向いてるんだから、私たちが前を向かないとみたくない。もう人にもいいから受け入れようかみたいな人とかだんだん出てきて、そこでさらに喧嘩になったりとか。結局6人から9人になった本当の理由がみたくないのは、雑誌とかテレビとかで言うことが結構二転三転してる？メンバーによって言うことが違ったり。結局理由はわからずじまい。はっきりとはわかってなくて、その中でまあでも9人で頑張ってるから、受け入れなきゃいけないよって思いついて始めた人。	メンバーが前を向いている/前を向かないと/戻らないんだよ/さらに喧嘩/本当の理由/二転三転/言ってることが違ったり/わからずじまい/受け入れなきゃいけないよ	ファンによる新体制受け入れの説得/ファンによる新体制の肯定に対する強制的発言/メンバーと同じ方向を向くべきという強制/理由の不透明さ/新体制受け入れに対する強迫観念	メンバーとファンが同じ方向を向くべきという考え/他のファンによる説得/新体制の理由の不透明さによる不信感の増幅/受け入れに対する強迫観念	担当とファンが同じ方向を向くべきという考えとその説得	
23	②	だんだんみんな、毎日怒るとだんだん疲れてくるの。もうそろそろ、単推しでもいいから受け入れようかみたいな人とか、もうそろそろもういいかな、みたいな感じで降台始める人と、5月ぐらいの、GWすぎないかな、5月ぐらいにこの舞台が終わったので、確か。そこで、結構一回ちょっともうありますみたいなので、ばつと人がいなくなったりとかっていうのもあります。	毎日怒ってる/だんだん疲れてくる/単推しでもいいから/降り始める人/舞台が終わった/一回ちょっともうあります/ばつと人がいなくな	連日続く喧嘩/新体制に関する騒動での疲弊/怒り疲れ/単推しという妥協/疲弊による担降りの決断/舞台の終了という担降りタイミング	連日続く喧嘩での疲弊による妥協した決断/決定していた舞台の終了という区切り	連日続くファン同士の喧嘩による疲弊と担降りの決意	
24	曾我	ちなみにその、②さん自体が降りたのも、その辺りですかね？					
25	②	そうです。私は、2月の京都の舞台と、4月の東京の舞台を見ていて、でその4月に初め9人で踊るとどこかを初めて見てて、それでもういいなって思って、妹と一緒に私ずっと追ってたんですけど、その舞台の日に降りました。2人で	4月/初めで9人で踊るとどこか/いいな/妹と一緒に/舞台の日に降りました/2人で	9人のパフォーマンス観覧という担降りタイミング/妹と共に担降り		新体制での舞台観劇を一つのタイミングとした担降り	
26	曾我	そうなんです、2人一緒になって感じて。					
27	②	そうです。降りようっていうか、なんかもう良いよなみたいな。	降りよう/もう良いよ	諦め		担当に対する諦め	
28	曾我	担降りしようと思ってる担降りした感じなんですかね、それとも、気づいたら担降りした、っていうか興味ない感じにのた、担降りするぞって感じだったのか。					
29	②	もともと2月の舞台も2人一緒に行ってる。その時は結構まだ全然受け入れられなくて、なんで増えちゃったのかみたいな感じで、でもちよとまだ、ずっと応援してたから、すがりたみたいな気持ちがあったんですけど、で2月の舞台は、結構不完全燃焼っていうか、やっぱりこう、語りとか今まで好きだった頃の10はもういなくなってる。そこで、もう、気持ちいいなっていうか、そのまま続けるっていうのは、ちよと難しいよなっていう話をしています。	全然受け入れられなくて/何で増えちゃったのか/ずっと応援してた/すがりた/不完全燃焼/今まで好きだった頃の10はもういなくな/気持ちいいなって/そのまま続ける/難しいよ	新体制発表直後の拒否感/新体制への疑問/これまでへの応援による裏付け/納得いかない様子/しみて感覚/好きだった頃の形の変化の受け入れ/熱量の低下/ファン存続不可能/ファン存続の難しさ/これまでの10の消滅	長いファン歴による新体制に対する拒絶/理想の担当像を信じたいという希望/舞台観覧での理想でない担当の存在の認識/未完全な新体制に対する僅かな望み	長いファン歴による新体制の拒絶感と理想の担当像に対する微かな期待/ファン存続が厳しいほどの熱量の低下	・不完全燃焼になった要因は何か
30	②	で、4月の舞台を見たときに、やっぱりその気持ちももう変わらなかったんで、担降りするぞ！っていうよりは、もうちょっと、気持ちはないっていいか。増員した時から、多分増員した時から、段々気持ちは下がってきて、でも4月の舞台で自分の目で見ると、これはもうたぶん自分が応援していても楽しくないって思ってる。結構もうすがりたみたいな、悲しいみたいな気持ちも、正直私はもうあんまりなくて、諦めというか、もういいや、みたいな。	やっぱりその気持ち/変わらなかった/気持ちはないっていいか/多分増員した時/だんだん気持ちは下がってきた/自分の目で見ると/自分が応援していても楽しくないって思ってる/結構もうすがりたみたいな/悲しいみたいな気持ち/正直私はもうあんまりなくて/諦め/もういいや	熱量の減少からの復活不可能性自覚/熱量の変化がない様子/熱量の減少と現状の形から変化しないことへの目撃/新体制のの直面/楽しい/新体制に対する悲しみの消滅/諦め/無関心/興味減少	理想状態でないことへの受け入れ/諦め/無関心化	熱量の減少からの復活不可能性の認識と担当への諦め・無関心化	
31	曾我	ちよと望みかけたところもあったけど、それもないって冷めたっていうか。					
32	②	冷めた、が一番近いですかね。9人のことが多分好き、な人もたぶんいるだろうと思って。たけど私は9人がいって思えたことが一度もなかったんで、多分この光もこの気持ちは多分変わらない。で、私のグループも箱推ししたんで、メンバーの中に苦手な人がいるっていう状態がちよと耐えられなかったの。なんであの1人でもメンバーの中でちよと好きじゃないみたいな。そういう状態が結構ストレスなので。メンバーの中に苦手な人が3人ももっているのが、もうちよと無理っていうか。6人のことを諦めるくらいちよと無理だったっていうか、もう無理、無理だなんていう感じですね。	冷めた/多分いるだろう/9人がいい/一度もなかった/多分変わらない/箱推し/苦手な人がいる/耐えられなかった/1人でも/ちよと好きじゃない/結構ストレス/3人ももっている/もうちよと無理/6人のことを諦めるくらい	熱量の減少/新体制の1が好き好きな人の存在容認/新体制の良さに対する理解不能/グループ全体が好き/増員メンバーに対する苦手意識/全体が好きになれる状況の耐え難さ/苦手な人の存在によるストレス/新体制に対する拒絶感を抱えない/旧体制からのメンバーに対する思いの詰り容認/受入困難さ	体制変更への理解不能/グループ全体を押し続けられない苦痛/旧体制からのメンバーに対する思いと新体制からのメンバーに対する苦痛の比較	新体制への理解不能と増員メンバーへの苦手意識による担当の切り捨て/担当グループ全体を好きになれる苦痛	・箱推しをやめるといって選抜はなかったのか
33	曾我	なるほど。私も箱推しだったので、すぐわかるなと言うか。					
34	曾我	例えばその結構周りの担さんとかがざわざわしてきて、ちよと疲れてきた方とか、降り出す方とか、あきらめて9人で6人を応援し続けるとか、いろんな形で変化していきつつあるところを、例えば見なかったとして、そのファンの状況とか、ざわざわしてるとかを全然知らなかったとしても、同じように担降りしていると思いませんか。					
35	②	増員したら担降りしたと思う。					
36	曾我	あー、もう関係なく、担降りしてはたっている。					
37	②	Twitterを借りたやでなかったとしても、うん。増えていたなら、今のメンバーで3人増えてたんだしたら、私は多分降りたと思います。	今のメンバーで3人増えてた/多分降りた	新体制という明確な担降り原因		新体制という明確な担降り原因	
38	曾我	…しんどいですよね。聞いているだけで、すごい想像できちゃうので。担降りしてからとか見えましたか？					
39	②	普通に見るようになったのは、どれくらいだろう。しばらくは6人の時の映像が見なくて、自分で録画した少クラの映像とかも、結構封印すると思う。デビューしてからは、9人でテレビに出ることもすごい増えたので、だから、デビューしてから、1人でデビューしたのが2020年とかですね、2020年の1月かな？と思うので、そこからもうCDデビューし始めて、9人で出ているのは、何かもうまったく興味がないっていう状態であるの。それは普通に見えました。	普通に見るように/しばらくは6人の時の映像が見なくて/封印すると思う/デビューしてからは/9人でテレビに出ることもすごい増えた/まったく興味がない/普通に見えました	新体制変化後の、過去の映像閲覧に対する拒否反応/新体制は別グループという認識の変化/新体制の映像閲覧の可能	旧体制と新体制の完全分離認識/理想状態が見えないことに対する過去の映像のトリガー化	新旧各体制の認識の完全分離/理想状態である過去の映像に対する拒否反応	
40	曾我	そうなんです。もう結構分けて、それまでとはもう分けて考えてみたいな感じですか？	それまでとはもう分けて				
41	②	そうですね。					
42	曾我	ちよとまた話を戻ってしまうんですけど、結構バチバチして、Twitterとかでバチバチしたあととくりに、若い子がすごく増えたみたいなことをおっしゃってたかと思うんですけど、その印象に残ってる、こういう子もいるんだなみたいな、悪口に噛み付いたりとか、結構受け入れすぎちゃうツイートとか、オフラインでももちろんいいんですけど、そういうことって覚えてるものとか印象に残っているものがありますか。					
43	②	私のイメージ、個人的なイメージがあるんですけど、若い方は、プロフィールに、03lineとか、わかるやないですか、いくつか。もう書いてあるから、そういうのが。	若い方/03line/わかる/そういうのが	Twitterでの年齢表明	Twitter特有の年齢表記方法	Twitter特有の年齢表記	
44	②	結構、たとえば、2人も、若い女の子たちが、2の悪口を言っている人たちにに対して、すごいわかって、なんでそんなことを言うんだろ、ひどい、みたいな。暴れて、なんかすごい、なんともくわかんないって言うか。そういうファンって結構、どのグループにもいるイメージじゃないか。若い方はやっぱりそういう風になっちゃうよって言うか、こっちはなんともなく、何かわかるわかるみたいな感じで、もうスルーできるんですけど。	若い女の子たち/わかって/何でそんなこと/ひどい/暴れて/なんともくわかんない/どのグループにもいるイメージ/若い方はやっぱりそういう風になっちゃうよって言うか/こっちはなんともなく、何かわかるわかるみたいな感じで、もうスルーできる	年齢の低いファンにありがちな反応/自らの悪口に対しての行動/悪口に対する過剰な拒否反応/悪口に対して暴れるファンに対する許容/若いファンに対する飲み込み	若さゆえの行動・感情の譲歩/ジャニーズファン全体を見た時の普遍性/想定範囲内でのファンの雰囲気の変化	若者が示す悪口に対する過剰な拒否反応に対する許容/ジャニーズファン全体に見られる若者の過剰な反応	
45	②	私は結構印象に残っているのは、大人？40代とか50代とか、だけどずっとジャニオタやってますみたいな。そういうのがプロフィールに書いてあって、例えばPからすると、Pを20年くらい応援してますとか、そういう実績、ジャニオタをやっているけど、でもTwitterとかそういうのはやってなかったのかなーみたいな。SNSの中のファンの人たちの姿は見えてなかったのかーみたいな、人たちが結構。	大人/ずっとジャニオタやってます/20年くらい応援してます/実績/Twitterとか/やってこなかったのかなー/SNSの中のファン/見えてなかったのかなー	年齢の高いファンの行動に対する違和感/ジャニオタ歴の誇示/SNS文化に対する免疫の低下/SNSの習慣に対する無知	年齢の高い人に対する行動評価の厳しさ/ジャニオタ歴と様々な発言の不一致	年齢の高いファンのジャニオタ歴の長さやSNSの習慣に対する無知による厳しい行動評価	

46	②	もうってエゴサすることをすい、言ってるんですね。昔あんまり言ってこなかったんですけど、デビューしてからすい言ってるっぽくて。メンバーがエゴサで気づいたら、名前を入れたりとか、1つというワードを入れてエゴサを言わなくてだいたいリプライしてる人を結構みかけて、いわゆる悪垢垢とか、ただだいたいリプライしてる人みたいな、そういうアカウントに対して、すい真面目にいうかそういうとくに片っ端から、そういうのやめてくださいみたいな言ってる人は、結構私は印象的。	エゴサする/デビューしてから/言ってるっぽくて/気づいたら/名前を入れたり/悪垢を言わなくて/だいたいリプライ/いわゆる悪垢垢/悪垢を垂れ流してる/すい真面目に/片っ端から/そういうのやめてください/印象的	担当本人による検索/エゴサーチの表明/悪垢をやめさせるツイート/本人閲覧を防ぐための悪垢の規制活動/悪垢垢に対する悪垢規制/幅広い範囲に対する活動/印象的	悪垢は本人に見られてはいいくないという考え/ファン活動における悪垢をいうことへの否定/悪垢の規制行動の行動範囲の広さ/悪垢垢の存在とその正当化	ファン活動における悪垢垢存在の正当性/本人閲覧の防ぎのための活発な悪垢規制活動	
47	②	ただ自分でも好きなように推していいのに、たぶんそういう悪垢を言う人とか、がすい言ってるのか、あははたぶんメンバーが可哀想っていうか、よくメンバーがかわいそうみたいなこと書いてたんですけど、メンバーがエゴサしたとき悪垢を見つけたら、頑張って人に対してそういうこと言わなくてくださいみたいな、言ってるのが。	好きなように/悪垢を言う人/気になって/メンバーが可哀想/見つけちゃう/頑張って人に対して/言わなくて	応援の仕方/自由/他人の応援に対する不関与/悪垢に対する過激な反応/メンバーが閲覧することや状態の回避/頑張って人に対する悪垢の規制	応援の仕方の多様性を受け入れる姿勢の欠如/本人が悪垢を目にすると思しむという前提/	応援の仕方の多様性と他人の応援に対する不関与の姿勢が欠如しているファンに対する違和感	・どのような内容が「悪垢」として認定されていたか
48	②	メンバーのお母さん世代とか、そういう人たちがすい、悪垢垢とかにすい喧嘩売ってるのを見ると、絶対解決しないっていうか、その喧嘩で全然意味がないのになって、私ははじめて見ながら思ってた。ほっときやいひになって。	お母さん世代/すい喧嘩売ってる/絶対解決しない意味がない/見ながら思ってた/ほっときやいひ	メンバーの親世代/悪垢に対する臨戦体制/喧嘩売らな/絶対に解決しない手法/喧嘩を売ることに対する否定/喧嘩を売ること無意味さ/無関心でいるべきという姿勢	悪垢規制の行動の成果に対する疑問/高年齢層に対する身の程を弁えた行動をしないことへの呆れ	高年齢層の過剰な悪垢規制活動に対する無意味さや呆れ	
49	②	そういうで暴れてる人が、またさらされたりかしてて。この人すごい人なんかに喧嘩売ってるよみたいな感じで、そのアカウントがまた晒されたりかしてて、それはすいデビューしてからかな。こういうファンの人が増えたんだっていうの、結構覚えてます。	暴れてる人/さらされたりか/喧嘩売ってるよ/アカウントがデビューしてから/こういうファン/増えたんだあ	喧嘩を売ってるファンに対する晒し行為/ファン/同士の晒し行為の横行/デビューしてからファン同士の変化/晒し行為の増加	過剰な行動の連鎖的な拡大と重大化	連鎖的な晒し行為の拡散による過剰な行動の急速な拡大	
50	曾我	その頃は、デビューしてからすいことは拒絶してからのみたいな感じですかね？					
51	②	そうですね。					
52	曾我	やっぱり見ちゃいますか、そのTwitterの動向とか、どう感じるのがあるんだらうっていうのは、結構今でも見えますか？	Twitterの動向/今でも見えますか	Twitterにおける担の動向確認		拒絶後のTwitterにおけるファン動向確認	
53	②	見えます。					
54	曾我	そうなんです。これは、見たくなっちゃうものなんですかね？					
55	②	単純に今、全然今は興味がないの。今はどういうファンがいるのかなどとか、変な話いも炎上してるイメージがあるんで、最近は何で炎上してるのかなどか、どうい人が最近目立っているのかなみたいな感じで。	どういファンがいるのかなど/いも炎上してるイメージ/どうい人/目立っているかな	担の動向/炎上に対する興味/近況に対する興味	拒絶後のファンダムに対する視点の俯瞰化/一種のエンタメ的なコンテンツ化	俯瞰的な視点からのファン活動に対する関心	
56	②	しファンでも、とかとかと掛け持ちしてるとかが居るので、そういう人のタイムラインとか見ると、1の話とかもしてるんで、そういうことでまた炎上してるらしいよとか、こういうファンの人がいってみたいなのを聞いてるのを見ると、ちょっと気になって見ちゃいますね。	掛け持ちして人/タイムライン/また炎上してるらしいよ/こういうファンの人がいって/ちょっと気になって	他グループのファンによるの掛け持ち/担情報共有/担情報受容による興味	自然と担の状況が入ってくる環境	自然と担の状況が入ってくる環境	
57	曾我	そうなんです。ありがとうございます。アンケートを読んで、ファンの変化とかファン層の変化とかも、周りに受けているのかなあと思ってる、結構聞いたりもあってんですけど、実際はそんなにならなくて感じますか？感情的に、ファンが変化しているのよりも、もう側のファン層の形が拒絶して感じますか？	ファンの人の変化/ファン層の変化/実際はそんなにならなくて/感情的に	拒絶とファン層の変化の因果性		拒絶とファン層の変化の因果性を明らかにする質問	
58	②	一番は増員ですかね。やっぱり増員があったって、私はその増員する前からTwitterで張り付くようになって、それで、いろんな人のパチパチを見てより疲れてしまったっていうのはありますね。	一番は増員/増員してから/Twitterに張り付くようになって/ちやちや/パチパチ/疲れてしまった	新体制の圧倒的原因/新体制への変化によるTwitterへの執着/Twitter閲覧時間の増加/騒動の閲覧による疲弊	新体制発表に対する自分自身の葛藤と、その後のファンダムでの騒動による疲弊による葛藤悪化	新体制発表に対する自分自身の葛藤と、その後のファンダムでの騒動による疲弊	
59	②	もともと担さんの人たちが、若い人があんまりいなかったとか、結構地味というか、落ち着いた人が多かったんで、そういうのも増員した時に結構変わった。昔のファン層の雰囲気も結構好きだったんで、SNSの雰囲気を見た時に、多分メンバーも変わってきちゃうし、多分これからファン層の雰囲気とかも変わってきちゃうんじゃないかなっていうのは、その増員した時のパチパチで結構分かってたっていうか。	もともと担/若い人/いなかった/地味/落ち着いた人/結構変わった/ちやちや/昔のファン層の雰囲気/好きだった/SNSの雰囲気/結構変わった	旧体制時のファン層の落ち着き/旧体制でのファンとしての居心地のよさ/昔のファンに対する愛着/体制変化によるファン層の変化/今後のファン層の急激な変化に対する懸念/新体制決定直後の騒動での今後のファン層変化の恐れ	新体制でのファンダム悪化による、旧体制への回顧/1の地味な定着と進歩と、ファン層の穏やかな応援/新体制発表時のファン層の急激な変化による、今後のファン層変化の予測と懸念/SNSによるファンダムの雰囲気察知	旧体制時のファン層の落ち着きと居心地の良さからの大幅な変化/ファン層の変化による今後の雰囲気悪化の懸念	・他の担にとっても以前は落ち着いた雰囲気という認識があったのか
60	②	結構ごっそりみんな降りちゃったので、その降りちゃった人たちの分は絶対新しい人たちが、この増員を知らない人たちに、増員がゴトゴトを知らない人たちが、きつとこれから入ってくるだろうから、そしたらもう変わってっちゃうだろうなと思ってる。だから続けられないって思ったの1つはあるかなって。	ごっそりみんな降りちゃった/新しい人たちが/増員を知らない人たちが/入ってくる/変わってっちゃうだろうな/続けられない	旧体制からのファン層の激減/新体制のみのファン層の増加懸念/居心地の良かったファンダムの縮小/促進/ファンダム変化に対する嫌悪感/ファンとしての持続不可能性	新体制発表時の騒動がゆくゆく忘れられるであろうという予測/この騒動に頭を悩ませる虚しさ	居心地の良かったファンダムの縮小/旧体制時のファン層の苦痛が薄れていく懸念と虚しさ	
61	曾我	そうですね。結構わかる場所がある。逆に私はそのおとといEのライブ行って来たんですけど、E拒絶されるのって、割とファン層がそんなに変わらないむしろ落ち着いてきたからっていうのがあるんですけど。すごくなんかその気持ちはイメージがつくというか。					
62	曾我	そのファン層の雰囲気も、ちょっと落ち着いた人が多いうのは、結構Twitterとかの発言とか、ライブ/コンサートの雰囲気とかっていう感じですか。					
63	②	そうですね。現場、私はちょっと舞台が多かったんで。あんまりみなくて騒いでる感じは、あまり見たことがなかったんですけど。割とすい派手な人とかも、そんなにないし。	騒いでる感じ/見たことがなかった/そんなにない	ファン層の派手でない様子			
64	②	聞いた中では、事務所にあんまり推されてないけど、6人って頑張ってるよねみたいな、ファン同士は、結構6人のこういうところが好きとか、こういうところはいいと思う、みたいなのが、結構みんな共通認識みたいな感じで、分かってあえてっていうか、YouTubeのコメントとか見ても、好きって思うポイントが結構みんな同じだったんで、極端にすい、変なファンがいるとかっていうのがなかったって、穏やかだなあと思ってました。	みんなすい好きだった/気持ち強すぎて/同じ気持ちで応援してた/バラバラになって/相互フォロー/繋がっていた	事務所からの支援の少なさ/メンバーの努力に対する賞賛/担当の好きなポイントの共通/メンバーに対する解釈の、ファン全体で一致/ファン層の穏やかさ/騒動が少な	優遇されていない状況により強くなるファンダム	ファンダム全体での共通により形成される団結感/居心地のよさの形成	
65	曾我	現場で派手じゃないかと思ったら、服装とか格好が、みたいな感じですかね？					
66	②	そうですね。あとはまあ雰囲気っていう、極端にすい騒いでる人とか、駅とかで見て、あれ絶対担とかってわかる人がそんなにいなかったんで。	雰囲気/すい騒いでる人/絶対担/そんなにいなかった	ライブ会場周辺での行動の控えめさ/地味さ/目立たなさ		ライブ会場周辺での地味さ	
67	曾我	そうですね、それめっちゃいいですね。それが、結構そのTwitterとかでも、そもそもその好きな人が結構分かれてるっていう状態から入って思うんですけど、いわゆる解釈の不一致だなんて思うところが、Twitterとかでも増えてきたみたいな、変化があったっていう感じですかね。					
68	②	そうですね、多分もともと、みんなすい好きだったっていうのがあるんで、みんな気持ちが強すぎて、だんだんその、私は受け入れる、私は受け入れないみたいな感じの時、もともとみんな同じ気持ちで応援してたんですけど、だんだんみんなバラバラになっていて、気持ちで、でも元々みんな相互フォローとか繋がっていたんで。	みんなすい好きだった/気持ち強すぎて/同じ気持ちで応援してた/バラバラになって/相互フォロー/繋がっていた	iiに対する愛情の強さ/同じ思いを持っていたファン層の方向性の違い/ファン層の離別化/以前のファン層の一体感/ファン同士がバラバラになっていった様子	強い愛情により形成されていたファンダムの団結/新体制形成による強い愛情と意志の分裂/対立	担当への強い愛情によるファンダムの団結と、意見分裂時のファン層の離別化と対立の強さ	
69	②	たくさんフォロワーがいた人とかは、受け入れるって言うとか、すいみんなに叩かれてたんで、結局受け入れるのが悪みたいなのが、あった時期もあったんで、6人のことが好きだったんじゃないですか、みたいな。もともと6人だったし6人がみんなすい好きだったから。	フォロワーがいた/受け入れる/みんなに叩かれてた/受け入れるのが悪/6人のことが好きだった/6人がみんなすい好きだった	フォロワーの多さと意見主張時の反発の比例/新体制受入は悪/新体制を受け入れるかの意見表明/旧体制の応援する気持ちの正当性主張	意見の主張と反発/意見の分裂の根源としての旧体制への強い愛情		
70	②	そういうのとかで、もともと穏やかな人だったはずなんですけど、だんだん攻撃的な言葉が増えるようになってきたりとか、突然フォローを外されたりとか、そういうのとかがあって、結構みんな、たかが増員ニュースのファンの中の世界なのに、結構人間関係が社経っていうか。	穏やかな人だったはず/攻撃的な言葉/フォローを外されたり/たかが増員/ニュースのファンの中の世界/人間関係が社経	穏やかだったファン層の攻撃性増加/攻撃的な言葉の増加/関係性の悪化/たかがファン同士の世界	強い愛情故の攻撃性増加/ファン同士の世界に対する熱量の巨大さ	穏やかだったファンダムの、攻撃的なファンダムへの変化	

71	曾我	けっこう今までの程やかな雰囲気から、かなり変化があったんですね、その増員をきっかけに。					
72	②	結構日に日にそういう雰囲気が大きくなってきて、ちょっと怖かったというか、すごい、趣味の世界というか、アイドルのファンというだけの世界で、ここまで、人間の本性が見えるっていうか、結構まああったことある人も何人かいたんで、この人ってこういうこと言うんだ、みたいなのも、ちょっと分かったりするんで。	日に日に/趣味が大きくなってき/怖かった/趣味の世界/アイドルのファン/人間の本性が見える/会ったことある人/こう言うこと言うんだ	急激なファンの変化/急激な雰囲気/悪化/趣味の世界に止まらないファン/影響力/親しい人の本性/人間の本性的露さを感じる/親しい人の攻撃的な言葉に対する落胆	親しくしていた人の豹変/ファン/の世界の中での主張のぶつかり合いに対する怖さ/他のファン/の隠れていた攻撃性を見てしまった悲しさ	親しい人の急な豹変と攻撃性増加による嘆きと恐れ	
73	曾我	そうなんです、そこまで社絶なこと起こってって知らなくて、結構Twitterに張り付けて見ちゃってたっていうところ、おっしやりましたけど、そういうのは結構、見ないっていう選択肢は無かったですかね。そういう時って。					
74	②	増員したときは、周り、それこそ私の場合は自分の妹ぐらいしか、あんまりジャニーズの話ができる人がいなかったんで、Twitterの中でか、喧したりとか誰かの話を聞ける場所がなかったんで、もうその事に関しては結構もう、動員してから1か月ぐらいは毎日そんなことほとんど頭がいっぱいだったと思うので、何か新しい情報がないとか、そういうのも含めて、仕事の行き滞りとか、見るときはずっと見てました。	妹ぐらいしか/ジャニーズの話/Twitterの中でしか/喧したり/誰かの話を聞ける場所/1ヶ月くらい/頭がいっぱい/新しい情報/見るときはずっと	妹とTwitterしかについて話せない状況/1のこを見聞かせる唯一の場所であるTwitter/心の狭り所/新体制のことで頭が埋め尽くされる/新しい情報を求める気持ち/Twitterに張り付く状態	多くの担と交流できる唯一の存在としてのTwitter/他の人の意見や関心による規範的影響/因子の関連/自己評価のための情報検索行動?	Twitterでの情報検索時間の増加による、新体制の葛藤解消/数少ないファンとの意見交換場としてのTwitter	
75	曾我	ご自身がいろいろ喧したりとかも、されてた感じですか?					
76	②	たまにいてんですけど、私が繋がってた人が、結構受け入れる受け入れないが半々ぐらだったんで、叩かれたくないみたいな気持ちがあったので、私はあんまりつぶやかなかったです。いいねはしてましたけど。	たまに/半々ぐらだった/叩かれたくない/つぶやかなかった/いいねはしてました	自身のつぶやきに対する消極的姿勢/いいねでの共感意思表示/否定されることへの恐怖	自身が他のファンに評価される存在になることへの恐怖	自身の吐きが否定されることへの恐怖	
77	曾我	結構見るほうに専念してたという。					
78	②	見る方には、はい。	見る方	Twitterの使い方として見る専念		Twitterの閲覧のみの活用	
番号	発言者	テキスト	<1>テキスト中の注目すべき箇所	<2>テキスト中の箇句の言い換え	<3>左を説明するようなテキスト外の概念	<4>テーマ・構成概念(前後や全体の文脈を考慮して)	<5>疑問・課題

ストリーライン	<p>[拒降りの一番の原因である新体制発表]について伺った。 最初に新体制に関する[情報流出の誤報という予測とその内容に対する不安]があったが、新体制実現化により[恐れていた不安の実現による落胆]が生じた。</p> <p>新体制発表により、メンバーに対しては[これまで見てきたメンバーの虚構感と不安感]を感じたに加え、[増員メンバーに対する苦手意識]により、[新体制に対する拒否感]を拭えなかった。1人を除いた新体制でのパフォーマンスを見た後は[長いファン歴による新体制の拒絶感と理想の担当像に対する微かな期待]を抱いていたが、完全な新体制でのパフォーマンス未だ頃にはファンが厳しいほどの熱量の低下]がすでに起こっており、[熱量の減少からの復活不可能性の認識と担当への諦め・無関心]を生じさせるほどだった。 このように[担当グループ全体を好きになれない苦痛]を感じた結果、[新体制への理解不能と増員メンバーへの苦手意識による担当の切り捨て]という形で拒降りにつながった。</p> <p>ファンダムの様子としては、[新体制をめぐった意見の対立による陰鬱な雰囲気]が生じていた。元々、[担のファンダムについて(ライブ会場周辺での地味さ)などにより]ファンダム全体での共感により形成される団結感・居心地のよさの形成]がされていた。 新体制発表時か[旧体制時のファン]の落ち着きと居心地の良さからの大幅な変化]を感じており、[ファン層の変化による今後の雰囲気悪化の懸念]を抱いていた。実際[居心地の良かったファンダムの縮小]が起こった。 周囲の担も[新体制受入の容認に対する強迫観念]を抱いていたり、[担当とファンが同じ方向を向くべきという考えとその説得]をしたり、[新体制でのパフォーマンス力低下による拒降りの目撃]を通して、[推しやその範囲の細分化と更なる対立]が加速し、結果的に[連日続くファン同士の喧嘩による疲弊と拒降りの決意]が促された。 その後、[新体制での舞台観劇の一つのタイミングした拒降り]が多相次ぐようになった。</p> <p>[担当への強い愛情によるファンダムの団結と、意見分裂時のファン]の離別化と対立の強さが起こり、[穏やかだったファンダムの、攻撃的なファンダムへの変化]を[Twitter上の悪口の増加と飽和]によって感じていた。特に、[親しい人の急な豹変と攻撃性増加による嘆きと恐れ]を感じたと共に、自身がファン活動をする点においても[旧体制時のファン]の苦痛が薄れていく[懸念と虚しさ]を感じていた。 それと共に、[新体制による新規ファン]の増加とファン]の雰囲気の変化]が起こったため、[過剰な正義感による些細な悪口への介入と騒動の拡大]や[メンバーの失言に対する過剰な反応と騒動の拡大]につながった。 特に[Twitterの悪口]についても、[本人閲覧を妨ぐための活発な悪口規制活動]が行われていた。[ファン活動における悪口規制活動]は[前提にある場合、このような活動に対して]応援の仕方の多様性と他人の応援に対する不関与の姿勢が欠如しているファンに対する違和感]を感じることがある。 この活動は、[ジャニーズファン]全体的に見られる若者の過剰な反応]であり、[若者が示す悪口に対する過剰な拒否反応に対する許容]が行われるが、[年齢の高いファン]のジャニオタ歴の長さやSNSの習慣に対する無知による厳しい行動評価]がされており、[高年齢層の過剰な悪口規制活動に対する無意味さ]と呆れ]を感じるようになる。また、これらの行動は[連鎖的な晒し行為の拡散による過剰な行動の急速な拡大]につながったと述べている。 これらの[Twitter上]の状況は、[外部からの担のイメージダウンとファンダムに対する居心地の悪さ]にもつながった。 このように、[拒降りとファン層の変化]の因果性を明らかにする質問を通して、[新体制発表に対する自分自身の葛藤と、その後のファンダムでの騒動による疲弊]の流れが見られた。最終的に拒降り時は、[担当に対する諦め]の気持ちが生じていた。</p> <p>拒降り後は[新旧各体制の認識の完全分離化]が行われたが、旧体制については[理想状態である過去の映像に対する拒否反応]を感じるようになった。また、[拒降り後のTwitter]におけるファン]の動向確認]が行われており、[自然と担の状況が入ってくる環境]であったこともあり、[俯瞰的な視点からのファン]の騒動に対する関心]が示されている。</p> <p>[数少ないファンとの意見交換場としてのTwitter]として、[Twitterでの情報検索時間の増加による、新体制の葛藤解消]を行っていたが、[自身の吐きが否定されることへの恐怖]から[Twitterの閲覧のみの活用]をしていた。 また、[Twitter特有の年齢表記]も存在していた。</p>	理論記述	<p>(1)新体制に関する[情報流出の誤報という予測とその内容に対する不安]は、新体制の実現により[恐れていた不安の実現による落胆]を生じさせる。 (2)新体制発表はこれまで見てきたメンバーの虚構感と不安感をメンバーに対して抱きかけになる。 (3)新体制による[増員メンバーに対する苦手意識]は[新体制に対する拒否感]を生み出す。 (4)新体制でのパフォーマンスの観覧は、初期に[長いファン歴による新体制の拒絶感と理想の担当像に対する微かな期待]を抱くが、その後[ファン]の存続が厳しいほどの熱量の低下]が起こり、[熱量の減少からの復活不可能性の認識と担当への諦め・無関心]が生じることになり拒降りへとつながる。 (5)[担当グループ全体を好きになれない苦痛]を感じた結果、[新体制への理解不能と増員メンバーへの苦手意識による担当の切り捨て]が行われる。 (6)居心地のいいファンダムでは、[ライブ会場周辺での地味さ]なども含め、[ファンダム全体での共感により形成される団結感・居心地のよさの形成]が行われる。 (7)新体制発表は[旧体制時のファン]の落ち着きと居心地の良さからの大幅な変化]をもたらす。[ファン層の変化による今後の雰囲気悪化の懸念]を抱かせ、実際にその後[居心地の良かったファンダムの縮小]が起こる。 (8)新体制発表から、ファンの間で[新体制受入の容認に対する強迫観念]が起こったり、[担当とファンが同じ方向を向くべきという考えとその説得]がされたり、[新体制でのパフォーマンス力低下による拒降りの目撃]をしたりなど、[推しやその範囲の細分化と更なる対立]が加速する。 (9)[連日続くファン同士の喧嘩による疲弊と拒降りの決意]が促された結果、[新体制での舞台観劇の一つのタイミングした拒降り]が多相次ぐようになる。 (10)[Twitter上]の悪口の増加と飽和]を見ることにより、[穏やかだったファンダムの、攻撃的なファンダムへの変化]を感じる点につながり、特に[親しい人との急な豹変と攻撃性増加による嘆きと恐れ]はファンダムに対する疲弊につながる。 (11)新体制の発表により、[担当への強い愛情によるファンダムの団結と、意見分裂時のファン]の離別化と対立の強さが明らかにされる。 (12)[新体制による新規ファン]の増加とファン]の雰囲気の変化]は、[過剰な正義感による些細な悪口への介入と騒動の拡大]や[メンバーの失言に対する過剰な反応と騒動の拡大]につながる。 (13)Twitterの悪口]についても、[本人閲覧を妨ぐための活発な悪口規制活動]は[前提にある場合、本人閲覧を妨ぐための活発な悪口規制活動]は[応援の仕方の多様性と他人の応援に対する不関与の姿勢が欠如しているファンに対する違和感]を生じさせる。 (14)悪口規制活動は[ジャニーズファン]全体的に見られる若者の反応]であり、[若者が示す悪口に対する過剰な拒否反応に対する許容]がされている一方、[年齢の高いファン]のジャニオタ歴の長さやSNSの習慣に対する無知による厳しい行動評価]がされ、[高年齢層の過剰な悪口規制活動に対する無意味さ]と呆れ]を感じる。 (15)悪口規制活動は[連鎖的な晒し行為の拡散による過剰な行動の急速な拡大]を、[外部からの担のイメージダウンとファンダムに対する居心地の悪さ]につながる。 (16)新体制による新規ファン]の増加は、[旧体制時のファン]の苦痛が薄れていく[懸念と虚しさ]を生じさせることである。 (17)全体的に、[新体制発表に対する自分自身の葛藤と、その後のファンダムでの騒動による疲弊]により、[担当に対する諦め]の気持ちと共に拒降りすることとなる。 (18)拒降り後は、[新旧各体制の認識の完全分離化]が行われるため、旧体制については[理想状態である過去の映像に対する拒否反応]を感じる。 (19)拒降り後は、[自然と担の状況が入ってくる環境]が形成されている[俯瞰的な視点からのファン]の騒動に対する関心]が生じ、[拒降り後のTwitter]におけるファン]の動向確認]が行われる。 (20)[数少ないファンとの意見交換場としてのTwitter]として、[Twitterでの情報検索時間の増加による、新体制の葛藤解消]を行う。 (21)[自身の吐きが否定されることへの恐怖]があると[Twitterの閲覧のみの活用]をする。 (22)[Twitter特有の年齢表記]が存在する。</p>
	さらに追究すべき点・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・どういふ点で仕事に順調だと感じたのか ・情報流出の一連の流れ ・具体的にどのようなところが苦手だったのか ・誰に対する悪口が多かったのか ・ファン「ヤバさ」とは具体的に? ・新体制に対する拒否感がどこから生まれたものなのか ・客観的視点からの語りからのポイント。主観的にどのようなことを感じたかや、意見の変化の流れを時系列に沿って聞きたい ・不完全燃焼になった要因は何か ・箱推しをやめるといふ選択肢は無かったのか ・どのような内容が「悪口」として認定されていたか ・他の担にとっても以前は落ち着いた雰囲気という認識があったのか

SCAT(Steps for Coding and Theorization)を使った質的データ分析

20	③	B担当以外も言ったと思うんですけど、ちょうどいいおもちゃを見つけたみたい。b2さんってNOスキャンダルできてるんですよ。ずっと何も出てなくて、プライベートもめっちゃ隠して。すごい社交的なんですけど、飲みに行った時にタクシーの、芸能人ってタクシー相乗りして、近くまで一緒に帰ろうみたいな事がよくあるみたいなんですけど、そういうのもみたら変な事があるから知らないみたい。そういう感じ。それが、今まで流出とかしてないってところから察していると思うんですけど、b2さんのことを目撃しているオタクとか、b1くんに対してめっちゃ文句言ってる。だからいまだに、b2担当が苦手なb1担、めっちゃいいと思います。	ちょうどいいおもちゃ/NOスキャンダル/ずっと何も/流出とかしてない/盲目に信仰/めっちゃめっちゃ文句/b2担当が苦手なb1担	遊び感覚で暴言を吐かれる/スキャンダルがない/騒動を起こしていない/盲目に好き/何があっても好き/恨言/クレーム/怒り/苦手/嫌な気持ちになる	スキャンダルの有無と芸能界での活躍の関係性/アイドルとしてのスキャンダルがないことの重要性/度重なる文句により形成された苦手意識/グループ内での担当同士の対立	アイドルにおける徹底的なスキャンダル回避の重要性/グループ内での担当同士の対立と苦手意識形成	なぜアイドルにとっスキャンダルがNGなのか
21	曾我	じゃあもう結構、一般的に、みんなそんな感じだよって、…b2担当いよねって共通認識を持つてる感じなんですか？	b2担当いよねって共通認識	共通認識/なんとなく恐れる/怖い/全体の合意			
22	③	たぶん、ちょっとb2担当でよかったって苦手とか、もうそれこそチケット交換する時に、b2担当とよかったらどうか。何言われるか分からないから、無意識にこぼれる言葉が、b1担にとっては結構引かれるものだったとか。今はもしかしたらそこまでじゃないのかも知らないんですけど、2018・19あたりは結構。	b2担当でよかったって苦手/チケット交換/ためらう/何言われるかわからない/こぼれる言葉/引かれるもの	第一印象が苦手/チケット交換/しつかり喋る機会/ためらう/発する言葉に恐れ/悪気のない言葉/嫌な気持ち/違和感	「担当」という看板のもと判断/深く関係を持つことに対する懸念/ふとした言葉で傷ついたら/安心した取引を求める気持ち	特定の担当に接近・交流する恐れ	
23	曾我	具体的に、b1担のお友達とそういう話になったりかしらとか…。					
24	③	めっちゃありますね。めっちゃあります。結構仲良い子かいて、割と広めに関係とか、東京いたのやっぱり人にも会いやすいです。その時に、b2担当が居ないと、b2担当いよねって話は大体やりましたね。	めっちゃあります/割と広めに関係/人にも会いやすい/b2担当いよね/大体やりました	機会の多さ/多くの人の交流/人にも会いやすい環境/特定の担当に対するイメージ/特定の担当に対する悪口/機会の頻発性	特定の担当に対する苦手意識の共通認識形成/広い交友関係での苦手意識醸成	特定の担当に対する苦手意識の共通形成	
25	曾我	その子は、b1担の？結構、ちょっとディスってるみたいなの…？					
26	③	そうですね、優しいb2担めっちゃめっちゃいるんですけど、1番はb2さんだけ。b1くんも大好き、みたいな。なんでそんなにb1担があんなに言われなきゃいけないの、みたいなことを言うb2担ももちろんいるんですけど。でもやっぱり、そういうのb2担も結構いて。結構、b2に迷惑かけんなよ、b1!みたいなのは。割と一定数いましたね。	優しいb2担/あんなに言われなきゃ/そうじゃないの/迷惑かけんなよ/割と一定数	優しい人もいる/同じ立場に立てられるb2担の存在/一緒に戦ってくれるb2担の存在/優しいb2担/文句/一定数存在/	自担を攻撃しないb2担の存在認識/自担を攻撃するb2担の大きいインパクト/	特定の担当に対する一定の距離感保持	
27	曾我	そうなんです。それって、色々報道がちょくちょく出てた時ですね。					
28	③	そうです。					
29	曾我	ちょっと思い出せるんですけど、どうい報道の時に、b2担からちょっと強い言葉言われたとかっていうのを、思い出せたりかしますか？					
30	③	多分最初の、1番最初にしたのは彼女との写真だったんですけど、その時はたぶん、そこまで？まあなんかちょっと荒れてる、くらい。で、18年にコールしている音声が出たときかな、多分それで活動自粛するってなった、タイムズ？その前くらいからかな？悪垢垢が1番活発になったのがその時期かと思う。	彼女との写真/ちょっと荒れてる/コールしている音声/活動自粛/悪垢垢/一番活発	ゴシップ/ファンとの反応の小ささ/小さな騒動/活動自粛/たくさんの悪垢/悪垢垢の活発化/文句/Twitterが荒れる/	度重なるゴシップで醸成されたファンの不満/他担のb1に対する攻撃的発言の活発化	度重なる担当の騒動で他担からの攻撃活発化	
31	③	その前に、2018年の前に、2018年の6月7とかに活動自粛してるんですけど、その前にやっていたコンサートで、2017年、あ、2018年の5月ぐらいの公演で、b1くんが、「僕生まれ変わったん」って言ったんですよ。その前の年に出た、彼女との流出？を受けて、「もう皆さんを心配させることはないです」って言った直後に、あの音声が出て、でそれでは？みたいな感じ、だったのかな？で、それであ活動自粛までいって。	活動自粛/生まれ変わったん/心配させることはない/直後/音声/流出/	生まれ変わったという宣言/安心させる言葉/ファンとの約束/直後の裏切り/言動の二転三転/活動自粛/不満/理解不能	裏切り行為と感じる想像/約束と報道の不一致/他のファンの不満に対するある程度の理解	ファンの約束直後の裏切り行為に対する不満の声	・当時の状況について他の担当からも話を伺いたい。
32	③	ちょうど15周年のタイミング、で2018年って、Bが、なんで、その15周年のコンサートも決まってるのに、で多分、紅白とかもあつたかもしれないのに、10年で30万近く売って。できごと事務所もきつと周年稼とか、きつと何かしらの稼で取ってれたところはあると思うので、事務所側も、そういうの潰されたとか、15周年なのに、そういう機会潰しやがってとか、あつたんでしょね。でも2018年ですか？1、音酷かったのは。	15周年のタイミング/あつたかも/10年で30万近く/周年稼/何かしらの稼/潰された/機会潰しやがって/1音酷かったのは。	周年記念/何かしらの機会/貴重な機会/事務所からの優遇/機会を取り逃がす/何かしらの損失/自担の機会損失への恨み/文句の最盛期/酷く盛り上がった時期	大きなチャンスとしての周年/周年が大切であるという共通認識/スキャンダルによる仕事量の減少/周年による仕事量の増加	大きなチャンスの損失に対する文句の最盛期	
33	曾我	そういうのを見て結構、そこまで言わなくていいのにみたいな感じになったって感じですか？					
34	③	なりましたね。なんか…結構、b1くんの家庭環境とか、そういうことにもつこりかかして。離婚してるんですけどb1くんって。その理由がお父さんの暴力だったとかしたんで、どうせb1も暴力振るってんだろとか。なんかそういう、はあ？みたいな。そこやな？みたいなのも結構、ありましたね。それはもう完全な悪垢垢の方です。	家庭環境/つこりかかして/どうせb1も暴力振るってんだろ/はあ？/そこやな？/完全な悪垢垢	家庭環境を絡めた暴言/理解不能/反論/本筋とずれた暴言/悪垢垢ツイートしないアカウント/	本筋と外れた攻撃に対する反感/行き過ぎた暴言の悪垢垢のみでのツイート	・どういところで悪垢垢かどうか見分けていのか	
35	③	でも普通に、そういう匿名じゃなく、普通にオタクとして交流してるようなアカウントでも。あとまあ、b2迷惑かけないでよ、みたいな。ちゃんと、なんか自覚ある？みたいな。なんか説教するようとか、ありましたよね。	匿名じゃなく/オタクとして交流/迷惑かけないでよ/自覚ある？/説教するよう	多くのオタクと交流するアカウント/広く発言が居る場所/文句/本人がみる可能性がある場所/文句/説教/諭す/注意/アイドルとしての自覚/グループの一員である自覚	本人の閲覧可能性がある場所での説教に対する嫌悪感/スキャンダルによってグループの他のメンバーにかかる迷惑/全員での協力体制が必要であるという認識	本人の閲覧可能性がある場所での説教のようなツイートに対する嫌悪感	
36	曾我	結構、そのエゴサしたら見れるところとかでも、結構普通にそういうのが言われてたんですか？	エゴサしたら見れるところ/結構普通に	本人の閲覧可能な場所	Twitterのサジェストでの担当のマイナスイメージ醸成への懸念/担当への悪口が頻りに検索されていることへの危機感/		
37	③	全然ありました。で、そのTwitterの検索のサジェストとか、「b1 クズ」とか、やばくないですか？	全然ありました/サジェスト/b1クズ/やばくないですか？	頻りに検索されている悪口/自担への悪いイメージ/自担の悪いイメージを生み出すツイート			
38	曾我	やばいですね。そんな酷かったんだ。そうなんです。					
39	③	だから今だに、好きなアイドルの名前を先に入れるのが、あんまりできないんですよ。何が出てくるか分からない。番組とかの、感想とか。検索したいなって思っても、自分の見たいアイドルの名前は後に入れちゃいます。	名前を先に入れる/あんまりできない/何が出てくるか/後に入れちゃいます	サジェストでの暴言を見る恐れ/好きな人の悪い意見存在からの回避/習慣化/恐れ	自担へのマイナスツイート閲覧のトラウマ化/マイナスな意見からの回避行動/自担が叩かれることへの恐怖感の定着	自担へのマイナス意見閲覧のトラウマ化	・同じようなトラウマを持つてる人がどれくらいいるか
40	曾我	なるほど。結構もう、そのときの色々言われたりっていうのが、すごく残っているというか。	色々言われたり/すごく残っている	印象に残っている出来事/担当への暴言			
41	③	まあ結構、そうです。					
42	曾我	なるほど。そういうときでももうミュートして対策するみたいな感じですか？嫌だなんて思うこと言われてるの見た時って、どうい対処しましたか？					
43	③	1番頑張った時は、Chromeかな、のなんかファイルかなんか、このアカウントをフォローしているフォロー全員ブロックできるみたいなのがあって、これを入れて、で悪垢垢で4桁フォローとかもしていたんですよ。当時、でそれ全部ブロックしたりとか、ミュートして、ちょっとあって思ったらもう速攻ブロックして、私のSNSに出てこないようにするとか、してましたね。あとはb2担に近寄らない。	ファイルかなんか/フォロー全員ブロック/悪垢垢で4桁フォロー/全部ブロック/ミュート/あって思ったら/速攻ブロック/SNS出てこないようにするとか、してましたね。あとはb2担に近寄らない。	外部のソフトウェアの導入/一斉ブロック/徹底した悪垢垢ツイートの回避/ミュート/違和感があればすぐにブロック/早急な対応/徹底した対応/苦手担当の回避	悪垢垢からの徹底的な回避/自担を悪く言われることに対する拒絶/快適なファン活動のための徹底した環境設計	担当が悪く言われることへの拒絶感からの徹底的回避と快適なファン活動のための徹底した環境設計	
44	曾我	それはTwitterとか、ライブとかみたいな感じですか？	Twitter/ライブ				
45	③	そうですね。Twitterも絶対に近寄ってなかったです。	Twitter/絶対に				
46	曾我	ご自身がTwitter上で何か発言されたりとかはあんまりなかったって感じですか？	発言されたり	自身の発言	ポジティブなことに限ったツイート/頻繁なツイート	ポジティブな内容の頻繁なツイート	
47	③	いや、結構もう、めっちゃめっちゃ活発に。今のTwitterみたいな感じで。	めっちゃめっちゃ活発に	活発なTwitterでの発言			
48	曾我	なるほど。					
49	③	活発にやりましたね。					
50	曾我	そうなんです。言いつづらかったらいいんですけど、b1くんに対して言ってくることに、言ったりとか。					

51	③	でもなんか、あんまりマイナスなことをツイートしない、しちや駄目みたいな雰囲気がついてあって。だからそういう、報道に触れるのも駄目みたいな。触れたら広がっちゃうからっていうのがあって。でも多分、自覚した時は触れませんでしたか。なんだろう、何か言ったと思います。でもあまりにも言われていることに対しては、そんなに。逆にプラスのことをツイートして、そのb1くんのサジェストも変えていこうみたいな、風潮とかもあったりしたんで、とにかくマイナスなことを言わない、みたいな。それに自分も飲まれてました。	マイナス/ツイートしない/しちや駄目/雰囲気/報道に触れる/広がっちゃうから/自覚した時/何か言った/プラスのことをツイート/サジェストも変えていこう/風潮/マイナスなことを言わない/自分も飲まれて	マイナスなツイートはしない/マイナスツイートの抑制の雰囲気/ネガティブな報道の話題の鎮圧/ツイートによる拡散抑制/サジェストでのプラスイメージ醸成/担当のプラスイメージ形成のための取り組み/ファン全体での取り組み/ファンの風潮への便乗	自身のツイートが担当のイメージ形成につながる認識/ファン同士のツイート内容の抑制/ファンの雰囲気/流された結果の行動/自分の行動のファンの風潮による影響の大きさ	ツイートによる担当のイメージ形成を鑑みつつファン同士のツイート内容抑制の雰囲気	
52	曾我	私実はTwitterをアカウントしか持ってなくて、あんまりやってないの、結構初歩的なこと聞いちゃうかもしれないんですけど、Twitter上でもそういう、みんなマイナスなことよりプラスなこと言おうみたいな、雰囲気、主にb1担の中とかであつた、みたいな感じだったんですか？	プラスなこと言おうよ/雰囲気	否定的な発言/一切発言不可	ファンの空気感の抑制力の大きさ	ファン同士の抑制力の大きさ	
53	③	そうですね、b1担、b2担？					
54	曾我	その自覚になった時とかに、みたいな。					
55	③	そうですね。それからb1くんのことを否定する発言は、もうしたらアウトみたいな。	否定する発言/アウト				
56	曾我	なるほど、そういう判断になってたっていう。					
57	③	そうですね。たぶん結構、それ結構いろんなオタクが共通認識として持ってた感覚だと思いますし、なんだろう、ちょっとバラエティの発言で、うん？ってなることとか、b1くんに限らず誰でもオタクってあると思うんですけど、それも、うん？ってなったのも、言っちゃだめ、みたいな。言えない。言ったら、否定するよね？b1くんのこと、みたいな。とか、b1くんと意見が違ふことって、絶対あると思うんですけど。それも、例えばなんだろう、文化、なんて言うんですけど、でもb1が言うならそれが正解だよ、みたいなのが、冗談まじりけど、半分本気みたいな感じで、結構あったと思います。当時のb2担は、具体例が出てこなくて申し訳ないんですけど。	共通認識/バラエティの発言/うん？ってなること/言っちゃだめ/否定してやるよね/意見が違ふこと/絶対ある/言うならそれが正解/冗談まじり/半分本気	B担に限らない認識/ちょっとした違和感/話題に出すこと/否定的な見られ方/否定していること/絶対ある/担当が全て正しい/担当に賛成/半分賛成/半分本気	否定的な発言をすることの危険性/否定的な発言をしたときのファンからの反応に対する恐れ/担当の言動が不正解であるかもしれない内容性の思考放棄/盲目に信仰する雰囲気	担当が間違っている可能性に対する思考放棄から生じる否定的な発言の抑制	
58	曾我	バラエティとかで、言ってた意見とかにに対して、みたいな。					
59	③	そうですね。					
60	曾我	結構b1担は、違うんじゃないかって言わないけど、でも違うんじゃないかって思ってる様、な雰囲気はちょっと感じたみたいな？					
61	③	いや、違うんじゃないみたいな雰囲気は、私個人として思うことはあったんですけど、雰囲気はなかったと思います。多分、b1が言うから間違いないよ、みたいな方が強いですね。	違う/個人として/雰囲気はなかった/間違いないよ	個人的に感じていたかもしれない/担当が間違っていることはない/担当を否定する雰囲気がない			
62	曾我	具体例が出てこなくて言いたかったところでも申し訳ないんですけど、うん？ってなった発言とか、意見が違ふときに、言えなかったかかっていう経験とかで、思い出せるところってあったりしますか？					
63	③	まあ1番は、歌がうまい。					
64	曾我	なるほど。					
65	③	それで、なんだろう、すごい素人の意見だから、もしかしたら音程は合ってるかもしれないんですけど、声の出し方が鼻にかかっている感じが、何か出したら鼻に聞こえるっていうのが、あったんですけど、それも、多分誰か聴いても、出したらそうじゃない？下手じゃない？って思ってるんですけど、そういうまじりかたで言わなきゃいけないとか、あとちょっと、b1くんって上でないけど、下は出るんですけど、あの音域、歌の、パート的に、で、下ハモをめちゃくちゃ褒める。上が出なかったことは言わないけど、代わりにb1くんの下ハモやばい、みたいな。とかも、めちゃくちゃ言うとか、ですかね。	素人の意見/鼻にかかっている/出したら鼻に聞こえる/上手い/下手/褒める/褒めなきゃいけない/下ハモをめちゃくちゃ褒める	歌に詳しいわけではない/上手に聞こえない/上手いと言う強要/下手じゃないところを褒める/褒めなきゃいけない強制感/否定的な発言の制限	担当に対する否定的な意見の徹底した抑圧/否定的な見方が盲流であるという認識/否定的な見方を示すはいけない雰囲気から、本当に否定的に見えなくなる	担当への否定的な見方が盲流であるという感覚	
66	曾我	それは結構もう③さんがやってたって感じですか？それともb1担と喋ってて、そう言うよねみたいな感じの語ってるとか。					
67	③	私がめっちゃ言っちゃった。b1担と話した時は絶対b1くんの悪口が出てこないで。	絶対b1くんの悪口が出てこない	不満/悪口/禁句			
68	曾我	なるほど、そうでした。					
69	③	絶対出てこないで。聞いてて、歌番組とか観て、あれ？みたいな。Bの曲で全部b1くん合わせのキーで作られてるんで、めっちゃめっちゃ高いんですけど、そこに、b1くんは高いっていうか、でもそうやって思うことは、b1くんへの盲流だし、みたいな。そういう空気があって、で、私自身も本気でそう思ってたんで。	あれ？みたいな/b1くんへの盲流/空気感/私自身も本気で	担当の下手なところを指摘することの制限/盲流/感じるのが罪/全てを好きでなければならぬ/雰囲気/空気感/疑いなく感じる			
70	曾我	じゃあもう、b1くんが好きなのはもう、今だからこそ、うん？って思ったかもあって思うけど、好きなきときはもう全然そんなことなかった。	今だからこそ/好きな時/全然そんなことなかった	過去を振り返って/客観的に見返す/	当時の盲目的応援に対する客観視	今の担当に対して盲目的に応援していると感じたことはあるか	
71	③	全然。今ちょっと当時の自分を客観視して、まじ宗教〜って思ってますね。	客観視/まじ宗教	盲目さ/疑いのない信仰			
72	曾我	なるほど。					
73	③	多分どっかで、あれ？って思っている自分はいたんですけど、そこに目を向けられないようにしてたいうか。	多分どっかで/あれ？/目を向けられないように	潜在意識の中での違和感/違和感を認めないような姿勢/目を背けていた/認識の回避	潜在意識での違和感を感じていた予測/否定的感情からの逃避	潜在意識下での違和感とその認知からの逃避	
74	曾我	そういうところが、結構b1くんが退所してから、ちょっと見かける気がしたっていう形だったんですか？					
75	③	そうですね、パートも増えて、b1くんの。でそのb1くんがいよいよb1くんに合わせて作られた曲って、まあけっこうきついなって。やっぱり4人のb1が好きだったんで、全然受け入れられなくて。でも周りのオタクは結構、すぐ受け入れた。受け入れられていないのかもしれないんですけど、3人のBも応援して行くみたいな、感じだったんですけど。私はそこに全然追いつけなくて、結構でも、Twitterのタイムラインに振り回されてますかね。そこにあたしはそこまで行けてないから、じゃあ私Bのオタクじゃないかもしれないけど、私に比べて、3人になったことが受け入れられないんです。みたいな。みんな受け入れられているのに、私はできてない。そういうのとかも、ありましたね。そこもきつかけたかもしれないですね。	受けつこうきついな/4人のBが好き/受け入れられなくて/すぐ受け入れた/全然追いつけなくて/タイムライン/振り回されてますかね/そこまで行けてないBのオタクじゃないかも/私はできてない	担当グループの新体制に対する拒否反応/以前の体制に対する恋しさ/他のファンとの対等体制/他のファンからの遅れ/ついていけない感覚/Twitterの意見の影響力の大きさ/オタクじゃない焦燥感/新体制受け入れへの強迫観念/オタクと認定されない理想/オタクらしくできない落ち込み	新体制に対する拒絶感/他のファンと比較した時の熱量の低さの認識/周囲のファンとの熱量・感情の同化のオタクとしての条件/自分だけ新しい体制を受け入れられない焦燥感と落ち込み	新体制に対する拒否感/周囲のファンと同様新体制受入の必要性/周囲のファンと同じ感覚に耐えられない焦燥感と落ち込み	
76	③	Bがいろいろ、何もやることがない時、やっぱりコロナになって、もう露出とかが全然なくなって。で2020年の春にツアーが予定されていたんですけど、私ほぼ全部、北海道以外全部の公演行く予定だったんですけど、でもそれも全部なくなっちゃって。でもそれを楽しくみに生きてきたし、のめっちゃやって、コンサートが、で、テレビも関東ローカルばかりで、ほぼなくなって。番組の配信が始まったのって、体感でこの半年ぐらいなんですけど、私に比べて、半年一年ぐらいかかると、去年の下期ぐらいから、関東ローカルも、TVerめっちゃや、配信されるようになったって印象なんですけど。だから私が地元に戻って、関東ローカルが見えなくなると、タイミングで、そのBの冠番組を見れなくなると。で全然供給ともなく、あんまり。同じものを擦るタイプじゃないので、新しいBが無いっていうのも、ちょっと暇になったりっていうか。でそれで、かと思ったらb1くんもいなくなりました。	露出/全然なくなって/全部なくなっちゃって/地元に戻って/冠番組を見れなくなると/供給ともなく/同じものを擦るタイプじゃない/新しいBがない	担当を見る機会の減少/番組の閲覧不可/番組の減少/過去作品の繰り返しの閲覧での不満/新しい作品の閲覧の欲求/新しい担当の姿の欲求	担当への熱量維持のために必要な担当の新しいコンテンツの確保/既存の作品の複数回閲覧での不十分満足	担当への熱量維持のための新しいコンテンツの必要性	
77	③	っていうタイミングで、ちょうどジュニアが、(動画配信サイト)でめっちゃいろいろ出してくれたじゃないですか。でYouTubeもあるし。で実家のレコーダーに、少クラが、3年4年分ぐらい残ってるんですけど、妹がいるんですけど、妹が昔ジュニア担当だった影響で、なぜか少クラだけはずっと録音がされ続けて。もうそれを観てたら、まあ新しい、過去の番組ですけど、新しい映像じゃないですか。だからそれ見たりとかして。そっからの供給の多さとかで、見る時間が、費やす時間が全然、ジュニアの方が増えていって。	いろいろ出してくれた/新しい映像/供給の多さ/費やす時間	新しい作品の多出/見る機会の増加/費やす時間の比重の増加/担当に費やす時間の減少	閲覧機会の多さと熱量の相関関係	閲覧機会と熱量の相関関係	

78	③	ちょうど去年の、(テレビの特別番組)で、b2さんがやったんです、パーソナリティ。そこでBが3人の新曲を歌ったんですけど、それ見てめっちゃ泣いて。でもb4くんがいないって思ってた。多分また。その時に、もうBの時のアカウントを消したので、Bの、B担当の空気感についていけなくなって。私はここまで、Bのこと信じられてないみたいいな	3人の新曲/めっちゃ泣いて/空気感についていけない/信じられてない/空気感/ついていけない	人数減少後の新曲/変化した形の受け入れに対する拒否感/ファンダムに対する気後れ感/Bのことを信じられてない/虚しさ/純粹に新体制を応援できない虚しさ	新体制への期待=担当グループへの信頼/新体制受入のオタク移行の条件化	新体制への期待がでないという担当グループへの信頼低下と気後れ感	
79	曾我	アカウント消したのは、いつごろだったかと覚えていらっしやいますか？					
80	③	多分。退所して、b4くんの退所が発表されてすぐとかですかね。	退所が発表されてすぐ	退所後すぐのアカウント削除		退所後すぐのアカウント削除	
81	曾我	そうですね。					
82	③	多分。てやっぱb4くんまつわるいろんな意見を見るのも嫌で、やっぱあんまりコロナっていうのが、何かあんまりわかってないっていう段階で、でもみんな、どこか家について、感染を広げないようにして、わかんないけど、とりあえず何もできないみたい。もうわかんないけど、コンサートの中止になるし。でも今それが最善なんだよねって、我慢したい感覚が多分、あったと思うんですけど、当時、みんな我慢しているから、自分も我慢するみたい。私は、少なくとも私は、今とりあえずよくわかんないけど、色んな事我慢しようみたいな、感じだったんですよ。	いろんな意見/見るのも嫌/何かあんまりわかってない/わかんないけど/それが最善なんだよね/みんな我慢しているから/自分も/少なくとも私は/	多様な意見/意見自体を見ることに対する拒否感/嫌悪感/善悪の判断が難しい状況/正体不明のまま我慢していた状況/周りの同じ行動	状況がわからない環境下での行動判断の難しさ/わからないままでの自粛モード/b4の活動の是非判断の難しさ	当時の騒動の是非判断が難しい状況	
83	③	で、そこでb4くんの、そういう、みんな我慢してるのに、b4くんは、みたいなそういう行動だったと思うんで。そこに関しての意見って、本当に人によって全然違ってる。b4くんのことを肯定する人もいれば、それは絶対b4くんの行動じゃないんだって、みたいなこと言う人もいれば、医療従事者、看護師の人めっちゃ多いんで、看護師さんから見ると、本当にいろんな意見が溢れて、全部振り回されたんですよ。自分の中の確固たる考えみたいなものが全然なかったんで。オタクとのLINEが残ってるかもしれない。そんな、いろんな意見に振り回されるのが嫌で、それでTwitterやめたんだと思います。	人によって全然違ってる/肯定する人/ありえないんだけど/看護師さんから見ると意見/いろんな意見/全部振り回された/確固たる考え/全然なかった/振り回されるのが嫌/Twitterやめた	意見の多様性/様々なバックグラウンド/様々な意見の全てから受けた影響/自分の意見がない状態/確固たる考えがない/当時の影響の受けやすさ/Twitterの利用中止/多様な意見に影響される気苦労/煩わしさ-疲弊	b4くんのコロナ禍での会食報道の後活動自粛/退所した流れ/確固たる考えのなきによる多様な意見閲覧に対する疲弊/b4の行動に対する自分の意見を決めきれない疲弊/b4の行動の見方に対する迷い	賛否両論の多様な意見により自分の考えを決めきれない疲弊/b4の行動要因	
84	③	そこまで、あんまりBへの熱みたいなのも、微妙に冷めてるっていうか。供給が無いんで。供給がないと冷めるので。なんかBって、毎年下期にめっちゃめっちゃ賑になるんですよ。4人の冠番組もなくて、CDも年に1枚のリリースで、それもCDとアルバムほぼ同時期に出したりとか、してたんで。だから下期になると、Bしか、の時でもジュニア見たりとかしてました。	Bへの熱/微妙に冷めてる/供給がないと冷める/めっちゃめっちゃ賑/ジュニア見たりとか	供給が少ないことによる熱量の減少/供給の多さと熱量の相関関係/他アイドルへの逃避	熱量減少前からの他グループへの欲求解消のための逃避/新しいコンテンツの供給量と熱量の相関性	新しいコンテンツの少なさにによる他グループへの逃避と担当への熱量低下	
85	曾我	なるほど。供給が減って、コロナもプラスして供給が減って。Twitterとか見てなんとなく、熱も冷めてはいるけど、ちょっと落ち込んで、その流れでb4くん退所してTwitterも消して、っていう流れですかね。					
86	③	そうですね。1番は、いろんな意見を見るのが嫌だったのがあるかもしれないです。それこそb4くんまつわる、b4くんをボククンに言うのとかあったりしたんで。	いろんな意見/見るのが嫌だった/ボククンに言う	退所に関する様々な意見閲覧の回避/悪い意見からの回避	悪い意見の排除によるファン活動の環境設計	悪い意見からの逃避	
87	曾我	Bのアカウント消したのはそれが初めてですか？					
88	③	そうですね、ずっと好きになってから、ずっと同じアカウントでやってる。	好きになって/ずっと同じアカウント	同じTwitterアカウントの利用		同じTwitterアカウントの利用	
89	曾我	その、b1くんの、スキャンダルとかがあった時の、たいたいたりするのより、b4くんの退所でのいろんな意見が飛び交う方が、結構きつかったって感じだったんですよ。	スキャンダル/たいたいたり/退所/いろんな意見が飛び交う	退所に対する意見の多様性による影響力の大きさ		新体制をきっかけとした潜在下の否定的意見の表出と意見の多様性による疲弊	
90	③	そうですね。それで、b4くんの退所がきっかけで、今まで私が自分あまり見ないようにして気持ちが出て、みたいな感じですかね。	退所がきっかけ/見ないようにした気持ち/	潜在化にしまっていた気持ちの表出/盲目的な信仰が途切れるきっかけ			
91	③	多分、その時めっちゃめっちゃオタクと意見交換した気がします。その時に、意見交換ってうか、LINEでめっちゃめっちゃぶつ合ってたみたい。4人で仲良かったんですけど、b1担/b2担/b3担/b4担で、そこでb4担がいなくて。だからb4くんのことどう！でもみんなb4くんのこと大好きなんですよ。なんか、どうこれ、みたいな。でそれぞれの意見が	オタクと意見交換した/めっちゃめっちゃぶつ合ってた/仲良かった/b4くんのことどう!/b4くんのこと大好き/どうこれ/それぞれの意見	複雑な気持ちのぶつ合い/意見交換/退所するメンバーに対する愛情の再確認/騒動に対する複雑な感情/それぞれの意見の認識	複雑な感情の発散	ファン同士の活発な議論による複雑な感情の発散	・もしその友人同士の間にはb4担がいたらどうなっていたか
92	③	でも退所したすぐ後に、暴露本みたいなのを出したんですけど、あれがなんか、あれの内容に、その1番辛いb1担がめっちゃ怒ってる。私はそこに何かして行けなかったんですけど、それをちょっと冷静に見た自分が出て。そんな怒るなら見なきゃいいじゃんっていう。それで多分ちょっとずつ、熱量が変わってるってうか。	暴露本/1番辛い/めっちゃ怒ってる/行けなかった/冷静に見た自分が出て/見なきゃいいじゃん/熱量が変わってくる	退所メンバーに対する怒り/不満/怒っている友人に対する冷めた視線/友人の怒りに対する客観視/熱量変化の実感	他人と自分の怒りの差による視点の客観視/熱量の低さの実感	友人の怒りとのギャップによる客観視の視点の誕生と熱量低下の実感	
93	曾我	LINEで意見交換した4人グループは、Twitterで知り合って、みたいな感じですか？	Twitterで知り合って	知り合ったきっかけ			
94	③	そうですね。twitterでもリアルでも会うみたい。	Twitterでもリアルでも	Twitterでの知り合い/オフラインでも会っていた		Twitterで出会う友人との定期的な集合	
95	曾我	そうですね。					
96	③	そうですね。東京にいたときは、みんな東京と埼玉だったんで。それで、とりあえず月1ぐらいは会ってましたね。	月1ぐらい/会ってました	月1で会う			
97	曾我	そうですね。やっぱりB担当の時は、結構仲良くとかいう話も合ってたってうか。					
98	③	そうですね。					
99	曾我	で、暴露本とかの話になって、めっちゃ怒ってるの見たときに、ちょっと客観的に見ちゃってる自分が出て、それに気付いたみたいな感じですか。					
100	③	そうですね。あと歌番組とか見ても、みんなみたいに、なんだろう、湧かないってうか。ジャニーズweb(ジャニーズアイドルの会員制ブログサイト)にめっちゃめっちゃb1くんって自撮り載せてくれるんですけど、それ見ても、前みたいに、やばい！みたいなのがなくて。	歌番組/みんなみたいに/湧かない/自撮り/前みたい/やばい！/みたいなのがなくて	テンションが上がらない感覚/さほど嬉しくない/熱量の自然な減少/気付かない量の出来事		自担のコンテンツを見た時の熱量低下の発見	
101	曾我	わけないなって思ったのは、やっぱりb4くんが退所してからって感じですか。	わけないな/b4くんが退所してから				
102	③	そうですね。自粛期間とかかなあ。うん、いや、退所してからだったと思います。ジャニーズが横アリ(横浜アリーナ)で《ジャニーズ事務所主催のフェス》みたいな、あったじゃないですか。それに、b4君がちょうど自粛したタイミングだったんで、3人で出たんですよ。それで、4人で作成した曲があるんですけど、Bの、その、b4くんのパートを歌わなかったんですよ、3人が、それで、絶対b4くん戻ってくるって思ってたんで、まあ戻って来なかったんですけど。けど、戻ってくるって思ってたんですよ。その時は結構割と、盲目に信じてたかもしれないですね。私。多分b1くんのことも前と同じぐらいで、多分好きだったと思います。	自粛期間とか/退所してから/3人で出た/4人で作成した曲/b4くんのパートを歌わなかった/絶対b4くん戻ってくる/盲目に信じてたかも/前と同じぐらい/好きだった	自粛期間の熱量の維持/元の形に戻るという信用/元の形に戻る可能性の示唆/盲目的な信仰/熱量の減少がない様子	担当グループに対する違和感の拡大により気づき/b4のパートを残しておく演出によるb4が戻ってくることに希望/b4の復帰の実現不可能による熱量減少の加速	元の体制に戻る可能性の示唆による熱量の維持	
103	曾我	しっかり降りたっていうのは、ライブの誕生日公演？福岡来られたんですか？	しっかり降りた/ライブの誕生日公演	担当りの正式なタイミング			
104	③	そうですね。福岡初めて行ったんですけど、好きになってから毎年b1くんの誕生日公演入って。それで今年外れた…。その1番最初、2020年が中止になって。それは、b1くん5月1日の誕生日なんですけど、それが中止になって、いけなくて。で今年の、あの最初申し込んでたんですけど、でももう、名義ほぼ捨てちゃって。結構大層に持ってんですけど、全部更新しなくて。で多分自名義と、親の名前が残って、なんで多分その2名義だけが残ったんですけど、外れて。私は今年のコンサートにいけなくなってる。	毎年/b1くんの誕生日公演/今年外れた/いけなくて/最初申し込んで/名義ほぼ捨てちゃって/大量に持って/全部更新しなくて/2名義だけが残った/今年のコンサートに行けない	誕生日に開催される公演参加の恒例化/多名義/名義の自然消滅/コンサート落選	熱量の多さによりライブの参加権利の有無が決まる価値観/他人への要求の跳ね返り	熱量の多さでライブの参加権利の有無が決まる価値観による、ライブ落選への納得	・熱心に応援していない人はライブに来てほしくないと感じるようになったきっかけは何か

<p>ストーリーライン</p>	<p>[担当の崇拜と担当以外の過剰な敵対]が起こっていた状況を語った。 [アイドルにおける徹底的なスキャンダル回避の重要性]に対するスタンスの対立から[グループ内での担当同士の対立と苦手意識形成]がされる。 ③さんの自担の場合、[ファンとの約束直後の裏切りの行為に対する不満の声]が[度重なる担当の騒動での他担からの攻撃活発化]に繋がった。特に[大きなチャンスの損失に対する文句の活発化]が起こった。また攻撃内容の面では[本筋と外れた攻撃に対する反感]や[本人の閲覧可能性のある場所での説教のようなツイートに対する嫌悪感]を特に感じていた。これらの経験の中で、[自担へのマイナス意見閲覧のトラウマ化]が起こり、[特定の担当に接近・交流する恐れ]が形成された。[特定の担当に対する苦手意識の共感形成]と[特定の担当に対する一定の距離感保持]というような、[担当が悪く言われることへの拒絶感からの徹底的回避と快適なファン活動のための徹底した環境設計]をするに至った。</p> <p>ファン活動において[ポジティブな内容の頻繁なツイート]をするようになった背景として、[ツイートによる担当のイメージ形成を鑑みたファン同士のツイート内容抑制の雰囲気]があった。これは、[担当への否定的見方が冒険であるという感覚]があり、それにより[担当が間違っている可能性に対する思考放棄から生じる否定的発言の抑制]が生じるためである。これより、[ファン同士の抑制力の高さ]を見ることができるとは、[当時の盲目的応援に対する客観視の結果、潜在意識下での違和感とその認知からの逃避]を認識するようになったことよりわかかったことである。</p> <p>グループメンバーの活動自粛中は[元の体制に戻る可能性の示唆による熱量の維持]が行われていた。しかしメンバーの退所後、[新体制に対する拒否感]が[周囲のファンと同様な新体制受入の必要性]の考えのもと周囲のファンと同じ感覚になれない焦燥感と落ち込みへと繋がり、[新体制への期待ができない]という担当グループへの信頼度低下と気後れ感を招いた。</p> <p>また[退所後すぐのアカウント削除]を行っていた。[当時の騒動の是非判断が難しい状況]であったため、[賛否両論の多様な意見により自分の考えを決めきれない疲弊]を感じ、特に[悪い意見からの逃避]を行いたいという思いが[Twitter削除要因]となった。</p> <p>さらに、親交の深かった[ファン同士の活発な討論による複雑な感情の発散]が行われていたが、その最中[友人の怒りとギャップによる客観的視点の誕生と熱量低下の実感]が生まれた。また、ファンとの関係性以外にも、[担当への熱量維持のための新しいコンテンツの必要性]からくる[新しいコンテンツの少なさによる他グループへの逃避と担当への熱量低下]があったことを、[自担のコンテンツを見た時の熱量低下の発見]から認識している。このように、[閲覧機会と熱量の相関関係]が伺える。</p> <p>新体制でのライブでは、[熱量の多さでライブの参加権利の有無が決まる価値観]による、ライブ落選への納得]をしてしたが、復活当選後のライブ参加で[ライブ中の歌唱力に対する心配による担当との距離化とその嫌悪感]を感じており、その後の[他のファンとの熱量の差による拒降りの自覚]をした。また、[グッズの取扱感覚の変化による熱量低下認識]もあることが、[熱量低下を感じた要因の確認]からできた。</p> <p>これらのように、[新体制をきっかけとした潜在下での否定的意見の表出と意見の多様化による疲弊]を招いていた。</p> <p>③さんのTwitterの活用について、B担である期間は[同じTwitterアカウントの利用]をしており、[Twitterで出会う友人との定期的な集合]をしていた。</p> <p>③さんのライブの楽しみ方として、[ライブ参加回数増加のための名義数増強]を行っていた。また、ライブ中のファンに対する不満として、[ファンサービスの自慢に対する嫌悪感]や[自担に熱中していない様子の人がいることに対する嫌悪感]を感じることもあったが、[担当を楽しむことがライブの第一優先事項]であったため、大きなインパクトはなかった。</p> <p>また、③さんのそのほかの価値観として[担当になった日の記念日的認識と重要性]を感じていたり、[拒降りと曲の分離的捉え方]をしったりしていた。</p>
<p>理論記述</p>	<p>(1)[アイドルにおける徹底的なスキャンダル回避の重要性]に対するスタンスの対立から[グループ内での担当同士の対立と苦手意識形成]がされる。 (2)スキャンダルについて、[ファンとの約束直後の裏切りの行為に対する不満の声]が[度重なる担当の騒動での他担からの攻撃活発化]、特に[大きなチャンスの損失に対する文句の活発化]を促進する。 (3)自担の攻撃に關して、[本筋と外れた攻撃に対する反感]や[本人の閲覧可能性のある場所での説教のようなツイートに対する嫌悪感]を生じさせる。 (4)[担当が悪く言われることへの拒絶感からの徹底的回避と快適なファン活動のための徹底した環境設計]をする中で、[自担へのマイナス意見閲覧のトラウマ化]が、[特定の担当に接近・交流する恐れ]を形成し、[特定の担当に対する苦手意識の共感形成]を経て[特定の担当に対する一定の距離感保持]をするに至る。 (5)[ツイートによる担当のイメージ形成を鑑みたファン同士のツイート内容抑制の雰囲気]により、[ポジティブな内藤の頻繁なツイート]をするようになる。 (6)[担当への否定的見方が冒険であるという感覚]が染み付いており、[担当が間違っている可能性に対する思考放棄から生じる否定的発言の抑制]が、[ツイートによる担当のイメージ形成を鑑みたファン同士のツイート内容抑制の雰囲気]を形成する。 (7)[当時の盲目的応援に対する客観視]をした結果、[潜在意識化での違和感とその認知からの逃避]を認識するようになる。 (8)グループメンバーの活動自粛中でも、[元の体制に戻る可能性の示唆による熱量の維持]が行われる。 (9)グループメンバーの退所は、[新体制に対する拒否感]を生み出し、[周囲のファンと同様な新体制受入の必要性]を前提とした[周囲のファンと同じ感覚になれない焦燥感と落ち込み]へと繋がり、[新体制への期待ができない]という担当グループへの信頼度低下と気後れ感を生み出すに至る。 (10)[当時の騒動の是非判断が難しい状況]下において、[賛否両論の多様な意見により自分の考えを決めきれない疲弊]を感じると、[悪い意見からの逃避]を行いたいという思いから、騒動となったメンバーの[退所後すぐのアカウント削除]を行う。 (11)[ファン同士の活発な討論による複雑な感情の発散]の中で、[友人の怒りとギャップによる客観的視点の誕生と熱量低下の実感]を得ることがある。 (12)[担当への熱量維持のための新しいコンテンツの必要性]があるため、[新しいコンテンツの少なさによる他グループへの逃避と担当への熱量低下]が起こり、[閲覧機会と熱量の相関関係]がある。 (13)[新しいコンテンツの少なさによる他グループへの逃避と担当への熱量低下]は[自担のコンテンツを見た時の熱量低下の発見]から認識する。 (14)[熱量の多さでライブの参加権利の有無が決まる価値観]による、ライブ落選への納得]をしてると、その後ライブに参加できても[ライブ中の歌唱力に対する心配による担当との距離化とその嫌悪感]を感じたり、[他のファンとの熱量の差による拒降りの自覚]をするところがある。 (15)[グッズの取扱感覚の変化による熱量低下認識]をすることがある。 (16)[新体制をきっかけとした潜在下での否定的意見の表出と意見の多様化による疲弊]が、拒降りの一つの全体像である。 (17)Twitterの利用方法について、担当を変えない限り[同じTwitterアカウントの利用]をしており、[Twitterで出会う友人との定期的な集合]も行われる。 (18)[ライブ参加回数増加のための名義数増強]を行うことがある。 (19)ライブ中のファンに対する不満として、[ファンサービスの自慢に対する嫌悪感]や[自担に熱中していない様子の人がいることに対する嫌悪感]を感じることもあるが、[担当を楽しむことがライブの第一優先事項]であるため、大きなインパクトはない。 (20)[担当になった日の記念日的認識と重要性]を感じることがある。 (21)[拒降りと曲の分離的捉え方]ができるため、拒降り後も曲を難なく聞くことができる。</p>
<p>さらに追究すべき点・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜアイドルにとってスキャンダルがNGなのか ・当時の状況について他の担当からも話を伺いたい。 ・どういところで愚痴垢がどう見分けているのか ・同じようなトラウマを持って人がどれくらいいるのか ・同じような感覚を持っている人の割合 ・当時の状況として、ほぼ全員が自担の擁護に回る形だったのか ・今の担当に対して盲目的に応援していると感じたことはあるか ・もしその友人同士の間には4担がいたらどうなっていたか ・熱心に応援していない人はライブに来てほしくないと感じるようになったきっかけは何か

SCAT(Steps for Coding and Theorization)を使った質的データ分析

付録7：SCAT表④

番号	発話者	テキスト	<1>テキスト中の注目すべき語句	<2>テキスト中の語句の言い換え	<3>左を説明するようなテキスト外の観念	<4>テーマ・構成観念 (前後や全体の文脈を考慮して)	<5>疑問・課題
1	④	もともと全くジャニーズにはそんなに興味はなくて、親が突然Fにはまったのがきっかけなんですけど。親は元々若い頃に、Uが好きで。その後Fが好きになったみたいで、で、Pのpくんが好きだって、ずっとと言って、辞めちゃったので。そこからは全部グッズとかも売っちゃって言ってたんですけど。捨てちゃって、でもう、全然ジャニオタではなかったんですけど、ちょこちょこ見てて、1つ転機があって。					
2	④	《ドラマA》があってFくんが主演のやつなんですけど、それをただ単に、興味本位で見てたら、Fがまあ主演だったので、主題歌もFで。たまたまそのPVを見たみたいで、そしたらすごくかわいい子がいるっていう事で。Fくんが好きとか、Hくんが好きだ、とか言い出したので。でも誰だかわからないから、私がこの子は誰だよって、教えてあげなきゃいけないっちゃって。でも、私も分かんないの、一応協力して、こう見て一緒に見てあげてたんですけど、それがきっかけで私も一緒に見るようになって、まずFのファンになったんですけど、それが2013年ぐらいですかね。で私は、ジャニーズは初めてだったので、よくわかんなかったんですけど。とりあえず好きな人が、1人見つかった。それがまあFくんだったんですけど。なんかあんまり人気じゃなかったの、応援したいなと思って。まあそういう不純な動機なんですけど。でもまあかっこいいと思って、歌もうまいし、背も高いし、すく、あぁいいなあと、中学生ながら、年上の男性がいいなと思って。で、好きになったんですけど。で親はF担で、私はH担っていう形でずっと応援をしてたんですけど。					
3	④	最近なんですけど、2019年あたりですかね、2018年とか2019年あたりに、応援してただけでも、ファンがいる、新幹線止めたり、何ですかね、公共交通機関で迷惑をかけるっていう事件があって。で、私たちは全く関与してないんですけど、まあ怒られるという感じで、怒られる筋合いもないから、別に、関係はないんですけども、怒られるというか、ちょっと注意されるようになってんですけども、その一環で、本来やるはずだったコンサートがなくなってしまって。見せみたいいな感じで、なくなってしまって。でそれがきっかけで、ちょっとだけ応援したくなってきちゃったことがあって。	ファンがいる/新幹線止めたり/公共交通機関で迷惑をかける/怒られる/筋合いもない/怒られるというか、ちょっと注意される/その一環で、本来やるはずだったコンサートがなくなってしまって。見せみたいいな感じで、なくなってしまって。でそれがきっかけで、ちょっとだけ応援したくなってきちゃったことがあって。	ファンによる様々な騒動/迷惑行為/執拗なファンの追いかけて/事件沙汰/一部のファンとの関与/自身の無関係性/とばかり/或る程度/差込まれた損/熱量減少のきっかけ/応援から遠ざかる/応援したくなくなる	自身の不関与によるライブ中止の不満/金銭消費減少に対する応援のモチベーション低下	自身の不関与によるライブ中止の不満と応援するモチベーション低下	・注意されるとは具体的にどのような内容を誰にされたのか
4	④	というのは、親もそうだし、私もせっか/楽しみにしてたのに、自分じゃない誰かのせいで、コンサートがなくなっちゃってっていうのに、ちょっと変だなあと思って。嫌だなあっていう感じだったんですけど。まだFのこと嫌いにはならなかったんですけど。	親もそう/楽しみにしてた/自分じゃない誰かのせいで/嫌だなあ/嫌いにはならなかった	親も同じ感情・意見/他人の違和/他のファンへの不満/担当に対する想いの不変	親との不満共有/ライブの中止自体と担当への熱量の非相関性	親との不満共有/ライブの中止と担当への熱量の非相関性	
5	④	その後に、2019年の《コンサート》があって、チケットが当たったので行ったんですけど。コンサートMCの中で、ファンに、特に公共交通機関で迷惑をかけないでっていうんじゃなくて、ファンのことを他の面でディスり出したことが一回あって。母はすごくうんと言ってるんですけど、MC中に、Fくんが、双眼鏡でスタンドの結構前の方から多分肉眼で見える距離なのに、双眼鏡でステージを見てるお客さんがいて。その人になんて双眼鏡で見てんの、みたいな。もう毛皮まで見えちゃうじゃん。で嫌みで言ったのってFのこのこと下げて、悪く言っちゃって笑うみたいなことが、あったんですけど。私は別に、なんかやっちゃって思ってたんですけど、とても母親はすごく気に障ったみたいで。もうなんなのあれって、コンサート行って嫌いになって帰ってきたんですけど。それが大きな転機となって、親は拒否したっていう感じになったんですけど。	他の面/ディスり出した/すぐずって/双眼鏡/嫌み/鼻で笑ながら/無関心/嫌な気持ちが生成される様子/楽しいはずのライブ/ライブでの予想外の嫌な思い/母の拒否/馬鹿にされたように感じる	ファンを下げて言う行為/近くで双眼鏡で見る/嫌み/鼻で笑ながら/無関心/嫌な気持ちが生成される様子/楽しいはずのライブ/ライブでの予想外の嫌な思い/母の拒否/馬鹿にされたように感じる	担当には大切にしてほしいという気持ち/ファンに対する尊重がないことへの悲しみ/楽しいコンサートにおけるショックな出来事/ギャップ/アイドルとファンの上下関係	担当のファンに対する皮肉な発言/ファンへの尊重の欠如に対するショック/親の拒否	
6	④	もともとそれだけが原因ではなくて、Fくんも言動がちょっと、ありのままの自分を好きでいる人だけが、ファンでいいよとか。あんまり、ファンを大事にしないよなことを言ってるって。あんまり、気にめさなかったっていうことがちょっと積み重なったみたいで。	それだけが原因ではなく/言動/ありのままの自分/ファンでいいよ/大事にしない/気にめさなかった/積み重なった	拒否原因の複合性/担当の言動に違和感/ファンを大事にしない/自分から言われる発言/気に食わない/良い気がしない/小さいことの積み重ね/これまでの担当の言動に違和感/ありのままを受け入れてほしいと言ふ要求	ファンに対する受け身な要求/アイドルとファンの主従関係/不満の積み重ねによる爆発/ファンに寄り添う体制のなさ	アイドルとファンの主従関係性に対する小さな不満の蓄積	
7	④	あとは大きいのが、ファンサービスを全くなくなったというか。昔は少してたんですけど、だんだんファンが増えるに従って、全く手を振ってられなくなってしまった。コンサートにせっかで行って、全然ファンの方を見てくれないとか、ちょっと避けられてるような感じがあつたって言ってて。	ファンサービス/昔は少し/ファンが増える/全く手を振ってられ/全然/見てくれない/避けられてる	ファンサービスの減少/昔からのファンサービスの不十分さ/避けられてる感覚/ファンサービスがなくなった担当	ファンへのサービス精神減少の感覚/ファンへのサービス精神の察知高感度	ファンサービスの減少によるファンに対する想いの薄れ	
8	④	対して私が応援しているFくんは絶対コンサートに行ったら自分のうちわ絶対に見つけて、手を振ってくれたり、指を指してくれたりしてくれてたんですけど。	うちわ絶対に見つけて/手を振って/指をさして	自担のファンサービスの確実さ/手を振る/自分を指す	母の担当と比較した自担のファンサービスの旺盛さ/自分の方が担当に優遇されている自負	親の担当と比較した時のファンへのサービス精神の優位性	
9	④	最後に行った《コンサート》に、私が行った最後のコンサートなんですけど、みんなのメンバーほとんどファンサービスをしてないで、Fくんもいないかーみたいな、やっていたのが。そこから辺り行って、ほとんどみんな、ファンの近くにおざわがざわ来てくるのに、全然ファンサービスをしないので、おかしいな、おかしいな、みたいな感じだったんですけど。	最後のコンサート/ほとんど/ファンサービス/近く/おざわが/来て/おかしい	最後に行ったコンサート/ファンサービスの極端な減少/ファンとの距離が近くてもファンサービスをしないことへの疑問/担当に対する疑問と不満/以前とのライブ中の態度の豹変に対する疑問	ファンに近づけるときはファンサービスをするものだという前提/これまでのライブとのファンサービスの量に対する比較	過去のライブ参加経験と比較したファンサービスの明らかな減少	
10	④	私も、Fくんお仕事が全く来ないのに、ずっと長らく応援してて。歌がうまいので。ミュージカルとかお仕事来たらいいなって、いう感じで応援してたんですけど。ミュージカルが一応決まったんですけど、コロナでなくなってしまった。せっか、チケット4枚くらい取って、行こうとしてたんですけどね。親も一緒に来てくれるって言うので、親の分もチケットとって、だから2人で8万円分くらいはチケットをとって、そんなこと今までしたことないんですけど、あまりにも人気がなくて、たくさんチケットが取れちゃって。で楽しみにしてたんですけど。	お仕事が全く来ない/長らく応援/一応決まった/コロナでなくなって/チケット4枚/親も一緒に来てくれる/今までしたことない/楽しみにしてた	仕事がない/長い期間の応援/ようやく決まった舞台の中止/高額なチケット代/ようやく決まった仕事への嬉しさ/舞台の待ち遠しさ	仕事がなくとも応援していることに対する担当からの承認欲求/仕事に来ない中一緒に頑張った気持ち	人気がなくても応援した自負/やっとならば仕事への待ち遠しさ	
11	④	ちょうどコロナになって。楽しみにしてた舞台もなくなっちゃってっていう感じで。それが3月の舞台だったんですけど、ちょうどコロナが流行りだしたところですね。だから2020年ぐらいですかね、2020年の3月頃なので、2019年の《コンサート》がちょうど年越しのコンサートだったので、ちょうどやめて、降りた。でも行きたいからと言って申し込んだけど、なくなっちゃったので、もう完全にモチベーションがなくなって、ほぼ拒否状態みたいな感じになって。ファンクラブも辞めちゃって、やめてっていうか更新しなくて。	舞台も無くなっちゃって/流行りだした/ちょうどやめて/降りた/行きたいから/申し込んだ/完全に/モチベーションが/ほぼ拒否状態/ファンクラブ/更新しなくて	コロナ禍での舞台中止/コロナ禍での冬のライブの中止/熱量減少/完全に拒否/申し込み/モチベーション低下/ファンクラブ未更新	ファン活動における舞台やライブの重要性/応募後のライブ中止に対する悲しみ	ファン活動における舞台やライブの重要性/ライブ中止による応援のモチベーション低下	
12	④	っていう感じなんですけど、私は一応ほかのグループも好きで。BとDのファンクラブに入っていて。で実はJのファンクラブも入ってたんですけど、Jはやめちゃったんですけど。	他のグループ/ファンクラブ	掛け持ち/他のグループのファン			
13	④	Jを辞めちゃった理由は、嫌いじゃないんですけど、すごく好きなんですけど、コンサートにあたって、横浜アリーナの前か2列目の席だったんですけど、初めて行ったのすごく近くで、結構期待して行ったんですけど。自分が見たかったものと、ちょっとだけずれてたって感じがして。	嫌いじゃない/すごく好き/コンサート/すごく近い/期待して/見たかったもの/ずれて	ライブでの期待外れ/理想でない状態/理想とずれの認識	テレビとライブでのイメージのギャップ	・他のグループでズレたと感じたことはないか	

39	④	私はあんまり、何ていうんだろう、Twitterで眩くのが得意じゃなくて。なんか色々考えちゃって、結局何も書けなくなっちゃるんですけど。なのであんまり、つぶやきまくることはないんですけど。たまに、すくよかったとか、いいことつぶやんでんですけど。悪いことはあんまり眩けないっていうか。感じがあって。	得意じゃなく/色々考えちゃって/何も書けなく/たまに/悪いこと/あんまり眩けない	ツイートへの苦手意識/ツイートの前の思考時間が長い/考えすぎる/結局書けなく/ネガティブなツイートの可能性/マイナスな意見/否定的なツイートの不可能性	否定的なツイートができない雰囲気/不意に眩くことに対する恐れ	不意に眩くことに対する恐れによるツイートへの苦手意識/否定的なツイートの不可能な雰囲気		
40	④	一回Mのことがあんまり気に入らなくて。なんで気に入らなかったかという、あんまり仲良くないじゃんと思ったんですけど。ドキュメンタリーを見たんですよ、(ドキュメンタリー番組)っていう。見たのがMの回だったんですけど、すごく先輩が、先輩ずらしてて。後輩の子たちかわいそうみたいなの。感じて思っちゃって。実際どうだか分からないけど、まあそうやって見えてるっていうことは、あんまり良くないことだと私は思ってます。						
41	④	グループはずっと結構仲良くやっていけなくて続かないっていうことを思っていて。なんでこういうことを言ってるかっていうと、Bのファンなので、どんどんどんどんやめていくっていうのを、目の当たりにしてたというかしてないというか。まあ4人になってからは好きになっちゃったんですけど、実際その後4さんが辞めちゃったり。で、仲が悪かったという訳じゃないとは思ってますけど、やっぱり、情があったり、温があったりすると、やっぱり長(続けられたい)するのになんていう風に思ってます。で、今が好きなのも、家族みたいな、アットホームな感じがあって。Bもそういう感じだったので、応援してたんですけど。Fも結構、休日みんなで集まってゲームしたり、普通の友達みたいな感じが、結構好きで。なのでそうあるべきだという風に、ちょっと思ってます。						
42	④	で、グループが長く続くには、やっぱり仲が良くないといけないと思うし、もっとコミュニケーションを取った方がいいし、先輩と後輩が敬語を使ってるようにあ、ちょっとこの先うまくいかないんじゃないかっていうふうに、思ったので、Twitterで、夜中に、「M、とってまかついていと思うけど、やっぱり仲があんまり良くないから、あんまり好きになれないなー」っていう風に、つぶやいたんですけど、本当に深夜に、疲れて、眩いたんですよ。そしたら、すごい、悪垢垢の人から、すごい攻撃されたんですよ。で、それがあって、悪いことつぶやくとんなんに言われるんだと思って。トラウマで、その時からはあんまり変なことをつぶやけ無いですけど。	グループが長く続く/仲良くない/この先うまくいかない/んじや/夜中/好きになれない/深夜/疲れて/悪垢垢/すごい攻撃/悪いこと/こんなに言われるんだ/トラウマ/変なこと	グループが長く続くための友好関係の重要性主張/成功しない悪垢/深夜の投稿/疲の末の投稿/悪垢垢からの攻撃/素早い反応/一斉攻撃/トラウマ化/否定的発言の可能性	担当でないグループに対する否定的なツイートの攻撃/ツイートの攻撃に対する衝撃の大きさ	グループにおける友好関係の重要性主張/担当でないグループへの好きになれない表明に対する素早い攻撃的ツイートの攻撃的ツイートに対する恐怖とトラウマ化		
43	④	あまり攻撃するようなことを普段言わないんですけど。あんまりTwitterとかでも言わないようにしてるんですけど。あまりにも疲れたみたいで。もうちょっと、言いたくなって。ちょっとあまりにも気に入らないと思って。ちょっとつぶやいたらすごい深夜に、すく返ってきて。	攻撃/普段言わない/言わないようにしてる/言いたくなって/すく返って	発言の攻撃的性質/攻撃的発言の自制/素早い反応/たった一度の投稿				
44	④	それが私に対する暴言じゃなくて、Hに対する暴言だったので。1つて、よく(名前を絡めた暴言)って言われて。(Hの名前)「F」を付けて(名前を絡めた暴言)って。あんまり顔がかつてよくないって、結構デビュー前から、攻撃されることがよくあって。なので、そういうことを言いたい人達っていうのは、一定数いるみたいで。そういう言葉で攻撃されたので、びくっしちゃって。だからちょっと、今でもMの応援しようという気にならない。トラウマで。	私に対する暴言/カッコよくない/攻撃される/そういうことを言いたくない/一定数いる/そういう言葉/びくっ/応援しようという気/トラウマ	自担に対する暴言/自担の容姿に対する暴言/おた名/暴言で攻撃するのは好きな人/ある程度の存在認識/実際の体験としての衝撃/驚き/トラウマ	ファンからの攻撃によるファン化の抑制/	自担への暴言での攻撃に対する衝撃/ファンからの攻撃によるファン化抑制	・グループを御論するような暴言はその他にあるか	
45	曾我	なるほど、そうなりますよね。Twitterとかでのトラブルとかをよく聞くので、一緒に同って感じではあったんですけど。Fの頃の話に戻っちゃるんですけど。アンケートでちょっと担当に熱が冷めた経験ありますかっていう質問で、ジャニーズファンの仲間同士でうまくいかないことがあったみたいな。感じて、同担拒否の方に親まれて怖かった、みたいなことを、ライブ中の出来事とか、書いていただいたかなって思ってますけど。ライブ中に、ファンの方が怖かったみたいな経験とかって、どんなものがありましたか？						
46	④	自分の中では、やっぱりいらまれたっていうのが一番大きいんですけど。他とかですか？						
47	曾我	もし他があれば。						
48	④	結構ファンの層が悪い時があって。2014年ぐらいに、初めてコンサート行ったんですけど。ヤンキーみたいな、そのときまだ流行ってなかった黒いマスクをして、格好とかもつなぎだったり、メンバーが着る衣装の同じ服を着てたり、あとは東京ドームのコンサートだと、自分のすわっているところにジャニースートを敷いて、自分の持っているうちを何本も並べて、なんか目立とうとしてる人とか。結構色んな人がいて、かつ年齢層がすごく若いので、ちょっと怖いなあって思ったりはしましたね。ただ、ちょっと怖いなあって終わったんですけど。やっぱりちょっと、えってなっちゃって。	ファンの層が悪い/ヤンキー/黒いマスク/つなぎ/衣装の同じ服/レジャーシート/何本も並べて/目立とう/いる人/若かった/ちょっと怖いな/怖/怖いなあって終わった/えって	悪いファンが多い時期/特徴的な服装/派手な行動/目立つ/ファンの多様性/目立つ行動をするファンに対する恐怖心/若者の多さ/派手な行動に対する衝撃	ファンの奇抜性/奇抜な格好によるアピール/ファンの層が悪い=奇抜な格好をしたファンが多い状態	ファンの奇抜な格好に対する衝撃と嫌悪感	・ファンの層が悪い時ということの良い時もあったのか	
49	④	ただ年々、行くときまた違った人が来るので。私はあんまり親と行ってるせいか、双子コーデとかしてなかったんですけど、結構双子コーデで来る人とか、	違った人/双子コーデ/	お揃いのコーディネート/双子コーデ/ライブ毎のファンの路線変更/違った派手な格好をした人たち				
50	④	結構ファンですっていうのを表現したいのか、結構ハグとかに、いっぱいグッツのキーホルダーをつけたり、自分で作った缶バッジとか、あとは公式じゃないグッツをつけてる人とかがたかさんいて、あんまりよくないのかなとか思ったりして。だからあんまり治安が良いっていう印象は、まったくなくて。そこはちょっと気になったけど、スルーというか。	ファンです/表現したい/グッツのキーホルダー/缶/バッジ/公式じゃない/よくないのか/治安が良い/まったくなく/スルー	ファンであるアピール/非公式グッツに対するグレーゾーンの認識/治安/雰囲気/良さ/マナーのよさ/良いとは言えない/雰囲気に対する若干の違和感/スルー/無視/秩序だっていない	ライブ参加におけるファンであるアピール/奇抜な格好とマナーの良さの相関関係/ファンの様子の非重要性	ファンの派手さによる無秩序な印象/ファン活動におけるファンの印象の非重要性		
51	④	とりあえずコンサート行ければいいや、みたいな。	コンサート行ければいいや	ライブに行くこと自体の重要性		ライブ参加の最重要性		
52	曾我	ただライブ行ければいいや、みたいな。						
53	④	そうですね。でも1つ気になったのが、銀テープが出てくる時に、ものすごい取り合いになるんですよ。	銀テープ/取り合い	銀テープの取り合い				
54	曾我	わかりますね。						
55	④	すごいことになって、前の人も引く張るし、後ろの人も引く張るし、取れない時は前の方まで行って、持っている人「ください」って言いに行くとかかいて。でもも丁度またま、銀テープ飛んでくる席にいて、3本ぐらいとれたんですけど。それを見たのが、高校生ぐらいの女の子が、私のところにきて、銀テープ譲ってくれませんかかってきたので、まじかみたいな。そんなあげるつもりとか全なかったんで、断っちゃったんですけど。まじか、みたいな。そこまでして欲しいんだ、みたいなことを思ったので。ちょっと嫌だと思ってたことはあります。	引く張る/「ください」/たまたま/譲ってくれませんか/マジか/全くなかった/断っちゃった/そこまでして/嫌だ	銀テープの引く張り合い/もらいに行く行動/銀テープの偶然的獲得/実際に銀テープを求められた際の衝撃/実在することへの驚き/断る/銀テープ取得欲求の大きさに対する驚きと嫌悪感	ライブにおける銀テープの重要性に対する違和感/ライブの参加記念品の取得欲求	ライブでの銀テープ取得欲求の大きさに対する驚きと嫌悪感	・銀テープの取得欲求はどこから来るのか ・銀テープが欲しいとの声かけに嫌悪感を感じるの は何故か	
56	曾我	私も取りあいでた事あるので、あれすごいですよね。みんなすごいパワーですよ。						
57	④	もうメンバーのことそっちのけで、もうずっとやってるんで。	メンバーのことそっちのけ/ずっと	メンバーよりも銀テープが重要状態				

58	曾我	あれすごいですよね、なんかちょっと怖くて難しかった経験が合っ て。ライブでそういう、あすこいな、みたいなファンの方がいたり とかってあるので、アンケートの時は、担当への熱が冷めた出来事っ ていうところに、それを書いていただいてたんですけど、ファンの人達 の雰囲気の原因で、熱が冷めるとか、冷めちゃうみたいな経験って、 やっぱりありますか？例えば、睨まれたりとか、その後って、sくん愛 がちょっと薄れたりとか、ちょっと冷めた目で見ちゃったりとかって いうのは一回あって。					
59	④	そうですね、睨まれたのは結構衝撃的。自分は結構平和的に 応援したかったというか。数少ないファンで手を取り合っって応援した たなっって感じだったんですけど。当時高校生で大人の人に睨 まれて、もうすごい怖くて。なんかそういう人たちが応援してるん だっと思ったら、fくんに対してではなくて、f担当が嫌いになっ ちゃっって、っていうのは一回あって。	睨まれた/衝撃的/平和的に 応援したかった/手を取り 合っって/大人の人/すごい怖 くて/そういう人たち/f担当 が嫌いに	チケット交換時の睨まれた 経験の衝撃/印象の悪い経験/ ファン間の協力体制がな いショック/大人への怖さ/f担 の印象低下/友好関係を築 けないことに対する嫌悪感	ファン同士が友好関係を築こ うとすることに対する理想	ファンの中で友好関係を築く 姿勢がないことへの嫌悪感	
60	④	その後、同じ頃かもしれないんですけど、fくんの舞台を見に行 ったんですけど、チケット譲ってもらったときに、すごく、余ったチケ ットをくれるってことだったんですけど、すごく愛想が、すごく悪い 人がチケット譲ってくれるってことでも、実際に会ったんですけど、も うすごくびっくりするほど。え、みたいな。すごく敵意を持ってるよ うな目つきで、え、みたいな。ちょっととまどっちゃって。大学一年生 の頃だったんですけど、大人の30代くらいの人だったので、こうい う人いるんだ、みたいな感じ。それもf担当イメージダウンにつなが るんですけど。	チケットを譲ってもら/愛想 /すごく悪い人/びっくりば う/敵対心/目つき/え/戸惑 っ/こういう人いるんだ /f担当のイメージダウン	チケットの頂戴/愛想が悪い /同じファンの敵愾/悪い 印象に対する衝撃/戸惑い/驚 き/f担当のイメージダウン	ファン同士の初対面におけ る最低限のコミュニケーション と戸惑い	初対面のファン同士での最低 限の愛想がないことへの衝撃 と戸惑い	・他の担当でも同じような 出来事がないか ・チケット交換をする際に 他の人たちはどう感じ ているのか
61	④	もっと、譲ったり譲られる時って、もうちょっと今までは、柔和な雰 囲気というか、初対面だし、ちょっと挨拶したり、いろいろお話しして たんですけど。すごくこわい感じ。なのでちょっと、引いちゃって。こ んな人と同じファンなんだと思っちゃって。それでいやだんって思っ たことはあります。	今まで/柔和な雰囲気/初対 面だし/こわい感じ/引い ちゃって/こんな人/同じフ ァンなんだ/いやだん	愛想のいい/これまでの経験 /優しい印象/初対面でのや り取りの存在/怖い態度に 対する不快/同じファンであ ることへの嫌悪感	これまでの経験との比較/同 じファンであると括られるこ とに対する嫌悪感/「同担」と 同じカテゴリに入られるこ とへの優越感を感じられない 状態	・集団心理的な側面から の考察を深める	
62	曾我	一緒にされたくないみたいな感じなんですか？					
63	④	そうですね、自分は絶対違うと思ってるんですけど、分かんない ですけど、ただ今までチケットを譲ってもらったり、譲ったりした事 があったので、こういう人は初めてだんって思うので、睨まれたのも f担当だし、怖い目つきでチケットを渡されたのもf担当で、ほかの人は全 くそういうことがなかったの、なんか違うみたいな。感じは思いま したね。	絶対違う/分かんない/初 めて/睨まれた/怖い目つき/ なかった/なんか違うな	同じでないとの自負/実際は わからない/睨まれたのが初 めて/他のファンとの違いが 顕著/			
64	曾我	なるほど。何かそういうことがあった時は、fくんへの推す気持ち みたいなって、変化とかはありますか？よりがんばろうと思っ たか。っていうのが、逆にあるのかなあ思っ					
65	④	そうですね、fくんを応援する気持ちはわかんないんですけど、も う同担の、偏見というか、同担やだんみたいな感じは、思いま したね。同担拒否っていうわけではないんですけど、全然仲良くしたい んですけど、そういうことがあるとやっぱり、ちょっともう開きたく ないっていうか、こわいなあと思っ、なのでfくんのことが嫌いな と、fくんを応援するのちょっとやめようかなっていうのはあんまり ないんですけど、もう絶対チケット自分で取ろうみたいな。っていう気 持ちは生まれるっていうか。	応援する気持ち/同担の、偏 見/同担やだんあ/同担拒 否っていうわけではない/仲 良くしたい/開きたくない/ こわいなあ/やめようかな/ 絶対チケット自分で取ろう	担当への熱量のファンによる 普遍性/同担自体に対する 偏見/同担拒否ではない/同 担に対する悪い印象/関係 性の極力の排除/自力での ファン活動/関係を持つこ とからの逃避/ファンでい ることの継続	同担に対する嫌悪による同 担との積極的交流の減少/ 担当への熱量の圧倒的優先	同担に対する積極的交流の 減少	
66	曾我	なるほど。そういうことがあっても、まあf担当をなんだか んやっって、で新幹線止めたりとかアリーナが無くなったりするの が、私も覚えてるんですけど、そういうときは、そういう事件とか話 とかがTwitterとかニュースとかであった時に、どう感じられて ました？その時に感じたこととかがあれば。					
67	④	元々年齢層が低かったんですけど、あんまり大人のファンが少 なくて、若い子が多かったんですよね。より人気になった実感がある のが、《特別番組》でAと一緒にMCをやった時が、あの後すごく ファンが増えたんで、それはすごく嬉しかったんですけど、同時に すごく変なファンも増えちゃって。過激な、Twitterとかでも結 構、問題になるというか。ファンからも嫌われるファンも いた。fくんへの愛をずっと語り続けるみたいな、人がいて。今も 多分居ると思ってますけど。結構話になって、当時。	年齢層が低かった/大人の ファンが少なくて/人気にな った実感/ファンが増えた/ 変なファン/過激/問題にな る/ファンからも嫌われるフ ァン/愛をずっと語り続け る/話題	若いファンの多さ/ファンの 母数の増加/ファンの過激 さの実感/ファンによる問題 の増加/過激/問題になる/ ファンからの嫌われるフ ァン/話題性	ファンの母数の増加による過 激なファンの増加/集団の中 で個性を認めないというイ デオロジ	ファンの増加による過激なフ ァンの増加/過激な発言を するファンに対する嫌悪感	
68	曾我	そうなんです、結構しゃべってることが？					
69	④	結構なんです、ツイートなんです。160字でしたっけ、の ツイートに、もうずっとfくんのことを書いてるんですけど、旦那 とか、そっち系の、褒めてるんですけど、自分のことあげ る感じが、ツイートしてのが、結構過激というか、自意識過剰 じゃないですか、結構夢見てるというか。結構話になった んですけど、そういうことは、結構すごく覚えてます。なんかあ ったなっって。	ツイート/ずっと/旦那/そ っち系/自分のことあげ る/自意識過剰/夢見てる/ すごく覚えてます/なんかあ ったなっ	ツイート内容の過激さ/担当 も自分も良くツイート/夢 みがあるツイート/印象的/ 記憶に残ったツイート	自己物語の閉じられた物語 現象に対する違和感/	自己で閉じておくべき物語 の表出に対する違和感	
70	曾我	ツイートのには、自分とfくんが夫婦になってる感じのツイ ートするみたいな。					
71	④	多分そういう感じですか？					
72	曾我	だからそういうのとかも、その《特別番組》の 後から増えた印象があるって？					
73	④	そうですね、で増えたので、けっこう変なオタクが増えて。か つ年齢がまだ中学生高校生くらいの若い、まだ元気があ る子で、騒ぎたがりな感じが、もうそういうことが起きても あまり驚かないというか。まあしょうがないよね、みたいな。	変なオタク/中学生高校生/ まだ元気がある子/騒ぎた がり/あまり驚かない/し ょうがないよね	派手な行動をするオタクの 増加/騒動の非特出性/騒動 に対する慣れ/騒動が起 こることに対する諦め/	騒動が起こる集団である というf担当のイメージ	・他のグループのファンで あればその点に驚きや 違和感を感じるのか	
74	④	ただそれで自分たちがとぼっちを受けけるのは、なんか 違うよねって感じがあったんですけど。ちょっとそれで、 コンサートなくなって、みんなが沈んでる時に、それは事務 所からの見せしめだっという意見が多かったんですけど、 突然台湾でコンサートやるって言い出して。台湾、台湾？ みたいな。あんなもうやんないって言ったのに、台湾？ みたいな。	とぼっち/沈んでる/見せし めだっという意見/突然/ 台湾？/あんなもうやん ないって	マナーの悪いファンの飛び 火/気分の落ち込み/見せし め/牽制のためのコンサ ート中止/海外でのライブ 開催に対する驚きと不満	集団内での意見により不 満が確信・拡大へ	日本と海外のファンに 対する対応の不平等に 対する不満/集団内 での意見交換による不 満の確信・拡大	
75	④	まあ、台湾始まったはいんですけど、台湾の空港にFが、ま あ降りたらお出迎えのファンがワーワーって結構いっぱい いるんですけど、海外行った時は、それが歓迎の挨拶として は合っていることだと思うんですけど、そのファンが、日本 のファンにはやらないか、台湾のファンはやっていい のかとか、そういうことになって。より言ってることとや ってることが違うじゃないかっていうことで、みんなの 気持ちも下がったっていうか。	始まった/お出迎えのフ ァン/ワーワー/歓迎の 挨拶/日本にはやらない か/台湾のファンはや っていいのか/みんなの 気持ちも下がった	海外でのお出迎えの許容/ 日本と海外の文化の違い /日本ではダメなこと が海外で許容されるこ とに対する不満/ファン 全体のそういうムード			
76	④	で台湾に行ける人って、結構お金がある層だったので、またお かしくなったというか。ファン的にはちょっと事務所おかし いんじゃないか？みたいな感じですかね。	結構お金がある層/おかし いんじゃないか？	金銭面での縛りが多いこと への不満/ファンと事務 所間の関係性の悪化/ ファン全体から事務所 に対する不満	金銭的格差の影響/ コンテンツの金銭面 での利用制限	コンテンツの金銭面での実 質的な利用制限による 不満	
77	曾我	そういうのが結構Twitterとかで言われてたって感じ で。	Twitterとか				
78	④	そうですね。					
79	曾我	なるほど。その話は結構いろんなところで聞 くんですけど、その事務所の対応が、うん？みたいな ところで、Twitterとかf担当の方々がわざ わざと出して、それからその次のMCで ちょっとファンのこと下げられた みたいなのは、どれぐらいの期間が 開いたんですかね？					

80	④	そうですね、台湾は多分夏のアリーナコンサートが無くなって、秋頃に台湾に行ったんですね。で、年越しコンサートが12月1月にあって。なので初めてからは半年ぐらいですかね。	夏の/秋頃/半年ぐらい	コンサート中止から担降りまでの期間/半年		騒動の頻発による担降りまでの素早さ
81	曾我	でも結構近い距離だったんですね。				
82	④	結構短いスパンでコンサートがなくなり、コンサートが台湾であって、で冬コはやるよみたいな感じで。	短いスパン/コンサート/冬コン	騒動の頻発性		
83	曾我	そこでMCでなんか言われて、うん？みたいな感じだったという。				
84	④	そうですね、ちょうど事務所の対応に、おかしいんじゃないか、Fだけかわいそうだって言う。あとなんでそういう意見が出るかっていうと、Kもファンが新幹線止めたんでして、Kはコンサートやってたんですよ。Kやってるのうちのグループができないなんておかしいでしょ、みたいなのがあって。	事務所の対応/おかしいんじゃないか/かわいそう/Kも/Kも/やってるのに/おかしい	他グループとの比較/自担グループだけ/事務所に対する対応の不満/	他の担当のファンダムとの比較/他グループの優遇による不満増大	他グループの優遇の対応に対する不満
85	④	結構F担はTwitterやってる人も多いんですけど、ブログやってる人も多くて。で私はTwitter見るんですけど、親は結構ブログを見るみたいで。ブログ文化が結構続いているんですけど、でブログ読めるのかかわかんないんですけど、そういう意見もあるねえみたいなのを、共有したりしてたんですけど。	ブログやってる人/ブログ文化/そういう意見もあるねえ/共有	ブログ上での意見交換/ジャーナリスト/ファンの中でブログ文化/さまざまな意見の閲覧/親子間での意見共有		Twitterやブログを用いた意見交換
86	曾我	台湾やるんだみたいな、事務所の対応とかMCで言われたみたいなの話って、結構全体、F担全体的にそうだったんですか？				
87	④	そのMCのやつとかも結構F担の間では、結構話題になっているような感じが、私的には、私の親的にはすごくもう大ニュースで、やめるかやめないか、これがきっかけになるような大事件だったって言うんですけど、Twitterを今探しても、そのレポがどこにも見つかからないという。	結構話題に/私的/私の親的/大ニュース/やめるかやめないか/大事件/レポ/どこにも見つかからない	親の担降り原因の重大さ/コンサートのレポートの消失/探しても見つかからない		
88	④	Fは結構MCのレポを流す文化があって、他のグループは結構ネタバレ禁止とかあるんですけど、Fのファンは、録音してるのか分からないんですけど、結構詳細なレポを流すんですね。なのでTwitterのハッシュタグ見れば、もうその日何話してるか全部わかるんですけど。その日の私の母が気分を害した点のことは、今探しても全く出てこない。もしかするとファンが自分らで、ちょっとこれはよくないからとせいでおこうっていう、忖度でやってくるのか分からないんですけど、なので記録がほぼ残ってないんですけど、探すと、ちょっとだけ、あれおかしいんじゃないかって言うような。ちょっとだけ見たいので、なので多分おかしかったんだろなって感じてますかね。	MCのレポを流す文化/ネタバレ禁止/録音してるのか/詳細なレポ/ハッシュタグ見れば/全部わかる/母の気分を害した点/全く出てこない/もしかすると/自分らで/載せないでおこう/忖度/記録がほぼ残ってない/あれおかしいんじゃない/ちょっとだけ/多分おかしかったんだろ/うな	ライブMCのレポートをツイートする文化/ライブMCの内容のツイート/他グループでのライブMCレポートの取り扱いのの違い/ハッシュタグ検索/せいでおこう/忖度/記録/担当に対する忖度行為/当時の記録の消失/当時の違和感の恠意性	各グループでのライブMCの取扱の違い/肯定的なことのみのツイートをする文化/否定的発言削除でのファンの間での協調による、担当のイメージ向上という「得」	担当による否定的発言のレポート削除の対応推測/各グループでのライブMCの取扱文化の相違/担当のイメージ向上に向けたファン同士での協調 ・ライブ終わった直後はレポートとツイートがあったのか ・全体を通した担当に大きな騒動だったのか
89	曾我	それに対して、親御さんとか色々言ってるのを聞いて、あーそうなんだ、みたいな感じで、ご自身もちょっと冷めていったみたい。				
90	④	そうですね、だからTwitterとかブログとかは、そのMCIに対して多分、誰もあんまり触れてないで、そういうところから発生したというよりは、もう完全に親がありえないって思ってるので。確かにそうだったわっていう感じで。	誰もあんまり触れてない/そういうところから/完全に親が/ありえない/確かにそうだったわ	親の担当への熱量減少要因/親の担当に対する全否定/親の影響の大きさ		
91	④	まあよく考えたら、変なこと言ってたみたい。感じて。その結構歴史も長い、10周年12周年ぐらいのグループが、そういうファンを落とすようなことを、東京ドームのど真ん中って言うのは、ちょっと良くないんじゃないかっていうのが、ありましたね、やっぱり。	よく考えたら/変なこと/結構歴史も長い/ファンを落とすようなことを/東京ドームのど真ん中/ちょっと良くないんじゃないか	言われたら思い返せる違和感/物議を醸す発言/規模の大きい会場での発言/ファンを悪くする発言/よくない/すべきではない	東京ドーム規模の会場でライブを行うアイドルであるという自覚欠如の懸念	アイドル自身の影響力の大きさに対する自覚
92	曾我	ちょっと自分の考えも変化するじゃないけど、確かにごあんまりな状態になってきて、仕事が結局なくなっちゃって、結局更新しなかった。				
93	④	そうですね。				
94	曾我	結構長いからこそっていうところがありますね。				
95	④	そうですね。まあそこそこ、5・6年ですかね、応援したのかもしれないんですけど、やっぱり今まで、自分がファンになってからファンもどんどん変わってて、で、やっぱファンが増え、もうファンが増えるまで本当に仕事なくて、CD 1年に1枚出るか出ないかっていう感じだったので、すごく売れてなかったんですよ。なんですか、Fくんが売れ出したり、《特別番組》でちょっと見る人が増えたりしたおかげで、結構ファンが増えてたので。	そこそこ/応援した/どんどん変わってて/ファンが増える/本当に仕事なくて/CD 1年に1枚出るか出ないか/売れてなかった/見る人が増えたりしたおかげ	応援期間内でのファンの変化/ファンが増え/過去の人気の変化/仕事量の少なさ	応援期間により形成される担当への想いの自負	ある程度の応援期間担当に寄り添ってきたことにより形成される、担当への想いの自負
96	④	でもやっぱりファンが増えたら、Fが大きくなったっていうのは、やっぱりファンのおかけなんじゃないかっていうのを、母は思っていて、やっぱりファンに感謝しなきゃいけないし、だからコンサートにお金出して、8000円とか出して、わざわざ来てくれるんだから、もう少しファンサしてあげなきゃいけないんじゃないかっていうのを、思っていて。Fくんはずっとファンサしないっていうのを、ずっとやってたので。慣れたらいいんですけど、ついに全ファンサしなくなったっていうので。おかしんじゃない？みたいな感じで、思ってたという感じですかね。	ファンが増えた/大きくなった/ファンのおかけなんじゃないか/母は/感謝しなきゃいけない/お金出して/わざわざ来てくれるんだから/もう少しファンサしてあげなきゃいけない/慣れたらいいんですけど/ついに全ファンサしなくなった/おかしんじゃない？	人気上昇に対するファンの関与の大きさ/ファンに対しての感謝すべきという考え方/ファンサービスも感謝表現の一種/ファンサービスが少ないことに対する不満/金銭面の負担の大きさ/ファンサービスがなくなったことに対する疑問	担当とファンの協同関係/協同関係に対する担当の意識の低さとその懸念	担当とファンの協同関係により成り立つアイドル活動/ファンによる支えに対するアイドルの感謝表明の必要性

番号	発話者	テキスト	①<1>テキスト中の注目すべき箇所	②<2>テキスト中の趣旨の言い換え	③<3>左を説明するようなテキスト外の概念	④<4>テーマ・構成概念(前後や全体の文脈を考慮して)	⑤<5>疑問・課題
ストーリー		<p>ファンの行動によりライブが中止になった際、[自身の不関与によるライブ中止の不満と応援するモチベーション低下]は起こったが、それについて[親と不満共有を行ったのみで[ライブ中止と担当への熱量の非相関性]があった。</p> <p>このライブの中止対応の後、[日本と海外のファンに対する対応の不平等に対する不満]や[コンテンツの金銭面での実質的な利用制限による不満]や[他グループの優遇の対応に対する不満]が生じ、これらは[集団内での意見交換による不満の確信・拡大]へとつながった。</p> <p>その後、[担当のファンに対する皮肉な発言]や[ファンサービスの減少によるファンに対する想いの薄れ]など[担当とファンの協同関係により成り立つアイドル活動]という考えを元にした[ファンによる支えに対するアイドルの感謝表明の必要性]に反するような、[アイドルとファンの主従的関係性に対する小さな不満の蓄積]が原因となり、[ファンへの尊重の欠如に対するショック]を感じた[親の担降り]が生じた。また、[アイドル自身の影響力の大きさに対する自覚]を求めたことも背景として考えられる。</p> <p>[親の担降り]当時、④さんは[親の担当と比較した時のファンへのサービス精神の優位性]を感じていたが、その後[過去のライブ参加経験と比較したファンサービスの明らかな減少]に加え、更なる[ライブ中止による応援のモチベーション低下]が生じた。これは、[人気がなくても応援した自負]・[ある程度の応援期間担当に寄り添ってきたことにより形成される、担当への想いの自負]により増大した[やっとならば決まってる仕事への待ち遠しさ]があったにも関わらずライブ中止が相次いだことが背景にあり、これは[騒動の頻発による担降りまでの素早さ]にもつながっていた。またこれら[ファン活動における舞台やライブの重要性]が高まった。[一緒に「ファン活動をしていいたる親の担降りによる自身のファン活動の消滅化]が起こった。担降り後は、[親と一緒にファン活動の維持]を誓った。</p> <p>さらに別グループについて、[テレビで形成された理想状態へのライブにおける未達成による不満]や[非理想的なデビュー曲に対する不満]が重なったことが原因で[親の担降り]を促した。また、[自担となる存在がいなかったこと]より、[熱量維持に対する自覚の必要性]も示唆している。</p> <p>これらの話をすることで、「[担降り]や担当に対する「好き」の非明確性]にフォーカスを当てながら、[一定の金銭的負担、担当たる証拠]としてファンクラブを挙げ、[担降り]の仮定義としてのファンクラブ退会]を示した。従って、[担降り後の熱量の未消滅]が見られる。</p> <p>[大学生のファン同士での交流の場の存在]があり、④さん親子は[Twitterやブログを用いた意見交換]も行ってた。Twitterにおいて、[担当を過剰評価するツイートの増加]の傾向があると述べてた。[ツイートのイメージ向上の目的化]により[否定的ツイート不可能な雰囲気]が生じており、それにより[不用意に咳くことに対する恐れによるツイートへの苦手意識]が発生していた。</p> <p>この経験を裏付けるものとして、[担当でないグループへの好きになれない表明に対する素早い攻撃的ツイート]を受けた経験があり、特に[自担への暴言での攻撃に対する衝撃]が[攻撃的ツイートに対する恐怖とトラウマ化]の原因となっていた。さらに[ファンからの攻撃によるファン化抑制]にもつながっていた。</p> <p>また、母親が担降りした[担当による否定的発言のレポート削除の対応推測]もしていた。これは、[担当のイメージ向上に向けたファン同士での協調]があるという推測を引き起こしていた。</p> <p>[各グループでのライブMCの取扱文化の相違]があることも述べてた。</p>					

	<p>④さん自身の担当グループのファン全体について、[ファンの奇抜な格好に対する衝撃と嫌悪感]や[ライブでの銀テープ取得欲求の大きさにに対する驚きと嫌悪感]を感じるなど[ファンの派手さによる無秩序な印象]を持っており、それらは[派手な行動の非特出的見方]に繋がっていた。しかし、[ライブ参加の最重要性]により[ファン活動におけるファンの印象の非重要性]も同時に述べられていた。とはいえ④さんには、ライブ・舞台等のチケットの交換にあたり、[ファン間で友好関係を築く姿勢がないことへの嫌悪感]を抱いた経験があった。[他のファンとの比較による同担の態度の悪さの強調]もあり、[初対面のファン同士での最低限の愛想がないことへの衝撃と戸惑い]を受け、[同担という同一カテゴリー化の拒否]をすることに至っていた。これにより、[同担に対する積極的交流の減少]が生じていた。</p> <p>全体を通して、[ファンの増加による過激なファンの増加]が起こっており、その中でも[自己で閉じておくべき物語の表出に対する違和感]は[過激な発言をするファンに対する嫌悪感]として感じていた。</p>
<p>理論記述</p>	<p>(1)[自身の不関与にとるライブ中止の不満と応援するモチベーション低下]が生じて、[親と不満共有]を行うのみで[ライブ中止と担当への熱量の非相関性]が見られる。</p> <p>(2)[日本と海外のファンに対する対応の不平等に対する不満]・[コンテンツの金銭面での実質的な利用制限による不満]・[他グループの優遇的対応に対する不満]などは、[集団内での意見交換による不満の確信・拡大]へとつながる。</p> <p>(3)[担当とファンの協同関係により成り立つアイドル活動]という考えの元、[ファンによる支えに対するアイドルの感謝表明の必要性]を感じる。</p> <p>(4)[担当のファンに対する皮肉な発言]や[ファンサービスの減少によるファンに対する想いの薄れ]などの[アイドルとファンの主従的関係性に対する小さな不満の蓄積]によって[ファンへの尊重の欠如に対するショック]を感じた[親の拒絶]が生じる。</p> <p>(5)[親の担当と比較した時のファンへのサービス精神の優位性]を感じることがある。</p> <p>(6)[過去のライブ参加経験と比較したファンサービスの明らかな減少]や[ライブ中止による応援のモチベーション低下]が生じる。</p> <p>(7)[人気がなくとも応援した自負]や[ある程度の応援期間担当に寄り添ってきたことにより形成される、担当への想いの自負]は、[やっと決まった仕事への待ち遠しさを]増大させる。</p> <p>(8)相次ぐライブ中止は[騒動の頻発による拒絶]に繋がると、[ファン活動における舞台やライブの重要性]が見られる。</p> <p>(9)[親の拒絶]による自身のファン活動の消極化]など、[一緒にファン活動をしていた人の拒絶]の影響の大きさも伺える。</p> <p>(10)[親の拒絶]による自身のファン活動の消極化]が起こっていると、[親と一緒にファン活動の維持]をする。</p> <p>(11)[テレビで形成された理想状態へのライブにおける未達成による不満]や[非理想的なデビュー曲に対する不満]が重なる拒絶につながる。</p> <p>(12)拒絶の一因として[熱量維持に対する自覚の必要性]が言われている。</p> <p>(13)[「拒絶」]や担当に対する「好き」の非明確性を前提に、[一定の金銭的負担、担当たる証拠]という考えが[拒絶]の仮定義としてのファンクラブ退会]という考えにつながる。</p> <p>(14)[拒絶]後の熱量の未消滅]がある。</p> <p>(15)[大学生のファン同士での交流の場の存在]があり、[Twitterやブログを用いた意見交換]が行われる。</p> <p>(16)[ツイートのイメージ向上の目的化]により[否定的ツイート不可能な雰囲気]が生じていることから、[担当を過大評価するツイートの増加]傾向を感じたり[不用意に呟くことに対する恐れによるツイートの苦手意識]が生じる。</p> <p>(17)担当でないグループへの好きになれない表明に対する素早い攻撃的ツイート、特に[自担当への暴言]での攻撃に対する[攻撃的ツイートに対する恐怖とトラウマ化]の原因になり、[ファンからの攻撃によるファン化抑制]にもつながる。</p> <p>(18)担当へのイメージ向上に向けたファン同士での協調]があるとの考えは、[担当による否定的発言のレポート削除の対応推測]を引き起こす。</p> <p>(19)各グループでのライブMCの取扱文化の相違]がある。</p> <p>(20)担当グループにファン全体について、[ファンの奇抜な格好に対する衝撃と嫌悪感]や[ライブでの銀テープ取得欲求の大きさにに対する驚きと嫌悪感]など[ファンの派手さによる無秩序な印象]は、[派手な行動の非特出的見方]につながる。</p> <p>(21)ライブ参加の最重要性]があるので、[ファン活動におけるファンの印象の非重要性]を捉えることができる。</p> <p>(22)ライブ・舞台等のチケット交換において、[ファン間で友好関係を築く姿勢がないことへの嫌悪感]を感じる経験は、[他のファンとの比較による同担の態度の悪さの強調]につながったり、[初対面のファン同士での最低限の愛想がないことへの衝撃と戸惑い]を受けたりすることにつながる。</p> <p>(23)[初対面のファン同士での最低限の愛想がないことへの衝撃と戸惑い]は、[同担という同一カテゴリー化の拒否]に繋がり、結果的に[同担に対する積極的交流の減少]に至る。</p> <p>(24)[ファンの増加による過激なファンの増加]の中でも、[自己で閉じておくべき物語の表出に対する違和感]を感じ、[過激な発言をするファンに対する嫌悪感]へとつながっていた。</p>
<p>さらに追究すべき点・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・注意されるとは具体的にどのような内容を誰にされたのか ・他のグループでズレたと感じたことはないか ・コミュニケーションを取りたいとは、具体的にどのようなこと? ・自分でCDなどを購入することはなかったか ・過剰な賞賛によって担当の存在価値向上の認識ができるのか、存在価値が高いと思っているから過剰(と考えるほどの)賞賛をするのか ・グループを揶揄するような暴言はその他にあるか ・ファンの層が悪い時ということは良い時もあったのか ・銀テープの取得欲求はどこから来るのか ・銀テープが欲しいとの声かけに嫌悪感を感じるのは何故か ・他の担当でも同じような出来事がないか ・チケット交換をする際に他の人たちはどう感じているのか ・集団心理的な側面からの考察を深める ・他のグループのファンであればその点に驚きや違和感を感じるのか ・ライブ終わった直後はレボとかツイートがあったのか ・全体を通して本当に大きな騒動だったのか

SCAT(Steps for Coding and Theorization)を使った質的データ分析

付録8：SCAT表⑤

番号	発話者	テキスト	<1>テキスト中の注目すべき断句	<2>テキスト中の断句の言い換え	<3>左を説明するようなテキスト外の概念	<4>テーマ・構成概念 (前後や全体の文脈を考慮して)	<5>疑問・課題
1	曾我	今日聞きたかったのは、担当へ熱が冷めた経験のところで。Gの話を書いてくれて、…あれですね、キラキラ求めてるけど、男らしいみたいなのがちょっと嫌になってきて、それを肯定ばかりするファンもちょっと、みたいな感じで書いていただいたかなと思うんですけど、具体的にこういうのを見た時にそれを思ったとかっていうの、ありますか？	熱が冷めた/キラキラ/男らしい/肯定ばかりするファン	熱量の減少/男らしい/肯定意見の多き/肯定ばかりのファン		アンケートを元にした具体的な経験の引き出し	
2	⑤	なんかまあファンになったばかりの頃は、まあ何しても嬉しいじゃないけど。テレビ出ただけで嬉しいみたいな感じだったけど、	何しても嬉しい/テレビ	見れるだけで満足/供給が十分であるという認識/現状に対する満足感	担当に対する全肯定/ファンの初期状態の担当に対する視線	初期のファンとしての全肯定的な姿勢・視線	
3	⑤	だんだん、そのやっぱりアイドルっていう職業をしている彼らが好きになった部分のほうが大きいから、応援歌路線も悪くはないけど、まあそればかりになると、まあちょっと苦しいかなっていうのと、	アイドルっていう職業/応援歌路線も悪くはない/苦しい	アイドルに対する認識の相違/理想像が見れない苦しみ/好み/不一致/アイドルの方向性に対する不満	自身の求める担当像と現状の相違/理想の担当像を失っている悲しさ	アイドルらしいという既成概念/理想の担当像を見られない悲しさ・不満	
4	⑤	本当にファンっていうかまあこっちが一方的にフォローしてるtwitterの方とかなんですけど、それをやりたいなら、やりたいことをやったほうがいいみたいな、全肯定しちゃうファンというか。	一方的にフォロー/やりたいこと/やりたいことを全肯定しちゃうファン	ツイートの閲覧の非強制性/アイドルの方向性の肯定/ファンによるアイドルの全肯定/アイドルの意向の支援	周囲の全肯定的な姿勢に対する違和感/少ない共感による孤独感/素直に応援できないジレンマ	担当の方向性に全肯定的な考えに対する否定/周囲と共感できない孤独感	・本当に共感してくれ人が他にいなかったのか ・全肯定だと感じた発言をするアカウントは、担当を否定することは一切なかったのか
5	⑤	なんかめちゃくちゃ歌の途中で咳で喋ったりして、	歌の途中/喋ったり	歌唱中の行動に対する違和感/歌唱中の喋る行為に対する不満	歌唱に対する既成概念・考えとの不一致/	担当の歌唱中の行動に対する不満/アイドルらしくない行動の一つとしての歌唱中の行動	・歌唱中に喋る行為が一般的にアイドルらしくないと思われるのか ・アイドルらしいとは
6	曾我	そうですね。					
7	⑤	ちょっとちゃんと、ちゃんとやりなよみたいな、って思っちゃってんですけど、それもまたいいよねみたいな、感じの、雰囲気もちょっと苦しいかなって。	ちゃんとやりなよ/それもいいよね/苦しいかな	歌唱中の行為に対する不当性/不当な行為に対する肯定意見/雰囲気に対する苦しさ/周囲と共感できない苦しさ	歌唱に対する周囲との相違/ファンダムからの疎外感	担当の歌唱中の行動についてファンとの意見相違に対する疎外感/自分の意見を主張・共感を得ることができない息苦しき	
8	曾我	そうですね、確かに歌の途中喋りまくるのは、Eもあるかなと思って。確かにそういう時があるかなと思って。そうですね、あの具体的にいつ頃…その、ちょっとかか気になって、どれくらいから、きらきらがいいなあっていうモヤモヤが生まれましたかってありますか。	あるある/きらきらがいいな/モヤモヤ	普通/よくある/アイドルっぽさの要求/キラキラ/ザ・アイドル/不満/腑に落ちない	アイドルの行為に対する共感/不満を感じた時期やその流れの促し	歌唱中の行動に対する類似事例の提示/担当に対する気持ちの変化が起こった時期の促し	・歌唱中に喋るジャーニーズ系アイドルについて、他のグループも調査し同じような悩み・思いをもったことのある人がいるかサーチする ・アイドルらしい、男らしいと
9	⑤	見始めたのは多分自粛期間の3月から、なので2020年の3月ぐらいから。で、その年の年末とかの歌番組、でかい長い時間ある歌番組とかで、まあそういう応援する系のシングルばかり出てるみたいな、ところからですかね。	自粛期間の3月から/歌番組/応援する系のシングルばかり	コロナ禍/長い自宅待機期間/応援歌/同系統の曲の多発/	在宅を強いられる環境/求めていない系統の曲の多発/	求めていない系統の曲を聞く機会の増加	・担当を見始めてから、違和感を感じるまでの、閲覧していた映像の変化
10	曾我	なるほど、そうなんです。この大体そういうのは、他の周りのファンとかも肯定してるみたいところとかは、結構Twitter中心で見てたって感じですかね。他の、なんだろう、インスタとか、オフラインで会う人とかそういうのより…?	Twitter中心/	Twitterでの情報収集中心	その他の情報収集方法の有無	情報収集源について	・情報収集源として最も活用されているSNSツールのデータを調べる
11	⑤	Twitterって感じですか。周りにあんまりないので、その、現実っていうか。	あんまりない/現実	少ない/非空想の世界/非現実	Twitterの現実世界との分離/非現実世界であるTwitter	(5)さんにとってのファンダム=Twitter/非現実世界にのみ広がるファンダム	・Twitter上で同じ担当を持つファンがいない人と、学校・職場等で実際に会って仲良くしているファンがいる人との傾向の違いがあれば
12	曾我	なるほど、男らしいとか、あの歌の途中にしゃべっちゃうとか、そういう、肯定するファンにちょっと嫌気がさすみたいな感じだったと思うんですけど、男らしいとかが起って全肯定する嫌だったのか、…ちょっともう一回最初から行きませぬ、その男らしいっていう意見が嫌だったのか、それともやることなんでも肯定するスタンスみたいなのが嫌だったのか、どっちなんだろうみたいなのが疑問だったんですけど…どっちもあると思うんですけど…。	嫌気がさす/なんでも肯定するスタンス/どっちも	周囲に対する嫌悪感/違和感/全肯定する姿勢/全肯定する考え/両方	嫌悪感の原因を探る質問	嫌悪感の原因を探る質問(周囲の雰囲気に対する違和感/周囲の意見との相違についての違和感)	
13	⑤	どっちかっていうら、まあ全肯定してるファンの人たちの意見の方が、ちょっと、うーん、って感じ。	全肯定してるファン/うーんって感じ	全肯定してるファン/周囲との意見相違/不満/腑に落ちない	否定的に思うことを周囲が肯定すること一否定意見を持たずに「全肯定している」と見える	全肯定するファンに対する嫌悪感	・2点が完全に分離されているわけではない模様
14	曾我	あーなるほど。Twitterで、一方的にフォローしてる方とかが、っていう。相互とかではなく。	一方的にフォロー	勝手にフォロー/相手に関係がない	Twitter上のファンとの関係性	全肯定的な発言をしているTwitterアカウントとの関係性	
15	⑤	影響力が大きいアカウントっていうか、グループごとに何千フォロワーみたいな。だからってしょうがない、見なければいいんですけど、流れてくるツイートなんです。	影響力が大きいアカウント/しょうがない/見なければいい/流れてくるツイート	Twitter上で格上感/あきらめ/ツイートの受け身な姿勢/回避できる状況/自分の力で動かせない状況	あるアカウントの影響力の大きさ/回避方法の認知/ギデンスの行為主体性的な考え方	ファンダム形成におけるフォロワー数の多いアカウントの影響力/閲覧しにくいツイートの回避方法の認識	
16	曾我	なるほど。言い忘れたんですけど、私twitterやってなくて。アカウント持ってんですけど、もうたまたま調べもので見ると、ちょっと初歩的なこと聞いてやったら申し訳ないんですけど、その嫌だなみたいなのを思っても、ミュートとかはせずに、やっぱり見ちゃうみたいな感じだったんですか？	ミュート/やっぱり見ちゃう	ミュート機能/主体的な不変/あえて変化させない姿勢		見ないようにすることができるのか	
17	⑤	あー、そうですね。それが良くないところ。見たくないならもうミュートとブロックとかをした方がいいかもしれないですけどねえ。	良くないところ/ミュート/ブロック	改善すべき点/ミュート/ブロック/ツイートを発見する方法/不当	回避できる環境/合理的ではない行動	回避方法を認識しながらも回避できない自分の行動の非合理性	・見ないようにすることができないのは一般的な感覚なのか
18	曾我	でもやっぱり見ちゃうみたいな感じ…?					
19	⑤	見ちゃうんですよ。その意見っていうか、その時の音楽番組の意見ばかりじゃないっていうか、日常っていうかレギュラー番組のこととか、ファンクラブの動画のこととかもあるんで。	音楽番組の意見ばかりじゃない/日常/レギュラー番組/ファンクラブ動画	多様な意見の存在/特別でないシーンのこと/音楽番組以外/必要な情報の存在	様々な情報収集ツールとしてのTwitter/Twitterの必要・不必要を問わない情報拡散能力	情報収集ツールとしてのTwitterの利用/見たくないツイートの閲覧のやむを得ない状況	
20	曾我	他の情報も見つ、まあその、安直にミュートするのなあっていう。なるほど。結構ツイッターとかは、一方的にフォローする方が多いですか？	安直にミュート/一方的にフォロー	Twitterの情報の必要性/自分の都合での閲覧	Twitterの情報の必要性確認/情報収集のための繋がりが方について	Twitterでの情報収集のための繋がりが方について	

21	⑤	多いですね。ほぼほぼ見る専で。	見る専	見るだけ/閲覧のみアカウント		Twitterの情報収集のみの活用/ツイート閲覧の受動性	
22	曾我	ちょっと全肯定だなみたいなのを感じた人とかって、先ほどの歌歌つてるときに喋ってるよね。の話を時もあったと思うんですけど、他に印象に残ってることとかありましたか。	全肯定だな/他に印象に残ってること	盲目/全肯定/印象的なこと		その他の経験収集	
23	⑤	アイドルっぽい曲っていう、ふわってしてるけどそういう曲、Kの《Kの代表曲》みたいな、ていう曲がもうないじゃないけど。アルバムとかもその近辺に出てたんですけど、その中にも男らしいとか、ロックとかそんな感じの曲で、それをなんか、「Gはみんな応援できる、応援するグループだよな」みたいな。そんな、「やっとなんか路線を確立できたね」じゃないけど、唯一無二じゃないけど、そんな感じのツイートとかが多くなってきて。歌の歌い方とかも、まあしゃべるっていうのもそうなんですけど、その全力！みたいな？「歌い方とかも熱くていいよね」みたいな。	アイドルっぽい曲/《Kの代表曲》みたいな/男らしいとか、ロックとか/応援するグループだよな/路線を確立できたよね/唯一無二/全力！みたいな/熱くていいよね	キラキラ/アイドルっぽい/王道アイドルソング/男らしい曲/グループの個性確立の安心感/唯一無二な存在感への肯定/熱く応援する曲への嫌悪感/王道アイドルソングへの懐古	偶像としてのイメージが共有できない/されなかった事例	対立的な2つのアイドルの系統(キラキラ・男らしい)/求めるアイドル路線と個性確立の重要性の対立/	一つのファンダムの中で同じ好みの人を見つけることができない経験について、他の人にも伺う
24	⑤	自分がまあついていけなくなったのかもしれないですね、その熱、本人とファンの。そこまですごい盲目になれなかったっていう。	ついていけなくなった/熱/盲目になれなかった	周囲とのギャップ/応援歌を歌うスタイルに肯定できない姿勢/取り残される感覚/担当に対する否定的な気持ち	担当に対して肯定する姿勢=熱量、という考え方/	現状を肯定できず感じる孤独感/肯定することで成り立つ担当とファンの関係性	
25	曾我	まあなるほど。なんか、そういうツイートとかを見た時って、なんかちょっと嫌、みたいなのがあっていう感じのなかなって思うんですけど、そういう時って、どう対処してましたか？	対処	嫌悪感の対処方法		嫌悪感の対処方法の促し	
26	⑤	自分はもう、ほかのグループが好きだったの、他のグループの映像見たりとか。もう一旦離れるっていうか…みたいな感じですかね。	他のグループが好き/一旦離れるっていうか	Gの自主的な隔離/他のグループへの逃避	時間の経過と嫌悪感の減少の比例関係/心理的距離感//欲求充足手段の代替	担当関連との自主的隔離・逃避/熱量を捧げられる先の代替	違う意見を見たときに、⑤さんのように一旦距離を置く人と、周りを攻撃する人の違い
27	曾我	なんかその一旦離れたりすることには、ちょっと寂しいとかなかったですか。	一旦離れる/ちょっと寂しい	寂しさ/元「担当」に対する名残惜しさ		元の担当に対する恋しさ	
28	⑤	なくなってくる…か、ほかのグループが埋めてくれるじゃないけど。そのグループで満足しちゃったら、もうだんだん戻ってくる間隔が長くなってきてるみたいな感じ。で、ふんわりしてきてるっていう。	なくなってくる/他のグループが埋めてくれる/満足/戻ってくる間隔が長くなって/ふんわりしてきてる	元の「担当」に対する気持ちの薄れ/「担当」気持ちの曖昧化/他グループでの代替/「担当」への気持ちに立ち返るまでの長期化	「担当」に対する愛情の減少と曖昧化	担当関連の自主的隔離の定着/逃避・代替期間の長期化による、元の担当への気持ちの曖昧化	
29	曾我	なるほど。例えばGの時だと、結構、なんだろうEとかQとかを見てたっていう…	Gの時/EとかQとかを見てた	逃避先の確認			
30	⑤	そうですね。はい。					
31	曾我	なるほど、そうなんです。今はじゃあ、今はGにどれくらい熱量をかけてますか。	どれくらい熱量を	元の「担当」にかける気持ちの大きさ		定量的な熱量の見方	
32	⑤	でも、前のシングルは買ってなくて、この前に何か月か前に出たDVD、liveのも買ってなくて、次のシングルもまだ予約してない。けど、ファンクラブだけは、更新したみたいな感じ。ちょっと追ってはいけるけど、お金は払ってないみたいな。	前のシングル/買ってなくて/まだ予約してない/ファンクラブだけは更新した/ちょっと追っては/お金は払ってない	元の「担当」のCD類未購入/ファンクラブ会員のみ未停止/金銭的な負担の低下/未完全な離別	ファンにおける金銭的負担の重要性/ファンクラブという所属感	ファンクラブ所属以外のファン活動の切り捨て/	
33	曾我	まさしく私のEと同じ感じですね。なるほど。それまではけっこうシングルとかも…？どれくらい買ってました？	Eと同じ感じ/どれくらい買って	自分の体験との共感/「担当」に熱量がある頃の金銭的な負担額		熱量に関する指標としての金銭的負担額	
34	⑤	いやでも、積んだりとかはしてないです。形態を1枚づつ、3形態やったら1枚ずつみたいなの。	積んだりとかはしてない	一般的な程度の金銭的負担という認識/適度な金額の投入	多い金額を注ぎ込んでいると思われている前提に否定/適度な購入額の設定	適度な購入額であったことの主張	購入枚数と熱量の関係性・実際にどの程度購入する人が多いのか
35	曾我	なるほど、これがまあ、1形態だけ買いたいなのとかでもなく、もう結構ぱったりなくなるって感じなんです。	1形態だけ/ぱったりなくなる	購入量の減少/購入がなくなる	徐々に減少していくものと、いきなりなくなるものを比較した質問	購入額の減少の流れ	
36	⑤	はい。					
37	曾我	なるほど。他に、Gの時に限らず、推しの熱量が冷めるみたいな経験って、他に特にはないですか。	推しの熱量が冷める	熱量の減少/その他の類似した経験		その他の経験収集	
38	⑤	ああ…					
39	曾我	こう、色々な所行ったり来たりされてると思うので、細かくだったら色々あるのかなと思うんですけど。					
40	⑤	でも一回そういう、そういうこと？冷めるみたいなのは、一回どのグループでもあってました。Aでも一回、冷めるじゃないけど。	どのグループでもあって/Aでも一回	珍しい経験ではない/一度は必ずする経験/		ファンとしての普遍的な熱量変化	一般的な変化なのか
41	曾我	結構全体的に、一回冷めて、ちょっと落ち着いてくるって感じ？	一回冷めて/落ち着いてくる	熱量の増減の流れ/一度谷を描く熱量曲線	谷型曲線を描く熱量変化	一度必ず減少して増加する熱量の増減傾向	
42	⑤	はい。					

43	曾我	なるほど。ありがとうございます。なんかその…周りのファンの人たちの発言内容とか、言動みたいなのって、自分がその担当を追いかけたりにするところに、どれくらい影響があるのかなあと。その周りのファンの人達が肯定ばかりしてたら結構気持ちが冷めちゃうなって感じることもあるとか、それとも意外と自分が好きだったらあまり気にしないとかって、その程度？っていうのって、感覚としてどれくらいありますか？	言動/どれくらい影響/気持ち冷めちゃうな/あまり気にしない/程度/感覚としてどれくらい	周囲の言動による影響の程度/感覚値/担当への熱量の増減	周囲の影響力の大きさについて、比喩的表現を促す	周囲の言動がどの程度推すことに影響するか、比喩的表現の促し	
44	⑤	自分の中では結構その周りの人って…まあTwitterの人の意見がでかくて、ファンが原因で、全部ファンが原因で冷めてるっていうか。ほかのグループも。自分はそう思ってるって、他の周りの人がそういう意見が多かったりして、え、みたいな。あつたりとか。そういう感じですね。結構でかいです、自分の中で。	Twitterの人の意見がでかく/ファンが原因で冷めてる/え、みたいな	影響力が大きいTwitter/影響力の大きいファン/意見の違ひによる戸惑い/	周囲のファンとの意見相違に対する戸惑い/戸惑い経験が増加すると共に熱量も減少/担当に対する想いは大体同質であるという前提	周囲との感覚相違に対する戸惑いの推すことに対する大きい影響力	・当時の状況を思い返した時のファン影響力と、実際に熱量が減少した時のファン影響力は違うのでは？インタビュー上で誇張されて表現されているかも
45	⑤	そこ乗り越えたらもう、お前なんてどうでもいいみたいな、感じなんですけど、Gは乗り越え切れなくて、冷めていったみたいな。	乗り越えたら/どうでもいい/Gは乗り越えきれなく	意見の違ひの乗り越え/周囲の意見を受け入れない姿勢/熱量の減少/熱量の再増加しない様子/担当に対する熱量のスランプ	人により担当に対する想いが異なることの受け入れ/それに伴う熱量の増加	熱量が下がった後に起こる熱量増加・減少の分離	
46	曾我	なるほど。ちなみに乗り越えたグループはA？	乗り越えた/A	熱量が再増加したグループの一つがAであること		熱量の増加したグループの具体的経験収集	
47	⑤	はい。					
48	曾我	Aの時って、どんな感じだったんですか。					
49	⑤	ええ、何だったかな…それでも、Twitterのつぶやきで…何だったんだろう…勝手に自分で、病み垢じゃないけど、好きだけどアンチするみたいなアカウントがあるんですけど、それを、勝手に自分で見て、調べてわざわざ見たりして、で、みんな結婚して、みんなじゃないけどまあほとんど結婚して、自分はもうみんな結婚した後にファンになったんで、その結婚っていうのは全然なんの感情もなかったんですけど、そのことでずっというる言ってる人とかいて、まあそういうのを見て、ああって言う…	Twitterのつぶやき/勝手に自分で/病み垢/好きだけどアンチするみたいな/わざわざ見たり/結婚/ずっというる言ってる/ああっていう…	AIに対して熱量が減少した原因/担当に対して悪く言う/気持ちとは逆の発言/担当を悪く言うのを見てしまう気持ち/結婚に対するファンの反応/主体的にアンチコメントを見てしまう衝動/過去の出来事に関する悪い意見/感情/悪い意見を見た時の落胆	回避=回避の葛藤状態(レヴィン)/同じような意見のアカウントを辿れるSNSの特性/病み垢を見て落ち込む連鎖的なサイクル	病み垢閲覧の回避不可能性/病み垢を見て落ち込む連鎖的なサイクル	・病み垢を持つている割合、活用頻度や用途
50	曾我	なるほど。言える範囲でいいんですけど、どんなこと言っていましたか…？					
51	⑤	a1くん、a1くんと、a2くんの結婚の時について、なんかもう結構たぶん短い間隔で2人が続けて発表してはるって。それでなんか言っていましたね、色々。なんかファンのことを考えられてないじゃないけど。	結婚の時/たぶん短い間隔/なんか言ってる/ファンのことを考えられてないじゃないけど	アイドルの結婚に対する意見/短い間隔での結婚/Twitterでの何かしらの意見/「ファンのことを考えられてない」等	アイドルが結婚することに関するスタンス・意見	病み垢の発言内容/アイドルが結婚することについての不満	・そのほかにも悪い意見が言われていそう
52	曾我	それを自分で調べて…					
53	⑤	最初は調べて、最初はたまたま検索とか出てきて、そのまあa1くんとか入れたらそのたまたま出てきたのを見て、その人のプロフィール飛んで過去のツイート見てみたいな。で、それにすごく共感する人たちのアカウントまで行ったりとか。	たまたま検索とか出てきて/過去のツイートを見て/すごく共感する人たちのアカウントまで	アンチコメントとの出会い方/アンチコメントのたどり方/連鎖的に遭遇するたぐさんのコメント	主体的に検索しなくても、関連して悪い意見が出てくるSNSの特性/同じ「意見」を持つアカウントを辿れるSNSの特性/検索により加速する、悪い意見を知りたい欲求	担当に関する悪い意見の受動的閲覧/SNSの関連情報の閲覧特性	
54	曾我	そのAIには、それを乗り越えたなあっていうふう思ったタイミングでどんな時ですか。	乗り越えたなあ/タイミング	熱量が回復した時期/担当への気持ちのスランプを乗り越えた時期		熱量の回復・増加が起こった時期ときっかけを引き出す質問	
55	⑤	やっぱりその、テレビとかライブの映像とか見て、この人たちがやっぱりいいなと思って、もうそんな別に言われててもこの人たちがまあ一番かっこいいけん、いいかな、みたいな。	映像とか見て/やっぱりいいな/一番かっこいいけん、いいかな、みたいな	映像作品の鑑賞時/かっこよさの再認識/アンチコメントの切り離し	かっこいいと思える姿が映像作品に詰まっている/社会的拘束から逃げ出した状態(ギテンズ)	映像作品の鑑賞による病み垢閲覧の中毒からの脱却	
56	曾我	なんかその…ちなみに、その病み垢とかをたどったりみたりっていうのは、どれくらいの期間ありましたか？	病み垢/どれくらいの期間	アンチコメントを追いかけた期間		病み垢を見つけた期間	
57	⑤	いやでも、もう1週間とか。もうずっとそのアカウントばかり見たりして、一気にもう落ち込んで、ああ、みたいな。1週間とか2週間ぐらい、距離を置いて。で、見たらかっこいいなみたいな、なって、戻るみたいな。	ずっとそのアカウントばかり/一気に落ち込んで/1週間とか2週間ぐらい/距離を置いて/かっこいいな/戻る	1~2週間ずっと閲覧/病み垢を見たくて落ち着かない/担当の映像閲覧時間の消滅/熱量の復活	悪い意見を閲覧する中毒状態/映像作品閲覧の、悪い意見からの解放のトリガー化	病み垢の閲覧の中毒状態の期間/中毒状態脱却のトリガーとしての映像作品	
58	曾我	なるほど。ちょっとTwitterとか見てる時は、その病み垢とか見てる時は1週間2週間ぐらいあって、その時はライブの映像とかは見てなかった？					
59	⑤	はい。					
60	曾我	なるほどなるほど。で、一時間たつたらまた見たら、かっこよかった。					
61	⑤	はい。					
62	曾我	そうなんです。Gの時は、これがなかったって感じなんですかね？なんかまたその、肯定してるな、みたいな人たちのツイートを見て、ちょっと距離をおいた後に、ライブのDVDとか見たりされたとか…Gの時は？	これがなかったって感じ/ちょっと距離をおいた後/ライブのDVDとか見たり	かっこよさを再認識する機会/ライブDVDを見る機会の有無/熱量が減少した後の行動	熱量が減少した後の行動として、LIVE映像の閲覧機会の有無	各経験の熱量が減少した後の映像鑑賞機会の比較	

63	⑤	あ、でも、Gは…。なんかAはパフォーマンスに関する事じゃなかったの、パフォーマンス見たらすごいってなったんですけど、Gの音のやつとか見てると、やっぱりキラキラアイドルみたいなのやって、これはもうこれから見れるのかなとか、っていう気持ちになっちゃって、だんだんっていう。	パフォーマンスに関する事じゃなかった/Gの音のやつ/キラキラアイドルみたいなのやって/これから見れるのかなとか/だんだん	意見の違うポイントかどうか/映像を見る機会の減少と消滅/求めている担当に焦がれる気持ち/キラキラしたアイドルが見れない寂しさ		元々求めている担当像を思い出すトリガー/	
64	曾我	なるほどなるほど。Aの方はもう直接本人たちのクオリティとかには関係なかったから戻れただけど、なんかもともとキラキラが見たいな一みたいな、だったからこそ、そこがまた思い出されちゃったって感じてすかね。	本人たちのクオリティとか/関係なかった/キラキラが見たいな一/思い出されちゃった	見る映像と熱量の減少したポイントの無関係さ/映像のトリガー化/求めている担当像に会えない寂しさ	映像がトリガーになっていることの再確認	映像作品内における周囲との意見相違ポイントの有無	
65	⑤	はい。					
番号	発話者	テキスト	<1>テキスト中の注目すべき箇所	<2>テキスト中の語句の言い換え	<3>左を説明するようなテキスト外の概念	<4>パフォーマンス/熱量/熱量 (前後や全体の文脈を考慮して)	<5>疑問・課題

ストーリーライン	<p>初めに聞き手は、事前に取得していた[アンケートを元にした具体的な経験の引き出し]を行った。担当への熱量が冷めた経験語る中で、⑤さんはファンになった当初は[初期のファンとしての全肯定な姿勢・視線]を持っていたと語った。しかし、次第に担当の[アイドルらしいという既成観念]にそぐわない活動が増え、[理想の担当像をみられない悲しさ・不満]を抱き始めた。それと同時に、同じ担当を持つ他のファン[担当の方向性に全肯定的な考えに対する否定]の感情や、[周囲と共感できない孤独感]を抱くようになった。全肯定的だと感じた具体例で、[アイドルらしくない行動の一つとしての歌唱中の行動]として歌唱中に喋ることをあげ、[担当の歌唱中の行動に対する不満]を抱いたことを語った。この不満は、担当に向けられたものだけでなく、[担当の歌唱中の行動についてファンとの意見相違に対する疎外感]や[自分の意見を主張・共感を得ることができない息苦しさ]のように、同じ担当をもつファンたちに向けられたものも含まれていた。聞き手は[歌唱中の行動に対する類似事例]を行いながら、⑤さんの経験に理解を示した。</p> <p>[担当に対する気持ちの変化が起こった時期の促し]を受けた⑤さんは、担当の[求めている系統の曲を聞く機会の増加]が起こってしまった時期を挙げた。関連した[その他の経験収集]の中でも、[対立的な2つのアイドルの系統(キラキラ・男らしい)]の間で求めるアイドル路線と個性確立の重要度の対立が起こった経験を挙げ、それらの経験でもやはり[現状を肯定できずに感じる孤独感]があった。</p> <p>そこで聞き手の、[嫌悪感の原因を探る質問(周囲の雰囲気に対する違和感/周囲の意見との相違についての違和感)]に対して、⑤さんは[全肯定するファンに対する嫌悪感]があり、それは[周囲の言動がどの程度推すことに影響するか、比喩的表現の促し]でも、[周囲との感覚相違に対する戸惑いの、推すことに対する大きい影響力]があることを語った。その裏には[肯定することで成り立つ担当とファンとの関係性]が垣間見えることで起こっていた。</p> <p>同じ担当を持つファンらの反応等の[情報収集源について]、[⑤さんにとってのファンダム=Twitter]であり、[非現実世界にのみ広がっているファンダム]のように捉えており、⑤さんの認識上での[ファンダム形成におけるフォロワー数の多いアカウントの影響力]を示唆した。</p> <p>そういったアカウントも含めた、[Twitterでの情報収集のための繋がりが方について]、[全肯定的な発言をしているTwitterアカウントとの関係性]について、[Twitterの情報収集のみの活用]をしていた。つまり、[ツイート閲覧の受動性]の中で、閲覧したくないツイートをみないようにすることができているのに対しては、[情報収集ツールとしてのTwitterの利用]をしているため、[閲覧したくないツイートの回避方法の認識]はしていたものの[みたくないツイート閲覧のやむを得ない状況]が作られてしまい、その結果[回避方法を認識しながらも回避できない自分の行動の非合理性]があることを語った。</p> <p>そこで聞き手は、Twitterに限らず全体的な[嫌悪感の対処方法の促し]をすると、[担当関連との自主的な隔離・逃避]を行うことで[熱量を捧げられる先の代替]をしていた。さらにその後、[担当関連の自主的な隔離の定着]で[逃避・代替期間の長期化]による、元の担当への気持ちの曖昧化が起こっているの、[元の担当に対する悲しさ]が次第に減少していった。その側面として[定量的な熱量の見方]をしたとき、⑤さんは[ファンクラブ所属以外のファン活動の切り捨て]を行っており、[熱量に関する指標としての金銭的負担額]を用いて、元々[適度な購入額であったこと]の主張をした上で、担当への熱量減少時に[購入額の減少の流れ]が生じていたと述べた。</p> <p>また、さらに[その他の経験収集]を進めると、[一度必ず減少して増加する熱量の増減傾向]があり、⑤さんにとって熱量の変化は[ファンとしての普遍的な熱量変化]であると述べた。そして、[熱量が下がった後に起こる熱量増加・減少の分離]が起こるという⑤さんに、[熱量の増加したグループの具体的な経験収集]を行ったところ、[病み垢の発言内容]として[アイドルが結婚すること]についての不満を挙げながら、[担当に関する悪い意見の受動的閲覧]を行った経験を述べた。この中で、[病み垢閲覧の回避可能性]に加え[病み垢を見て落ち込む連鎖的なサイクル]が構築されていた。これは、[SNSの関連情報の閲覧特性]により生じるものである。</p> <p>その後、[熱量の回復・増加が起こった時期ときっかけを引き出す質問]を行ったところ、[映像作品の鑑賞に夜病み垢閲覧の中毒からの脱却]が起こっていたことが述べられた。</p> <p>まず前提として、[病み垢を見続けた期間]は[病み垢の閲覧の中毒状態の期間]であった。</p> <p>その上で、[中毒状態脱却のトリガーとしての映像作品]が存在しているが、[各経験の熱量が減少した後の映像鑑賞機会の比較]をしたところ、経験の中で映像作品が[元々求めている担当像を思い出すトリガー]として機能していたことがわかった。つまり映像作品内における周囲との意見相違ポイントの有無が映像作品のトリガー化に関わっていた。</p>
理論記述	<p>(1)ファンになった当初は[初期のファンとしての全肯定な姿勢・視線]を持つが、次第に理想の担当像ができ、そして[理想の担当像が見られない悲しさ・不満]や[現状を肯定できずに感じる孤独感]を感じることもある。</p> <p>(2)担当の理想像の種類として、[対立的な2つのアイドルの系統(キラキラ/男らしい)]があり、[アイドルらしいという既成観念]の一つとして[担当の歌唱中の行動に対する不満]を抱くことがある。</p> <p>(3)担当に対する様々な不満は、他のファンと共感できなかった場合、[担当の方向性に全肯定的な考えに対する否定]の考えを生み、それが次第に[周囲と共感できない孤独感]、[自分の意見を主張・共感を得ることができない息苦しさ]に繋がる。</p> <p>(4)[⑤さんにとってのファンダム=Twitter]であるので、[ファンダム形成におけるフォロワー数の多いアカウントの影響力]は大きい。</p> <p>(5)影響力の大きいアカウントとの意見相違は、[周囲との関係相違に対する戸惑いの、推すことに対する大きい影響力]につながっている。</p> <p>(6)[情報収集ツールとしてのTwitterの利用]をしているため、[ツイート閲覧の受動性]を持っており、[見たくないツイート閲覧のやむを得ない状況]が構築されるため、見たくないツイートの回避方法を認識しながらも回避できない自分の行動の非合理性を感じるようになる。</p> <p>(7)このような[SNS関連情報の閲覧特性]が悪い方向に転じると、[病み垢閲覧の回避可能性]が生じ、[病み垢を見て落ち込む連鎖的なサイクル]つまり[病み垢の閲覧の中毒状態の期間]に入ってしまう、担当への熱量が下がる要因の一つになってしまう。</p> <p>(8)[担当関連との自主的な隔離・逃避]を行うことで、[熱量を捧げられる先の代替]を行うことができ、それが進行して[担当関連の自主的な隔離の定着]、[逃避・代替期間の長期化]により、元の担当への気持ちの曖昧化が起こっているの、[元の担当に対する悲しさ]が減少していき、結果的に担当への熱量減少になる。</p> <p>(9)[熱量に関する指標としての金銭的負担額]という指標を用いて、熱量減少時には[購入額の減少の流れ]が生じていた。</p> <p>(10)熱量の減少や、その後の増加の流れは[ファンとしての普遍的な熱量変化]である。</p> <p>(11)映像作品の閲覧が[元々求めている担当像を思い出すトリガー]となっていたことから、[中毒状態脱却のトリガーとしての映像作品]が普遍的に生じるわけではなく、[映像作品内における周囲との意見相違ポイントの有無]によって、映像作品閲覧がトリガーとなるかどうかが決まる。</p>
さらに追究すべき点・課題	<ul style="list-style-type: none"> 意見に共感してくれる人が本当にいなかったのか、見逃していただけではないか 全肯定だと感じたアカウントで発信される意見に、担当に対する反対意見は一切なかったのか アイドルらしい・男らしいとは 歌唱中に喋ることが多いジャニーズ系アイドルは他にいないか、彼らのファンで同じような悩み・思いをもった人があるか 担当を見始めてから、違和感を感じるまでの、閲覧していた映像の変化 ファンにおいて情報収集源として最も活用されているSNSツールのデータ Twitter上でしか同じ担当を持つファンがいない人と、学校・職場等で実際に会って仲良くしているファンがいる人との傾向の違いがあれば 嫌な意見を見ないようにすることができないのかは一般的な感覚なのか 一つのファンダムの中で同じ好みの人を見つけることができない経験について、他の人にも聞く 違う意見を見たときに、一旦距離を置く人と、周りを攻撃する人の違いはどこにあるか 購入枚数と熱量の関係性 実際にどの程度購入する人が多いのか 一度熱量が冷めることがあるのは一般的な変化なのか 当時を思い出して語られたものは実際と等しいか 病み垢を持っている割合、活用頻度や用途、発言内容

SCAT(Steps for Coding and Theorization)を使った質的データ分析

付録9：SCAT表⑥

番号	発話者	テキスト	①<1>テキスト中の注目すべき箇所	②<2>テキスト中の語句の言い換え	③<3>左を説明するようなテキスト外の概念	④<4>テーマ・構成概念(前後や全体の文脈を考慮して)	⑤<5>疑問・課題
1	⑥	小6ぐらいでテレビでEを見てかっこいいなと思って。で、ODとか買い始めたのは、それこそ同じ中2とか中3ぐらいで。(シングルC)が初めて買ったODで。それからもう、大学生になるまでは本当にすっぴんEだけみたいな感じで。					
2	⑥	で、大学入ってすぐだったじゃないですか、e1くんが辞めるって言ったのって。それからだんだん、ODとか買うよりは現場に行くだけの人みたいな感じで。推して言っていくのかわかんないーというか。結構、楽しいとこだけ楽しんでる人で、その間は結構オタクしてるといよりは、現実的にいろんな、遊んだりとかいるな人と会ったりとかが忙しくて、あんまり、ジャンルでもなかったような気がするんですけど。					
3	⑥	コロナになって、自粛期間明けかな、(配信ライブ)みて、そこで結構MとNを気に入り始めて、Mは結構早めに、ジュニア担になりたくなかったの、結構早めに見切りをつけたんですけど、Nだけはちょっとハマリしてしまって、それから自分では結構人生で1番グッズ買ったとか、配信とかちゃんと見たとかも、テレビも全部追ってみたいな感じに、	ジュニア担になりたくなかった/見切り/Nだけは/どハマリ/人生で一番/全部追って	ジュニア担になることへの拒否/追いかけることへの中止/熱量減少/のめり込む/コンテンツの確認/人生最大	ファンへのイメージの担当になるハードル化/ジュニア担に対する偏見/ジュニアにハマることをきっかけとした時間・金銭的負担の増加	ジュニア担になるハードルを超える熱量でのファン活動/時間・金銭的負担の圧倒的増加	
4	⑥	これで担当は決めてなくて、箱推して感じなんです。誰も決められないという状態が今も続いてるってことで、だんだん推し方が結構Nでなんとな強くなってきて、多分、なにかEも引っ張られて、CD全形態買うようになって。最近その(ライブ)に行って、モチベが完全に復活しているの、っていう感じです。	箱推し/決められない/推し方/強くなってきて/引っ張られて/全形態/モチベ/完全に復活	グループ全体の担当/一番好きな人の未決定/担当の変化による推し方の変化/CDの全種類購入/応援の熱量復活/応援するモチベーション復活	違うグループに対する推し方の影響と変化/箱推しは熱量が大きくないという前提	ジュニア内ユニットを推すことによる元々の担当に対する推し方の変化とモチベーション復活	
5	曾我	良いですね、なるほど、じゃあさっき、そのMのところであってジュニア担になりたくないみたいなのところで言うとか、どういう面ですかね？グッズ買ったりとか、そういうところなのか…					
6	⑥	もともとジュニアに偏見があって、なんだろう、若い子か、みたいな。それに、Eがめっちゃ年上だったからこそ、そんなに若い子たちを見て楽しいのかなと思ってたんですけど、それが一旦、全然そんなことないんだなっていうのが、普通にアイドルとして完成度高いなって思ってる。	ジュニア/偏見/若い子か/年上だった/楽しいのかな/そんなことない/アイドルとして完成度高い	ジュニアズJr./年齢の低い人を推すことへの抵抗感/年上を推すことへの慣れ/年下/オタ活の楽しさに対する疑問/アイドルとしての未熟さの懸念/偏見に対する裏切り/オタ活の高い満足度/若い人の優秀さ	少年性愛に似た現象/年上と年下の推し上での区別/若いアイドルに対するクリティシティが低いという先入観	若いアイドルは満足できないという先入観の崩壊/年齢により区別する見方	・アイドルとしての完成度の高さは何か
7	⑥	でもそのタイミングで結構、友達がジュニア担だったりのので、現場になかなか行けないというか、現場に行っても結構、場数を踏むのも大変だし、どれに出るか分からないとか、結構そういう経験をしているのを見てたので、そういう状況になったら嫌だなと思ってしまってる。	現場/行けない/場数を踏むのも大変/分からない/見えて/そういう状況/嫌だな	舞台やライブ/観劇に行きづらいコンテンツ/何度も見ることの大変さ/仕事の不確定さ/どのコンテンツに出演するか分からない/追いかける難しさ/振り回される/大変なオタ活からの回避	「推しやすさ」の重要性/ファン活動とそれ以外の活動のバランス	ファン活動とそれ以外の活動のバランスを鑑みた「推しやすさ」の重要性/負担が大きすぎるファン活動からの回避	
8	曾我	現場とか、どれに出るか分からないけど、出ると分かったらまあ、何とかチケット頑張って押さえるとか、そういうのがちょっとなあ、みたいな？	どれに出るか/分かったら/チケット頑張って押さえる/ちょっとなあ	出演公演情報の直前のリリース/出演公演のチケット購入の難しさ			
9	⑥	うん、そうですね。					
10	曾我	でもNはそうじゃなかったって感じ？	Nはそうじゃなかった			ある程度の負担も受け入れるほどの没頭	
11	⑥	そうですね、なんか自分で言うのが恥ずかしいですけど。	自分で言うのが恥ずかしい	Nの例外性/恥ずかしい			
12	曾我	なるほど、そうなんです。熱が冷めた経験のところにも書いていたんですけど、あんなお話になるんですけど、あの、なんだっけ、テレビ番組の名前忘れたんですけど、n1くんn2くんがコントして、それでe2くんの暴言ゆってそれで叩かれたやつです、たぶん書いていたの。私も覚えてはいるんですけど、一連の流れをもう一度教えていただきたいでもいいですか？					
13	⑥	《レギュラー参加番組》っていう番組だったんですけど、その番組は結構、私普段大阪に住んでなくて東京に住んでいるので全然見てなくて、配信があつてなんかその回だけ配信があったんですよ、なぜか、多分鳥取に行く、大阪ローカルなんだから鳥取で口けてたから、見れるように配信があったみたいで感じて、で、けっこう楽しみに見て。	全然見てなくて/配信/大阪ローカル/楽しみに	テレビ番組の配信/普段は見ることのできない番組/待ち遠しい/楽しみにする		普段見れない番組に対する待ち遠しさ	
14	⑥	で、なんとなくまあ別に、私はそのコメントの内容とかテンポが上手みたいな風に見てたので、全然、なんかやばいこと言ってるんですけど、まあ大丈夫かなって思ってた、結構Twitterで大荒れして、それでああ、あーなるほどってなって。	コメントの内容/テンポが上手/やばいこと/大丈夫かな/Twitterで大荒れ/あーなるほど	コメントの内容での炎上/コメントに対する評価/発言内容に対する懸念/心配を上回る面白さ/炎上の発見/炎上理由の理解	ファンによるコメントを見る視点の違い/各視点に対する理解	コメントを見る視線の多様性とそれらに対する理解	
15	⑥	で、その荒れてるのを見るのがしんどかったのと、あとまあ、なにせどっちも好きなので、Nの2人の擁護する気持ちもありつつ、e2くんのファンが怒る気持ちも分かって、でもそんな暴言吐くか？みたいな感じで、ちょっとEのファンも、って自分で思っちゃう気持ちもあつたつみたいな、感じて、めっちゃモヤモヤしてましたね。	荒れてるの/しんどかった/どっちも好き/擁護する気持ち/怒る気持ち/暴言吐くか?/こわ/モヤモヤ	炎上の閲覧に対する精神的負担/両者共に好きという気持ち/両者の言ひの理解/暴言に対する驚きと恐怖/気持ちの晴れなさ	対立する両者に共感できる状態の気持ちの複雑さ/自分の意見を定めることでの心の落ち着き	対立する意見の両者ともに共感できる複雑な気持ちによる精神的負担	
16	曾我	なるほど、私結構ニュースでそれが取り上げられて、ニュースとかで取り上げられて見たくらいだったんですけど、結構そんな荒れたいですか？					
17	⑥	そうですね、まあ私が荒れてるのを追っついていうか、暇人だったので、すごい見ちゃってたっていうのもあるんですけど、表垢でつぶやいている人も多くて、裏垢で愚痴る人って結構いると思うんですけど、表の方のアカウントでもすごいちょっと怒った感じって言う方が多かったの、すごいわやばい。	荒れてる/追っついて/暇人/見ちゃって/表垢/裏垢/愚痴る人/結構いる/怒った感じ	炎上の積極的閲覧/炎上を追いかける習性/傾向/暇人/無意識のうちに見ていた/裏垢での愚痴の多さ/怒ったようなコメントの多さ/誰にも見られてもいい場所での愚痴の多さ	炎上が気になってしまふ/表舞台(表垢)と裏垢(裏垢)の両方が表舞台に晒されている現状(ゴフマンのドラマツルギー)・表立ってみられてもいいと思える意見	炎上の積極的閲覧/裏垢(表垢裏)の両方の裏垢(表垢)への進出と攻撃の増加	
18	曾我	結構本人の目が届くところで言ってたっていう。	目の届くところ				
19	⑥	そうですね。					
20	曾我	ちょっと、言える範囲でいいんですけど、どういう意見とかがあったとかって覚えてますか？					
21	⑥	そうですね、結構その、NがEにお話しているっていう考えが結構みんなあって、そのe3くんがプロデュースのこととかすごい宣伝してたから、それであつたの、それでえんことを言うんだとか。まああ、e2くんがe4くんが好んで、多分e3くんの発言して、なんかそのe2くんがそうやって言うの、e2さんにはそういう感じなんだとか。あとその2人はもう売れなくていいとかなんか言ってる方がいて、強い、みたいな。	お世話になっている/みんなあって/プロデュース/宣伝/そんなこと言うんだ/好きでずっと公言/はさんにはそういう感じ/売れなくていい/強い	先輩後輩関係/お世話になっている先輩を裏切る行為/先輩の気遣いを無視した行為/グループ内の先輩による言動の違いに対する反感/尊敬していない言動/売れなくていい/	先輩後輩の関係性の強さによる、後輩の裏切りに対する攻撃		
22	曾我	なるほど、普段は結構その表垢とかだと、あれですかね、いいところ言ったりとか、そういうテンションで、裏垢とかは結構活発に活動したりするんですけど、普段からの裏垢の投稿頻度が上がったとか…	活発に活動/投稿頻度/増えた	裏垢の活動頻度/愚痴の量の実質的な変化			
23	⑥	まあ確かに、それはちょっと普段より探っちゃったって感じが結構あって、そのEのファンの方は結構、裏垢でも結構、それはいいよみたいなこと言ってるし、Nのファンはファンで、Eのファンやば、みたいな。結構、悪いっていうのはわかるけど言ひすぎだよね、みたいなことを結構やって、全然関係ないのに板挟みみたいな気持ちになつて。	普段より探っちゃった/裏垢/それはいいよ/やば/わかるけど言ひすぎ/結構やって/関係ない/板挟み	普段と比較した検索頻度の増加/裏垢での愚痴/騒動への理解と批判/やばい/想定を超えた暴言に対する驚き/両者に共感できるシレンマ/無関係にも関わらず感じるシレンマ	普段以上の愚痴の検索頻度の増加と目にする意見の多様性/騒動と直接的には無関係にもかかわらず感じる高藤		
24	曾我	なるほど、確かに。そのTwitterでチャットにいろいろ言ってた人たちが、普段はTwitter上とかで関係のある人ですか？それともあんまりなくて、タイムラインに流れてくるから、みたいな。	普段/関係のある人/あんまりなくて/タイムラインに流れてくる	意見の発言主との関係性			

53	⑥	そうなんです、多分母数が多いから、それとかもすごい多いんだと思うんですけど。	多分母数が多い/すごい多い	ファンの人数と炎上頻度の相関性の示唆		ファンの人数が多いほど騒動も多いとの考察	
54	曾我	じゃあジャーニーズを追いかけがちなっていう。	ジャーニーズ/追いかけがちな	Twitterでの閲覧回数が多さによる同ジャンルの炎上検索の多さ/全体像の把握による炎上の把握しやすさ/構造の未理解による騒動の把握しづらさ	ジャーニーズ全体としての「自文化」としての認識/ある程度の理解がある境界の炎上を追いかける	ジャーニーズ全体で一つの文化としての認識/ある程度の理解に伴う騒動に対する興味	
55	⑥	そうですね。楽なんです。	楽				
56	曾我	楽っていうのは、Twitterとかで流れてくるからですかね。	Twitter/流れてくる				
57	⑥	そうですね。あとなんとなく、全体像が分かっているっていうか。(ジャーニーズ以外のアイドルグループ)とか、システムがわからないという。なんとなく全体像わからない、追えない、と思って。	全体像/システムが分からない/なんとなく追えない				
58	曾我	その炎上とか、まあEとか関係なく、ジャーニーズ関連とかで炎上とか追いかけていて、他EとかE2Nにその挟まれた件以外には、結構しんどくなったりとかっていいですか？	炎上/ジャーニーズ関連と/しんどくなったり	炎上の閲覧による精神的負担が大きかった経験		Nが一方向的に攻撃されることに対する精神的負担の大きさ	
59	⑥	そうですね。あとはもうシンプルにNが叩かれて見てられなくなってたことは、何回ありますか？	シンプルに/Nが叩かれて/見てられぬ/何回か	担当の炎上による苦痛や傷心/複数回			
60	曾我	なるほど。そういう、何か覚えてる、叩かれてたことあったら教えて欲しいんですけど。					
61	⑥	これ2個あって連続してんですけど、1個はなんか《ブラウザーゲーム》の、《コスプレ名言塾:配信番組》っていうなんか配信で、《ブラウザーゲーム》の名前を出して叩かれて、それがなんかわかなくて、自分で《ブラウザーゲーム》全知知らないで、なんで叩かれてるんだって思いながらずっと見て追って、でも暴言が凄かったんで、結構グサグサ/勝手にきたの。	連続して/名前を出して叩かれて/わかなくて/《ブラウザーゲーム》全知知らない/なんで叩かれてる/勝手に追って/暴言/結構グサグサ/勝手に	度重なる炎上/他境界の名前を出したことによる炎上/炎上理由に対する理解不可能/炎上元のコンテンツに対する知識の無さ/暴言に対するショック/自分の意思で見て傷つく	連続して起こったことにより印象に残った騒動/攻撃に用いられる言葉とその量により傷心が大きくなる	騒動の連続発生による鮮明な印象/多方面からの攻撃とその言葉の酷さによる傷心/知識がないことによる炎上の不安	
62	⑥	あとはあれですね、n3くんが《週刊誌》に撮られた時に、結構いろんなところから叩かれてたんで、《女性アイドルグループ》のファンの方と、e3くんのファンの方と、あとシンプルにジャーニーズの人たちに一斉に攻撃したんで、おう、と思って。	《週刊誌》に撮られた時/叩かれてた/ジャーニーズの人たち/一斉に攻撃/おう	各方面からの批判/一斉攻撃に対する衝撃/批判の多さに対するたじろぎ			
63	曾我	最初の《ブラウザーゲーム》の方の暴言がすごかったみたいなのは、言葉がそもそも結構きつい言葉だったって感じですか？	暴言がすごかった/きつい言葉	炎上元コンテンツファンの愛情の大きさ故の炎上/殴めた発言という見られ方/担当の発言に対する拒否感の現れ/担当の容姿に関する暴言/批判に対する不満	炎上の原因となったコンテンツへの愛情による「殴められた」感覚の予測/担当の容姿に関する否定的発言への不満	・愛情が強いと感じた理由は何か	
64	⑥	そうですね、すごい多分その《ブラウザーゲーム》自体への愛がすごいで、そんな認められて信じられないみたいない感じだったんですけど。あと結構そのn2くんが言っていたんですけど、n2くんの容姿とそこにすごい言及してる人もいて。全然そんな、かっこよくないのになんかこと言うのみたいな、なりきれてないから、みたいなを言ってくる人がいて、へえ、みたいな。	《ブラウザーゲーム》自体への愛/認める/信じられない/容姿とか/すごい言及/かっこよくない/なりきれてないから/へえ	炎上元境界での完成度の重要性	炎上の原因となったコンテンツへの愛情による「殴められた」感覚の予測/担当の容姿に関する否定的発言への不満	・愛情が強いと感じた理由は何か	
65	曾我	なるほど、そうですね。それは《ブラウザーゲーム》の時それをを見た時結構追いかけてたっていう感じだったのかなと思うんですけど、見なくなったりしたんですか？Nの、何か追いかけてたりとかするのにならなくなったか。					
66	⑥	それ自体で、見なくなるとかはないです。その原因になった動画は見れなくなりましたけど、特にはないですね。	見なくなるとかはない/原因になった動画/見れなくな/特にはない	炎上した動画閲覧の回避/炎上に対する複雑な気持ち/ファン活動全体に対する影響力の小ささ		騒動になった動画に対する拒否感/騒動によるファン活動への影響力の小ささ	
67	曾我	すごいなあって追いかけてるっていうくらい、ちょっと複雑な気持ち。	複雑な気持ち				
68	⑥	そうですね。					
69	曾我	なるほど。もう1つ、《週刊誌》に撮られたのは、私も結構追いかけてたんですけど、私も結構E担とN担に挟まれて、間に《女性アイドルグループ》のファンの方もいると思うんですけど。そのn3くんの《週刊誌》の件と、Eのe2担が怒っちゃってて件、何か違いとかってありましたか？感じたこととか、行動とか。	《週刊誌》に撮られた/追いかけてた/挟まれて/何か違い/感じたこと/行動	他の事例との比較/感じたことと行動の相違点			
70	⑥	そうですね。基本的にどっちも、自分がそのNに対してのスタンスは変わってなくて、ジュニア担だからというか、やめられないというか、辞めるってことはしばらくテレビ見ないとかグッズ買わないとか、youtube見ないとかじゃないですか。数字がどうとかすごい言う世界になっちゃってるから、それができなくて、やめられなくて。	スタンスは変わってなく/ジュニア担だから/やめられない/テレビ見ない/グッズ買わない/youtube見ない/数字がどうとか/やめられなく	Nに対して持っている姿勢の普遍性/数字の重要性によるオタ活中断不可能な状況/やめられない	ジュニア担であること自体の応援継続の理由化/ファン活動の義務化	ファン活動の義務化/数字の重要性と意識の高さ	
71	⑥	基本そのNに対して変わってないんですけど、何ならn3くん擁護派だったんで、多分なんですけど、《週刊誌》の時はe3担の方がすごいn3に怒ってる気持ち全く分かんなくて、なんで分かんないけど、そんなe3さんが40歳から20歳の手を出すことあるみたいな感じですね。だから多分全共感してなかったら、特にその板挟みでよりは、分かんなくなってたんですけど、その夏のやつ、e2さんのやつは、そのe2さんのことをディスられて嫌な気持ちがわかってたから、板挟みになったのかな。	Nに対して変わってない/擁護派だった/気持ち全く分かんなくて/手を出すことある/奪われるって何/多分全共感してなかった/板挟み/分かんなくなってた/ディス/嫌な気持ち/わかってた	Nに対するスタンスの不変性/どこの騒動でもNの味方の立場をとって/共感不可能/後輩に女性を奪われたという主張への理解不能/両者の意見に共感できる時のみ生じる葛藤	NとEの準拠集団間での葛藤/重要な他者にとどめるような感情を持っているか/いかに葛藤するかが決まる	対立するファンコミュニティでの選択において、自分の考えによる選択可能性による葛藤の解消	
72	曾我	なるほど。そのn3くんの方は、e2担の人たちは、結構n3くんを奪われたみたいな感じで怒ってるんですか？	e3担の人たち/n3くんを奪われた	お世話になった先輩/先輩に対する裏切り行為という主張への共感不可能/n3を擁護する姿勢		E担の主張への共感不可能性による葛藤の未発生	
73	⑥	そうですね。お世話になった先輩に裏切られて、みたいなを言ってる方が結構いて、うんってちょっと共感できなかつたですね。	お世話になった先輩に裏切られて/うん/共感できなかつた				
74	曾我	それで、板挟みっていうよりは、n3くんの方に寄ってたっていう。	n3くんの方に寄ってた				
75	⑥	そうですね。					
76	曾我	なるほど。それを、どっちかっていうと、他のE担さんと、意見が違わないんですけど、ちょっとなんか違うって感じた経験になるのかなと思うんですけど。そのE担として、その所属意識が薄れちゃうんですけど、Eを追いかける気持ちが薄れるとかは、別になかったですか？	意見が違う/なんか違う/所属意識が薄れる/追いかける気持ちが薄れる	E担のファンコミュニティに対する所属意識の薄れ		Eのファンコミュニティの小規模/日常的/Nのファンコミュニティの大規模/オンライン性/E担の所属意識の薄れる可能性の低さ/担当に対する攻撃に傷つかないことへの複雑な心情	
77	⑥	そうですね。なかつたし、あんまり元々E担ではあるけど、E担の友達にめっちゃいるわけじゃなくて、いつもの特定の友達とずっと仲良く、現場に居るので、そもそもそんなにないんですけど、e3くんのときはそんなに特に傷つかなかって、e3さんの時は元々あんまりないけど、それ以上にe2くんのこと好きだけ、そんな傷ついてないみたいな？みたいなもあって。ちょっとモヤモヤというか。	E担の友達/いるわけじゃなくて/特定の友達/ずっと仲良く/そんなにいない/特に傷つかなか/え2くんのこと好き/傷ついてない/みたいな？/モヤモヤ	E担の友達の少なさ/E担の友達=日常生活で出会った友達/自身のE担コミュニティの小規模さ/長い付き合い/担当グループに対する否定的発言に傷ついていない自分の発見/複雑な気持ち/モヤモヤ	Eについて、もともとファンコミュニティの小規模さから影響力の小ささ/日常で知り合った友達で形成されるファンコミュニティと、Twitter上で形成されるファンコミュニティの影響/担当に向けた攻撃には傷つくべきだという前提	・ファンコミュニティの特徴は、デビュー組/ジュニアの分類で分けられるものか、固有性を持ったものか	
78	曾我	なるほど。そのお友達っていうのは、リアルで付き合ってるみたいな？	リアルで				
79	⑥	そうですね、中高の同級生なので。	中高の同級生				
80	曾我	そうですね。ちょっとじゃ話戻るんですけど、e2担が言った頃には傷ついたみたいなことは、感じた事としては、その、E担の、擁護もわかるし、e2担の擁護もわかるし、でもe2くん好きだけとそんなに傷ついてないし、3つくらいあったみたいな感じですか？	E担の、擁護もわかる/e2担の擁護もわかる/e2担の擁護もわかる/e2担の擁護もわかる/e2担の擁護もわかる	対立する意見全てへの共感/担当グループのメンバーへの否定的発言に傷ついていない自分への疑心/騒動に対する自分の立場明確時の精神的負担の小ささ		対立する両者の意見への共感と、担当への攻撃に傷ついていないことへの発見による、葛藤と複雑な心情	
81	⑥	うん、そうですね。					
82	曾我	どっちの気持ちもわかるから、その時はちょっときつかったけど、まあ自分のどっちの意見に共感してるっていうのが結構ある時は、そんなにしんどくなったり傷ついたりとかはないって感じですか？	どっちの気持ちもわかる/きつかった/共感する/しんどく/傷ついたり				
83	⑥	そうですね。					
84	曾我	ありがとうございます。あとはちょっとちみなみって感じなんですけど、先ほどまでは結構NとEのファンにはさまれてるって感じだったと思うんですけど、e1が辞める時とかもちょっとファンの間でもひと悶着あった気がするんですけど、そういう時とかは特に、何かこうモヤモヤしたりとかは無かったですか？気持ちの変化とか。					
85	⑥	本当にファンの人とか、私がNのオタ垢をもって、でそのNが好きになつたらめっちゃやTwitterを見るようになってたんですけど、e1くんとかe5くんの時はあんまり自分の中でTwitter見るとかなくて。新聞に出て知って、もう一人で大号泣するみたいな。帰りのスーパーでナポリタン見て泣いてる意味分かんないけどしたんですけど。	Nのオタ垢/Nが好きになつたら/Twitterを見るようになって/新聞に出て知って/一人で大号泣	N担になってからTwitterの専用アカウントの悲しみの共有がない状態/新聞からの情報収集/N担としてのTwitterの常性	担当に関連するものを見ただけで生じる悲しみ/	N担になったことによる専用アカウント作成/担当に対する悲しみの共有不可能だった状態	・一度目の脱退時に悲しみの共有ができなかつた理由
86	曾我	めっちゃわかります、そんな気持ち。					

	<p>また、元々[Eのファンコミュニティの小規模・日常性]・[Nのファンコミュニティの大規模・オンライン性]という特徴があり、特に[E担の活動小規模性]から[E担の帰属意識の薄れる可能性の低さ]も生じていた。この時、[ファン活動のフィールド決定要因としての、日常生活の中での同担の存在]があった。</p> <p>また、Eのメンバー脱退時について、一度目は[担当に対する悲しみの共有不可能だった状態]だったが、二度目は[友人との感情・意見共有と脱退メンバーの活動の速さによる悲しみの軽減]が生じていた。その後も[日常生活の中で相談できる環境]・[旧体制の振り返りができる環境]・[レギュラー番組の体制変化なし]の状況が整っていることや、[コラボの多いフェスにおける人数変化の違和感がない実感]を得る機会があることにより、[新体制への徐々な適応への準備]ができたので、映像の閲覧などに抵抗がなかった。</p> <p>Twitterにおいて、[E担としてのTwitterアカウントの未保持と、リア垢内でのEに関する発言]が生じていたが、[N担になったことによる専用アカウント作成]が起こった。さらに、[他グループでの騒動に対する興味]を持っていた。</p> <p>これは[ジャニーズ全体で一つの文化としての認識]をした上で、[ある程度の界隈の理解に伴う騒動に対する興味]であった。</p> <p>他グループの騒動を追いかけの中で、[ファン的人数が多いほど騒動も多いとの考察]も生まれていた。</p> <p>また、[愚痴垢(舞台裏)の積極的活用による不満解消]も行ってた。これは[ファン活動に関連する不満の吐き出しのみである目的]のもと行われていた。</p>
理論記述	<ol style="list-style-type: none"> (1)[ファン活動とそれ以外の活動のバランスを鑑みた「推しやすさ」の重要性]は、[負担が大きすぎるファン活動からの回避]の考えを生み出す。 (2)アイドルを[年齢]に区別する見方をしていても、[若いアイドルは満足できないという先入観の崩壊]が一度起これば、[ジュニア担になるハードルを超える熱量でのファン活動]につながる可能性がある。 (3)[ジュニア担になるハードルを超える熱量でのファン活動]が始まれば、[時間・金銭的負担の圧倒的増加]や[ある程度の負担も受け入れるほどの没頭]が生じる。 (4)[ジュニア内ユニットを推すことによる元々の担当に対する推し方の変化とモチベーション復活]が起こることがある。 (5)ローカル放送の番組の配信が行われるときは、[普段見れない番組]に対する待ち遠しさを抱えることになる。 (6)[先輩後輩の関係性の強さ]による、後輩の裏切り感に対する攻撃[に]対して[コトを見る視線の多様性とそれらに対する理解]をするとき、[騒動と直接的には無関係にもかかわらず感じる葛藤]、つまり[対立する意見の両者ともに共感できる複雑な気持ちによる精神的負担]が増加する。 (7)Twitterにて[炎上の積極的閲覧]をすると、[普段以上の愚痴の検索頻度の増加と目にする意見の多様性]を感じる。 (8)表垢(舞台裏)での内容の表垢(表舞台)への進出と攻撃の増加[が起こることがある]。 (9)炎上に対して、[担当に対する攻撃に傷つかないことへの複雑な心情]を抱くことがある。 (10)自担のファン同士が対立するとき、[対立する両者の意見への共感と、担当への攻撃に傷ついていないこと]の発見による、葛藤と複雑な心情が発生する。 (11)元々[ファンの発言閲覧の習慣]があると、[騒動による否定的発言の閲覧頻度の増加]が引き起こされるため、[Twitterにおける騒動へのコメントと若干の回避]が行われる。 (12)自担同士の対立によりファンからの、ファンとしての承認不安[を抱えるようになる]。 (13)[仕事量の減少と比例したファン活動の減少]が起こると、[仕事量の減少による、ファンとしての不安意識と懐疑心]を抱く。 (14)[ファンを楽しませる工夫の実感によるモチベーション向上]、[炎上後のフェス参加機会によるモチベーション復活]など、[新しい仕事の決定によるポジティブな気持ちの引き起こし]が起こる。 (15)[Nが一方向的に攻撃されることに対する精神的負担の大きさ]は、[知識がないことによる炎上の不安]や[多方面からの攻撃とその言葉の酷さによる傷心]などが[騒動の連続発生による鮮明な印象]になることにより発生する。 (16)担当への一方的な攻撃について、[炎上の原因となったコンテンツへの愛情による「認められた」感覚の予測]をしたり[担当の容姿に関する否定的発言への不満]を抱いたりすることがある。 (17)担当への一方的な攻撃は、[騒動によるファン活動への影響力の小ささ]があり、[騒動になつた動画に対する拒否感]のみ引き起こす。 (18)[ジュニア担のデビュー争いの機軸]を目的にしたりしたことによる、自身の活動により数字を稼ぐことの重要性への気づきを経験すれば、[ファン活動の義務化]により[数字の重要性と意識の高さ]維持される。 (19)[E担の主張への共感不可能性による葛藤の未発生]など、[対立するファンコミュニティでの選択]において、自分の考えによる選択可能性による葛藤の解消が生じる。 (20)[Eのファンコミュニティの小規模・日常性]・[Nのファンコミュニティの大規模・オンライン性]という特徴は、[ファン活動のフィールド決定要因としての、日常生活の中での同担の存在]により生じる。 (21)[E担の活動小規模性]から[E担の帰属意識の薄れる可能性の低さ]も生じていた。 (22)メンバー脱退時について、[担当に対する悲しみの共有不可能だった状態]になることがあるが、[友人との感情・意見共有と脱退メンバーの活動の速さによる悲しみの軽減]が行えることもある。 (23)[日常生活の中で相談できる環境]・[旧体制の振り返りができる環境]・[レギュラー番組の体制変化なし]の状況が整っていることや、[コラボの多いフェスにおける人数変化の違和感がない実感]を得る機会があることにより、[新体制への徐々な適応への準備]ができる。 (24)Twitterにおいて、[E担としてのTwitterアカウントの未保持と、リア垢内でのEに関する発言]が生じることもあれば、[N担になったことによる専用アカウント作成]が起こることもある。 (25)[ジャニーズ全体で一つの文化としての認識]をした上で、[ある程度の界隈の理解に伴う騒動に対する興味]である[他グループでの騒動に対する興味]を持っていた。 (26)他グループの騒動を追いかけの中で、[ファン的人数が多いほど騒動も多いとの考察]が生まれることがある。 (27)[ファン活動に関連する不満の吐き出しのみである目的]のもと[愚痴垢(舞台裏)の積極的活用による不満解消]が行われる。
さらに追究すべき点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドルとしての完成度の高さは何か ・ファンのハイテンションな発言を見るのが好きなのはなぜか ・E担からの承認が必要な理由 ・ライブは何公演分くらい申し込むのか ・ファン同士で感じた嫌なこと、担当の仕事量減少は一緒に起こるのか ・一緒に起こる場合、仕事が決まればいつでも帳消しになってポジティブになれるのか ・愛情が強いと感じた理由は何か ・原因となつた動画を見れなくなったのは何故か ・ファンコミュニティの特徴は、デビュー組/ジュニアの分類で分けられるものか、固有性を持ったものか ・一度目の脱退時に悲しみの共有ができなかった理由 ・愚痴垢は誰かにフォローされているものだったのか ・愚痴垢の所持率 ・愚痴垢の使用用途は一般的なものなのか

SCAT(Steps for Coding and Theorization)を使った質的データ分析

付録10: SCAT表⑦

番号	発話者	テキスト	<1>テキスト中の注目すべき箇所	<2>テキスト中の語句の言いかえ	<3>左を説明するようなテキスト外の概念	<4>テーマ・構成概念 (前後や全体の文脈を考慮して)	<5>疑問・課題
1	曾我	今日はFのことを聞きたいなと思って、担当への熱が冷めた経験のところ、F担当雑だからちょっと文句言うのが嫌みたいなのを書いてくれたかと思って。色々何個かいつかあったのかなと思って、ちょっとその経験を少し聞きたいなと思って。最近結構現場も当たってなくて行ってない感じがなと思うんですけど、F担当たなんか言ってるわって思ったのは、最近はどうなことがありましたか？					
2	⑦	Lが夏の(ライブC)で、(Fの楽曲)っていう曲をやったんですよ。それをちょっとコントコーナーみたいなの感じてLがやって、それに対してすごい怒って、まあ一部ではあるんですけど、そんなコントに使うなんてみたくない、Fの大事な曲を、みたくない。別にコントじゃないの？みたくない。そんな神聖な曲ではないか？みたくない。後輩がやってくれるなんて、それは嬉しいことだと思うし、Fも好きだからこそ、そんな、レボだけでF担当は言ってるわけじゃないですか。	コントコーナー/怒って/一部/コントに使うなんて/大事な曲/神聖な曲ではないか？/後輩がやってくれる/嬉しいこと/Fも好き/レボだけ	先輩楽曲のカバー/コントとして楽曲を使うことへの文句/先輩の楽曲の取り扱い/F担当の主張に対する違和感/実際に見ているのに文句を言うことの違和感	楽曲の利用に対する誤った解釈/実際のもを見ているのに文句を言う理不尽さ	先輩の楽曲カバーへの文句に対する嫌悪感	
3	曾我	そうですね、複雑な。					
4	⑦	はい。見てもないのに言わないでよっていう。テレビとかでやったわけじゃないんで、ライブ行ったファンが、Lのファンが楽しめるならそれでいいじゃんみたいなの。っていうものを言うのを違うなって思った。し、BがFの曲歌った時も騒いで、もうまた言ってるわって思ってる。	見てもないのに言わないでよ/Lのファンが楽しめるなら/違うな/BがFの曲歌った時も/また言ってるわ	自分が意見を主張することへの疑問/ライブに行った人が楽しめたら良いと思う考え/騒動の頻発性/騒動が起こる度に感じる呆れ	自分が反論するほどでもない騒動/これ以上ことを荒立てないように/実際に見聞きしたものを以外に対する主張の疑わしさ/F担当の主張の見当違いさ	実際に見聞きしていない人からの文句に対する嫌悪感/文句の頻出に対する呆れ	
5	曾我	そうですね。そういうのは結構Twitterとかで言ってるみたいなの感じですか？					
6	⑦	はい、Twitterで。	Twitterで				
7	曾我	言ってる人とか結構F担当して、交流があった人だったりしたんですかね？	交流があった人				
8	⑦	F担当を、中学生の時めっちゃめっちゃF担当をやって、高校入ってからもう消して。Fが来年少年15周年なんで、その前にF担当復活させて、ちゃんと楽し15周年お祝いできたなら、みたくないなって復活させたんですけど。その雰囲気とか、好きじゃなくて、普通に普段オタクしてる感じとかも、…もうFが一番みたくない考え方が多いイメージがあって。F担当作ってたもののほぼ活動してないみたいなの。で、タイムラインとか見てたらそういう感じになって、ああ、みたくない。	F担当/中学生のとき/消して/来年少15周年/F担当復活/楽し15周年お祝い/雰囲気とか/好きじゃなくて/普通に普段オタクしてる感じとか/Fが一番みたくない考え方が多いイメージ/で、タイムラインとか見てたらそういう感じになって、ああ、みたくない	Twitterでの知り合い/元々交流がない人からの主張/F担当の削除/周年のお祝い/来年少15周年/F担当復活/楽しめぬ雰囲気/盲目的なファン/活動後のTwitter環境	Twitterで周年を盛り上げようという気持ち/居心地の良いファン活動環境の構築不足/Twitterを利用しないファン活動後のTwitter環境による、居心地の悪いファン活動環境の構築不足		
9	曾我	F担当を復活させたのはいつ頃ですか、大学入ってからですか？	F担当を復活させた/大学入ってから	アカウントの復活時期/去年			
10	⑦	大学入って、去年ぐらいですかね。	去年ぐらい				
11	曾我	復活したものの、あまり使わず、みたくない。	あまり使わず	アカウントをほとんど利用しなかった			
12	⑦	(頷く)					
13	曾我	なるほど。じゃあその、タイムライン見るだけみたいなの感じですかね。	タイムライン見るだけ	情報収集目的でのTwitter活用	共感を求めないTwitterの利用	共感を求めず情報収集目的でのTwitterの活用	
14	⑦	そうですね。情報知るためだけみたいなの感じですかね。	情報知るためだけ				
15	曾我	なるほど。特にめっちゃやるわけじゃないけど、タイムラインに流れてきて、あー、みたくない。なんか、どういったことを言っていましたか？言える範囲でいいんですけど、F担当の人とか言っていたこと覚えていてることとか、印象に残っていることとかありますか？	どういったこと/覚えていること/印象に残っていること	自担が一番良いという考え/空想的な考え/自身は現実を見ているタイプという自負/バラエティなどの感想の違い/解釈の違いによる嫌悪感/自分の感情との違いの大きさ/真逆な感想	自担に対する過大評価に対する違和感/共感の価値観/盲目性/他人との価値観共有における等価値化の失敗/現実をみる=過大評価をしない、批判的に見ることが出来る	自担への盲目的な過大評価に対する嫌悪感/自身の感覚とのギャップによる違和感/自担に対する批判的評価による現実を見ている感覚	
16	⑦	なんかF担当って、やっぱFが一番いいと思う人がすごい多いので。私は結構現実を見るタイプ。Fのバラエティとかも、面白い回と面白くない回があるんですけど、今回全然面白くない回があったじゃないですか、Twitterとかで、面白かったやっぱ最高、みたくないのを見ると、自分の感情と違すぎて。真逆みたくない。	Fが一番いい/すごい多い/現実を見るタイプ/面白い回と面白くない回がある/やっぱ最高/自分の感情と違すぎて/真逆				
17	曾我	なるほど。自担が一番みたくない人たちは、結構なんでも褒めまくるみたいなの感じですかね。	なんでも褒めまくる	なんでも褒める/盲目的な見方			
18	⑦	(頷く)					
19	曾我	普段F担当の人のツイートとかだと、あんまり、否定までいかないけど、面白くなかったとか、そういうのどっかというネガティブな意見とかは、あんまり流れてこないですか？	ネガティブな意見				
20	⑦	そうですね。あんまり、見ない気がしますね、やっぱ。	あんまり	普段の否定的ツイートの少なさ/ポジティブなツイートの多さ	ポジティブな感情の共有場所としてのTwitter	ポジティブな感情共有の場としてのTwitterの活用	・ポジティブな感情のみを共有してネガティブな感情は共有しなかったのか、そもそもポジティブな感情しか生まれぬのか
21	曾我	流れてきたことはありますか？	流れてきたこと				
22	⑦	全くないわけではなかった気がします。	全くないわけでは				
23	曾我	でも、印象には残ってない？	印象/残ってない？				
24	⑦	そうですね。					
25	曾我	じゃあFが一番、みたくない感じが、すごい感じるって言うてたのは、結構そういうツイートの内容とか見てていう感じですかね。	そういうツイートの内容	自担を良く言うツイートの多さ/自担に対して良いこと言わないことへの嫌悪感	批判的評価を求める姿勢/Twitterによるイメージ形成	Twitterによる批判的評価の不足というイメージ形成	
26	⑦	Twitterの投稿ばかりですかね。	Twitterの投稿ばかり				
27	曾我	なるほど。ちなみにF担当の、リアルな、学校の友達とかと喋ったりすることはありますか？	リアル/学校の友達とか	リアルな世界での同じグループの担当/リア友との交友関係の良さ/強く推してない/仲良く喋れて	リアルな世界での同じグループの担当/リア友との交友関係の良さ/日常生活中的の友人の盲目的思考の少なさ/単なる自己開示度(担当に対するネガティブな気持ち)の高さ	・リア友(日常生活の中での友人)とは良好関係を築きやすいのは何故か	
28	⑦	リア友でF好きの人がいて、その子は割と私と似たような感じで。そんなに強くは推してないみたいなの。Fが好きだった子なので、F担当だけ、仲良く喋れてますね。	そんなに推してない/仲良く喋れて				
29	曾我	そうですね。Fが一番みたくない感じも、その子からはそんなに感じないっていう…	そんなに感じない	自担に対する盲目性の少なさ			
30	⑦	(頷く)					
31	曾我	そうですね。なるほど。じゃあアンケートの中とかで、Lがちょっと、(Fの楽曲)歌ったみたいなのと、オタク垢消そうかなって思いました、みたくないの書いていたんでしたんですけど、結局消してはなですか？	オタク垢消そうかな/結局消してはなですか？	アカウントの実質的な削除	TwitterでのF担当からの逃避	オタクアカウント削除による同担からの逃避	
32	⑦	消してはなんですけど、もうツイートも全部消して、フォローもフォローも0にして。もうないも当然みたいな状態になってますね。	消してはな/ツイートも全部消して/フォローもフォローも0/ないも当然				
33	曾我	そうですね。その消そうと思ったのって、なんでなんだろうと思って。アカウントを元から消さずに、フォローとフォローだけ消しちゃおうとか、そこら辺って、何か理由とありますか？ちょっと難しい聞き方しちゃってるんですけど。	消そうと思ったの/元から消さず/そこら辺/何か理由				
34	⑦	なんだろう…多分消そうって思ったのは、別にF担当の友達そんなTwitterでわざわざ友達探してまでじゃやらないなって。まあライブ行くなったら、そのリア友の子と行ってたのですね、その子と行けば大丈夫かなって思っちゃったし。アカウント消さずになんとなく残しているのは、まあ、なんか他のハマった時に使えるかな、ぐらいで。消さずにあるって感じですかね。	Twitterでわざわざ/リア友の子/大丈夫かな/他のハマった時に/消さずにある	Twitterでの友達探しの必要性の低さ/リア友との関係性の良さ/嫌悪感/チケット交換への許容/高額転売に対する正義感/高額転売を許容するような発言に対する不理解	最低限の交友関係のみの保持/Twitterでの交友関係の拡大欲求、Twitter利用での負担と比較した時の小ささ	Twitter上での交友関係の必要性	
35	曾我	なるほど。じゃあもうそれぐらい、疲れたというか、しんどかったみたいなの感じだったんですかね。	疲れた/しんどかった				
36	⑦	そうですね。F、今ライブやってて、そのチケットの転売とか、タグで見られるじゃないですか、「F チケット」とか、タグ見ると、交換とかはしたらいかなと思うタイプのオタクなんです。高額転売とか、普通にそれは私はあんまり好きじゃなくて、自分もやらないし、そこから買うことはないんですけど、高額転売の正義を振りかざしてツイートしてる人も多くて。こんな高額になるって、みたくない。よくわからん、みたくない。	ライブやってて/チケットの転売/タグで見られる/交換とかはしたらいかな/高額転売/あんまり好きじゃなくて/自分もやらないし/そこから買うことはない/高額転売の正義を振りかざして/よくわからん	F担当との交流に対する疲弊/チケットの転売横行に対する嫌悪感/チケット交換への許容/高額転売に対する正義感/高額転売を許容するような発言に対する不理解	過剰に真面目すぎる考え/嫌悪感/空気を読まなければならないと気持ち	チケットの高額転売に関するTwitter上のやりとりに対する嫌悪感/チケットの交換に対する許容	・チケットの高額転売について、正義感を振りかざしたツイートとはどのようなことを言っていたのか

37	⑦	ジャンオタやっていると、交換は当たり前だし、割と当たり前のように譲るチケットも、求めてる人も出てくるじゃないですか。だから、それにF担は慣れないのかなって思うんですけど、事務所がちゃんとしたシステムを作ってくれない限りどうしようもないって。	交換は当たり前/譲るチケット/求めてる人/F担は慣れないのかな/事務所がちゃんとしたシステム/どうしようもない	交換の一般性/チケット交換の回避不可能な状況/事務所側の責任	チケットの交換をせざるをえない環境	チケット交換の一般性		
38	曾我	ちょっと途中こえないうちあったんですけど、交換とか販売だめだよ、みたいな意見があったってことですか？						
39	⑦	何だったかな、行けない日があるから、交換に出すのも規約ではだめなんだよ、みたいな。確かにそうなんですけど、その後に、もう入金しないとブラスクリストに入るから、入金して空席になることをSNSで謝罪するしかないみたいなツイートがあって。すごい衝撃で、入金しなくても良い？って思ったりとか。	交換に出す/規約ではだめ/確かにそう/入金/ブラスクリストに入る/空席/SNSで謝罪するしかない/ツイートがあって。すごい衝撃で、入金しなくても良い？	規約違反を厳守するよう求める声/ライブに行けない日の対応策に対する嫌悪感/入金する必要性の主張に対する違和感/チケットの取り扱いの主張に対する嫌悪感	空席を作ってはいけないという前提/過剰に規約を守る呼びかけをすることに対する違和感/謎の文化に対する疑問	チケット交換という規約違反に対する過剰な呼びかけ/ライブの空席への対処法の主張に対する違和感	・入金しないとブラスクリストに入ることの真偽	
40	曾我	そういう、交換とかそういうのダメだよみたいなのが、「譲ります」みたいなツイートのリブとかにあったみたいな感じですか？	ダメだよ/リブ					
41	⑦	なんか、もう別にいいんですけど、そんなに、無駄に正義感ある人多くて。いいこともあるんですけど、逆に浮いちゃう。それが浮いちゃうのもF担の嫌なところ。	別にいい/無駄に正義感ある人/いいこともある/逆に浮いちゃう	交換に対する忠告/過剰な正義感/目立つ行動への嫌悪感	極端な言動を行う人に対する嫌悪感	極端な正義感や牽制が目立つことへの嫌悪感	・正義感があることが良い方向で生かされるときは、どんな時か、具体的な経験があれば	
42	⑦	盗撮とかすごい多いんで、F担、中学の時から、Twitterで知合った子とライブに行ったんですけど、中学、高校の時に。仲良かった子とライブ行って。私は基本的にマナー守る人なので、その1公演しか入る予定がなくて。その1公演にかけてるわけじゃないですか。一緒に行く子は、高校生だけでバイトもして。お金もあるから何公演か行けるみたいな子で、別にそれはよかったんですけど、その子もマナーを守った方がいいよね、みたいな感じのライブの子だと思ってたんですけど、私は普通に、一緒にいって、ライブ楽しかったわって一緒に帰って帰る時に、スマホの録音画面が見えて。ちょっと止めてるのが見えてしまっ。あ、まだ録音してる人っているんだって思って、その一緒にいった子が、それも、F担嫌いな。	盗撮/多い/Twitterで知合った子/ライブ行って/基本的にマナー守る人/1公演しか入る予定がなくて/一緒に行く子は、高校生だけでバイトもして/お金もあるから何公演か行けるみたいな子で、別にそれはよかったんですけど、その子もマナーを守った方がいいよね、みたいな感じのライブの子だと思ってたんですけど、私は普通に、一緒にいって、ライブ楽しかったわって一緒に帰って帰る時に、スマホの録音画面が見えて。ちょっと止めてるのが見えてしまっ。あ、まだ録音してる人っているんだって思って、その一緒にいった子が、それも、F担嫌いな。	盗撮が多い状況/ライブの同行者の盗撮行為/参加する公演数の差/録音する現場の遭遇/盗撮が現実になっていることへの衝撃/自身がマナーを守るオタクであるという認識/1公演にかけてる想いの大きさ	実際に違反行為を目の当たりにしたことでの衝撃/ある程度信頼していた人に対する裏切り感/金銭的優遇があり何度もライブに行ける友人への羨ましさ/ある程度のマナーを守ることの重要性	ライブ中の録音を目の当たりにしたことで、信頼していた人に対する裏切り感/ある程度信頼していた人の違反行為による裏切り感/マナーを守ること		
43	曾我	その一緒にいった人が、マナー守った方がいいよねって感じだと思ってたのは、これまでのツイートを遡って見ててとかですか？	ツイートを遡って見てて					
44	⑦	そうですね、普通に接してる分には、普通にマナー守る、ごく普通のオタクだと。たぶん私が高校の時に垢消して。ですけど、LINEとかではその子繋がって。で、直前にそのアカウント復活させて、一瞬だけ、F指再開して、だけ全然見てなかったんですけど、その子が録音しているって、事件のあとに、ちゃんとTwitterにその子のアカウント見に行ったら、音源の交換を探す？の絵文字の、タグ避けの。	普通に接してる分/ごく普通のオタクだと/LINE/繋がって/アカウント復活/アカウント見に行ったら、音源の交換を探す/タグ避け	アカウント復活時/後ほど投稿を遡って見てて/盗撮行為/録音交換のためのタグ避け文化/Twitterの友人とのLINEでの繋がりが/録音交換の裏付け発見	違反行為の発覚	違反行為の裏付け		
45	曾我	そんなのあるんですね。						
46	⑦	知らないですか？						
47	曾我	Twitterの界隈の雰囲気とか、わからないことが多いんですけど、そういうのが、						
48	⑦	そうですね、で、それらまあそういうのめっちゃ出てくるんですけど、F担のとか、で、検索避けして。	めっちゃ出てくる/F担のとか/検索避け					
49	曾我	実は後から見たらあった、みたいな。	実は/後から					
50	⑦	そういう子に変わっていったんだ、みたいな。	変わっていった					
51	曾我	結構いろいろありますね。						
52	⑦	いろいろありますね。						
53	曾我	ちなみに、1番最初にF担やって、あれF担ちょっと違うかも、みたいな思ってた経験で、1番最初ってどんな経験だったか覚えてますか？	ちょっと違うかも/一番最初/どんな経験					
54	⑦	最初は、私はライブ会場でのマナーの悪さですかね。何て言うか、色々ひっくるめて、ちょっと盛り髪とか？いわゆる「量産」の走りが多分F担、今みたいな、ちゃんかわいひ量産って言ったらおかしんですけど、その普通にソングで髪を束ねるみたいな量産じゃなくて、ギョルみたいな、もう何でこれくらい(頭の上で高さを示して)まで髪を束ねるとか人とかもいて。わあって思うし、すごいヒールの高なお姉さんとかもいっぱいいて。そういうのが、結構、真面目にオタクしてるこっからすると、…	ライブ会場でのマナーの悪さ/色々ひっくるめて/盛り髪/いわゆる「量産」の走りが多分F担/今みたいな、ちゃんかわいひ量産/ソングで髪を束ねる/ギョル/髪を束ねるとか人とかもいて。わあって思うし、すごいヒールの高なお姉さん/真面目にオタク/こっからすると	ライブ会場でのマナーに対する違和感が初めであること/「量産」と呼ばれる人々の基礎/ギョルのような格好/高いヒール/驚き/真面目なオタクから見た違和感と嫌悪感	ライブ参加の格好の暗黙の了解/周囲に迷惑のかからない格好での参加が真面目であるという考え/派手な格好が目立ちすぎることへの嫌悪感/ジャーズファン文化の基盤形成	ライブでの暗黙のマナーの存在/派手な格好でライブに参加するファンに対する衝撃/マナーを守らないファンに対する嫌悪感		
55	曾我	盛り髪とか、駄目ですもんね。暗黙のルールなんですかね、アレ。何か、ちゃんとやられるやつなんですかね。私もあんまりわかんないんですけど。	暗黙のルール/あんまりわかんない					
56	⑦	ヒールとかも暗黙の了解ですかね。	ヒール					
57	曾我	でもあの最初ライブ行った時に、めっちゃ検索した覚えがあります、そういうの。それはいつ頃ですか？中学生とか…？	めっちゃ検索した/いつ頃					
58	⑦	高校生のころですかね。	高校生の頃					
59	曾我	初めてライブ行った頃ぐらいですか？	初めてライブ行った頃					
60	⑦	そうですね。						
61	曾我	確かに中高生らへんって盛り髪結構いっぱいありましたもんね、ライブ行くと。懐かしいですね、なんか。けっこうこれまでも、多分F担の中で、いろいろ違うなみたいなのがあったのかなと思うんですけど、結構、《Fの楽曲》の、Lが歌って、のやつが1番大きいというか、最新かなんか思っていて。それまでのF担の、ちょっと違うって言うのと、《Fの楽曲》の1件のちょっと違うって言うのと、違いはあったりしたか？特にこれが嫌だったとか。						
62	⑦	《Fの楽曲》まであったF担の嫌なこととかは、F担が悪いっていうか。なんというんですかね、そのLの《Fの楽曲》の件は、Lをバカにされてる感じもして。それまでのF担のあれは、別にF担の嫌なところってだけで、そういうF担と関わらずに生きて行けば良い話だったんですけど。	F担の嫌なこと/F担が悪い/Lをバカにされてる感じ/F担の嫌なところってだけ/関わらずに	Lをばかにされたように感じた経験/F担だけで完結するかどうか/自担への攻撃が含まれているか	自担を貶す発言の有無による、その騒動の捉え方の変化	自担を悪く言われることに対する嫌悪感		
63	⑦	《Fの楽曲》の件は、Lってライブが大好きで、久しぶりにやるので、ファンをさせようとしてやってくれてるんだし、Lもバカにしようと思って《Fの楽曲》を使ったわけじゃないです。実際そのコーナーを見たんですけど、《Fの楽曲》をバカにしてコメントしてる人じゃなくて、ただふざけてるだけじゃないですか。別に曲をダメにしてるわけじゃないから。その、なんでそんなF担は…	ライブが大好き/久しぶり/楽しませよう/実際/見た/バカにして/ただふざけてるだけ/曲をダメにしてるわけじゃない/なんでそんなF担は…	Lのライブへの想い/ライブを楽しみたいという意気込みに対する攻撃/曲の価値を落とされているわけではない	担当のライブに対する想い/こだわりを汲んでくれないことへの不満	担当のライブに対する想いの解釈の違い		
64	曾我	そうですね。けっこうこれまでもF担ちょっと違うって思ってたこと、何回かあったと思うんですけど、それはFを推して行中中で、嫌だけど関わらなかつたらいいやぐらいで、割り切ってたって感じですか？	Fを推して行く中で/割り切ってた					
65	⑦	そうですね。もう嫌な人はすぐブロー解して、もうF指開かないとか。Fの熱量がすごかった時に、すごいCDとか買いたくない。高校生、中学生の頃とか、1番F指やる時とかは、すごいちゃんとし形態買ってた、高校生なのに。周りが買ってるから私も買わなきゃ、みたいな。繋がった子も同世代とかが多いんですけど、その子たちも買ってるなら私も買わなきゃみたいな。急に追われて。それだんだんきつくなってきて、限られたお小遣いの中じゃないですか、学生の、若い頃って。普通に学生とか、オタク以外のことも遊びたいし、金銭的な面も、結構Fから離れた理由がもしないですかね。	嫌な人はすぐブロー解/F指開かない/CDとか買いたくない/1番F指やる時/3形態買ってた/高校生なのに/周りが買ってるから私も買わなきゃ/急に追われて/だんだんきつくなってきて/限られたお小遣い/学生の、若い頃/普通に学生とか、オタク以外のことも遊びたいし/金銭的な面も、結構Fから離れた理由がもしないですかね。	苦手なF担に対する対応/関わらないような対策/CDの購入枚数の増加による負担/周囲に流された購入/ファン活動に金銭を注ぎ込む状況ではない/なんでそんなF担は…	周囲の購買量と合わせようとする強迫観念/高校生に比べての金銭的負担の大きさ	嫌いな人との関係性打ち切りの迅速的な対応/周囲の購買行動に流された自身の購買量の増加による疲弊	・「買いたくない(購買欲求)」なのか「買わなきゃ(強迫観念)」なのか両方なのか	
66	曾我	高校生のときに、Twitter消してる時期とかと被ってるんですけど、それって。高校生になって、ちょっと金銭面とかも含めて、ちょっとずつ冷めてきた、みたいな。	Twitter消してる時期/金銭面/ちょっとずつ冷めてきた	金銭面の負担とTwitterアカウント削除の時期の重なり		熱量低下の一因としての金銭的負担		

67	⑦	そうですね。					
68	曾我	そうですね、結構、予約しよう！とかすごい流れますもんね。新曲発表したりかした。	予約しよう！とか/新曲発表				
69	⑦	Fって、私が中学高校の頃が1番人気だった。とか言ったら凄いなんで毎年やっつて、みたいな流れが毎年あって、シングルとかも初回盤は予約しないと買えないみたいな。高校、高1くらいとか。だからその熱量に乗って最初は応援してたんですけど。10周年前くらいが、Fのすごい、めっちゃシングル出された。すぐ、お金ない！みたいな、思いました。	1番人気だった/勢いがあった/毎年あって/予約しないと買えない/熱量に乗って/10周年前くらい/すくお金ない！見たいな	予約の呼びかけ/勢いがある時期の購買意欲の向上/CDの購入の倍率の高さ/熱量に流された購入/CD発売の頻発性/金銭的負担の増加	担当の勢いのある時とない時のCDやグッズの希少性/担当のCD発売頻度により左右される金銭的負担の危機感	担当の仕事量増加に伴うグッズの希少性上昇/グッズの発売頻度増加による金銭的負担の増加と危機感	・どのようなところで勢いがあると感じていたか
70	曾我	なるほど、10周年ですね。なんの時かな…。私Fで1番覚えてるのは、(ドラマC)とか、Rくんが1番ドラマに出てた時期とかは、すぐ覚えてますね。10周年だと、ぬいがたくさん出た時期ですか、もしかして。ぬいですかね、キャラクター化した時期ですかね、その辺って。					
71	⑦	そうですね、キャラクターの。					
72	曾我	なるほど、みんな持ってた覚えがあって、そこらへんの時期。					
73	⑦	あのグッズも、すごいいっぱい買った記憶があります。	すごいいっぱい買った記憶				
74	曾我	どれくらい使ってたか、1公演で大体。	どれくらい	グッズの購入量の多さ		親からの提示額を超えるグッズ購入量	
75	⑦	親から、1万円以内に抑えなさいみたいな。でも1万5千円とか、お小遣いのため。	親から/1万円以内に抑えなさい/1万5千円/お小遣いのため				
76	曾我	でも、買いたってなつちやうと、それくらいついたりしますもんね。					
77	⑦	それこそ一緒に友達とかが、グッズ全部買いたみたいいな。全部買ったらもうすごい金額になるじゃないですか。	一緒に行く友達/グッズ全部買いたみたい金額	友人の全グッズ購入の姿勢/友人のグッズ購入に対する羨ましさ	自分の周囲の友人との購入量の比較と羨ましさ	友人の購入量の比較と羨ましさ	
78	曾我	やばいですよね。					
79	⑦	だからさすがにそれは出来ない。でもほしい。	さすがにそれはできない/でもほしい				
80	曾我	それが、ちょっとしんどいああってきた、きかけとかってあります。覚えてたらいいんですけど。なかったら、なんとも全然あれなんですけど。	きかけ				
81	⑦	でも、その毎回3形態買ったら、収納する場所もなくなってくるし。通常盤プレスか何かに、ポスターがついてくるんですけど。それまでは初回盤だけっていう中で、Fの熱量が上がっていくうちに、私も3形態で買うようになって。初回プレスにポスターついてくるならそれも買わなきゃみたいな感じで、CDの場所も増え、ポスターも増え、CDで別に買ったならそれ以降見ないじゃないですか、あんまり。プレイヤーとかに入れて、Podとかに入れて、ポスターも、別に貼らないタイプだったんで。ただのかさばるものがいっぱいできてきたみたいな感じで。大して曲も聴かないのにこんなに、いらなかったな、みたいな風に思った感じですね。	毎回3形態/収納する場所/なくなってくる/ポスター/それまでは初回盤だけ/3形態買うように/それも買わなきゃ/増え/それ以降見ない/別に貼らないタイプ/かさばるもの/要らなかったな	グッズの収納場所の減少/CD購入により付随するポスター/CDの活用/購入後の利用減少	増えていくグッズへの虚しさ/応接するための消費によるモ/自体の価値の低下	グッズの収納場所減少に伴う虚しさ/グッズの購買行動自体の応援活動化	
82	曾我	こう、ふとした時に気付いたら、みたいな感じですかね。					
83	⑦	そうですね。					
84	曾我	じゃあ、最後になって感じになるかなと思うんですけど。色々あって、アンケートのところで、その後Fの熱どうなりましたか、みたいな質問で、元通りにはなかった、みたいなことを書いていたんですけど、熱量が戻らなかったっていうのは、現場に行く量が減ったとか、熱量減ったって感じた瞬間とかってありますか？	元通りにはなかった/現場に行く量が減った/熱量が減ったって感じた瞬間				
85	⑦	コロナで全然、ライブをやらなかったのが大きいかと思います。コロナ明け、ライブ他のグループができるようになってからも、Fがライブするのがすごい遅かったんで、有観客で。今回の、秋くらいからのツアーでようやくという感じなんで。遅いというふう。っていう感じもあるし、個人の舞台とかはあったんですけど、f1んの舞台があったんですけど、医療系の学部に通って、実習が夏休みにあたって、実習の前2週間は、ライブとかそういう、県外移動も駄目っていう。バネないんですけど行っても、でも高齢者の多い施設に行く実習だったので、もし私が感染して、私は発症しなくても、その施設の方に移ってしまったら、と思うと応募できなかったです。	ライブをやらなかった/他のグループができるように遅かった/ようやく遅いというふう/舞台/実習が夏休みにあたって、実習の前2週間は、ライブとかそういう、県外移動も駄目/バネない/応募できなかった	ライブの開催がないことによる熱量復活のなさ/コロナ以降のライブ再開の遅さ/実習による遠征不可能な状況/	会いに行ける機会の重要性/他のグループとのコンテンツの充実度の比較	自身の都合とライブ開催がないことによる会える機会減少と、それに伴う熱量減少/他グループとのコンテンツの比較	
86	曾我	そういう、いけない状況が重なったら、なんとなく冷めていってって感じて。	いけない状況/重なった				
87	⑦	コロナのときも、オンラインライブの一回やっただけっていう。他のグループは割と何回かしたイメージがあるんですけど、なくて。それでも会員費払ってるのか、みたいな。	オンラインライブの一回やっただけ/割と何回か/それでも会員費払ってる	オンラインライブの開催の少なさ/ファンクラブ会員費に対する虚しさ	コンテンツ量に対する会員費が見合っているか	コンテンツ量とファンクラブ会員費が釣り合っているか	・現状ファンクラブは続けているか ・ファンクラブを辞めたことはあるか、どの基準でやめるか
88	曾我	確かに会員費払ってるのって、ライブに行ってもそそみたいなとこありますもんね。	ライブ行ってこそ				
89	⑦	なんのために払ってるんだろ、みたいなのはありますね。	なんのために払ってるんだろ				
番号	発話者	テキスト	<1>テキスト中の注目すべき箇所	<2>テキスト中の語句の言い換え	<3>左を説明するようなテキスト外の概念	<4>テーマ・構成概念(前後や全体の文脈を考慮して)	<5>疑問・課題

ストーリーライン	<p>担当への熱量が下がった経験として、[担当のライブに対する想いの解釈違い]による[先輩の楽曲カバーへの文句に対する嫌悪感]を感じたことが挙げられた。特に[実際に見聞きしていない人からの文句に対する嫌悪感]・[自己を悪く言われることに対する嫌悪感]があり、さらに[文句の頻出に対する呆れ]も感じていた。</p> <p>ファンとしてのTwitter閲覧によって、[自己への盲目的な過大評価に対する嫌悪感]や[自身の感覚とのギャップによる違和感]を感じていた。これらは[担当に対する批判的評価による現実を見ていない感覚]が起こることが基盤にあった。</p> <p>[ポジティブな感情共有の場としてのTwitterの活用]がされていることにより、[Twitterによる批判的評価の不足というイメージ形成]がされていた。</p> <p>逆に[日常生活での友人との盲目的でない意見交換]が行われていた。</p> <p>従って、[Twitter上での交友関係の必要性]が形成されており、[オタクアカウント削除による同担からの逃避]が行われた。</p> <p>Twitterの利用において、[嫌いな人との関係性打ち切りの迅速な対応]をしていたが、[Twitterを利用しないファン活動後のTwitter利用による、居心地のいいファン活動環境の構築不足]が起こったため、[共感を求めず情報収集目的でのTwitterの活用]をしていた。</p> <p>⑦さんは、[チケット交換の一般性]から感じた[チケットの交換に対する許容]の姿勢を持っていた。</p> <p>一方で、[チケットの高額転売に関するTwitter上のやりとりに対する嫌悪感]を感じた経験もあった。</p> <p>[チケット交換という規約違反に対する過剰な呼びかけ]を見ながら、[ライブの空席への対処法の主張に対する違和感]や[極端な正義感や牽制が目立つことへの嫌悪感]を感じていた。</p> <p>また、[ライブ中の録音を目の当たりにした衝撃]を感じた経験もあった。</p> <p>もともと[マナーを守ること]を重視する姿勢を持っていたが、[ある程度信頼していた人の違反行為による裏切り感]を感じ、その後[違反行為の裏付け]も発見したことにより、[ライブの録音という違反行為の発覚により残念に思う気持ち]を感じていた。</p> <p>[初めてのライブでの衝撃]を感じた経験としては、[派手な格好でライブに参加するファンに対する衝撃]・[マナーを守らないファンに対する嫌悪感]を感じたことを挙げていた。</p> <p>この経験は、[ライブでの暗黙のマナーの存在]の示唆のもと、[暗黙のマナーを守ることの主張]に繋がっていた。</p> <p>[熱量低下の一因としての金銭的負担]も挙げられた。</p> <p>[担当の仕事量増加に伴うグッズの希少性上昇]により[親からの提示額を超えるグッズ購入量]になったりしていたが、[グッズの発売頻度増加による金銭的負担の増加と危機感]を感じたことから、[周囲の購買行動に流された自身の購買量の増加による疲弊]を感じるに至っていた。</p> <p>また、[友人の購入量の比較と羨ましさ]も感じていたが、結果的に[グッズの収納場所減少に伴う虚しさ]が熱量減少に繋がっていた。</p> <p>このように[グッズの購買行動自体の応援活動化]が生じていた。</p> <p>[自身の都合とライブ開催がないことによる会える機会減少と、それに伴う熱量減少]が起こることもわかっていた。</p> <p>[他グループのコンテンツの比較]等をすす中で[コンテンツ量とファンクラブ会員費が釣り合っているか]を検討するようになったことより生じた。</p>
----------	--

理論記述	<p>(1)[担当のライブに対する想いの解釈違い]により[先輩の楽曲カバーへの文句に対する嫌悪感]を感じるようになる。</p> <p>(2)[先輩の楽曲カバーへの文句に対する嫌悪感]としては、[実際に見聞きしていない人からの文句に対する嫌悪感]や[自担を悪く言われることに対する嫌悪感]などが挙げられ、[文句の頻出に対する呆れ]も含まれる。</p> <p>(3)[担当に対する批判的評価による現実を見ている感覚]が備わっていると、[自担への盲目的な過大評価に対する嫌悪感]や[自身の感覚とのギャップによる違和感]を感じることもある。</p> <p>(4)[ポジティブな感情共有の場としてTwitterの活用]がされると、[Twitterによる批判的評価の不足というイメージ形成]がされる。</p> <p>(5)Twitterでは自担への盲目的意見が交わされるが、[日常生活での友人との盲目的でない意見交換]が行われる。</p> <p>(6)Twitter上での交友関係の必要性を感じていると、[オタクアカウント削除による同担からの逃避]・[嫌いな人との関係性打ち切りの迅速的な対応]が行われる。</p> <p>(7)Twitterを利用しないファン活動後のTwitter利用による、居心地のいいファン活動環境の構築不足が起こると、[共感を求めず情報収集目的でのTwitterの活用]をするようになる。</p> <p>(8)チケットの交換に対する許容の姿勢があると、[チケット交換の一般性]を認識する。</p> <p>(9)[チケットの高額転売に関するTwitter上のやりとりに対する嫌悪感]は、主に[チケット交換という規約違反に対する過剰な呼びかけ]に対する[極端な正義感や牽制して目立つことへの嫌悪感]や、[ライブの空席への対処法の主張に対する違和感]により構成される。</p> <p>(10)[マナーを守ることが重視する姿勢]を持っていると、[ライブ中の録音を目の当たりにした衝撃]を感じる。</p> <p>(11)[ある程度信頼していた人の違反行為による裏切り感]に加え、[違反行為の裏付け]を発見すると、[ライブの録音という違反行為の発覚により残念に思う気持ち]を感じる。</p> <p>(12)[派手な格好でライブに参加するファンに対する衝撃]や[マナーを守らないファンに対する嫌悪感]が、[初めてのライブでの衝撃]として印象に残ることがある。</p> <p>(13)[ライブでの暗黙のマナーの存在]の認識の上、[暗黙のマナーを守ることの主張]をする。</p> <p>(14)[担当の仕事量増加に伴うグッズの希少性上昇]により[親からの提示額を超えるグッズ購入量]になることがある。</p> <p>(15)[グッズの購買行動自体の応援活動化]が、[グッズの発売頻度増加による金銭的負担の増加と危機感]や[周囲の購買行動に流された自身の購買量の増加による疲弊]を感じることにつながる。</p> <p>(16)[友人の購入量の比較と羨まし]によりグッズの購入量が増加するが、[グッズの収納場所減少に伴う虚しさ]が起こったことにより、[熱量低下の一員としての金銭的負担]を認識する。</p> <p>(17)[自身の都会とライブ開催がないことによる会える機会減少と、それに伴う熱量減少]が起こることがある。</p> <p>(18)[他グループのコンテンツの比較]をすることで、[コンテンツ量とファンクラブ会員費が釣り合っているか]が検討される。</p>
さらに追究すべき点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ポジティブな感情のみを共有してネガティブな感情は共有しなかったのか、そもそもポジティブな感情しか生まれないのか ・リア友(日常生活の中での友人)とは良好関係を築きやすいのは何故か ・チケットの高額転売について、正義感を振りかざしたツイートとはどのようなことを言っていたのか ・入金しないとブラックリストに入ることの真偽 ・正義感があることが良い方向で生かされるときは、どんな時か、具体的な経験があれば ・「買いたい(購買欲求)」なのか「買わなきゃ(強迫観念)」なのか両方なのか ・どのようなところで勢いがあると感じていたか ・現状ファンクラブは続けているか ・ファンクラブを辞めたことはあるか、どの基準でやめるか

SCAT(Steps for Coding and Theorization)を使った質的データ分析

34	⑧	目情(目撃情報)があるじゃないですか。で、例えば中学校の時とか、c3君とかc2君が新幹線に隣に座って弁当食べてたとか、そういふのを見るとそっとしてやれよみたいな。なんかアイドルとして仕事をしている時に、消費者が消費するのはそういうものだと思うんですけど、プライベートの時のその人のことを消費するのは、倫理的にどうなんだろうと思います。	目情/弁当食べてた/そっとしてやれよ/消費者が消費する/そういうものか/プライベート/倫理的に	担当のプライベートの拡散/担当のプライベート保護の姿勢/道徳的な違和感/モラルとしての疑問	アイドルの消費について/目撃情報の略語化から見る浸透/アイドルのプライベートの取り扱い	プライベートへの関わりや情報拡散に対する反対	・アイドルを消費する、とは実際に言われていることか	
35	曾我	なんかこう消費するっていうのは、見て楽しむみたいな感じですよね。	消費する/見て楽しむ		「推しを消費する」という考え方/推しを見て楽しむこと可愛いと感じる材料にすること/仕事としてのアイドル活動とプライベートの分離/消費すべきでない部分まで消費するのは倫理的に反するという考え方/消費されるべきでない状況でも消費されてしまうアイドルに対する気の毒さ			
36	⑧	うん。見て、めっちゃ興奮して可愛いみたい。わかるけど、それをつぶやいやちやうと、プライベートもくそもないじゃないですか。例えばb1が野球球場で仕事で来てて、こういう行動してたっていうのは、もちろん仕事だからレポとしてはいいと思うんですけど、今日何とかが、なんか歩いてたら何とかに会った、めっちゃ可愛かった、こうしてくれた何々にしてたとか、なんかかわいじゃないですか、そんなん。Mくんがすごいなんか、新幹線で寝てたら知らないおばさんに静岡着いたよって話しかけられて怖かったっていうコラムを書いて。まさにそうで、かわいそうみたいな。	興奮/可愛い/つぶやいやちやうと/プライベートもくそもない/仕事だからレポ/なんかこわい/怖かった/まさにそう/かわいそう	消費する=見て、興奮して可愛いと感じる材料にすること/仕事中の行動の拡散に対する許容/仕事とプライベートの分離/プライベートの拡散の恐怖感/プライベートにアイドルとして扱うことに対する恐怖/可哀想/気の毒/		アイドルとしての活動を見て楽しむという「アイドルの消費」/仕事としてのアイドル活動とプライベートの分離/アイドルのプライベートに対するファンによる非干渉の考え/プライベートも消費されるアイドルに対する哀れみ		
37	曾我	確かにそうですね。でも結構ありません？目情とか。	結構ありません？	目撃情報の閲覧できる環境/プライベートの目撃情報の非拡散の姿勢/目撃情報の閲覧回避不可能性/プライベートの服装の詳細拡散に対する反対/	時間や労力をかけて詳細を記述/拡散することに対する反対姿勢「あえて」すべきではないという反対意識/目撃情報の消費物化/	目撃情報の消費物化に対する反対		
38	⑧	あります。だからなんかリツイートしないようにしてます。	リツイートしない					
39	曾我	そうですね。見ることは見るって感じですか？						
40	⑧	流れてくるので見ると感じですけど。なんか事細かに服とか描いてあげてる人とか見て、どうなんだろうと思ってますかね。	流れてくるので見ると/細かに服とか/どうなんだ					
41	曾我	なるほど。でもそれを見てふんふんくらい感じですか？	ふんふん/そういう人もいるんだ	無関心な態度/目撃情報閲覧時に抱く感情の許容/目撃情報拡散に対する非理性的行動という捉え方/かわいという感情の許容と共感/プライベートな行動拡散の非理性的行動という見方/理性的な行動をすべき/理性を働かせることの重要性の示唆				
42	⑧	うん…かわいいなと思いますけど。感情と理性は別だと思ってる。可愛いと感じてしまうことは止められないじゃないですか。じゃあ感じた上で行動するか。そのリツイートするのとか、例えば私が3くんを見たときに、公開アカウントで事細かに詳細をつぶやくのとかとか、常に理性を持っておきたいとか。相手は人間なので、感じてしまうことは誰も責められないけど、理性を働かせるかどうかはやっぱり重要視するべき事だと思います。	可愛いな/感情と理性は別/止められない/感じた上で行動するか/理性を持っておきたい/相手は人間/重要視するべき			個人的なものをどこまで個人的にしておくか/目撃情報を拡散する行為=非理性的行為/感情と行為の切り離し	・感情と理性の分類は一般的に用いられているのか ・そのほかに理性的でないと感じた経験はあるか	
43	曾我	そういうのは結構昔からそういう考えを持っていたんですか？	昔から/そういう考え					
44	⑧	いやでもそれは大学生入ったぐらいからですかね。大人になってからかな。2次元とは違うし。	大学生入ったぐらい/2次元とは違う	2次元と3次元の比較		推す境界の変化による価値観形成		
45	曾我	じゃあ、もう3次元、3次元というジャンルとかをこう広げたいからって感じですか？	ジャンルを拡張したいから					
46	⑧	うん、そうですね。多分そうだと思います。まあもともと芸能人の《スキャンダル》とかすごい嫌いなんで、もともとなのかもしれないんですけど。	多分そう/《スキャンダル》とかすごい嫌いな/もともとなのかもしれない	プライベート拡散に対する反対姿勢の形成/ジャンルに限らない反対姿勢/元々の考え		元々保持している芸能人のプライベート拡散に疑問を抱く感覚		
47	曾我	じゃあ、結構その目情もどんどんあげたりとか、結婚したら担降りちやうというジャンルオタさんとは、距離を置いたりとかは特にせず、そのまますけ合えるって感じですか？それとも、TLは流れないようにするみたいな感じになったりとかはありますか？	距離を置いたり/TLは流れないように	目撃情報の拡散者に対する対応		目撃情報の拡散者に対する対応		
48	⑧	それ以外にもその人に楽しいこと、いいことはいっぱいあるんで、別にその1面だけで切ったりはしないかな。ただあまりにも倫理観がないツイートとかとか、貶し/とかかきとかは、もうミュートとかしちゃいますか。	楽しいこと、いいこと/その1面だけで/あまりにも倫理観がない/貶し/ミュート	目撃情報のみが交流を止める原因にならない考え/目撃情報だけでなく友人の捉え方/目撃情報という側面/極端にモラルに反する投稿/ミュートする基準/モラルに反する発言としての貶す発言	目撃情報の拡散行為の単なる一側面性/モラル・倫理観が同じことの重要視	目撃情報の拡散行為の単なる一側面性/過剰な否定的発言の回避行動		
49	曾我	貶していうと、担当以外のことをサゲていうみたいなの…？	担当以外/サゲ	貶し愛/自担に対して低く評価した発言に対する拒否/良い面のみ受け止めた場所/批判的な意見/真面目な意見/政治の話/平和な面のみ認識・発言する姿勢/中身の発言/貶す発言・政治的な発言を回避する姿勢				
50	⑧	貶し愛、みたいな感じ？オタクアカウントなので、なんか花畑ハッピーみたいなツイートしか見たくないんですけど、基本的に。だから真面目な、政治の話とかしてるとか、そういうのは結構ミュートしちゃいますね。	貶し愛/花畑ハッピーみたいな/真面目な/政治の話/ミュート	オタク用アカウントにおける閲覧内容の統制/ポジティブな投稿のみの受容体制/ツイートの分類	オタク用アカウントにおける否定的発言の排除と中身の受容	・オタク用アカウントにおけるポジティブなことのみ求める姿勢は一般的なことなのか		
51	曾我	なるほど、担当に絡む、政治的な話とか、をしてる…？	担当に絡む	担当との関係性有無に関わらない政治的発言/ばかっぽい/あほっぽい/細かいことを考えずに楽しい側面だけ発言する人/楽しい発言のみの許容	Twitterにおける政治的課題の不要性/担当に関する場における真面目・ネガティブな話の不要性/Twitterにおけるファン活動の場の設計			
52	⑧	絡まなくても、普通に世間話として話してるとか、フォローする基準は、いかにばかっぽくてハッピーそうなかみかみたいな。楽しそうな人。	世間話として/いかにばかっぽくてハッピーそうなかみ/楽しそうな					
53	曾我	オタクとかのツイートとかをやる所は楽しいとこでやりたいって感じですかね。	楽しいとこで	Twitterにおける批判的・真面目な議論の自主的制限/批判し合う議論に対する嫌悪感/Twitterでの大規模な議論の回避		大規模な議論・批判的意見閲覧の自主的制限		
54	⑧	そうですね、なんか学級会とか嫌なんで。	学級会とか嫌					
55	曾我	なるほど、ちなみにジャンルオタのご友人とかは、オンラインがほとんどですか？Twitterとかベースっていうのがほとんど…？	オンライン/Twitterとかベース	Twitterのみに広がる同担のファンコミュニティ/元々知合いの友人の中でのジャンルオタファンが存在	Twitterのファンダム化	Twitter=⑧さんにおけるファンダム		
56	⑧	Cのオタクはリアルにはいないので、オタクが全員オンラインで。元々の知り合いでジャンルオタとかはいますけど、全員別のグループ。	元々の知り合い/全員別のグループ					
57	曾我	そうですね。例えばリアルで、ほかのグループのオタクやってる人と、目情の価値観とか結婚の価値観とか違うって感じを感じたりしたことはありますか？	目情の価値観/結婚の価値観/違う	元々の友人同士での価値観の違いを感じた経験		元々の友人同士での価値観の違いを感じた経験の引き出し		
58	⑧	全然、つながろうとする人とかいるから、まじやべえなと思うんですけど。まあリアルは友達とは別にジャンルオタとして付き合ってるじゃない。私の担当に危害を及ぼさなければ別に、お好きにどうぞみたいな感じ。基本どうでもいいんで。	つながろうとする人/まじやべえな/ジャンルオタとして付き合ってる/私の担当に危害/お好きにどうぞ/基本どうでもいい	アイドルと実際に知り合おうとする人/実際に知り合うために行動を取る人/やばい/アイドルを求める行動力の基/ださ/リアルな友人としての交流/元々の友人との、ジャンルオタに対する価値観相違の非重要性/元々の友人との交流における、自担以外の非重要性/元々の友人へのジャンルオタ関連の価値観への無関心/どうでもいい/放置	相手に何を求めて交流しているか/相手との基本的な交流の場が何であるか/求める接点以外の非重要性	相手との中心的接点以外での価値観・行為に対する無関心	・ジャンルオタ以外の、2次元に興味を持っている時でも同じスタンスを持っていたか	
59	曾我	じゃあ、オンラインとかだとジャンルオタで繋がってるって感じだから、ちょっとみたり消したりするけど、オフラインだったら、もうほとんど気にせず/それぞれで楽しむって感じですか。	ほとんど気にせず/それぞれで楽しむ	元々の友人との交流におけるジャンルオタ関連の立ち位置				
60	⑧	そうですね、なんか友達のジャンルっていうんですかね、オフライン、リアルな人は普通に高校で知り合ってたから、普通にリアルな話をして、まあジャンルオタの話もしたりしますが、そういう人だから。で、Twitterで知り合った人は、Cのオタクだから、逆に言ったらリアルで何をしてもどうでもいいし、逆にリアルな友達は、リアルでなんかやばい事したら気になるけど、ツイッターのバズがリアルで何しても別に気にならない。	友達のジャンル/リアルな話/そういう人/リアルで何をしてもどうでもいい/別に気にならない	友人のジャンル分け/ジャンルオタとしての価値観に対する許容性/ジャンルオタとして知り合った人に対する、それ以外の場所での行動への無関心	友人のジャンル分け/接点以外の価値観・行動に対する無関心			

61	曾我	じゃあ、自分と繋がりが、その接点になる部分で、価値観とかがこうやってのこりがあまりにも濃すぎたから、えって思う時もあるけど、それ以外は基本気にしないって感じなんですかな。	接点になる部分/あまりにも濃すぎたら/基本気にしない	相手との共通部分/接点になる分野/界限/差異が大きすぎる時を除く/基本的な無関心のスタンス	嫌だと感じるものの存在を認める姿勢/相手により求めるものを要えることによる共感できない出来事に遭遇した時の嫌悪感回避	全ての側面で共感する必要がないという考え方	
62	⑧	そうですね。人間多すぎるんで、一つ嫌なことぐらいあるだろうと思います。	人間多すぎる/嫌なことぐらい	嫌なことの存在の受容/不快な出来事に対する諦め			
63	曾我	なるほど。これまでは結構そのつづきやいてるとかかいていこうだったかなと思うんですけど、例えば実際に自分と価値観が違う行動をしてみたいというところ、ちょっと聞きたいなと思って。例えばジャニーズファンと距離をおいた経験はありますかというところで、マナー違反する人はいないところがあるというところを書いていただいたんですけど、なんかそういうところで、基本どうでもいいけどやっぱり無理だった経験みたいなところってありますか？					
64	⑧	えっと、ツアーで、サイトチェンジ、担当が来たあとの横の友達と入れ替わるとか、そういうのはおっつてなっちゃいますね。	サイトチェンジ/入れ替わり/おっ	コンサート中の座席移動/驚きと軽い拒絶/違和感			
65	曾我	その、やってるの見てって感じですか、それとも…					
66	⑧	一緒に入った人が、連れてってくれた人が、私初めて入って大阪公演。人生でジャニーズ公演で何も知らなかったんですけど、なんか一緒に連れてってくれた人がずっと長く、おくん来た時に、変わんな変わんなって言って近くに来てくれたんですけど、後から考えたら結構迷惑だよねはみたない。なんかご好意ではあるんですけど、あんまりいいとされたい。	一緒に入った人が/初めて/何も知らなかった/ずっと長く/変わんな/後から/結構迷惑/ご好意ではある/あんまりいいとはされたい	人生で初めてのジャニーズのライブ/右も左もわからない状態/同行者の担歴の長さ/好意でしてくれた行動に対する違和感/迷惑だったかもしれない懸念/好意で行ってくれた迷惑行為に対する複雑な感情/ライブ中に迷惑とされる行動をしてしまった懸念	迷惑行為とと思われる行動をとってしまったことに対する違和感	・コンサート中のサイトチェンジが迷惑とされているのか	
67	曾我	そういうことがあると、ちょっとおっつて思うぐらい…？					
68	⑧	あんまり自分から積極的に話しには行かなくなるかなって感じですかね。現場かぶったときに、ちょっと会いたいって言われたら、全然会うけど、まあそこい仲いい友達にはあんまならないかも。	積極的/現場かぶったとき/言われたら/全然会うけど/そこい仲いい	若干の疎遠/交流の非主体性/受動的な交流のみ受け入れる姿勢/これ以上の交流の見込み/意欲の低下	交流の若干の消極化	迷惑行為とと思われる行動をきっかけとした、ファン同士の交流の消極化	
69	曾我	そうですね。それはTwitterで知り合った方と一緒にいったって感じですか？					
70	⑧	そうですね。Twitterで知り合った人と。私が外れたんで、連れてってくれた。					
71	曾我	ちょっと、おっつてって、そういう気持ちで、不完全なままだとあえず、時が流れるのを待ってという感じで対処しましたか？	不完全なまま/とりあえず	サイトチェンジに対する複雑な感情の非重要性/悪く言われることの回避の重要性/悪く言われること以外に対する無関心/	迷惑行為の非重要性/悪く言われることに対する嫌悪感のインパクト		
72	⑧	そうですね。別に…					
73	曾我	そんなに重く考えてないですよ、多分。					
74	⑧	それよりは、一番の、なにかをディスられる事なので、それ以外だったらそんなに気にしないかなあ。	それより/ディスられる/それ以外/そんなに気にしない	他人の行動の非制限性/学級会状態/議論が巻き起こった事例	悪く言い合った事例		
75	⑧	人が人の行動の制限できないじゃないですか。例えばその《フェイスシールド》のゴタゴタってご存知ですか？	人の行動の制限できない/ゴタゴタ				
76	曾我	ざっくりとは知ってるんですけど、そんなにしっかりと知らないかもしれないです。					
77	⑧	Cの公演って、大阪の感染者が爆発的にヤバイ時とかで、結構もう4月5月、3・4・5ってやってたんで、もうそこだった、ギリギリの状態だったんです。もう感染者出たらやばいみたいな状態で、でも周年だからツアー開いてくれて、ファンもちゃんとしてうねみない。普通なるじゃないですか。でもまあ、付けないとかやばいいるんですけど、ただ、付けないのが必ずしもつたくないからとは限らないじゃないですか。肌が弱いとか、ちょっと目が弱いとか、そういった原因があるかもしれないから、まあつけてねえとは思いますが、Twitterとかで、それを糾弾とか、は、してる、学級会みたいなのが大規模に開かれてると、Twitter見たらなくなっちゃいましたね。	ギリギリの状態/感染者出たらやばい/周年だから/ファンもちゃんとしてうねみない/原因/まあ付けてねえ/糾弾/学級会みたいな/見たらなくなっちゃいました	開催の可否判断が困難な環境/記念の年/開催決定/ギリギリの判断/ファンの感染予防対策意識の向上/フェイスシールド未着用者に対する糾弾/ファン同士の感染予防の呼びかけ/フェイスシールド未着用者のやむを得ない理由への理解/未着用者に対する非難に対する疲弊・嫌悪感/議論の場からの避難	ファンとしてライブ成功に向けた団結/団結に背く人への過剰な糾弾/過剰な否定的発言による疲弊	ファンとしての団結力向上に伴う、団結に背く人に対する過剰な糾弾と、それに対する疲弊	
78	曾我	結構その学級会並みに、そういうつけてないをとか言うみたいなのがあったんですか？	学級会並み/とやかく言う	フェイスシールドに関する議論の規模		議論の規模に対する質問	
79	⑧	そうですね、私もつけろよかと思うんですけど、付けない人が悪、みたいなのは、想像力足りないなと思います。実際に目が弱くてつけないというツイートがあったりとか。過敏症で付けない人がいたりとか。基本的にスタンスとしては、別に人が人の行動を制限できるわけでもないし、私が例えば嫌だと思っただけで、その人をどうこうできる資格なんてないので、どうでもいいというスタンスです。	私もつけろよか/つけない人が悪/想像力足りない/人の行動を制限できない/ずいぶん嫌/資格なんてない/どうでもいい	他人の行動に介入することへの不可能性の受け入れ/他人の行動へ関与しようとする人への反対意識/他人への決めつけに対する反対意識	他人の行動への関与不可能性の主張/他人の行動意図の決めつけに対する反対意識		
80	曾我	なるほど。ありがとうございます。そんな大規模なことがあったのが知らなかった。丁度昨日も、シールドつける？っていう、友達とちょっとどうしようって話したところだったので、タイムリーだな。					
81	曾我	例えば、CD買おうっていう風潮についていけなくなるとか、Iの話ばかり聞いているところもあるんですけど、9人がいって言う人がめっちゃいるのがしんどくなって、ちょっと疲れたから辞めるとか、そういう話をよく聞くので。	CD買おうっていう風潮/9人が嫌/しんどくなって/疲れたから			課題感を抱く事例の列挙	
82	⑧	そうですね、そんなネガティブな感情ばかり見ると普通に精神良くないので、SNSって本当に一長一短ですよ。CD買おうとか再生数とか伸ばそうとかツイートしようとか、もちろんやろうっていう気持ちもわかるんですけど、ってSNSとかめっちゃやっちゃうんで、ツイートたくさんしようとか再生数伸ばそうとかっていうのは、もちろん呼びかけていいと思うけど、強要とかし始めたらやっぱり疲れちゃう人出てくるし、まあ伝え方ですよ。できる人はやろねみたいな。やらなくてもいい。	ネガティブな感情/精神良くない/一長一短/気持ちもわかる/SNSめっちゃ弱い/もちろん呼びかけていい/強要/疲れちゃう人/伝え方/できる人はやろ	SNSのメリット/デメリットの理解/SNSの活用方法の悪い例/SNSの下手な利用による精神的な影響の大きさ/数字を求め人への理解/行動変容の強要に対する反対/行動の自主的選択を促す発言への肯定的姿勢/強要・義務化に対する疲弊に対する共感・推測	Twitterにおけるネガティブな意見の多さ/行為の強要・強制に対する疲弊の共感	SNSにおけるネガティブな意見の精神的影響力の大きさ/行為の強要・強制に対する疲弊への共感	
83	曾我	そこらへんのコントロールは結構うまくできてる方だと思いますか？	コントロール	SNSの利用に関する自身の感触		自身のSNS利用に関する感触の促し	
84	⑧	うん、別に自分がやりたいようにやればいいのかと思ってます。C担ってでもそういう人多いんじゃないですかね。そもそもCがそういう人たつたし。細かいことを気にしてらんないグループだから。	やりたいようにやればいいのか/担って/そういう人/そういう人/細かいことを気にしてらんない	SNS利用方法の自在さ/各自自由に発言している前提での行動/他人の影響を受けなければならない/些細な一言への無関心/関心を持つ余裕がない状態	度重なる脱退や休止により形成された精神的タフさと、些細なことへのスルースキル/自分の「推し方」の明確な保持	・元々他人に影響されすぎない姿勢を持っていたのか、そうでなければ、そのような姿勢をもてたきっかけは何か	
85	⑧	面白かったのが、普通にビルポツイートするだけだとE担は飽きちゃうから、ワンタッチツイート、面白いかわいいのがすごく面白かったです。ビルポって曲名とアーティスト名を入れると集計されるんですけど、たまたまやけどC担絶対飽きちゃうから。メンバーの顔文字とかを使ってかわいくして。そうやってファン同士で結構工夫合ってるのがおもしろかったです。	飽きちゃう/ワンタッチツイート/すごく面白かった/かわいくして/工夫合ってる	単に数字を稼ぐ作業に飽きるE担/簡単に可愛いツイートのできる機能/数字を稼ぐために様々な工夫を施しているファン/楽しくオタとして工夫/様々な工夫に対する面白さ	ファンとしての役割の一つである「数字を稼ぐ行為」/「数字を稼ぐ行為」というファンとしての責務/ファンとしての責務をいかに楽しくこなすか	・数字を稼ぐことがどれだけ重要なことなのか	
86	曾我	いろいろありますね、知らないようなことが多くて。					

92	⑧	ほかJあたりが本当に強いのでSNSとか動画とか、だから余計に疲れちゃう人とかもいるかも。いつも枚数、あと何枚で何百万ですか、すごい流れて来るんですよ。あれ嫌な人つらいだろうなあと考えて。	本当に強いのでSNSとか動画とか/余計に疲れちゃう人とか/あと何枚で何百万ですか/すごい流れて来る/嫌な人つらいだろうなあと	SNS系でよく話題になるグループの存在/CDの売上枚数増加のための呼びかけの多さ/数字に対する協力呼びかけに疲弊することへの共感	数字を稼ぐ行為の呼びかけへの疲弊に対する共感		
93	曾我	私自身が結構そういうのに強くないタイプなので、今Twitterやってなくて、ちょっとそういうのに強くないところがあるんですけど。大変という噂を聞くので。	そういうのに強くない/Twitterやってなくて/嫌い/大変という噂/	Twitterに嫌い/自身が回避してきた経験			
94	⑧	まあ人も多いので、1のファンって。感情の思念体がもうめちゃくちゃ多そうで、大変そうだなって思います。	人も多い/感情の思念体/もうめちゃくちゃ多そう/大変そう	多様な感情が行き交っているという予測/人数が多い分多様な考えが入り乱れている様子/多様な考えが入り乱れている環境下でのオタ活に対するいたたまれないさ/不慣れた感情	TwitterをはじめとしたSNSの特徴としての、多様な意見の閲覧/ファン数が多いほど広がる意見の多様性	SNSの多様な意見が入り乱れている環境下でファン活動をするにに対する哀れみ -思念体とは(どのようなイメージでその言葉を使っているか)	
95	曾我	結構Twitterのアカウントとかも、3以上って書いていただいているんですけど、結構いろいろ使い分けて上手にやられている感じですか？					
96	⑧	リア垢と、2次元アカウントと2次元の鍵垢と、リア垢の鍵垢と、ジャンニーズの鍵垢2つと、みたいな。	リア垢/2次元/鍵垢/鍵垢と	複数のアカウントの使い分け/趣味のジャンルと公にするかどうか	複数アカウントの存在		
97	曾我	結構もうそれぞれで情報とか、うまく分けて、発信することとかタイムラインに流すこととか、結構使い分けられているって感じですか？	発信すること/タイムラインに流すこと	各アカウントの使い分け方法	各アカウントの使い分け方法の促し		
98	⑧	見る用と言うよりは、例えば気持ち悪いツイートする時は鍵とか、使い分け方。例えば本人が見る可能性があるわけなので、Twitterって。だからこれ本人に見られたくないなあ、みたいな、たとえばo3君の腹筋が綺麗とか見られたくないの、そういうの鍵でしてますね。	気持ち悪いツイート/使い分け方/本人が見る可能性/本人に見られたくないなあ/腹筋が綺麗/鍵で	鍵垢の活用方法/担当に見られたくない見られるべきではないと考えている内容の投稿/本人が見る可能性のある場所で発言すべきでない内容/	担当の腹筋自体について言及することが、性的消費に繋がっているという考え(？)/	本人の閲覧可能性を考慮したアカウントの使い分け -腹筋が綺麗とかはなぜ公の場で発言すべきでないと考えているのか・ジャンルごとにアカウントを分けている理由	
99	⑧	今送ったツイートが(ワンタッチツイートのURLを送信してもら)。これクリップすると自動でツイートできるんですよ。こうやってみんな工夫して、楽しく、ビルボやりましたね。	自動ツイートできる/みんな工夫して/楽しく/ビルボやりました	楽しくツイート数を稼ぐ工夫/簡単に可愛い投稿ができる	「ビルボする」という行為/数字を稼ぐことへの行為化	簡単に「数字を稼ぐ」ための工夫	
100	曾我	すごい工夫してますね。					
101	⑧	いっぱいいるんな人が作ったんですよ。	いっぱいいるんな人	様々な人が協力している様子			
102	曾我	凄いなって思うんですよ、こういうの見るたびに。ファンのカッてすごい強いなあと思って。そういうところもう多く拾ってあげばすごいですからね。					
103	⑧	人のツイートなんかSNSはスルーすれば大丈夫なんで。皆さんもう気にせんていよって思います。	スルーすれば大丈夫/気にせんていよ	SNS上での細かい発言は気にしないで良いという示唆/無視すれば平穏に過ごせる示唆	自分のSNS利用のスタンスを持つことの重要性	自身の明確なSNS利用のスタンスを持つことの重要性の主張	
番号	発言者	テキスト	①<1>テキスト中の注目すべき箇所	②<2>テキスト中の箇句の言い換え	③<3>左を説明するようなテキスト外の概念	④<4>テーマ・構成概念(前後や全体の文脈を考慮して)	⑤<5>疑問・課題

元々[幼少期からの環境により形成された2次元に対する興味]を持っていた⑧さんは、[他界隈からの逃避]先としてジャンニーズに興味を持ち、現在[まる2年のジャニオタ歴]を持つ。この興味分野の移行について、[2次元界隈からの逃避原因の複合性]も同時に語られている。

他のファンと意見の違った経験の一つ目として、[結婚を原因とした拒降りの事例の有無]について回答を促すと、[自らの結婚を想像した時の自分の身の振り方の予測]をする中で、[担当の結婚を想像する中で、ショックを感じる可能性とそれ以上に担当自身の幸せの優先を願うという推測]をしていた⑧さんは、他のファンの意見の中にある[推しの結婚に対するショックと拒降り行動の因果性に対する疑問]を抱いていた。これは、[本人に結婚願望があるにも関わらずアイドル活動を優先してくれたことに対する感謝・尊敬]を元に[担当の幸せな様子に対する可愛さや幸せ]を感じるという⑧さんの主張により形成された疑問であった。ただし、[担当の結婚に対する考えの共感経験の有無]を伺うと、[担当の結婚に対する共感経験]があるだけでなく、[ネガティブな影響を及ぼすこと]の多いスキャンダルに対して興奮する事例の目撃経験もあり、[スキャンダルに対してポジティブに捉えること]に対する面白みを捉えていた。

他のファンと意見の違った経験の二つ目として、[目撃情報に対しての感情・経験の引き出し]の中では、[プライベートへの関わりや情報拡散に対する反対]があった。ファンは[アイドルとしての活動をみて楽しむという「アイドルの消費」]をして、適切な「アイドルの消費」のために[仕事としてのアイドル活動とプライベートの分離]をした上で[アイドルのプライベートに対するファンによる非干渉の考え]が根本的な考えにあった。しかし、目撃情報が拡散される現状において、[プライベートも消費されるアイドルに対する哀れみ]を感じており、[目撃情報の消費物化に対する反対]や[目撃情報拡散という非理性的行為に対する反対]の意思を持っていた。

これらの考え方は、[推す界隈の変化による価値観形成]が行われているのに加え、[元々保持している芸能人のプライベート拡散に疑問を抱く感覚]も持ち合わせていることより発生していた。このような目撃情報拡散に対する反対意見は持っているが、[目撃情報の拡散者に対する対応]については、[目撃情報の拡散行為の単なる一側面的見方]をしているため特に関与に起因することはなかった。

また、他のファンと少し距離をおいた経験として、[迷惑行為と思われる行動をとってしまったこと]に対する違和感を経て、[迷惑行為と思われる行動をきっかけとした、ファン同士の交流の消極化]がおこっていた。しかし、[迷惑行為の非重要性]も同時に言及されており、それ以上に[悪く言われることに対する嫌悪感のインパクト]は大きいと述べた。[ファンとしての団結力向上]に伴う、団結に背く人に対する過剰な糾弾と、それに対する疲弊を感じた[悪く言いついた事例]をあげている。さらに、その[議論の規模に対する質問]を通して、[他人の行動意図の決め付けに対する反対意識]やそれにより発生する[他人の行動への関与と不可能性の主張]を持っていることを明かした。

⑧さんにおけるファンダムについて、[Twitter=⑧さんにおけるファンダム]であり、その場の[大規模な議論・批判的意見の閲覧の自主的制限]を行うことを通じて、[過剰な否定的発言の回避行動]・[オタク用アカウントにおける否定的発言の排除と中身の無いポジティブ発言のみの受容]を行っていた。これが[twitterにおけるファン活動の場の設計として、否定的・政治的発言がないという基準]の設定に起因していた。しかし、元々関係があったジャンニーズファンの友人について[元々の友人同士での価値観の違いを感じた経験の引き出し]を行うと、[全ての側面で共感する必要がないという考え方]のもと、[相手との中心的接点以外での価値観・行為に対する無関心]を持っていた。

[課題感を抱く事例の列挙]を聞き手側が行うことを通じて、[SNSにおけるネガティブな意見の精神的影響力の大きさ]を挙げ、[SNSの多様な意見が入り乱れている環境下でファン活動をするにに対する哀れみ]を感じたり、[行為の強要・強制による疲弊への共感]、特に[数字を稼ぐ行為の呼びかけへの疲弊]に対する共感[を]していた。

疲弊しないために、⑧さんの周囲ではファンとしての「数字を稼ぐ」ことへの責務を楽しく全うするための工夫、[簡単に「数字を稼ぐ」ための工夫]が施されていた。また⑧さん自身として、[自身のSNS利用に関する感触の促し]の中で、[他人に影響されすぎない姿勢]、[些細なことへの無関心]を持つことがSNS利用で疲弊しない要因になっていた。

また、⑧さんは[複数アカウントの存在]を明かしており、[各アカウントの使い分け方法の促し]によりそれらが[本人の閲覧可能性を考慮したアカウントの使い分け]を行っていた。

全体を通して、[自分とは異なる意見の存在認識とそれに対する無関心]が根本にあり、そこから派生して[自身の明確なSNS利用のスタンスを持つことの重要性の主張]を行っている。

理論記述	<p>(1)[幼少期からの環境により形成された2次元に対する興味]から[まる2年のジャニーズ歴]を持つに至るまで、[他界隈からの逃避]先としてジャニーズに興味を持ち始めたが、その背景には[2次元界隈からの逃避原因の複合性]もあった。</p> <p>(2)[本人に結婚願望があるにも関わらずアイドル活動を優先してくれたことに対する感謝・尊敬]から[担当の幸せな様子に対する可愛さや幸せ]を感じることは、[担当の結婚を想像する中で、ショックを感じる可能性とそれ以上に担当自身の幸せの優先を願うという推測]に繋がりが、他のファンの意見による[推しの結婚に対するショックと担降り行動の因果性に対する疑問]を抱くことを誘因となる。</p> <p>(3)担当の結婚に対しては、意見相違の経験があれば[担当の結婚に対する共感経験]もあり、さらには[ネガティブな影響を及ぼすことの多いスキャンダルに対して興奮する事例]を挙げながら[スキャンダルに対してポジティブに捉えることに対する面白み]を感じることもある。</p> <p>(4)ファンは[アイドルとしての活動のみを楽しむという「アイドルの消費」]をしていて、適切な「アイドルの消費」のためには[仕事としてのアイドル活動とプライベートの分離]をした上で[アイドルのプライベートに対するファンの非干渉の考え]を持っていると、アイドルの[プライベートへの関わりや情報拡散に対する反対]を感じ、[プライベートも消費されるアイドルに対する哀れみ]や[目撃情報の消費物かに対する反対]・[目撃情報拡散という非理性的行為に対する反対]の意思を持つことにつながる。</p> <p>(5)[プライベートへの関わりや情報拡散に対する反対]は、[推す界隈の変化による価値観形成]や[元々保持している芸能人のプライベート拡散に疑問を抱く感覚]の2つのきっかけで形成され得る。</p> <p>(6)[目撃情報の拡散行為の単なる一側面的見方]をしていると、[プライベートへの関わりや情報拡散に対する反対]が[目撃情報の拡散者に対する対応]として行動に影響することはほとんどない。</p> <p>(7)[迷惑行為と思われる行動をとってしまったことに対する違和感]を感じると、[迷惑行為と思われる行動をきっかけとした、ファン同士の交流の消極化]につながる可能性がある。</p> <p>(8)一番に[悪く言われることに対する嫌悪感のインパクト]が大きい場合、[迷惑行為の非重要性]を認識する。</p> <p>(9)[他人の行動意図の決め付けに対する反対意識]やそれにより発生する[他人の行動への関与不可能性]を感じることは、[ファンとしての団結力向上に伴う、団結に背く人に対する過剰な糾弾と、それに対する疲弊]を感じることに繋がる。</p> <p>(10)[Twitter＝@さん]におけるファンダム]である時、[Twitter]におけるファン活動の場の設計として、否定的・政治的発言がないという基準を設定し、[大規模な議論・批判的意見の閲覧の自主的制限]を行うことで、[過剰な否定的発言の回避行動]・[オタク用アカウントにおける否定的発言の排除と中身の無いポジティブな発言のみの受容]を行う環境を自ら作り出す。</p> <p>(11)元々関係があったジャニーズファンの友人については、[全ての側面で共感する必要がないという考え]のもと、[大規模な議論・批判的意見の閲覧の自主的制限]は行われず、[相手との中心的接点以外での価値観・行為に対する無関心]のスタンスを持つ。</p> <p>(12)[SNSにおけるネガティブな意見の精神的影響力の大きさ]を考慮することは、[SNSの多様な意見が入り乱れている環境下でファン活動することに対する哀れみ]を感じたり、[行為の強要・強制に対する疲弊への共感]、特に[数字を稼ぐ行為の呼びかけへの疲弊]に対する共感を生み出す。</p> <p>(13)[SNSで疲弊しないために、ファンコミュニティとして[ファンとしての「数字を稼ぐ」ことへの責務を楽しく全うするための工夫]や[簡単に「数字を稼ぐ」ための工夫]が施されることがある。</p> <p>(14)[自身の明確なSNS利用のスタンスを持つことの重要性の主張]は、[自分とは異なる意見の存在認識とそれに対する無関心]を根拠とした、[他人に影響されすぎない姿勢]・[些細なことへの無関心]を実践した結果生まれたものである。</p> <p>(15)[複数アカウントの存在]により、[本人の閲覧可能性を考慮したアカウントの使い分け]が生じることがある。</p>
さらに追究すべき点・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に担当が結婚したら、今の推測と違いが生じるか ・担当の結婚に対する意見の中で、共感できるものとできないものの割合 ・アイドルを消費する、とは実際に言われていることか ・感情と理性の分類は一般的に用いられているものか ・そのほかに理性的でないと感じた経験はあるか ・オタク用アカウントにポジティブなことのみ求める姿勢は一般的なことなのか ・どういふ発言が「ばっか」っぽく感じるのか ・ジャニーズ以外の、2次元に興味を持っている時でも同じスタンスを持っていたか ・コンサート中のサイトチェンジが迷惑とされているのか ・元々他人に影響されすぎない姿勢を持っていたのか、そうでなければ、そのような姿勢をもてたきっかけは何か ・数字を稼ぐことがどれだけ重要なことなのか ・思念体をいう言葉などのような意味合いで用いていたか ・腹筋が綺麗、という発言はなぜ公の場ですべきでないと考えているのか ・ジャンルごとにアカウントを分けている理由

SCAT(Steps for Coding and Theorization)を使った質的データ分析